

ソリッドステートメモリーカムコーダー

取扱説明書

PXW-Z750

ソフトウェアバージョン2.0

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCAM SXS **MPEG HD422**

HDMI **XAVC** **Exmor**
CMOS Sensor

目次

1章 概要

各部の名称と働き	3
画面表示	14

2章 準備

電源の準備	22
ビューファインダーの取り付け	23
本機を初めて使用するとき	25
レンズの取り付けと調整	26
オーディオ入力の準備	27
周辺機器の取り付け・調整	29
SxSメモリーカードの取り扱い	30
設定データ保存用SDカードの 取り扱い	33
メディアアダプターを使う	34

3章 設定と調整

フォーマットの設定	35
撮像ダイナミックレンジの拡大	38
ブラックバランス／ホワイト バランスの調整	39
電子シャッターの設定	41
オートアイリスの設定	42
音声レベルの調整	44
タイムデータの設定	46

4章 撮影

基本操作	48
応用操作	50

プロキシデータ	56
プランニングメタデータ	58
測位情報の取得(GPS)	61

5章 ネットワーク設定

本機で使用できるネットワーク機能	62
本機とデバイスのワイヤレスLAN 接続	63
インターネット接続	67
ファイルの転送	71
映像・音声をストリーミング伝送 する	75
高品質なストリーミングを行う	76
Wi-Fiリモコンを使用する	78
Webメニューから設定する	80
ネットワーク機能の対応状況／ 動作制限について	85

6章 クリップ操作

サムネイル画面でのクリップ操作に ついて	86
Thumbnailメニュー	92

7章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成	93
セットアップメニューの基本操作	95
Userメニューの編集	97
Userメニュー (工場出荷時の構成) ...	99
Operationメニュー	100
Paintメニュー	109

Maintenanceメニュー	114
Fileメニュー	124
アサインブルスイッチに機能を割り 当てる	126

8章 ユーザー設定データの保存と呼び出し

ユーザー設定データ	129
ユーザーファイル	130
ALLファイル	131
シーンファイル	132
リファレンスファイル	133
レンズファイル	134
ガンマファイル	135

9章 外部機器の接続

リモートコントロールユニットを接続 する	136
外部モニターを接続する	140
コンピューターでクリップを管理・ 編集する	141
撮影／収録システムを構成する	143
外部入力信号の記録	146

10章 保守・点検

保守	147
エラー／警告システム	148

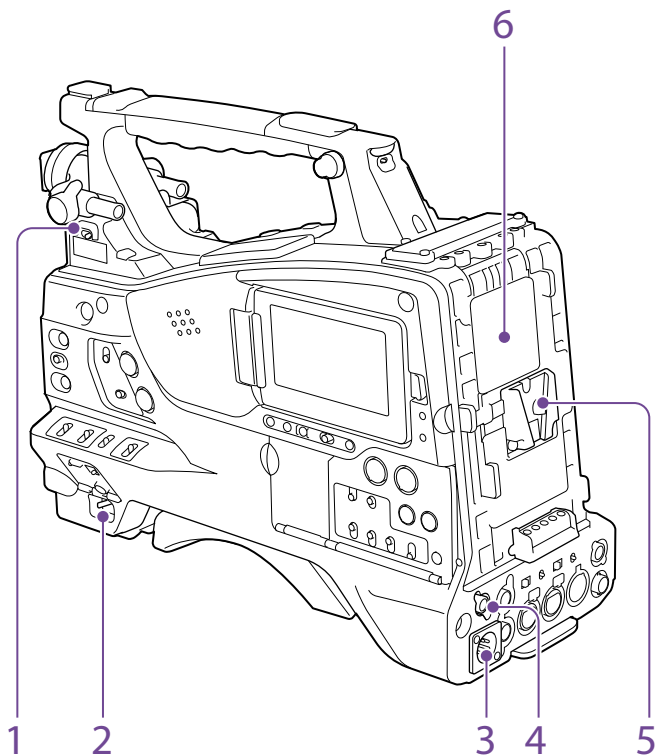
11章 付録

操作時に表示されるメッセージ	151
----------------	-----

ユーザーデータに保存される項目	157
フォーマット別の特殊記録対応	168
ピクチャーキャッシュレックモード 設定	169
使用上のご注意	170
主な仕様	172

各部の名称と働き

電源部



1. LIGHT(ビデオライト動作モード切り換え) スイッチ

LIGHT端子(4ページ)に接続したビデオライトのオン/オフのしかたを選択します。

AUTO : ビデオライトのPOWERスイッチをONにしておくと、本機で記録しているときにライトが点灯する。

MANUAL : ビデオライトのPOWERスイッチでライトをオン/オフする。

【ご注意】

ピクチャーキャッシュレックモードでの記録時は、記録開始の操作をする前(メモリーにデータを蓄積している期間)にライトを点灯させることはできません。

2. POWER(電源) スイッチ

主電源をオン(I) / オフ(⏻) します。

3. DC IN(DC電源入力) 端子(XLR 4ピン、凸)

4. DC OUT 12V(DC電源出力) 端子(4ピン、凹)

UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー URX-S03D(別売) およびHDVF-L750用の電源を供給します(最大1.8 A)。

5. バッテリー取り付け部

バッテリーパックBP-GL95Bを取り付けます。また、ACアダプター AC-DN10Aを取り付けて、AC電源で本機を動作させることもできます。

◆「電源の準備」(22ページ)

【ご注意】

本機を安全かつ正常な動作状態でお使いいただくために、バッテリーパックBP-GL95Bの使用を推奨します。

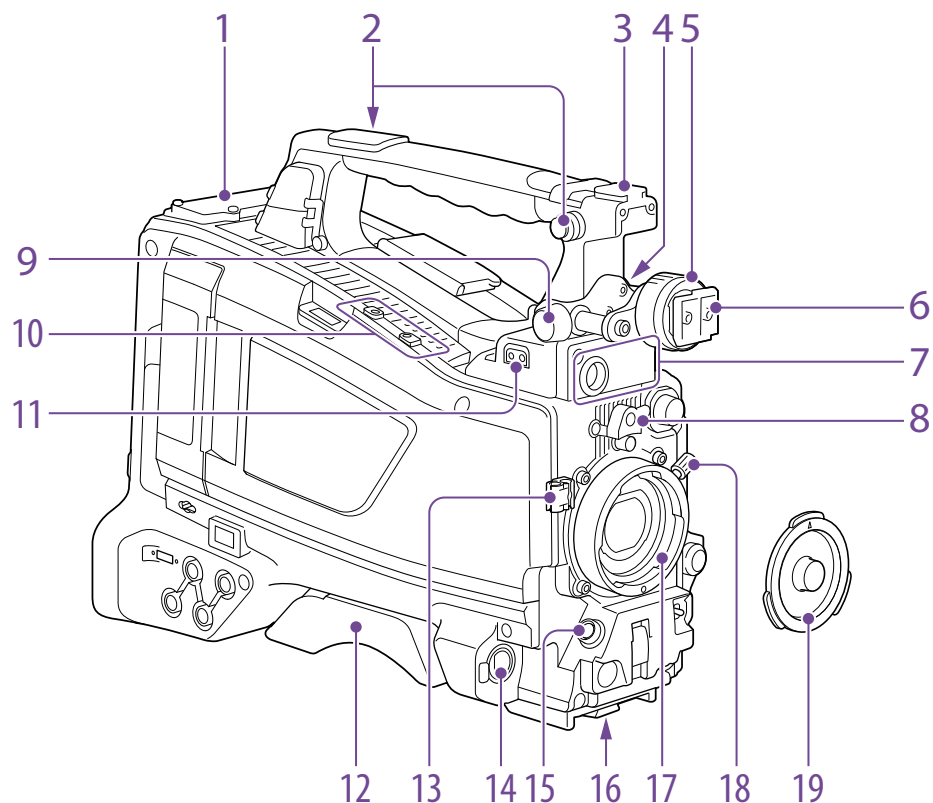
6. カメラアダプター接続端子(日本向け機器のみ)

カバーを外してHDカメラアダプター CA-TX70/FB70を接続できます。

【ご注意】

本機はリターンビデオの表示には対応していません。

アクセサリ取り付け部



1. ワイヤレスレシーバー挿入部(27ページ)

◆「ワイヤレスレシーバーを取り付ける」(27ページ)

2. ショルダーベルト取り付け金具(29ページ)

3. アクセサリーシュー (29ページ)

4. ビューファインダー前後位置固定レバー (23ページ)

5. ビューファインダー左右位置固定リング (23ページ)

6. ビューファインダー取り付けシュー (23ページ)

7. VF(ビューファインダー) 端子(丸型20ピン)

HDVFシリーズビューファインダー用のアナログインターフェース端子(20ピン)です。

【ご注意】

本機にインターフェースケーブルの接続/取り外しを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

8. レンズマウントゆるみ止めゴム

レンズ固定レバーでレンズを固定した後に、このゴムを2つある突起の下側の突起にはめ込みます。レンズマウントが固定され、レンズマウントがゆるむのを防ぎます。

9. ビューファインダー前後位置LOCKつまみ (23ページ)

10. 別売マイクホルダー取り付け部および同梱ガード取り付け部(27ページ、63ページ)

11. LIGHT(ライト) 端子(2ピン、凹) (29ページ)

12. ショルダーパッド(29ページ)

13. レンズケーブルクランプ

レンズケーブルを固定します。

14. MIC IN(マイク入力) (+48V) 端子(XLR型、5ピン、凹)

ステレオマイクを接続する端子です。マイク用の電源(+48V)はこの端子から供給されます。

15. LENS(レンズ接続用) 端子(12ピン) (26ページ)

【ご注意】

本機にレンズケーブルの接続/取り外しを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

16. 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメント(別売)を取り付けます。

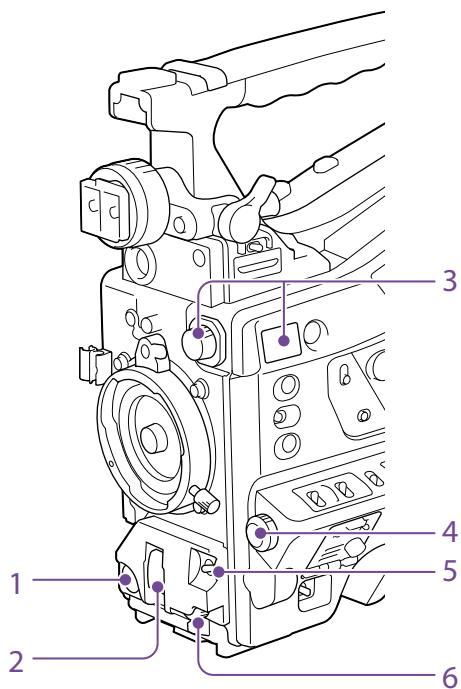
17. レンズマウント(特殊バヨネット型) (26ページ)

18. レンズ固定レバー (26ページ)

19. レンズマウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げると取り外せます。レンズを取り付けていないときは、はめ込んでおきます。

レンズ側操作部



1. REC START(記録開始) ボタン

押すと記録が始まり、もう一度押すと止まります。レンズにあるVTRボタンと同じ動作をします。

2. SHUTTER(シャッター) スイッチ

電子シャッターを使うときにONにします。

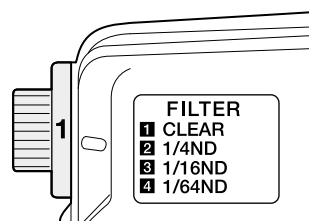
SELECT側に押すと、シャッタースピードとシャッターモードの表示が切り替わります。スイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

◆「電子シャッターの設定」(41ページ)

3. FILTER(フィルター切り換え) つまみ

本機に内蔵されている4種類のNDフィルターを

切り換えるためのつまみです。



このつまみの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

FILTERつまみの設定	NDフィルターの種類の設定
1	CLEAR(素通し)
2	1/4 ND(光を約1/4に減衰させる)
3	1/16 ND(光を約1/16に減衰させる)
4	1/64 ND(光を約1/64に減衰させる)

Maintenanceメニューの設定を変更することにより、つまみの各位置にホワイトバランスの設定値を個別に記憶させておくことができるため、フィルターの切り換えに連動して、撮影条件に応じた最適なホワイトバランスが得られます。

◆「ホワイトバランスを調整する」(39ページ)

4. MENUつまみ(95ページ)

5. AUTO W/B BAL(ホワイトバランス/ブラックバランス自動調整) スイッチ

次のようにホワイトバランスやブラックバランスを自動調整します。

WHITE：ホワイトバランスを自動調整する。このとき WHITE BALスイッチ(7ページ)をAまたはBにしておくと、調整された値がメモリーAまたはBに記憶される。WHITE BALスイッチがPRSTのときは動作しない。

BLACK：ブラックセットとブラックバランスを自動調整する。

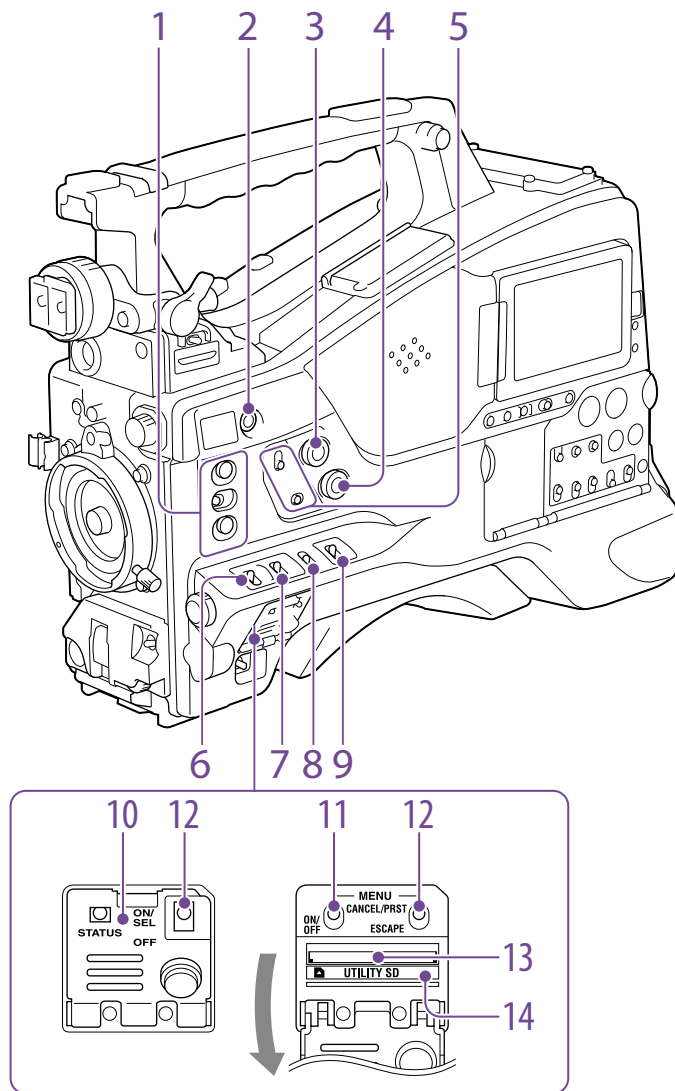
自動追尾ホワイトバランス(ATW)時も動作します。

オートホワイトバランス実行中に再度WHITE側に倒すと、オートホワイトバランスは中止され、元のホワイトバランス状態に戻ります。

オートブラックバランス実行中に再度BLACK側に倒すと、オートブラックバランスは中止され、元のブラックバランス状態に戻ります。

6. MIC LEVEL(マイクレベル) つまみ(44ページ)

LCDモニター側面(1)



1. ASSIGN.(アサインابل) 1/2/3スイッチ 機能を割り当てます(126ページ)。
メニューのOperation > Assignable Switchで

ASSIGN. 1/3スイッチには、オン/オフが確認できるインジケーターが付いています。

2. ONLINE(オンライン) ボタン

あらかじめネットワーククライアントモード、またはストリーミング機能がアサインされている場合、ボタンを長押しするとボタンがオレンジ色に点灯します。その後もう一度押しすと、青色点灯に変わり、ネットワーククライアントモード、またはストリーミング機能が実行されます。上記の状態でもボタンを長押しすると実行中の機能が終了し、ボタンが消灯します。また、上記以外の機能を割り当てたアサインابلスイッチとして使用することもできます(127ページ)。

3. ALARM(警告音量調節) つまみ

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音の音量を調節します。最小にすると、警告音は聞こえなくなります。

ただし、メニューのMaintenance > Audio > Min Alarm VolumeをSetに変更すると、このつまみが最小の位置でも警告音が聞こえるようになります。

**4. MONITOR(音量調節) つまみ**

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音以外の音声の音量を調節します。最小にすると、音声は聞こえなくなります。

5. MONITOR(オーディオモニター選択) スイッチ

2つのスイッチの組み合わせによって、内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる音声を以下のように選択します。

下側のスイッチをCH-1/2にした場合

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル1の音声
MIX	チャンネル1と2の混合音声(ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル2の音声

下側のスイッチをCH-3/4にした場合

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル3の音声
MIX	チャンネル3と4の混合音声(ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル4の音声

a) EARPHONE端子にステレオヘッドホンを接続すると、音声をステレオで聞くことができます。(メニューのMaintenance > Audio > Headphone OutをStereoに設定する必要があります。)

6. ASSIGN.(アサインابل) 0スイッチ

メニューのOperation > Assignable Switchで機能を割り当てます(126ページ)。工場出荷時には、Offが割り当てられています。押すたびに動作が切り替わるモーメンタリータイプのスイッチです。

7. GAIN(ゲイン切り換え) スイッチ

撮影時の照明状態に合わせて、映像アンプのゲイン(利得)を切り換えます。L、M、Hの設定に対応するゲイン値は、あらかじめメニューのOperation > Gain Switch(104ページ)で指定します(工場出荷時の設定は、L=0dB、M=6dB、H=12dB)。

このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

8. OUTPUT(出力信号切り換え) / DCC(ダイナミックコントラストコントロール機能切り換え) スイッチ

カメラ部から出力する信号を以下の2つから選択します。

BARS : カラーバー信号を出力する。

CAM : 撮影中の映像信号を出力し、DCC機能¹⁾のオン/オフを切り換えることができる。

- 1) DCC(Dynamic Contrast Control) 機能 : 高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやける。このようなときに DCC 機能を動作させると、高輝度部分を自動的に抑え、背景をくっきりと再現できる。次のような場面の撮影に効果を発揮する。
- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
 - 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
 - コントラストの強い場面を撮るとき

9. WHITE BAL(ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ

以下のようにホワイトバランスの調整方法を切り換えます。

PRST : 色温度をプリセット値(工場出荷時の設定は3200K)に調整する。ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに合わせる。

AまたはB : あらかじめAまたはBに保存しておいたホワイトバランスの調整値を呼び出す。AUTO W/B BALスイッチ(5ページ)をWHITE側に押すと、ホワイトバランスを自動的に調整し、調整値をメモリー Aまたはメモリー Bに記憶する。

B(ATW¹⁾) : OperationメニューのWhite SettingでWhite Switch をATWに設定しておくこと、ATWが動作する。

なお、ATWが動作中でも、AUTO W/B BALスイッチは機能する。

このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

- 1) ATW(Auto Tracing White balance) : 照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスを自動的に追従させる機能

[ご注意]

照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。

例 :

- 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
- 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体

ATWの自動追従の時間が遅かったり、適切な効果が得られない場合は、AWBを実行してください。

10. スイッチカバー

MENU ON/OFFスイッチ、またはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチを操作するとき、このカバーを開けます。

11. MENU ON/OFF(メニュー表示オン/オフ) スイッチ

スイッチカバーを開けると使用できるようになります。ビューファインダー画面やテスト出力画面上に設定メニューを表示するときに使用します。スイッチを押し下げると、メニューの表示/非表示が切り替わります。サムネイル画面操作部のMENUボタンも同じ働きです。

[ご注意]

スイッチカバーを閉じても、メニューは非表示にはなりません。

12. MENU CANCEL/PRST/ESCAPE(メニュー設定取り消し/プリセット/戻る) スイッチ

スイッチカバーを開けると使用できるようになります。

メニューが表示されている場合と表示されていない場合で機能が異なります。

メニューが表示されているときは、次のように使用します。

CANCEL/PRST : メニューの設定変更後にこの位置へ押し上げると、変更した設定を取り消すかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると設定が取り消される。

メニューの設定変更前または設定変更を取り消した後にこの位置へ押し上げると、現在の設定を標準設定(初期設定値)にリセットするかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると現在の設定が標準設定にリセットされる。

ESCAPE : 階層構造を持つメニューを開いているときに使用する。この位置に押し下げると、現在の階層から1つ上の階層に戻る。

メニューが表示されていないときは、次のように使用します。

CANCEL/PRST : この位置に押し上げると、本機の各種設定や状態を確認するための画面がビューファインダーに表示される(14ページ)。この画面は複数ページあり、押し上げるごとに、ページが変わる。

ESCAPE : 画面を消したいとき、この位置に押し下げる。

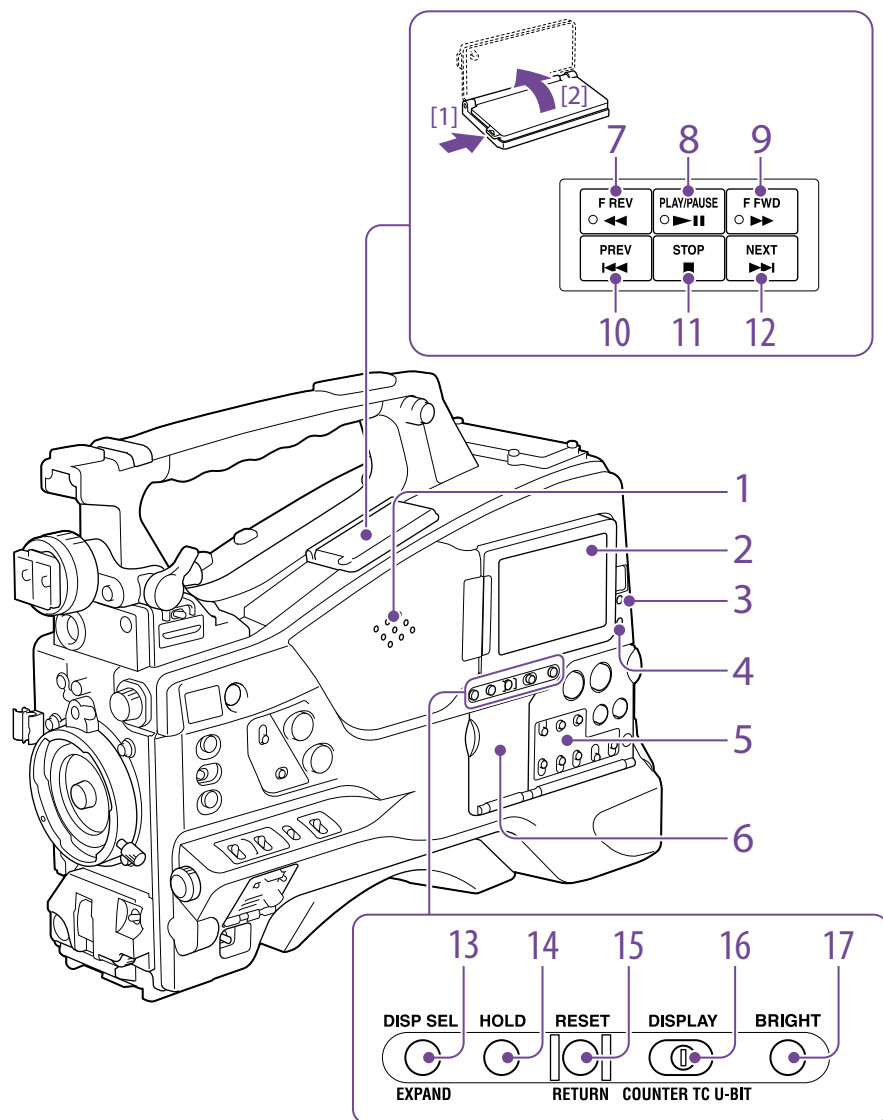
13. UTILITY SDカードスロット

本機の設定データ保存用SDカードを挿入します。

14. ACCESS(アクセス) ランプ

SDカードアクセス中にオレンジ色で点灯します。

LCDモニター側面(2)

**1. 内蔵スピーカー**

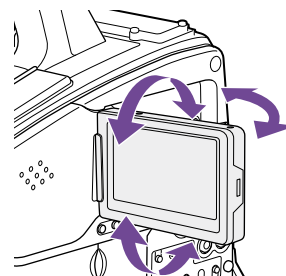
記録中はE-E音¹⁾を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます(148ページ)。なお、EARPHONE端子にイヤホンをつなぐと、内蔵スピーカーからは音が聞こえなくなります。

1) E-E :「Electric to Electric」の略。本機に入力され、本機内部の電気回路のみを通して出力端子から出てくる映像信号または音声信号のこと。これによって入力信号を確認できる。

2. LCDモニター

バッテリー残量、メディア残量、音声レベル、タイムデータなどを表示します。また、カメラ画や再生画を確認できます(14ページ)。

LCDモニターは位置や角度を調整することができます。

**3. WARNING(警告) ランプ**

異常が発生すると、点滅または点灯します(148ページ)。

4. ACCESS(アクセス) ランプ

記録メディアに書き込みや読み出しが行われているときに青で点灯します。

5. オーディオ調整部(10ページ)**6. サムネイル画面操作部(10ページ)****7. F REV(逆高速再生) ボタンとランプ**

逆方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。逆方向高速再生中はランプが点灯します。

8. PLAY/PAUSE(再生/一時停止) ボタンとランプ

再生するときに押します。再生中はランプが点灯します。

再生中に再度このボタンを押すと一時停止状態となり、静止画が出力されます。このとき、ランプが毎秒1回の速さで点滅します。

再生/一時停止中にF REVボタンまたはF FWDボタンを押すと、逆方向または順方向の高速再生になります。

9. F FWD(高速再生) ボタンとランプ

順方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。順方向高速再生中はランプが点灯します。

10. PREV(逆方向クリップジャンプ) ボタン

現在のクリップの先頭にジャンプします。F REVボタンと同時に押すと、記録メディア内で最初に記録されたクリップの先頭画にジャンプします。

このボタンをすばやく2回押すと、直前のクリップ(存在しない場合は現在のクリップ)の先頭画にジャンプします。

11. STOP(停止) ボタン

再生をやめるときに押します。

12. NEXT(順方向クリップジャンプ) ボタン

次のクリップの先頭にジャンプします。

F FWDボタンと同時に押すと、記録メディア内の

最後に記録されたクリップの最終画にジャンプします。

13. DISP SEL/EXPAND(表示選択/エクspand) ボタン

ボタンを押すごとに、LCDモニターの表示内容が次表のように切り替わります。

表示内容	説明
文字情報付きの映像 (CHAR)	ビューファインダー画面と同様の文字情報が表示される。
文字情報なしの映像 (MONI)	映像のみ表示される。
ステータス表示 (STATUS) (14ページ)	カウンター、各種の警告、音声レベルなどが表示される。映像は表示されない。

また将来のバージョンアップでEXPAND(エクspand) ボタンとしても使用できるようになります。

14. HOLD(データ表示保持) ボタン

押した瞬間に、LCDモニターのタイムデータの表示が保持されます。(ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。) もう一度押すと、保持状態が解除されます。

◆ タイムデータ表示について詳しくは、14ページをご覧ください。

15. RESET/RETURN(リセット/リターン) ボタン

LCDモニターのタイムデータ表示部に表示されている値をリセットします。PRESET/REGEN/CLOCKスイッチ(10ページ) とF-RUN/SET/R-RUNスイッチ(10ページ) の設定に応じて、次のように働きます。

スイッチの設定	RESET/RETURNボタンの働き
DISPLAYスイッチ: COUNTER	カウンターを00:00:00:00にリセットする。
DISPLAYスイッチ: TC	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
PRESET/REGEN/CLOCKスイッチ: PRESET	
F-RUN/SET/R-RUNスイッチ: SET	
DISPLAYスイッチ: U-BIT	ユーザービット ^{a)} データを00 00 00 00にリセットする。
PRESET/REGEN/CLOCKスイッチ: PRESET	
F-RUN/SET/R-RUNスイッチ: SET	

a) メディアに記録されるタイムコードビットのうち、ユーザーが必要な情報を記録するために使うことのできるビット。

◆ 「タイムデータの設定」(46ページ)

エッセンスマークサムネイル画面の表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。

16. DISPLAY(タイムデータ表示切り換え) スイッチ

LCDモニターのタイムデータ表示部の表示をCOUNTER、TC、U-BITの順に切り換えます(14ページ)。

COUNTER: 記録・再生経過時間のカウンターを表示する。

TC: タイムコードを表示する。

U-BIT: ユーザービットを表示する。

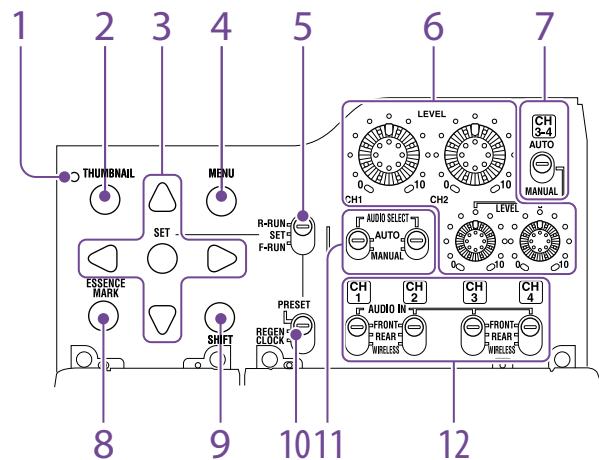
17. BRIGHT(明るさ設定) ボタン

LCDモニターのバックライトの明るさを切り換えます。

ボタンを押すたびに、次表の順番で明るさが切り替わります。LCDモニターの消灯時にこのボタンを押すと、Hの状態ではLCDのバックライトが点灯します。

設定	LCDモニターのバックライト
H	高輝度(日中の屋外でLCDモニターの表示を見るときに選択する)
M	HとLの中間の明るさ
L	低輝度(室内または夜間の屋外でLCDモニターの表示を見るときに選択する)
OFF	消灯(表示も消える)

サムネイル画面操作部とオーディオ調整部

**1. サムネイルインジケーター**

サムネイル画面が表示されているときに点灯します。

2. THUMB NAIL(サムネイル) ボタン

サムネイル操作を行うとき、このボタンを押してサムネイル画面(86ページ)を表示します。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

3. SET(設定) ボタンと矢印ボタン

タイムコードやユーザービットの数値の設定、およびサムネイル画面での操作に使用します。セットアップメニューを表示しているときは、このボタンを押して項目の選択や設定変更を確定します。

4. MENU(メニュー) ボタン

押すたびに、セットアップメニューの表示/非表示が切り替わります。

MENU ON/OFFスイッチと同じ働きです。

5. F-RUN/SET/R-RUN(フリーラン/セット/レックラン切り換え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを選択します。スイッチの位置によって、歩進モードは以下のように変わります。

F-RUN : 連続してタイムコードが歩進する。タイムコードを外部ロックさせるときなどに合わせる。

SET : タイムコードやユーザービットを設定する。
R-RUN : 記録中のみタイムコードが歩進する。
記録メディア上のタイムコードを、連続して記録する。

◆「タイムコードを設定する」(46ページ)

◆「ユーザービットを設定する」(46ページ)

6. LEVEL CH1/CH2/CH3/CH4(音声チャンネル1/2/3/4録音レベル調整) つまみ

AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ、およびAUDIO SELECT CH 3-4スイッチをMANUALにすると、音声チャンネル1、2、3、4に記録する

音声レベルを調整できます。

7. AUDIO SELECT CH 3-4(音声チャンネル3-4自動/手動レベル調整切り換え) スイッチ

音声チャンネル3と4の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO : 自動

MANUAL : 手動

8. ESSENCE MARK(エッセンスマーク) ボタン

サムネイル画面表示中に押すと、リストの選択項目に応じて、選択したクリップのエッセンスマークサムネイル画面を表示することができます。

All : エッセンスマークが打たれたすべてのフレームの一覧を表示する。
Rec Start : レックスタートマークが打たれたフレームおよび、先頭フレームにレックスタートマークが付いていないクリップがある場合は、その先頭フレームも加えて一覧を表示する。

Shot Mark1 : ショットマーク1が設定されたフレームの一覧

Shot Mark2 : ショットマーク2が設定されたフレームの一覧

Shot Mark0とShot Mark3 ~ Shot Mark9も選択できます。

ショットマーク0 ~ ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

9. SHIFT(シフト) ボタン

各種のボタンと組み合わせて使用します。

10. PRESET/REGEN/CLOCK(プリセット/リジェネレート/クロック) スイッチ

タイムコードを記録する方法を選択します。

PRESET : 新たに設定されたタイムコードをメディアに記録する。

REGEN : メディアに記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するようにタイムコードを記録する。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定に関わらず、本機はR-RUNモードで歩進する。

CLOCK : タイムコードを内蔵の時計と合わせる。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定に関わらず、本機はF-RUNモードで歩進する。

11. AUDIO SELECT CH1/CH2(音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り換え) スイッチ

音声チャンネル1と2の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO : 自動

MANUAL : 手動

12. AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4 (音声入力切り換えチャンネル1/2/3/4) スイッチ

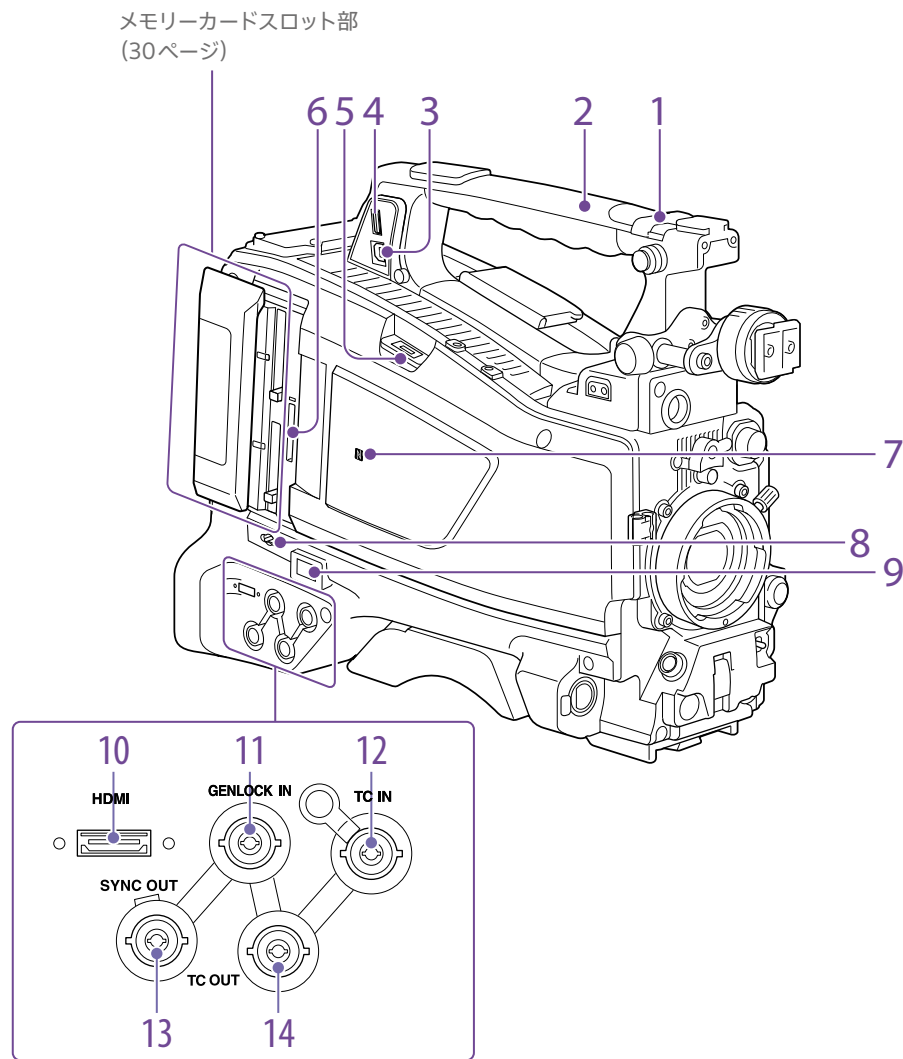
音声チャンネル1、2、3、4に記録する入力信号を選択します。

FRONT : MIC IN端子に接続したマイクからの音声入力信号

REAR : AUDIO IN CH-1/CH-2端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号

WIRELESS : 本機にスロットインUHFポータブルチューナーを装着したときの音声入力信号

ハンドル部・メモリーカードスロット側面



1. ASSIGNABLE(アサインブル) 4/5スイッチ
メニューのOperation > Assignable Switchで機能を割り当てます(127ページ)。

工場出荷時には、Offが割り当てられています。

2. GPSモジュール
この部分にGPSモジュールが内蔵されています。

◆「測位情報の取得(GPS)」(61ページ)

[ご注意]

GPS機能使用中は、この部分を握らないでください。

3. PC接続端子

本機をUSB接続モードに切り換えてコンピューターの外部記憶装置として使用するための端子です。コンピューターとこの端子を接続すると、本機に挿入されたメモリーカードが、カードごとにドライブとして認識されます。

4. 外部機器接続端子

ポータブルストレージHDD PSZ-HA/HB/HCシリーズ(別売)、ポータブルストレージSSD PSZ-SA25(別売)、汎用の外付けのUSB HDD、およびUSBメモリーを接続すると、本機のSxSカードスロットに挿入された記録メディア内のクリップをUSBメディアにコピーすることができます。

[ご注意]

この端子は、上記の機器の接続にだけ使用してください。USBハブなどほかの機器を接続して使用することはできません。

5. USBワイヤレスLANモジュール用端子

USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3(付属)、ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)、ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)、またはモデム(別売)を接続することにより、無線LAN機器やネットワークとの通信が可能になります。

◆「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)

◆「インターネット接続」(67ページ)

6. PROXY SDカードスロット(56ページ)

プロキシデータ記録用SDカードを挿入します。

7. N(NFC)マーク

NFCアンテナが内蔵されています。

8. SLOT SELECT(SxSメモリーカード選択)ボタン

スロットAとBの両方に記録メディアが装着されているとき、使用する記録メディアを切り換えます(31ページ)。

9. ネットワーク端子

LANケーブル(別売)を接続することで、有線LAN接続によるネットワークとの通信が可能になります。

[ご注意]

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。
- LANケーブルご使用の際は、放射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

◆「インターネット接続」(67ページ)

10. HDMI端子

HDMIモニターやレコーダーなどを接続し、QFHDまたはHDによる映像・音声信号を出力します。

接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。

[ご注意]

SD出力には対応していません。

11. GENLOCK IN(ゲンロック用入力) 端子(BNC型)

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力します。入力できる基準信号は、設定されているシステム周波数によって次表のように異なります。

システム周波数	入力できる基準信号
59.94i	1080/59.94i、480/59.94i
59.94P	1080/59.94i、480/59.94i
50i	1080/50i、576/50i
50P	1080/50i、576/50i
29.97P	1080/59.94i、480/59.94i
25P	1080/50i、576/50i
23.98P	1080/23.98PsF

12. TC IN(タイムコード入力) 端子(BNC型)

タイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコードを入力します。

◆「タイムコードを設定する」(46ページ)

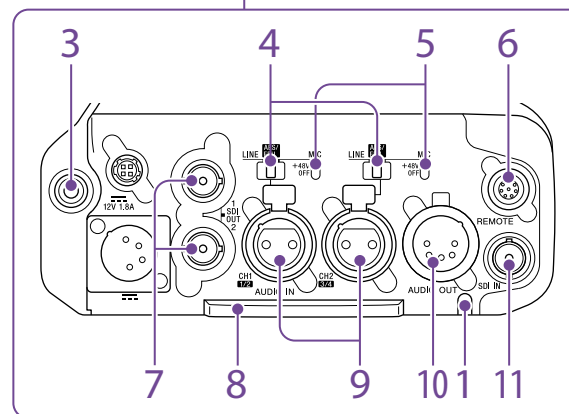
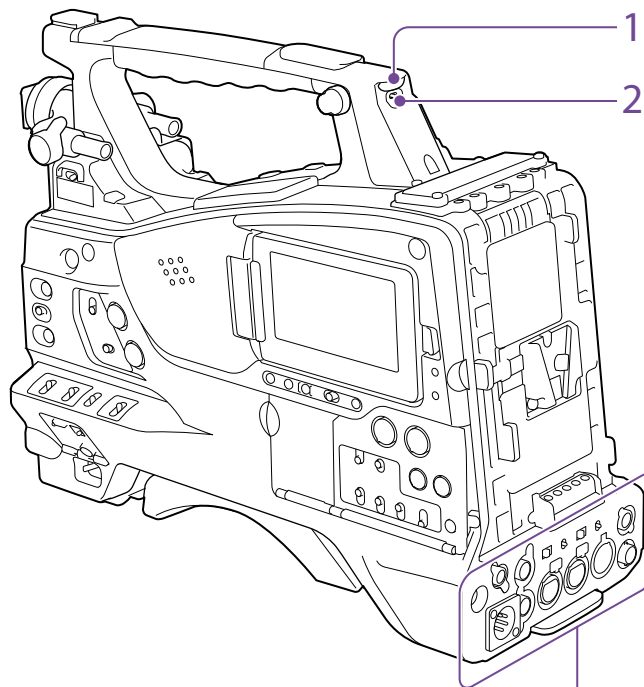
13. SYNC OUT(シンク出力) 端子(BNC型)

他機器に同期をかけるための3値シンク信号を出力します。

14. TC OUT(タイムコード出力) 端子(BNC型)

外部VTRのタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるとき、外部VTRのタイムコードロック用TC IN(タイムコード入力) 端子と接続します。

タリー部・接続端子部



1. TALLY(バックタリー) ランプ(赤)

記録中に点灯します。ただし、TALLYスイッチがOFFになっていると点灯しません。WARNINGランプが動作しているときは点滅します。なお、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示も同様に点灯/点滅します。

◆「エラー/警告システム」(148ページ)

2. TALLY(タリー) スイッチ

TALLYランプを使用するとき、ONに設定します。

3. EARPHONE(イヤホン) 端子(ステレオ、ミニジャック)

イヤホンを接続すると、記録中はE-E音を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます。内蔵スピーカーからの音は自動的に聞こえなくなります。

メニューのMaintenance > Audio

> Headphone Outでモノラル/ステレオを切り換えることができます。

[ご注意]

- イヤホンはモノラル(2極)またはステレオ(3極)タイプを使用してください。それ以外を使用すると本機が故障することがあります。
- インピーダンス16Ωのイヤホンを使用してください。

4. AUDIO IN(音声入力) 切り換えスイッチ

AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の音源を切り換えます。

LINE：ステレオアンプなど、外部のオーディオ信号源を接続する場合

AES/EBU：外部のデジタルオーディオ信号源を接続する場合

MIC：マイクを接続する場合

5. +48V/OFF(+48V外部電力供給オン/オフ) スイッチ

音声入力に使用するマイクによって、以下のよう
に切り換えます。

+48V : 外部電源供給方式のマイク

OFF : 内部電源供給方式のマイク

6. REMOTE(リモートコントロール) 端子(8ピ ン)

本機の遠隔操作が可能なりモートコントロールユ
ニットを接続します。

[ご注意]

本機にリモートコントロールユニットの接続/取り外しを行
うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

7. SDI OUT 1/2端子(BNC型)

12G/3G/HD信号(エンベデッドオーディオ) を出
力します。本端子からの出力信号は、メニュー
のOperation > Input/Output > SDI Out1
Output、または > SDI Out2 Outputでオン/オ
フを切り換えることができます。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してくだ
さい。

[ご注意]

本機と外部機器の間のアースが確実に設置されていること
を確認してから、電源を入れてください。

(75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電
源を入れることをおすすめします。)

やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、
75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続
してください。

8. ボトムカバー

後面の端子に接続するケーブル類を保護するた
めのパーツです。

カムコーダー底面の取り付けネジをゆるめると、
接続するマイクケーブルまたはオーディオケーブ
ルのプラグの形状に応じて、ボトムカバーの位置

を調整することができます。調整後は、ネジを
締めてカバーを固定してください。

9. AUDIO IN CH-1/CH-2(音声入力チャンネル 1/2) 端子(XLR型、3ピン、凹)

オーディオ機器やマイクを接続します。

10. AUDIO OUT(音声出力) 端子(XLR型、5ピン、 凸)

オーディオチャンネル1、2または、オーディオチャ
ンネル3、4に記録された音声信号を出力します。
出力する音声信号は、MONITORスイッチで選択
します。

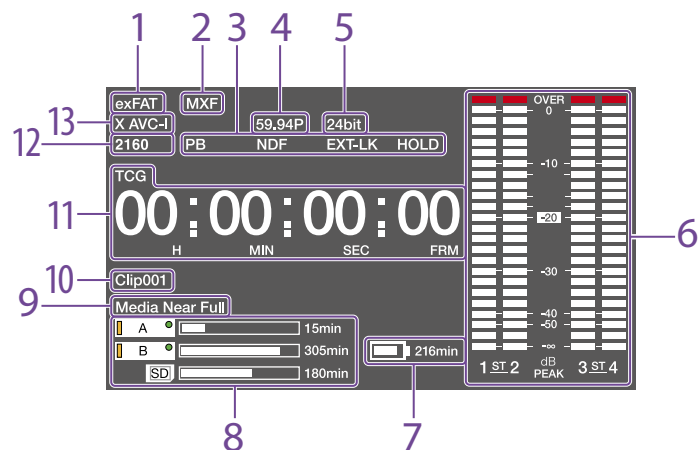
11. SDI IN(SDI入力端子) (BNC型)

外部からのSDI信号を本機に入力するときに使用
する端子です。

画面表示

LCDモニター情報画面(ステータス表示)

LCDモニター情報画面は、DISP SEL/EXPAND (表示選択/エクスパンド) ボタンを押して表示します(9ページ)。



1. ファイルシステム表示

2. ファイルフォーマット表示

3. 状態表示

PB: メディアを再生しているとき表示されます。
 NDF: タイムコードがノンドロップフレームモードのとき表示されます。
 EXT-LK: 内蔵のタイムコードジェネレーターがTC IN端子に接続した外部信号にロックしているとき表示されます。
 HOLD: タイムコードジェネレーターの歩進モードがレックランで、歩進が止まっているとき表示されます。

4. システム周波数表示

記録時のシステム周波数または再生中のクリップのシステム周波数が表示されます。

5. 音声フォーマット表示

記録時の音声フォーマットまたは再生中のクリップの音声フォーマットが表示されます。

表示	記録フォーマット
16bit	HD420 HQ
24bit	HD422 50
	XAVC Intra
	XAVC Long

6. 音声レベルメーター

音声記録レベルまたは再生レベルが表示されます。「1」~「4」は音声チャンネル1~4を示します。

7. バッテリー残量表示

バッテリー残量がアイコンと記録可能な残り時間で表示されます。

8. メディア残量表示

記録メディアの残量がスロットごとにバーグラフで表示されます。

9. 警告表示エリア

記録異常が発生したときに内容を表示します。

◆ 詳しくは、「エラー/警告システム」(148ページ)をご覧ください。

10. クリップ名表示

記録中は、記録中のクリップに付けられるクリップ名、記録待機中は、次に記録されるクリップに付けられるクリップ名が表示されます。

11. タイムデータ表示

DISPLAYスイッチのポジションにより、デュレーション、タイムコード、ユーザービットを切り換えて表示します。

タイムデータに現在表示しているデータの種類の、次のように表示されます。

TCG: 記録タイムコード

TCR: 再生タイムコード

UBG: 記録ユーザービット

UBR: 再生ユーザービット

CNT: カウンター

DUR: デュレーション

CLK: 時刻表示(PRESET/REGEN/CLOCKスイッチがCLOCKに設定されている)

タイムコード表示中にHOLDボタンが押されたときは、次のフォーマットで表示されます。HOLDボタンを再度押して保持状態を解除すると、通常の表示に戻ります。

00:00:00:00

タイムコード、カウンター歩進が保持状態であることを3つのドットで表す

12. 解像度表示

出力映像の解像度が表示されます。

13. 記録フォーマット表示

記録フォーマットまたは再生中のクリップの記録フォーマットが表示されます。

ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。

メニューが表示されていないとき、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に押し上げると、ステータス画面が表示されます。押し上げるごとに、ステータス画面が切り換わります。

ステータス画面は、次の画面で構成されています。

ステータス画面の種類	表示内容
Camera Status画面	撮影に関する設定と状態
Audio Status画面	オーディオ入出力に関する設定と状態
System Status画面	記録に関する設定と状態
Video Output Status画面	ビデオ出力に関する設定と状態
Assignable Button Status画面	アサインナブルスイッチに割り当てられている機能の名称
Battery Status画面	装着されているバッテリーの状態
Media Status画面	記録メディアの状態
Network Status 1画面	ネットワークに関する設定と状態

ステータス画面の種類	表示内容
Network Status 2画面	ストリーミングに関する設定と状態

Camera Status画面

Camera Status		
Gain	18dB	Zebra1 On (80%) Iris F5.6
Shutter	Off	Zebra2 On (102%) Focal Length 75.2mm
Gamma	STD5 R709	Gamma (HDR) HLG BT.2100 Focus Distance 4.3m
White	Preset	Depth Of Field 2.5~5.8m
Gain Switch	L:0, M:9, H:18	Zoom Speed 25

表示項目	説明
Gain	dB単位のゲインアップ量 メニューのOperation >Base Setting >High Sensitivity ModeがOnのときは、dB単位のゲインアップ量の右に[]アイコンが表示されます。
Shutter	電子シャッターの状態
Gamma	Gammaカテゴリーとカーブ
White	ホワイトバランスモードの設定
Gain Switch	GAINスイッチの状態
Zebra	ゼブラの状態
Iris	アイリスのF値
Focal Length	焦点距離
Focus Distance	フォーカス距離
Depth Of Field	被写界深度
Zoom Speed	レンズのZOOMボタンに設定されたズームスピード

Audio Status画面

Audio Status			
Level	Source	Ref	Wind Filter
CH 1	Front Mic	-40dB	On
CH 2	CH2 Line	+4dB	Off
CH 3	AES/EBU	---	---
CH 4	AES/EBU	---	---

表示項目	説明
CH 1/CH 2/ CH 3/CH 4	各チャンネルのオーディオレベル、入カソース、基準入力レベル、および風音低減フィルターの設定

System Status画面

System Status		
System Frequency	23.98	Picture Size 3840x2160 Gamma STD
Rec Format	XAVC-I	Rec Function Off 4K&HD (Sub) Rec Off
File System	exFAT	Clip Continuous Rec Off XAVC Proxy Rec Off
Simul Rec	Off	Picture Cache Rec Off
Title Prefix	ABCDEF	Number 00017

表示項目	説明
System Frequency	システム周波数
File System	ファイルシステム
Rec Format	記録フォーマット
Clip Continuous Rec	クリップコンティニューアスレック機能のオン/オフ設定
Title Prefix	クリップ名の前半文字部分
Picture Size	画サイズ
Simul Rec	2スロット同時記録機能のオン/オフ設定
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能のオン/オフ設定

表示項目	説明
Number	クリップ名の後半数値部分の設定
Gamma	適用されるGammaカテゴリー
4K&HD (Sub) Rec	1スロット同時記録機能のオン/オフ設定
XAVC Proxy Rec	プロキシデータ記録機能のオン/オフ設定

Video Output Status画面

Video Output Status				
	Signal Format		HDR/SDR	Super
SDI 1	1920x1080P	12G	HDR	Off
SDI 2	1920x1080P	3G	Level B HDR	On
HDMI	1920x1080PsF	(2-3PD)	HDR	On
HDR Gamma	S-Log3			
HDR Color Space	S-Gamut3.Cine(3200K)			

表示項目	説明
SDI	SDI OUT端子の出力設定(出力画サイズ、出力レート、マッピング、HDR/SDR、スーパーインポーズ)
HDMI	HDMI端子の出力設定(出力画サイズ、マッピング、HDR/SDR、スーパーインポーズ)
HDR Gamma	HDRのガンマ設定
HDR Color Space	HDRのカラースペース設定

Assignable Button Status画面

Assignable Button Status		
0	ATW Hold	Zoom Wide
1	Zebra	CC5600K
2	Front Mic	Lens RET Lens RET
3	Marker	
4	Zoom Tele	

Battery Status画面

Battery Status	
Detected Battery	BP-GL95
Remaining	54%
Charge Count	52
Capacity	1.93Ah
Voltage	13.2V
Manufacture Date	Jan/18/2014
Power Source	DC In
Supplied Voltage	12.8V


表示項目	説明
Detected Battery	検出されたバッテリーの種類
Remaining	残容量(%)
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量(Ah)
Voltage	電圧
Manufacture Date	バッテリー製造年月日
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

Media Status画面

Media Status	
Remaining	Life
[SxSA]	210min 100%
[SxSB]	92min 54%
[SD Proxy]	186min
[SD Utility]	2.7GB

表示項目	説明
SxSA	スロットAのメディアの残容量(バーと残り時間表示)、メディア寿命(0~100%を表示。0%で交換を推奨。この機能のサポートしているメディアのみ表示)

表示項目	説明
SxSB	スロットBのメディアの残容量(バーと残り時間表示)、メディア寿命(0 ~ 100%を表示。0%で交換を推奨。この機能のサポートしているメディアのみ表示)
SD Proxy	PROXY SDカードスロットのメディアの残容量(バーと残り時間表示)、メディア寿命(取得できた場合のみ表示)
SD Utility	UTILITY SDカードスロットのメディアの残容量(バーと残容量)、メディア寿命(取得できた場合のみ表示)

メディアがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

Network Status 1画面

Network Status 1		
Setting		
On		
Wireless Network	Wireless Network	Wired LAN
Wi-Fi AP	Modem	Enable
Device Name	Device Name	Wired LAN Remote
IFU-WLM3	XXXXXXXX	Off
IP Address(Wireless)	IP Address(Modem)	IP Address(Wired)
192.168.1.1	192.168.3.131	192.168.1.50
MAC Addr.(Wireless)		
a8:54:b2:97:8d:47		

表示項目	説明
Setting	ネットワークの設定状態
Wireless Network	ワイヤレスネットワークの設定状態
Device Name	装着されているUSBワイヤレスLANモジュール機器の名称
IP Address (Wireless)	ワイヤレスLAN接続のIPアドレス
MAC Addr. (Wireless)	USBワイヤレスLANモジュール接続端子に装着されている機器のMACアドレス
Wireless Network	モデムの設定状態

表示項目	説明
Device Name	装着されているモデム機器の名称
IP Address (Modem)	装着されているモデムのIPアドレス
Wired LAN	有線LANネットワークの接続状態
Wired LAN Remote	LANケーブルを使用した接続状態のリモート操作の有効/無効状態表示
IP Address(Wired)	有線LAN接続のIPアドレス

Network Status 2画面

Network Status 2		
NW Client Mode Status	Streaming Type	Number of Distribution
Off	MPEG-2 TS/UDP	1
CCM Name	Streaming Dest. Add.	File Transfer
---	43.0.134.23	40%
Streaming Status	Streaming Dest. Port	Transfer to:
Distributing	1234	Sony Ci
Streaming Size		
1280x720		
Streaming Bit Rate		
9Mbps		

表示項目	説明
NW Client Mode Status	ネットワーククライアントモードの状態 状態の詳細説明は、「ネットワーククライアントモード状態の詳細」(16ページ)を参照
CCM Name	ネットワーククライアントモード時に接続中のCCMの名称
Streaming Status	ストリーミングの配信状態
Streaming Size	現在選択しているストリーミング設定の画サイズ
Streaming Bit Rate	現在選択しているストリーミング設定のビットレート
Streaming Type	現在選択しているストリーミング設定の種別

表示項目	説明
Streaming Dest. Add.	ストリーミングの送信先アドレス
Streaming Dest. Port	ストリーミングの送信先ポート
Number of Distribution	現在配信中のストリーミングの送信先数
File Transfer	ファイル転送の転送進捗状態
Transfer to:	ファイル転送先のサーバー名

ネットワーククライアントモード状態の詳細

状態表示	状態	説明
Off	CCM非接続状態	ネットワーククライアントモードがオフの状態です。
Connected	CCM接続済状態	ネットワーククライアントモードがオンでCCMに接続しており、CCMからの制御が可能な状態です。
Connecting	CCM接続中(切断中)状態	CCMへの接続(または切断)をしようとしている状態です。接続(または切断)完了まで、しばらくお待ちください。Connectingのまま状態が変化しない場合はCCMのアドレス設定が間違っている可能性があります。正しいアドレスが設定されているか確認してください。
Awaiting	CCM接続待機状態	ネットワーククライアントモードはオンですがネットワーク設定がオフの状態です。CCMに接続するにはネットワーク設定を有効にしてください。

状態表示	状態	説明
Address Error	CCMアドレスエラー	接続先のCCMのホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。
Auth. Failed	CCMユーザー名/パスワードエラー	CCMに接続するためのユーザー名またはパスワードが間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。
No Inet Access	インターネット接続エラー	ネットワークに接続できません。ネットワークの設定が間違っている可能性があります。ネットワークの設定を確認してください。
Cert. not Valid	CCM証明書無効エラー	CCMの証明書が有効ではありません。日付設定が不正である可能性があります。日付設定を確認してください。

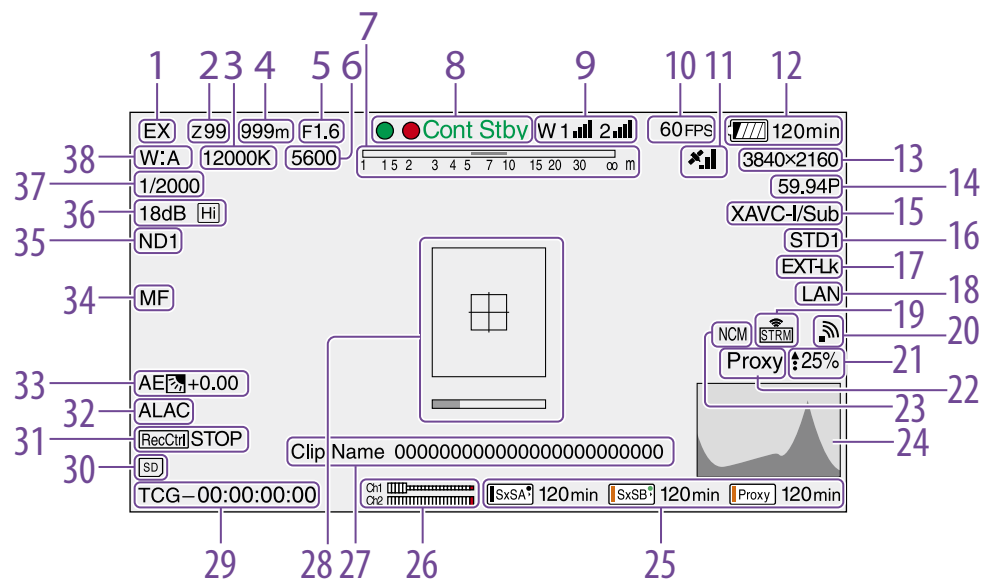
ビューファインダー画面

撮影中(記録中/記録待機中) および再生中、ビューファインダー画面には本機の情報が映像に重ねて表示されます。

情報の表示/非表示はビューファインダーの

DISPLAYスイッチで切り換えます。

表示する情報はメニューのOperation > Super Imposeの設定や、関連するスイッチでの設定に連動しています。



1. エクステンダー表示

レンズのエクステンダー機能がオンのとき、“EX”が表示されます。

2. ズームポジション表示(レンズ装着時のみ)

ズームレンズのズームポジションが0 ~ 99の範囲で表示されます。ご使用のレンズによって表示される値は変わります。

3. 色温度表示

ホワイトバランスの色温度が表示されます。

4. フォーカスポジション表示(レンズ装着時のみ)

フォーカスポジションが被写体までの距離(単位: m)で表示されます。

5. アイリスポジション表示(レンズ装着時のみ)

アイリスポジションの設定状態が表示されます。

6. 電気色温度フィルター表示

CC5600K機能がオンのとき表示されます。

7. 被写界深度表示(シリアルレンズ装着時のみ)

被写界深度がバーで表示されます。表示の単位は、メニューのOperation > Display On/Off > Lens Infoの設定により、メートルまたはフィートを選択できます。

8. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	意味
● Rec	記録中
Stby	記録待機中
● Cont Rec	クリップコンティニュースレック記録中
Cont Stby	クリップコンティニュースレック時に記録待機中
● S&Q Rec	スロー & クイックモーションモードで記録中
S&Q Stby	スロー & クイックモーションモードで記録待機中
● HFR Rec	ハイフレームモードで記録中
HFR Stby	ハイフレームモードで記録待機中
● Rec	ピクチャーキャッシュレックモードで記録中
● Cache	ピクチャーキャッシュレックモード時に記録待機中
● Int Rec	インターバルレックで記録中
Int Stby	インターバルレックで記録待機中
● Int Stby	インターバルレックで記録一時停止中(インターバル期間中)
● Sml Rec	同時記録モードで記録中
Sml Stby	同時記録モードで記録待機中
CALL	外部接続機器からのコール時

本機が次の状態のときにグリーンタリー表示表示されます。

- メニューのMaintenance > Camera Config > HD SDI Remote I/FがGreen Tallyに設定されており、SDI OUT端子から記録の制御信

号が出力されているとき

- グリーンタリー信号を受信したとき(本機にカメラアダプター(日本向け機器にのみ接続可能)を取り付けて、カメラエクステンションユニットと接続している場合)

9. ワイヤレスレーザー機能表示

本機にスロットインレーザーが装着されているとき「W」が表示され、レーザーが使用できるチャンネル数(1ch、2ch、または4ch)に応じて、各チャンネルの受信レベルがアイコンで表示されます。

通常: 白色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す

アナログレーザーのミュート時/デジタルレーザーのエラーレート悪化時: 灰色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す
受信レベルがピークを越えたとき: インジケータの代わりに「P」と表示される¹⁾

送信機がパワーセーブ中: 「S」が表示される

送信機のバッテリー消費時: 該当するチャンネル番号とインジケータが点滅する¹⁾

1) 別売のDWR-S02DN相当使用時のみ

10. S&Q Motion(スロー & クイック) 撮影フレームレート設定表示

本機がスロー & クイックモーション記録モードに設定されている場合、撮影フレームレートが表示されます。

11. GPS状態表示(61ページ)

12. バッテリー残量／電圧表示

本機を駆動している電源の種類に応じて次のように表示されます。

電源の種類	表示
インフォバッテリー	バッテリー残量アイコンと記録可能な残り時間
アントンパワー社製バッテリー	バッテリー残量(%表示)
その他の電源	入力電圧

13. 記録フォーマット(画サイズ)表示

SxSメモリーカードに記録される画サイズが表示されます。

14. 記録フォーマット(システム周波数とスキャン方式)表示

現在設定されている本機のシステム周波数と、記録フォーマットのスキャン方式が表示されます。

15. 記録フォーマット(コーデック)表示／1スロット同時記録表示

SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称が表示されます。

1スロット同時記録時は、「/Sub」が表示されます(54ページ)。

16. ガンマ表示

ガンマ設定値が表示されます。

メニュー設定		表示		
Operation	Paint >Gammaの設定	Gamma	Gamma	Gamma
>Display On/Off >Gamma	Gamma Category	Gamma Select		
Off	—	—	—	—

メニュー設定				表示	
Operation	Paint >Gammaの設定				
>Display On/Off >Gamma	Gamma	Gamma Category	Gamma Select		
On	Off	—	—	Gamma Off	
	On	STD	STD1 DVW	STD1	
			STD2 x4.5	STD2	
			STD3 x3.5	STD3	
			STD4 240M	STD4	
			STD5 R709	STD5	
			STD6 x5.0	STD6	
	HG	HG1	HG1 3250G36	HG1	
		HG2	HG2 4600G30	HG2	
		HG3	HG3 3259G40	HG3	
		HG4	HG4 4609G33	HG4	
On	On	User	User 1	User 1	
			User 2	User 2	
			User 3	User 3	
			User 4	User 4	
			User 5	User 5	

メニューのOperation >Base Setting >Shooting ModeがHDR、かつOperation >Display On/OFF >GammaがOnの場合の表示は次のとおりです。

メニュー設定				表示	
メニューのOperation >HDR Setting	HD Rec/ Rec/Out	メニューのPaint >Gamma	Gamma Category		
4K(QFHD) Rec/Out	HD Rec/ Out	Gamma	Gamma Category		
HDR (HLG)	HDR (HLG)	—	—	HLG	
	SDR	Off	—	HLG	
		On	STD1 DVW	HLG	STD1
			STD2 x4.5	HLG	STD2
			STD3 x3.5	HLG	STD3
			STD4 240M	HLG	STD4
			STD5 R709	HLG	STD5
			STD6 x5.0	HLG	STD6
			HG1 3250G36	HLG	HG1
			HG2 4600G30	HLG	HG2
			HG3 3259G40	HLG	HG3
			HG4 4609G33	HLG	HG4
			User 1	HLG	User1
			User 2	HLG	User2
			User 3	HLG	User3
			User 4	HLG	User4
			User 5	HLG	User5

メニュー設定				表示	
メニューのOperation >HDR Setting	HD Rec/ Rec/Out	メニューのPaint >Gamma	Gamma Category		
4K(QFHD) Rec/Out	HD Rec/ Out	Gamma	Gamma Category		
HDR (S-Log3)	SDR	Off	—	S-Log3	
		On	STD1 DVW	S-Log3	STD1
			STD2 x4.5	S-Log3	STD2
			STD3 x3.5	S-Log3	STD3
			STD4 240M	S-Log3	STD4
			STD5 R709	S-Log3	STD5
			STD6 x5.0	S-Log3	STD6
			HG1 3250G36	S-Log3	HG1
			HG2 4600G30	S-Log3	HG2
			HG3 3259G40	S-Log3	HG3
			HG4 4609G33	S-Log3	HG4
			User 1	S-Log3	User1
			User 2	S-Log3	User2
			User 3	S-Log3	User3
			User 4	S-Log3	User4
			User 5	S-Log3	User5




17. タイムコード外部ロック状態表示

タイムコードが外部から入力されているときに表示されます。




18. 有線LAN / モデム接続状態表示




有線LANネットワーク、またはモデムの設定／接続状態がアイコン表示されます。

有線LANの設定／接続状態

条件			ネットワーク接続状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Network Condition	メニューの Maintenance >Network >Setting	メニューの Maintenance >Network >Wired LAN	ネットワーク接続状態／アイコン表示
Off	—	—	—
On	Off	—	—
	On	—	—
		Disable	—
		Enable	LAN準備中  (点滅表示)
			LAN接続中 
			LAN接続エラー 




3G/4Gモデムの設定／接続状態

条件			ネットワーク接続状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Network Condition	メニューの Maintenance >Network >Setting	メニューの Maintenance >Network >Modem	ネットワーク接続状態／アイコン表示
Off	—	—	—
On	Off	—	—
	On	Off	未配信 
			映像配信 
			エラー 



条件			ネットワーク接続状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Network Condition	メニューの Maintenance >Network >Setting	メニューの Maintenance >Network >Modem	ネットワーク接続状態／アイコン表示
On	On	—	—
		Off	—
		On	3G/4G準備中  (点滅表示)
			3G/4G接続中 
			3G/4G接続エラー 

19. ストリーミング状態表示

ストリーミングの状態がアイコン表示されます。

条件			ストリーミング状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Streaming Status	メニューの Maintenance >Streaming >Setting	メニューの Maintenance >Network Client Mode >Setting	ストリーミング状態／アイコン表示
Off	—	—	—
On	Off	Off	—
	On	Off	未配信 
			映像配信 
			エラー 

CCMからのストリーミング操作中の場合のアイコン表示は次のようになります。




条件			ストリーミング状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Streaming Status	メニューの Maintenance >Streaming >Setting	メニューの Maintenance >Network Client Mode >Setting	ストリーミング状態／アイコン表示
On	Off	On	未配信 
			映像配信 







【ご注意】

ストリーミング開始前、アイコンは表示されません。



20. Wi-Fiモード状態表示

ワイヤレスLANの設定／接続状態がアイコン表示されます。

条件			ネットワーク接続状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Network Condition	メニューの Maintenance >Network >Setting	メニューの Maintenance >Network >Wi-Fi Mode	ネットワーク接続状態／アイコン表示
Off	—	—	—
On	Off	—	—
	On	Wi-Fi Access Point	Wi-Fi準備中  (点滅表示)
			Wi-Fiスタンバイ(接続中) 
			エラー 

条件			ネットワーク接続状態／アイコン表示
メニューの Operation >Display On/Off >Network Condition	メニューの Maintenance >Network >Setting	メニューの Maintenance >Network >Wi-Fi Mode	ネットワーク接続状態／アイコン表示
On	On	Wi-Fi Station	Wi-Fi準備中 
			(点滅表示) アクセスポイント探索中 
			アクセスポイント接続中 
			電波強度によりアイコンが変化 アクセスポイント接続エラー 
			
			
		Off	—

21. ファイル転送状態表示

ファイル転送中は、 と転送率(%) が表示されます。転送が完了すると  が消え、100%と表示されます。

22. プロキシ状態表示

プロキシ記録がオン(メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SettingがOn) のときに“Proxy”と表示されます。準備中は“Proxy”表示が点滅します。プロキシ記録中は“Proxy Rec”と表示されます。

23. ネットワーククライアントモード状態表示

ネットワーククライアントモードをオンにすると、CCM(ネットワークRXステーションのConnection Control Manager) への接続状態がアイコン表示されます。

条件	アイコン
メニューの Operation >Display On/Off >NW Client Mode Status	メニューの Maintenance >Network Client Mode >Setting
Off	—
On	Off
	On
	CCM接続済
	CCM接続中(切断中)
	CCM接続待機中
	CCM接続エラー

24. ビデオ信号表示

出力映像信号の状態をウェブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラム化してリアルタイムで表示されます。

条件	ビデオ信号表示
メニューの Operation >Input/Output >Output Format >SDI Out	メニューの Operation >HDR Setting
3840x2160	4K(QFHD) Rec/Out設定時の表示
	HDR(HLG) HDR(HLG)
	HDR(S-Log3) HDR(S-Log3)
1920x1080	HD Rec/Out設定時の表示
	HDR(HLG) HDR(HLG)
	SDR SDR

25. 各メディアスロットの記録メディア状態/残量表示

SxSスロットA、SxSスロットBおよびPROXY SDカードスロット内のメディアの状態と残量が表示されます。

SxSスロットアイコン表示

※ SxS スロットAの例です。SxS スロットBはアイコンのAがBに変わります。

アイコン	メディア状態
表示なし	メディアが挿入されていない/マウントされていない
	メディアがマウントされている
	メディアマウント処理中(点滅)
	記録アクティブ(オレンジ色バー点灯)
	再生アクティブ(緑色ランプ点灯)

アイコン	メディア状態
	記録/再生アクティブ(オレンジ色バー + 緑色ランプ点灯)
プロキシデータ記録用SDカードアイコン表示	
アイコン	メディア状態
表示なし	メディアが挿入されていない/マウントされていない
	メディアがマウントされている(点滅)
	メディアマウント処理中(点滅)
	記録アクティブ(オレンジ色バー点灯)

残量は記録可能時間が数値で表示されます。

26. オーディオレベルメーター表示

音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

27. クリップ名表示

記録中は、記録中のクリップに付けられるクリップ名、記録待機中は、次に記録されるクリップに付けられるクリップ名が表示されます。

28. フォーカスアシスト表示

フォーカスの合焦点を検出する領域を示す検出枠(Focus Area Marker) と、検出枠内のフォーカス合焦点を示すレベルバー (Focus Assist Indicator) を表示します。

29. タイムデータ表示

DISPLAYスイッチ(9ページ) の設定に応じて、記録・再生経過時間、タイムコード、ユーザービットなどが表示されます。

30. 設定データ保存用SDカード状態表示

UTILITY SDカードスロットに挿入された設定データ保存用SDカードの状態が表示されます。

アイコン	メディア状態
—	SDカードが挿入されていない、またはマウントされていない
	SDカードがマウントされている
	マウントされているSDカードがプロテクトされている
	SDカードのマウント処理中(点滅表示)

31. SDI出力RECTリガー表示

SDI端子出力への記録コマンドの重畳状態が表示されます。




メニューのMaintenance >Camera Config >HD SDI Remote I/Fが「Characters」に設定されている場合に表示されます。

32. ALAC状態表示

ALAC(倍率色収差補正) が自動的に実行される状態になっていると、「ALAC」が表示されます。ALACが自動的に実行されるのは、ALACに対応しているレンズが取り付けられ、かつALACの機能が有効になっており、メニューのMaintenance >Camera Config >ALACが「Auto」に設定されている場合です。

33. AE(オートアイリス) モード表示

現在のオートアイリス機能の動作モードをアイコンとオートアイリスのオーバーライド量で表示します。

アイコン	意味
	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

34. オートフォーカスモード表示(オートフォーカスレンズ装着のみ)

本機のフォーカス調整モードが表示されます。

- AF(オートフォーカス)
- MF(マニュアルフォーカス)
- MF*(マニュアルフォーカス、MFアシスト機能がON)
- Full MF(フルマニュアルフォーカス)


35. NDフィルター表示

現在選択されているNDフィルターのポジション番号が表示されます(5ページ)。

Electrical CCをアサインブルスイッチに割り当てているときは、NDフィルター表示(1～4)の右側に電氣的CCフィルターのポジション(A/B/C/D)が表示されます。

36. ゲイン表示

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値(dB)が表示されます。

メニューのOperation > Base Setting > High Sensitivity ModeがOnのときは、アイコンが表示されます。

37. シャッターモード/シャッタースピード表示

シャッタースピードまたはシャッターモードが表示されます。

◆ 「電子シャッターの設定」(41ページ)

38. ホワイトバランスモード表示

現在選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーが表示されます。

ATW : ATW(自動追尾ホワイトバランス) モード

W:A : メモリー Aモード

W:B : メモリー Bモード

W:C : メモリー Cモード

W:P : プリセットモード

3200K : Color Temp SW 3200Kを割り当てたアサインブルスイッチがオンのとき

4300K : Color Temp SW 4300Kを割り当てたアサインブルスイッチがオンのとき

5600K : Color Temp SW 5600Kを割り当てたアサインブルスイッチがオンのとき

6300K : Color Temp SW 6300Kを割り当てたアサインブルスイッチがオンのとき

電源の準備

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーを使用しないでください。

- リチウムイオンバッテリーパック：BP-GL95B

バッテリーパックを使用する

バッテリーパック側面のラインを本体のラインに合わせて本体後面に押し当て、バッテリーパックの「LOCK」表示部の矢印が本体のラインに合うところまで押し下げてロックします。
取り外すときは、解除ボタンを押し込んだままバッテリーパックを押し上げます。

[ご注意]

- バッテリーパックは、正しく取り付けないと端子を破損することがあります。
- 記録・再生が行われているときは(右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯)、絶対にバッテリーパックを抜かないでください。
メモリーカード内のデータが壊れることがあります。
- バッテリーは、必ず本機の電源をオフしてから交換してください。

バッテリーパックBP-GL95Bを使った場合、連続記録での動作時間は約110分です。



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

[ご注意]

バッテリーパックの動作時間は、バッテリーパックの使用頻度や使用時の周囲温度によって変化します。

ご使用になる前に、各バッテリーパックに適したバッテリーチャージャーで充電してください。

- ◆ 充電方法について詳しくは、バッテリーチャージャーの

取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック使用上のご注意

使用直後、バッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

AC電源を使用する

ACアダプター AC-DN10Aをバッテリーと同様に本体に装着し、AC電源に接続します。

ビューファインダーの取り付け

⚠ 注意

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通して焦点を結び、火災の原因になることがあります。

ビューファインダーは別売です。

ここではHDVF-EL20を取り付ける場合を例に示します。

- ◆ 各ビューファインダーの取り付けかたについては、使用するビューファインダーのマニュアルをご覧ください。

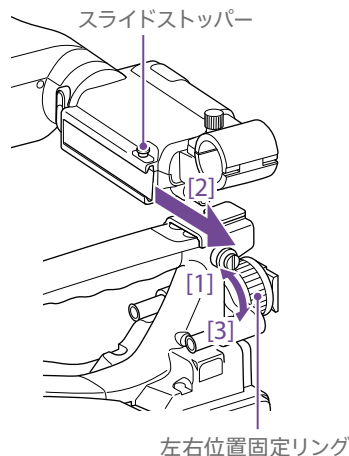
ビューファインダーを取り付ける

[ご注意]

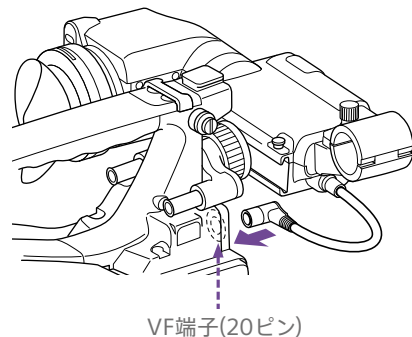
ビューファインダーを取り付けるときは、以下の点にご注意ください。

- 必ず本機の電源をオフしてから、ビューファインダーコネクタを本機のVF端子(20ピン)に差し込んでください。電源がオンの状態でコネクタを差し込むと、ビューファインダーが正常に動作しないことがあります。
- ビューファインダーコネクタを本機のVF端子(20ピン)の奥まで確実に差し込んでください。コネクタが確実に接続されていないと、画像が乱れたり、タリールンプが正常に点灯しないことがあります。

- 1 [1]左右位置固定リングをゆるめる。[2]ビューファインダー取り付けシューにビューファインダーを取り付け、[3]左右位置固定リングを締める。



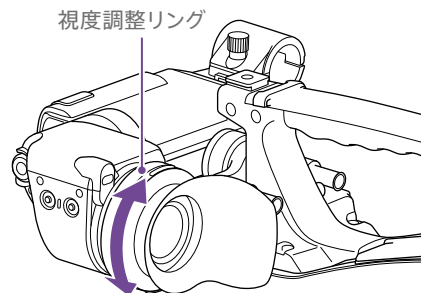
- 2 ビューファインダーコネクタをVF端子(20ピン)に接続する。



ビューファインダーの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。ただし、ビューファインダーを取り付けシューから取り外すときに、スライドストッパーを引き上げてください。

視度を調整する

視度調整リングを回して、ビューファインダー内の画像がはっきり見えるように調整します。

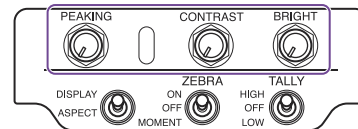


市販の口径52 mmのプロテクトフィルターやクローズアップレンズなどを取り付けることができます。

画面を調整する

ビューファインダー画面の状態を、次の項目について調整できます。

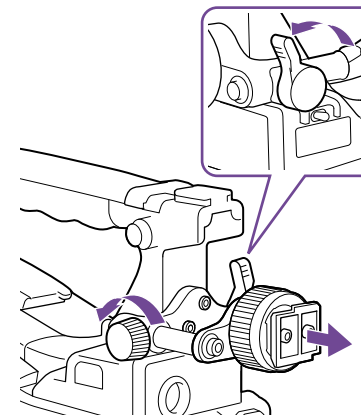
- 輪郭：PEAKINGつまみで調整する。
- 濃淡：CONTRASTつまみで調整する。
- 明るさ：BRIGHTつまみで調整する。



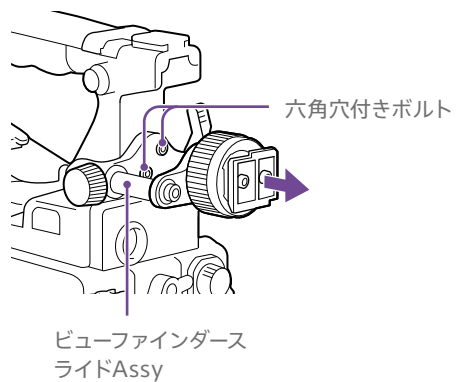
ビューファインダー回転収納機構BKW-401を取り付ける

ビューファインダー回転収納機構BKW-401(別売)を取り付けると、ビューファインダーを垂直位置まで回転させることができます。ビューファインダーをこの位置にしておけば、本機のグリップを持ったときにビューファインダーが脚に当たらないため、速やかに移動できます。

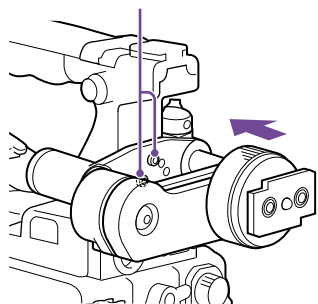
- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーとビューファインダー前後位置LOCKつまみをゆるめ、ビューファインダースライドAssyを手前に引き出す。



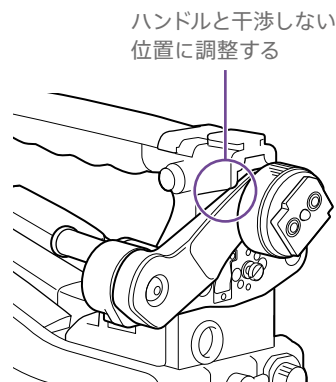
- 2 対辺2.5ミリの六角レンチを使用して、ビューファインダースライドAssyを取り外す。



- 3 BKW-401を付属のボルトで取り付ける。
BKW-401に付属のボルト



- 4 BKW-401のアームを跳ね上げたとき、ハンドルと干渉しないように前後位置を調整する。



本機を初めて使用するとき

本機を初めて使用するときは、メニューで次の設定を行ってください。

- ◆ メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(95ページ)をご覧ください。

タイムゾーンを設定する

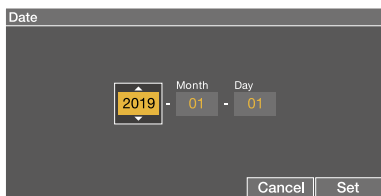
タイムゾーンを設定します。工場出荷時は「UTC Greenwich」です。

- 1 メニューのOperation >Time Zone >Time Zoneを選択する。
- 2 使用するタイムゾーンを選択する。

内蔵時計の日付と時刻を設定する

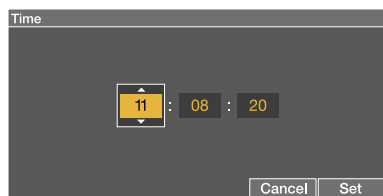
内蔵時計の年、月、日、および時刻を設定します。

- 1 メニューのMaintenance >Clock Set >Dateを選択する。
Date画面が表示されます。



- 2 MENUつまみを回して年、月または日を選択し、つまみを押す。
年、月または日に変更できる状態になります。

- 3 つまみを回して、年、月または日を設定して、つまみを押す。
- 4 手順2、3を繰り返して残りの設定を行う。
- 5 SETボタンを押す。
手順2～4で設定した日付が内蔵時計に反映されます。
次に時刻を設定します。
- 6 メニューのMaintenance >Clock Set >Timeを選択する。
Time画面が表示されます。



- 7 日付の場合と同様の操作で時刻を設定する。
- 8 SETボタンを押す。
時刻が内蔵時計に反映されます。

設定を取り消すには、画面の「Cancel」を選択します。

レンズの取り付けと調整

【ご注意】

本機にレンズケーブルの接続/取り外しを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

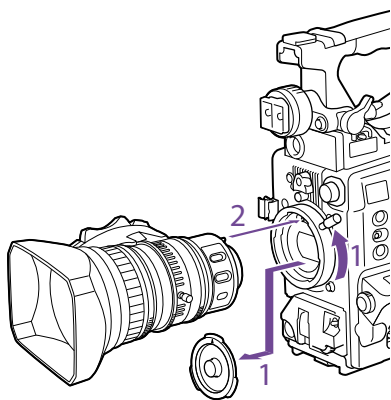
レンズを取り付ける

レンズは別売です。

取り付けかたの例を以下に示します。

- ◆ レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をご覧ください。

- 1 レンズ固定レバーを押し上げて、レンズマウントからレンズマウントキャップを外す。
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。



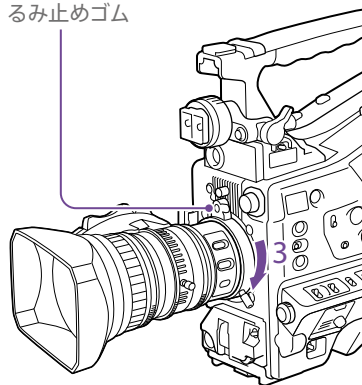
- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを押し下げてレンズを固定する。

⚠ 注意

レンズがしっかり固定されていないと、本機の使用中にレンズが外れて、大きな事故につ

ながることがあります。レンズが固定されているか十分に確認してください。次図のように、レンズマウントゆるみ止めゴムをはめ込んで使用することをおすすめします。

レンズマウントゆるみ止めゴム



- 4 レンズケーブルをLENS端子に接続する。
- 5 レンズケーブルをケーブルクランプに押し込む。

収差補正対応レンズを取り付けた場合

自動的に収差補正機能が働きます¹⁾。本機の起動時にデータ読み込みを行うため、起動に時間がかかることがあります。

収差補正対応レンズについては、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にお問い合わせください。

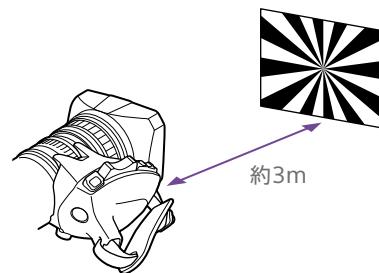
- 1) メニューのMaintenance > Camera Config > ALACをOffに設定していると、収差補正機能は働きません。

フランジバックを調整する

ズーム操作の際に望遠・広角の両方でフォーカスがきちんと合わない場合は、フランジバック(レンズ取り付け面から結像面までの距離)の調整を行います。

一度調整すれば、レンズを交換しない限り再調整の必要はありません。

調整を行うときは、フランジバック調整用チャートを被写体として使用してください。



【ご注意】

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かすと、調整がエラーになりますので、ご注意ください。
- テレ端では画面中央になるように被写体(フランジバック調整用チャート)を置いてください。ワイド端では被写体よりもカムコーダーとの距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。

- 1 レンズの絞りを手動にする。
- 2 カメラフロントから3 mの位置に付属のフランジバック調整チャートなどを置く。
- 3 アイリスを開放にする。
開放の方が深度が浅く調整しやすくなります。

- 4 F.fまたはF.B(フランジバック調整)リング固定ネジをゆるめる。
- 5 手動または電動でズームリングを望遠位置にする。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。
- 7 ズームリングを広角位置にする。
- 8 F.fまたはF.Bリングを回し、チャートに焦点を合わせる。このときフォーカスリングは動かさないように注意する。
- 9 望遠と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順5～8の操作を繰り返す。
- 10 F.fまたはF.Bリング固定ネジをしっかりと締める。

オーディオ入力の準備

MIC IN端子にマイクロホンを接続する

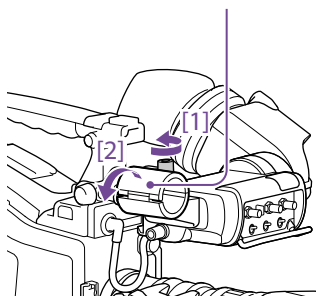
ビューファインダー（別売）のマイクホルダーにステレオマイクロホン（別売）を取り付けることができます。

取り付けかたの例を以下に示します。

- ◆ 各ビューファインダーへの取り付けかたについては、使用するビューファインダーのマニュアルをご覧ください。

- 1 ネジをゆるめてマイクホルダーのクランプを開く。

マイクホルダーのクランプ

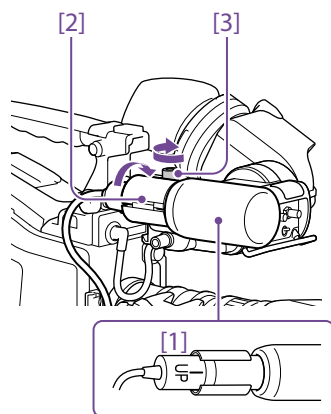


- 2 マイクロホンをマイクホルダーに取り付ける。

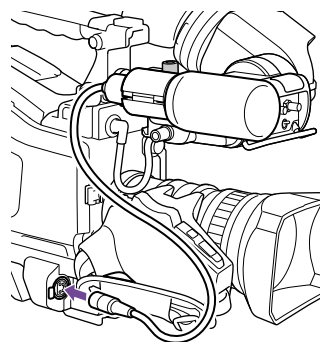
[1] 「UP」の文字を上に向けてマイクを入れる。

[2] マイクホルダーを閉める。

[3] ネジを締める。



- 3 マイクケーブルをMIC IN端子に接続し、このマイクロホンの音声を記録したいチャンネルのAUDIO INスイッチをFRONTに設定する。



- 4 マイクケーブルをケーブルクランプに固定する。

AUDIO IN端子にマイクロホンを接続する

マイクホルダー CAC-12（別売）でAUDIO IN CH-1/CH-2端子に、モノラルのマイクロホンを2本まで接続できます。

接続可能マイクロホン：エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-674/678

- ◆ マイクホルダー、マイクロホンの取り付けかたについては、製品の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスレシーバーを取り付ける

ソニーワイヤレスマイクロホンシステムを使用するときは、本機の電源をオフにしてからワイヤレスレシーバーを取り付けます。

- デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S02DN
- URX-S03D

- ◆ ワイヤレスレシーバーの取り付けかたについては、製品の取扱説明書をご覧ください。

ライン入力用オーディオ機器を接続する

- 1 ライン入力信号源として使うオーディオ機器の音声出力端子を、本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子に接続する。

- 2 音声信号源を接続したチャンネルに対応するAUDIO IN切り換えスイッチをLINEに設定する。

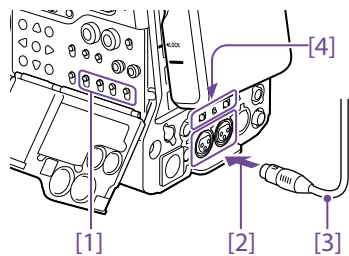
XLR接続自動検出機能

- XLR接続自動検出機能がOFFの場合（工場出荷時）は、オーディオ機器をつないだチャンネルに該当するAUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4スイッチをREARに設定します。
- XLR接続自動検出機能をONにすると、AUDIO IN CH-1またはCH-2端子へのケーブル接続時、AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4スイッチの設定に関わらず、記録音声としてこれらの端子からの入力が自動的に選ばれるようになります。
- AUDIO IN切り換えスイッチがLINEまたはMICに設定されている場合、音声チャンネル3、および4に記録される音声の種類は、XLR自動検出機能には依存しません。スイッチの選択操作のみで決まります。

【ご注意】

CH-1でREAR XLR接続を検出すると、CH-1とCH-3が常にREARに切り換わります。
CH-2でREAR XLR接続を検出すると、CH-2とCH-4が常にREARに切り換わります。

XLR接続自動検出機能のON/OFFは、メニューのMaintenance >Audio >Rear XLR Autoで切り換えることができます。

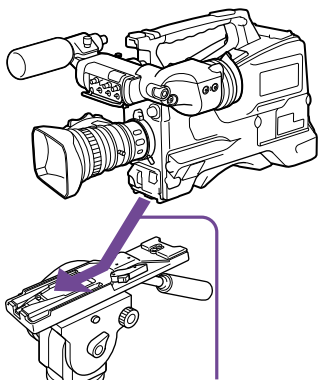


- [1] AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4スイッチ
- [2] AUDIO IN CH-1またはCH-2端子へ
- [3] モノラルマイク
- [4] AUDIO IN切り換えスイッチ

周辺機器の取り付け・調整

三脚への取り付け

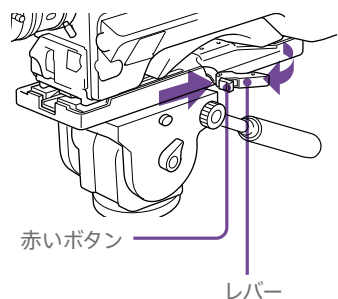
- 1 三脚アタッチメントVCT-14/U14(別売)を雲台に取り付ける。
- 2 本機を三脚アタッチメントに取り付ける。



アタッチメントの溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へスライドさせる

- 3 本機を前後に動かして、外れないことを確認する。

三脚アタッチメントから本機を取り外すには、赤いボタンを押したまま、レバーを矢印の方向へ動かします。



【ご注意】

本機を取り外した後、三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときは、赤いボタンを押したままレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが残ったままでは、取り付けができません。

ビデオライトを接続する

本機には、アントンパワー社製のウルトラライト2または同等品のビデオライト(電源電圧12V、最大消費電力50W)を取り付けて使用できます。

- ビデオライトのコネクターを本機のLIGHT端子に接続した場合は、LIGHTスイッチをAUTO側に設定すると、本機のスタート/ストップに連動して、ライトを点灯/消灯できます。
- 本機のLIGHT端子は、入力電圧(DC入力またはバッテリー電圧)が12V以上の場合は12Vに安定化されるため、バッテリー電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化することはありません。

【ご注意】

- 消費電力が50Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
- 入力電圧(DC入力またはバッテリー電圧)が12V以下になった場合は、入力電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化します。

ビデオライトを取り付けるには、ビデオライトを取っ手のアクセサリースューに取り付け、ビデオライトコネクターをLIGHT端子に接続します。

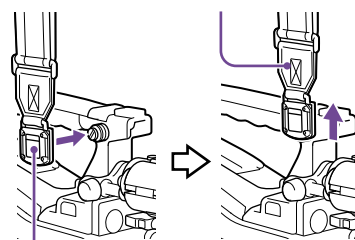
【ご注意】

アクセサリースューは1/4型ネジタイプです。スライドシュータイプに変更する場合は、本機に付属のコールドシューキットを使用してください。

ショルダーベルトを取り付ける

- 1 片方のクリップをショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。

ベルトを上引っ張ってきちんと固定する

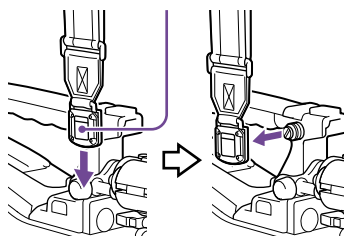


クリップ

- 2 同様にもう一方のクリップを、反対側のショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。

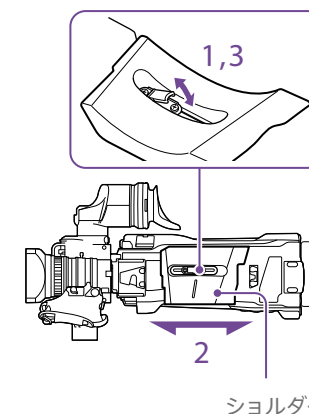
ショルダーベルトの取り外しは、下記の図のように行います。

ここを押したまま矢印の方向へ引く



ショルダーパッドの位置を調整する

ショルダーパッドは、前後に40mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。



ショルダーパッド

- 1 ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックを外す。
- 2 前後方向にスライドして、適当な位置を選ぶ。
- 3 レバーを倒して固定する。

SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード(別売)に記録します。なお、本機ではSxSメモリーカード以外にも、メディアアダプター MEAD-SD02(別売)を使用してSDXC/SDHCカード(別売)に記録することもできます。

各メディアカードの対応ファイルシステムは以下のとおりです。

メモリーカード	ファイルシステム		
	exFAT	UDF	FAT
SxSメモリーカード	○	○	×
SDXCカード	○	×	×
SDHCカード	×	×	○

SxSメモリーカードについて

SxSメモリーカード

本機では、ソニー製SxS PRO X、SxS PRO+、SxS PROまたはSxS-1メモリーカードをご使用ください。

SxS PRO Xシリーズ

SxS PRO+シリーズ

SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ

これらのメモリーカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- SxS、SxS PRO X、SxS PRO+、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です。
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card

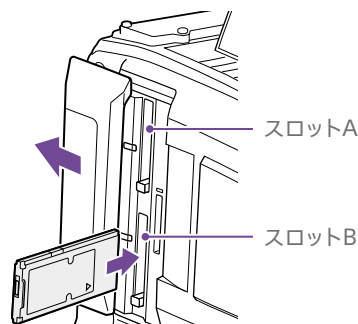
International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

[ご注意]

XAVC-I 3840×2160Pで記録する場合は、SxS PRO X、またはSxS PRO+メモリーカードを使用してください。

SxSメモリーカードを入れる

- 1 カバーを左にスライドさせて開ける。
- 2 SxSメモリーカードをカードスロットに差し込む。



[ご注意]

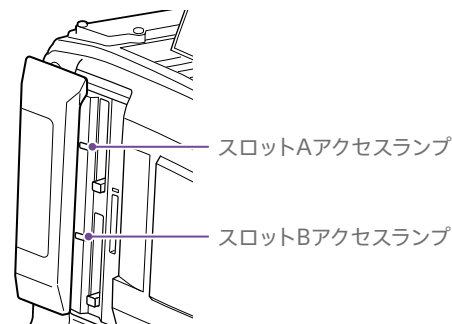
SxSカードの差す方向を間違えないでください。図のように矢印が印刷してあるカード面を手前にして、矢印の向きに差し込んでください。

ACCESSランプがオレンジで点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

- 3 カバーを閉める。

ACCESSランプによる状態表示

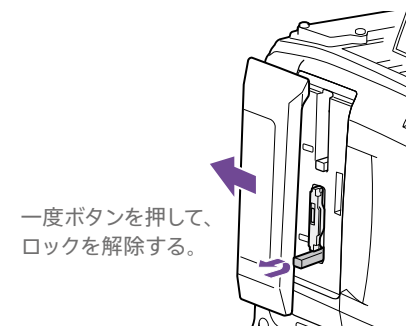
AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。



ランプ	スロットの状態
オレンジで点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中(データの書き込み/読み出し中)
緑で点灯	スタンバイ状態(装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。)
消灯	SxSメモリーカードが装着されていない。 使用できないカードが装着されている。 SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出す

- 1 カバーを開け、EJECTボタンを押してロックを解除してボタンを引き出す。

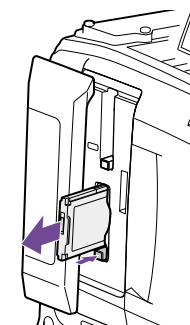


一度ボタンを押して、ロックを解除する。

- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

[ご注意]

EJECTボタンを押すときに、SxSメモリーカードの排出を妨げないように気を付けてください。SxSメモリーカードの排出が妨げられると、ロック解除の故障原因になります。



[ご注意]

メモリーカードへのアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合、データは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったりカードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。

記録中のSxSメモリーカードの記録可能時間が60秒以下になると、ビューファインダー画面の該当メディアスロットの残量表示が点滅して、間もなく使用するSxSメモリーカードが切り換わることを知らせます。

その後、カードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わり、記録は継続されます。

[ご注意]

- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面(86ページ)が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。
- 1スロット同時記録を行う場合、切り換え先のカードにクリップが200個以上あると、切り換え先のカードで記録を継続できないことがあります。

SxSメモリーカードをフォーマット(初期化)する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。その場合は、以下の操作を行ってメモリーカードをフォーマットします。メモリーカードは、出荷時にはexFATまたはFATでフォーマットされています。

[ご注意]

exFATおよびUDFファイルシステム対応のXDCAM機器および本機でフォーマットしたSxSメモリーカード以外は使用できません。

- 1 メニューのOperation >Format Mediaを選択する。
- 2 Media(A)(スロットA)またはMedia(B)(スロットB)を選択する。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。
- 4 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。フォーマットが始まります。実行中メッセージが表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUつまみを押してメッセージを消します。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

[ご注意]

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

記録中のフォーマット

記録中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードのフォーマットが可能です。

[ご注意]


- 1スロット同時記録中、再生中およびサムネイル画面表示中にフォーマットはできません。
- フォーマット中には、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードへの記録操作は受け付けません。

残りの記録可能時間を確認する

ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

Media Status画面(15ページ)を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

[ご注意]

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、警告メッセージMedia Near Fullが表示され、WARNINGランプおよびビューファインダー画面のREC表示の点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージがMedia Fullに変わり記録が停止します。

[ご注意]

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージMedia Fullが表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。修復を実行するには、MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押します。

修復が始まります。

実行中メッセージが表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUつまみを押してメッセージを消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し Could not Restore Some Clips とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
 - [1] 専用アプリケーションソフトウェア(174ページ)を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
 - [2] 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
 - [3] 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

設定データ保存用SDカードの取り扱い

設定データの保存に使用できるSDカードは次のとおりです。

SDHCメモリーカード* (Speed Class : 4以上/
UHS非対応 / 容量 : 4 ~ 32 GB)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

1 メニューのOperation >Format Media >SD Card(Utility)を選択する。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
フォーマットが始まります。
実行中メッセージが表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUつまみを押してメッセージを消します。

[ご注意]

SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

Media Status画面(15ページ)でSDカードの残容量を確認することができます。

本機でフォーマットしたSDカードを他の機器のロットで使用するにはあらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

メディアアダプターを使う

【ご注意】

- プロフェッショナル用途のSxSメモリーカードと同等の高い信頼性・耐久性を得られるものではありません。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関してはお買い上げ店にお問い合わせください。

SDカード

本機では、別売のメディアアダプター MEAD-SD02を使用することによってSDカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、記録・再生が行えます。

【ご注意】

SDカードと他のメディアを、それぞれメモリーカードスロットに入れた場合、先に入れたメディアのみ認識され、後から入れたメディアは認識されません。

使用可能なSDカードの次のとおりです。

SDXCメモリーカード(SDスピードクラス：Class10)¹⁾

SDHCメモリーカード(SDスピードクラス：Class10)²⁾

1) ファイルシステムがexFATのときに使用可能です。

2) ファイルシステムがFATのときに使用可能です。

- ◆ メディアアダプター MEAD-SD02の使いかたについて詳しくは、メディアアダプター MEAD-SD02の取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】

- SDカードを使用して高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- クリップをまたいでのシームレス再生はできません。
- SDカードを使用して、すべてのXAVC-I、およびXAVC-L 3840×2160Pフォーマットでの記録・再生はできません。
- SDXCカードを使用してスロー&クイックモーション撮影を行うときは、スローモーション撮影はできません。

フォーマット(初期化)するには

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

フォーマットされていないSDカード、または別の仕様でフォーマットされたSDカードを装着すると、フォーマット実行の確認メッセージ、またはファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。

次の手順でフォーマットしてください。

- 1) メニューのOperation >Format Mediaを選択する。
- 2) Media(A)(スロットA) またはMedia(B) (スロットB) を選択する。
- 3) MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。
- 4) MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。
フォーマットが始まります。
実行中メッセージが表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUつまみを押してメッセージを消します。

【ご注意】

SDカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とコンピューターの接続

記録済みのSDカードを本機側のスロットに装着して、本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して使用してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

フォーマットの設定

メニューのOperation >Formatで、ファイルシステム、システム周波数、およびビデオフォーマットを設定します。

- ◆ メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(95ページ)をご覧ください。

ファイルシステムを選択する

ファイルシステムを選択します。

- 1 メニューのOperation >Format >File Systemを選択する。
- 2 MENUつまみを回して、ファイルシステムを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 実行するにはExecuteを、中止するにはCancelを選択し、MENUつまみを押す。
Execute実行後、本機は自動的に再起動します。

[ご注意]

記録・再生中またはサムネイル画面表示中にファイルシステムを切り換えることはできません。

システム周波数を切り換える

必要に応じてシステム周波数を切り換えます。

[ご注意]

- 記録・再生中またはサムネイル画面表示中にシステム周波数を切り換えることはできません。
- 周波数29.97と59.94間、および25と50間での切り換え後は、自動的に再起動されません。

- システム周波数を切り替えると、以前その周波数で使用していたビデオフォーマットに自動的に切り換ります。

- 1 メニューのOperation >Format >Frequencyを選択する。
- 2 MENUつまみを回してシステム周波数を選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 実行するにはExecuteを、中止するにはCancelを選択し、MENUつまみを押す。
Execute実行後、本機は自動的に再起動します。

ビデオフォーマットを切り換える

「ビデオフォーマット設定表」(35ページ)を参照し、必要に応じてビデオフォーマットを切り換えます。

- 1 メニューのOperation >Format >Rec Formatを選択する。
- 2 MENUつまみを回してビデオフォーマットを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 実行するにはExecuteを、中止するにはCancelを選択し、MENUつまみを押す。

ビデオフォーマット設定表

ビデオ解像度やシステム周波数の組み合わせによって、以下のビデオフォーマットの設定が可能です。

システム周波数 メニューのOperation >Format >Frequency	ファイルシステム メニューのOperation >Format >File System	ビデオフォーマット メニューのOperation >Format >Rec Format	画サイズ		
	exFAT UDF FAT				
59.94/50	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-I 3840×2160P	3840×2160
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-I 1920×1080P	1920×1080
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-I 1920×1080i	
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L200 2160P	3840×2160
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 3840×2160P	
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 50 1920×1080P	1920×1080
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 50 1920×1080i	
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 35 1080P	
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 35 1080i	
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 25 1080i	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	HD422 50 1080i	1920×1080
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	HD422 50 720P	1280×720
29.97/25/23.98	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	HQ 1920×1080i	1920×1080
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	HQ 1440×1080i	1440×1080
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	HQ 1280×720P	1280×720
	<input type="radio"/>	-	<input type="radio"/>	SP 1440×1080i	1440×1080
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-I 3840×2160P	3840×2160
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-I 1920×1080P	1920×1080
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 3840×2160P	3840×2160
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 50 1920×1080P	1920×1080
	<input type="radio"/>	-	-	XAVC-L 35 1080P	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	HD422 50 1080P	1920×1080
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	-	HD422 50 720P	1280×720
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	HQ 1920×1080P	1920×1080

SDI OUT端子、HDMI出力端子の出力フォーマット設定表

SDI OUT端子、HDMI出力端子からの出力信号は、メニューのOperation >Formatの設定に応じて下表のように出力されます。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

[ご注意]

- XAVCプロキシ記録時(表中では「プロキシ記録」と表記)、ネットワーク機能使用時、またはアサインابلスイッチにXAVC Proxy Rec Startを登録しているときは、以下の制限があります。
 - 3840×2160P記録時、3840×2160PのSDI出力フォーマット設定は選択できません。
- 3840×2160PのSDI出力フォーマット設定で運用時、プロキシ記録またはネットワーク機能を有効にすると、SDI出力設定は1920×1080P (Level B)(59.94/50) または1920×1080PsF(29.97/23.98/25) に切り替わります。

メニューのOperation >Format(コーデックは省略)	プロキシ記録または ネットワーク機能		メニューのOperation >Input/Output>Output Format			
	OFF	ON	SDI Out 1 Output	SDI Out 2 Output	HDMI Output	
59.94	3840×2160P	<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 12G	3840×2160P 12G	3840×2160P
		<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 12G	1920×1080P(Level A)	3840×2160P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level A)	1920×1080P(Level A)	1920×1080P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level B)	1920×1080P(Level B)	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level A)	1920×1080P(Level A)	1920×1080P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level B)	1920×1080P(Level B)	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080i	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1440×1080i	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
1280×720P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1280×720P	1280×720P	1280×720P	
29.97	3840×2160P	<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 3G Link1	3840×2160P 3G Link2	3840×2160P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	1920×1080i
	1920×1080P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	1920×1080i
	1280×720P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1280×720P	1280×720P	1280×720P
23.98	3840×2160P	<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 3G Link1	3840×2160P 3G Link2	3840×2160P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i(2-3PD)	1920×1080i(2-3PD)	1920×1080i(2-3PD)
	1920×1080P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i(2-3PD)	1920×1080i(2-3PD)	1920×1080i(2-3PD)
	1280×720P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1280×720P(2-3PD)	1280×720P(2-3PD)	1280×720P(2-3PD)

メニューのOperation >Format(コーデックは省略)		プロキシ記録または ネットワーク機能		メニューのOperation >Input/Output>Output Format		
		OFF	ON	SDI Out 1 Output	SDI Out 2 Output	HDMI Output
50	3840×2160P	<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 12G	3840×2160P 12G	3840×2160P
		<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 12G	1920×1080P(Level A)	3840×2160P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level A)	1920×1080P(Level A)	1920×1080P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level B)	1920×1080P(Level B)	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level A)	1920×1080P(Level A)	1920×1080P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080P(Level B)	1920×1080P(Level B)	—
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080i	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1440×1080i	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080i	1920×1080i	1920×1080i
	1280×720P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1280×720P	1280×720P	1280×720P
25	3840×2160P	<input type="radio"/>	選択不可	3840×2160P 3G Link1	3840×2160P 3G Link2	3840×2160P
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	1920×1080i
	1920×1080P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1920×1080PsF	1920×1080PsF	1920×1080i
	1280×720P	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1280×720P	1280×720P	1280×720P

撮像ダイナミックレンジの拡大

記録フォーマットに4K QFHDまたはHDを設定している場合、撮像ダイナミックレンジをハイダイナミックレンジ(HDR) モードにすると、ダイナミックレンジを拡大し、BT.2020相当の色域で記録や出力を行えます。

本機能と1スロット同時記録機能を併用すれば、4K QFHDのメインクリップ映像をハイダイナミックレンジで記録し、HDのサブクリップ映像を通常のダイナミックレンジ(SDR) で記録することが可能になります。

ハイダイナミックレンジ機能はファイルシステムがexFATの場合に有効です。

[ご注意]

ダイナミックレンジモードの設定を変更する場合は、ピクチャーキャッシュレック機能がOffの状態で行ってください。

Operation > Rec Function > Picture Cache Rec > Off

ダイナミックレンジモードを設定する

- 1 メニューのOperation > Base Setting > Shooting Modeを選択する。
- 2 MENUつまみを回してダイナミックレンジモードを選択する。
HDRを選択するとハイダイナミックレンジモード、SDRを選択すると従来のダイナミックレンジモードに設定されます。

HDRの設定

ダイナミックレンジモードをHDRに選択した場合、メニューのOperation > HDR SettingでHDRを設定します。詳しくは、100ページをご覧ください。

HDR(HLG)

HDR(HLG)は4K(QFHD)、HDともに設定が可能です。

ハイダイナミックレンジモードにHDR(HLG)を選択した場合、色域はITU-R BT.2020に設定されます。また、HLG LookでHLG種類を設定することができます。詳しくは、109ページをご覧ください。

HDR(S-Log3)

HDR(S-Log3)は4K(QFHD)時にのみ設定できません。

ハイダイナミックレンジモードにHDR(S-Log3)を選択した場合、色域はITU-R BT.2020またはS-Gamut3/S-Gamut3.Cineから選択することができます。詳しくは、100ページをご覧ください。

SDR Gain

HD Rec/Out設定がSDRの場合、4K(QFHD)-HDR側に対しHD-SDR側のゲインを設定します。この設定はHD-SDR側の記録・出力、およびビューファインダー、LCDモニター表示に反映されません。

HLGディスプレイアシスト機能

HDR(HLG)機能を使用しているとき、ビューファインダーやLCDモニターに表示される映像の

コントラストが従来のダイナミックレンジ使用時より低く見えることがあります。このような場合、HLGディスプレイアシスト機能で、ビューファインダーやLCDモニターに表示する映像のコントラストを適切に調整することができます。

HLGディスプレイアシスト機能はHDR SettingのHD Rec/OutがHDR(HLG)に設定されているときに自動的に適用されます。

またHLGディスプレイアシスト機能をアサインブルスイッチに割り当てて、必要に応じて機能のオン/オフをワンタッチで切り換えることができます。

[ご注意]

本機能はビューファインダーやLCDモニターのみに適用され、記録画像や出力画像には適用されません。

ブラックバランス／ホワイトバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されます。

ブラックバランスを調整する

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用する
とき
- メニューのOperation > Gain SwitchでGAIN
スイッチに設定しているゲイン値(L/M/H/
Turbo)を変更したとき

通常は、電源を再び入れた場合でも調整し直す必要はありません。

ブラックバランスの自動調整は、ブラックセット、ブラックバランスの順に実行されます。ブラックバランスは、設定メニューの操作によって手動調整することもできます。

以下の場合には、ブラックバランスの自動調整ができません。

- 記録中
- 特殊記録モード時
- シャッターモードがSLSモードの場合

1 OUTPUT/DCCスイッチをCAMにする。

2 AUTO W/B BALスイッチをBLACK側に押し、指を離す。

調整中は「Executing...」と表示され、「OK」
に変われば終了です。

調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

【ご注意】

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に働き、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。

ブラックバランスの自動調整ができないときは

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	意味
NG: Iris not Closed	レンズの絞りが閉まらなかったため、調整できなかった。
NG: Timeout	規定された調整回数以内で調整が終了しなかった。

上記のエラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

- ◆ 内部点検については、メンテナンスマニュアル(別売)をご覧ください。

【ご注意】

レンズの接続ケーブルがLENS端子にしっかり接続されていないと、レンズの絞りが遮光状態にならず、ブラックバランスはエラーになります。

ホワイトバランスを調整する

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

1 以下のようにスイッチを設定する。

- GAINスイッチ：L(できるだけ小さいゲイン値に設定)
- OUTPUT/DCCスイッチ：CAM
- WHITE BALスイッチ：AまたはB¹⁾

1) メモリー Bに設定値が記憶されるのは、メニューのOperation > White Setting > White Switch がMemoryに設定されているときのみです。

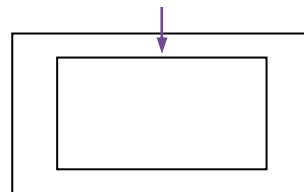
2 照明条件に合わせて、FILTERつまみの設定を切り換える。

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。

被写体の近くの白いもの(白布、白壁)で代用することもできます。

最小限必要な白の面積は、図のとおりです。

画面センターを中心とする長方形各辺の長さは、画面の高さ、または幅の70%。この長方形内に、画面面積の10%以上の画面の白が必要。



【ご注意】

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

4 レンズの絞りを調整する。
手動で絞りを調整する場合：絞りを適正值に合わせる。

オートアイリスで絞りを調整する場合：レンズ側の絞り自動／手動切換スイッチを自動に設定する。

5 AUTO W/B BALスイッチをWHITE側に押し、指を離す。

調整中は「Executing...」と表示され、「OK：(被写体の色温度)」と表示されれば終了です。

調整値は、手順1で選択したメモリー (AまたはB) に自動的に記憶されます。

【ご注意】

レンズを絞ると、ハンチング¹⁾を起こすことがあります。このような場合は、レンズに付いている絞りのゲインつまみ(I、IS、Sなどと表示されている)を調整してください。

1) ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

- ◆ 詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

ホワイトバランスの自動調整ができないときは

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	意味
NG: Low Light	白の映像レベルが低すぎる。レンズの絞りを開けるか、ゲインを上げる。
NG: High Light	白の映像レベルが高すぎる。レンズを絞るか、NDフィルターを変える。

エラーメッセージ	意味
NG: Color Temp. High	被写体照明の色温度が高すぎて調整できなかった。照明の色温度を調整して、メモリーを更新する。
NG: Color Temp. Low	被写体照明の色温度が低すぎて調整できなかった。照明の色温度を調整して、メモリーを更新する。
NG: Out of Range	現在値と基準値の差が大きく、調整範囲を超えていたため、調整できなかった。
NG: Poor White Area	被写体の白の面積が狭すぎて調整できなかった。
NG: Timeout	規定時間内で調整が終了しなかった。

上記のエラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示される場合は、内部点検をする必要があります。

- ◆ 内部点検については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

ホワイトバランスを調整する時間がないうときは

WHITE BALスイッチをPRSTにします。

NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更する

電氣的CC(色補正) フィルターをNDフィルター(5ページ)に割り当てることによって、NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更することができます。

- 1 メニューのMaintenance >White Filter >ND Filter C.TempをOnに設定する(118ページ)。

- 2 電氣的CCフィルターをFILTERつまみのポジション番号1に割り当てるときはND FLT C.Temp<1>を、ポジション番号2～4に割り当てるときはND FLT C.Temp<2-4>を選択する。

- 3 MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。

- 4 必要に応じて、手順2と3を繰り返す。

電氣的CC(色補正) フィルターをアサインナブルスイッチで切り換える

電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインナブルスイッチに割り当てることによって、アサインナブルスイッチを押すたびに最大で4つのポジション(A～D)に設定された色温度(3200K/4300K/5600K/6300K)を切り換えることができます。

- 1 メニューのMaintenance >White Filterを選択する。

- 2 CCフィルターを設定したいポジションElectrical CC<A>～<D>を選択し、MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。色温度を設定しないときは、Electrical CC<C>、<D>の設定時に「-----」を選択します。アサインナブルスイッチを押しても、そのポジションの設定は表示されません。たとえば、1つのポジションに「-----」を設定したときは、3つのポジションの切り換えになります。

- 3 必要に応じて、手順2を繰り返す。

- 4 アサインナブルスイッチに電氣的CCフィルターの切り換え機能(ELECTRICAL CC)を割り当て(128ページ)。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも、再度ホワイトバランスを調整するまで保存されます。

ホワイトバランスのメモリーは、A、Bの2系統があり、WHITE BALスイッチの設定(AまたはB)に対応するメモリーに、NDフィルターごとの調整値を自動的に記憶させることができます。本機は4つのNDフィルターを内蔵しているため、合計8個(4×2)の調整値を記憶できます。ただし、次の場合、メモリーの内容はNDフィルターに連動しません。

- メニューのOperation >White Setting >Filter White MemoryをOffに設定することによって、A、B両系統のメモリー数を1個に限定したとき
- また、メニューのOperation >White Setting >White SwitchをATWに設定すると、WHITE BALスイッチがBの位置でATW(自動追尾ホワイトバランス)が動作し、照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスが自動追従します。

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

【ご注意】

RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、標準モード(Speed)のみ選択できます。

標準モード

動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

秒数でシャッター速度を設定するSpeed(スピード)モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle(角度)モードを選択できます。

Speedモード

システム 周波数	シャッタースピード(単位: 秒)
59.94i	1/60、1/100、1/120、1/125、
59.94P	1/250、1/500、1/1000、1/2000
50i	
50P	
29.97P	1/40 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、1/100、 1/120、1/125、1/250、1/500、 1/1000、1/2000
25P	1/33 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、1/100、 1/120、1/125、1/250、1/500、 1/1000、1/2000
23.98P	1/32 ^{a)} 、1/48 ^{a)} 、1/50 ^{a)} 、1/60、 1/96、1/100、1/120、1/125、 1/250、1/500、1/1000、1/2000

a) スロー&クイックモーション撮影時、メニューのOperation > Rec Function > Frame Rateをシステム周波数より大きい値に設定している場合は選択できません。

Angleモード

180°、90°、45°、22.5°、11.25°

ECS(拡張クリアスキャン) モード

モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように走査したい場合などに使用します。

設定可能なシャッタースピードの範囲は、スロー&クイックモーション(S&Q)機能のオフ/オンによって、次表のように変わります。

システム 周波数	シャッタースピード(単位: Hz)	
	S&Q: オフ	S&Q: オン
59.94i	60.00 ~ 7000	-
59.94P	60.00 ~ 8000	60.00 ~ 8000
29.97P	30.00 ~ 8000	30.00 ~ 8000
23.98P	23.99 ~ 6000	30.03 ~ 6000
50i	50.00 ~ 7000	-
50P	50.00 ~ 7000	50.00 ~ 7000
25P	25.02 ~ 7000	30.00 ~ 7000

SLS(スロースピードシャッター) モード

低照度の被写体を撮影したいときに使用します。スロースピードシャッター機能の蓄積フレーム数は、メニューのOperation > Slow Shutter > Number of Framesで2、3、4、5、6、7、8、16から選択します。

【ご注意】

- スロー&クイックモーション撮影時は、SLSモードを使用することができません。
- 記録中にSLSモードをオン/オフしたり、蓄積フレーム数を変更することができません。

シャッターモード/シャッタースピードを設定する

【ご注意】

- 絞りが自動のときは、シャッタースピードが速くなるにつれ、絞りが開き、被写界深度も浅くなります。
- 選択できるシャッタースピードは、設定されているシステム周波数によって異なります。

SpeedモードとAngleモードの切り換え

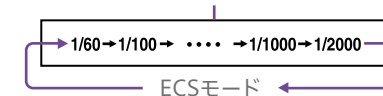
- 1 メニューのOperation > Shutter > Modeを選択する。
- 2 MENUつまみを回して、SpeedまたはAngleを選択し、つまみを押す。

シャッターモードおよびシャッタースピード(標準モード)の設定

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った状態でも保持されます。

- 1 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSELECT側に押す。シャッターの現在の設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。
- 2 手順1の表示が消える前に、もう一度SHUTTERスイッチをSELECT側に押す。希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。すべてのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。

Speedモード(システム周波数: 59.94iの場合)の表示例



【ご注意】

スロー&クイックモーションモード時のフレームレートの設定によっては(52ページ)、特定のシャッタースピードが選択できなくなることがあります。選択できないシャッタースピードは、選択可能な最も遅いシャッタースピードに置き換わります。

XAVC-I 1080P/29.97P、フレームレート60でスロー&クイックモーション撮影を行う場合の例:

- スロー&クイックモーションモード: オフ
1/40 → 1/50 → 1/60 → 1/100 → ...
- スロー&クイックモーションモード: オン
1/60 → 1/100 → ...

シャッタースピード(ECSモード)の設定

- 1 シャッターモードをECSに設定する(前項参照)。
- 2 MENUつまみを回して、希望の周波数を表示させる。

シャッタースピード(SLSモード)の設定

- 1 メニューのOperation > Slow Shutter > Settingで、シャッターモードをOnに設定する。
- 2 メニューのOperation > Slow Shutter > Number of Framesで、希望のフレーム数を選択する。

オートアイリスの設定

逆光の被写体を適正な明るさで撮るときや、スポットライトが当てられた被写体の白つぶれなどを防ぐときなど、被写体の照明条件によってはオートアイリスの設定を変更する必要があります。

オートアイリスの動作モードを設定する

オートアイリスでレベル調整するとき使用する動作モードを設定します。

- 1 メニューのOperation >Auto Iris >Modeを選択する。
- 2 MENUつまみを回して動作モードを選択し、つまみを押す。

動作モード	説明
Backlight	逆光状態の撮影に適したモード
Standard	標準のモード
Spotlight	中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白つぶれを軽減するモード

オートアイリスでの収束目標レベルを設定する

- 1 メニューのOperation >Auto Iris >Levelを選択する。
- 2 MENUつまみを回してレベルを-99 ~ +99の範囲で選択し、つまみを押す。

収束目標レベル	説明
-99	2絞り分以上暗めに設定する
±0	標準のレベル
+99	2絞り分以上明るめに設定する

オートアイリスのスピードを設定する

オートアイリスでレベルを調整するときの動作速度を設定します。

- 1 メニューのOperation >Auto Iris >Speedを選択する。
- 2 MENUつまみを回して動作速度を[-99](最も遅い) ~ [+99](最も速い)の範囲で選択し、つまみを押す。

レンズ絞りの基準値を変更する

レンズ絞りの基準値は、標準値に対して次の範囲に設定できます。

- +0.25 ~ +1(0.25刻み) : 約+0.25 ~ +1絞り分開きぎみになる。
- -0.25 ~ -1(0.25刻み) : 約0.25 ~ 1絞り分閉じぎみになる。

また、オートアイリスの対象となる範囲を設定しておくこともできます。

- 1 メニューのOperation >Auto Iris >Iris OverrideをOnに設定する。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをOFFにする。
- 3 MENUつまみを回して基準値を変更する。

【ご注意】

このとき、シャッターモードがECS以外のモードになっていることを確認してください。

現在の基準値は、ビューファインダー画面のアイリスポジション表示(17ページ)で確認することができます。

- 絞りを開きぎみにする場合は、MENUつまみを本機正面から見て反時計方向に回します。
+0.25、+0.5、+0.75、+1のいずれかに設定します。
- 絞りを閉じぎみにする場合は、MENUつまみを本機正面から見て時計方向に回します。
-0.25、-0.5、-0.75、-1のいずれかに設定します。

変更した基準値は電源を切るまで保持されます。基準値を変更しても、電源を入れるたびに標準値に戻ります。

オートアイリス検出ウィンドウを設定する

- 1 メニューのOperation >Auto Iris >Detect Window IndicationをOnに設定する。

ビューファインダー画面上に現在選択されているオートアイリスウィンドウが表示されません。オートアイリスウィンドウを常に表示しておく必要がない場合は、Offに設定します。

- 2 メニューのOperation >Auto Iris >Detect Windowを選択する。

- 3 MENUつまみを回して希望のオートアイリスウィンドウを選択し、つまみを押す。



図の網掛け部で光を検出する

Varを選ぶと、次表の項目が有効となり、希望の大きさのウィンドウを作成できます。メニューのOperation >Auto Iris >Iris Var Width、Iris Var Height、Iris Var H Position、Iris Var V Positionで設定してください。

項目	設定
Iris Var Width	ウィンドウの幅
Iris Var Height	ウィンドウの高さ
Iris Var H Position	ウィンドウの横方向の位置
Iris Var V Position	ウィンドウの縦方向の位置

メニューを終了すると、手順3で選択したオートアイリスウィンドウが表示されます。常に表示しておく必要がない場合は、メニューのOperation >Auto Iris >Detect Window Indicationの設定をOffに変更します。

高輝度の外乱による影響を 軽減させる

高輝度の画像が入ってきたためオートアイリスが閉じすぎて全体的に暗くなりすぎ、黒つぶれという状態になることがあります。このような場合は、ハイライトクリップ機能をONに設定すると、あるレベル以上のものにクリップをかけて、オートアイリスへの影響を低減することができます。メニューのOperation >Auto Iris >Clip High LightをOnに設定します。

音声レベルの調整

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにすると、各チャンネルに記録されるアナログ音声信号の入力レベルは自動的に調整されます。また、手動で調整することもできます。

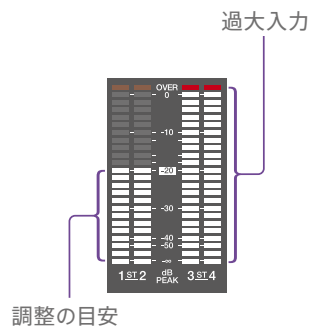
【ご注意】

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにしても、デジタル音声信号の入力レベルは自動調整されません。

手動調整時の音声レベルの目安

-20 dBを目安に調整します。

音声レベルメーターが0 dBまで表示されるときは、入力音量が過大です。



AUDIO IN CH-1/CH-2端子からの音声レベルを手動調整する

- AUDIO IN CH-1/CH-2端子への入力信号を記録、調整したいチャンネルに相当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。

- 2チャンネルとも記録、調整する場合は、両方のAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。

- 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALにする。

- 手順1で選んだチャンネルのLEVELつまみで、通常の入力音量のときの音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベルの調整に使用するつまみの選択

メニューのMaintenance >Audioで、AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の記録レベルの調整をどのつまみで行うか、選択することができます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

【ご注意】

AES/EBUデジタルオーディオ信号を入力する場合は、本機で記録レベル調整を行うことはできません。

Rear1/WRR Level : チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL(CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL(CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

Rear2/WRR Level : チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL(CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL(CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

【ご注意】

LEVEL(CH1/CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動を選択した場合、MIC LEVELつまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声を記録できません。MIC LEVELつまみの位置を確認してから、LEVEL(CH1/CH2) つまみで調整してください。

MIC IN端子からの音声レベルを手動調整する

- 使用するチャンネルのAUDIO INスイッチをFRONTに設定する。

- 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALに設定する。

- MIC LEVELつまみを回して、通常の入力音量のとき音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベルの調整に使用するつまみの選択

メニューのMaintenance >Audioで、フロントマイクから入力する音声の記録レベルの調整をどのつまみに割り当てるかを設定できます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

MIC CH1 Level : チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL(CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL(CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

MIC CH2 Level : チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL(CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL(CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

【ご注意】

MIC LEVELつまみとLEVEL(CH1/CH2) つまみの連動を選択した場合、LEVEL(CH1/CH2) つまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声が記録できません。LEVEL(CH1/CH2) つまみの位置を確認してから、MIC LEVELつまみで調整してください。

チャンネル3、4に音声を記録する

- 音声チャンネル3、4に記録される音声を、AUDIO IN CH3/CH4スイッチで選択する。

CH3スイッチ	チャンネル3の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-1端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

CH4スイッチ	チャンネル4の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-2端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

- 2 自動調整するには、AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをAUTOにする。
 手動調整するには、AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをMANUALにして、続けて以下の設定をする。

- 3 レベル調整を行うつまみを、メニューの Maintenance >AudioのAudio CH3 Level およびAudio CH4 Levelで選択する。

Audio CH3 Level : チャンネル3の記録レベル

設定値	つまみ
Side3	LEVEL(CH3) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side3	LEVEL(CH3) つまみとMIC LEVELつまみの連動

Audio CH4 Level : チャンネル4の記録レベル

設定値	つまみ
Side4	LEVEL(CH4) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side4	LEVEL(CH4) つまみとMIC LEVELつまみの連動

音声チャンネル3、4の音声レベルが、ここで選択したつまみで調整できるようになります。

タイムデータの設定

タイムコードを設定する

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29(時:分:秒:フレーム)です。

- DISP SEL/EXPANDボタンを押して、LCDモニターをステータス表示に切り換える。
- DISPLAYスイッチをTCにする。
- PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。タイムコードの最上桁が点滅します。
- 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。
数値を00:00:00:00にリセットするには、RESET/RETURNボタンを押します。
- 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを切り換える。
F-RUN: タイムコードは常に歩進する
R-RUN: タイムコードは記録時に歩進する

[ご注意]

ピクチャーキャッシュレックモードが有効なときは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてもタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、ピクチャーキャッシュレックモードをオフにしてください。

DF/NDFの切り換え

メニューのMaintenance > Timecode > DF/NDFで、DF(ドロップフレームモード) / NDF(ノ

ンドロップフレームモード)を切り換えることができます。

タイムコードを連続させるには

F-RUN/SET/R-RUNスイッチがR-RUNに設定されているときは、タイムコードは連続して記録されます。ただし、途中でメディアを交換して記録を行うと、再び元のメディアを入れてもタイムコードは連続しません。
このようなときは、PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをREGENにするとタイムコードを連続させることができます。

タイムコードに実時刻を入れるには

PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをCLOCKにすると、タイムコードに実時刻が入ります。実時刻には本機の内蔵時計の時刻が反映されます。

- ◆ 内蔵時計の調整について詳しくは、「内蔵時計の日付と時刻を設定する」(25ページ)をご覧ください。

ユーザービットを設定する

ユーザービットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻、シーン番号)などの情報をタイムコードトラックに記録することができます。

- DISP SEL/EXPANDボタンを押して、LCDモニターをステータス表示に切り換える。
- DISPLAYスイッチをU-BITにする。
- F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。ユーザービットの最上桁が点滅します。

- 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。
数値を00 00 00 00にリセットするには、RESET/RETURNボタンを押します。
- 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを希望のタイムコードの歩進モードに応じてF-RUNまたはR-RUNにする。

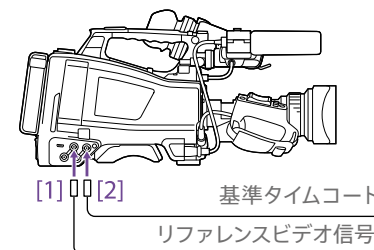
ユーザービットのメモリー機能について

ユーザービットの設定内容(実時刻以外)は自動的にメモリーに記憶され、電源を切った後も保持されます。

タイムコードを外部ロックさせる

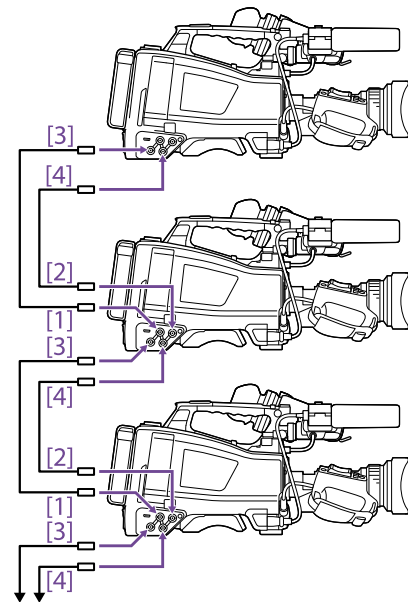
本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部VTRのタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

- 次図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続する。
例1: 外部の信号にロックさせる場合



- [1] GENLOCK IN端子
- [2] TC IN端子

例2: 本機を複数台接続し、1台をリファレンスとする場合



次のカムコーダーへ

- [1] GENLOCK IN端子
- [2] TC IN端子
- [3] SYNC OUT端子
- [4] TC OUT端子

- 2 POWERスイッチをONにする。
- 3 PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- 4 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをF-RUNにする。
- 5 DISPLAYスイッチをTCにする。
- 6 SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ入力する。
これで内部タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

外部ロックを解除するには、外部タイムコードの入力を停止してから、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをR-RUNに設定します。

[ご注意]

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に表示されますが、シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のシステム周波数が一致しないと、正しくゲンロックできません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。

外部ロック時のユーザービットの設定

タイムコードの外部ロック時は、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

外部ロック中に、電源をバッテリーパックから外部電源に切り換えるときの注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを外してください。バッテリーパックを先に外したときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部のゲンロックについて

外部ロック中、カメラ部はGENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号によってゲンロックがかかります。

基本操作

ここでは、撮影・記録の基本操作手順を説明します。

実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、カメラシステムが正常に機能することを確認してください。

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける(22ページ)。
- 2 SxSメモリーカードを入れる(30ページ)。
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 3 本機のPOWERスイッチ(3ページ)をONにする。
- 4 次の設定を行う。
マーカー表示：オン(103ページ)
アイリス：オート(42ページ)
ズーム：オート
カメラ出力：撮影中の映像(カメラ画)を選択し、DCC機能オン(7ページ)
タイムコードの歩進：F-RUN(フリーラン)またはR-RUN(レックラン) (46ページ)
オーディオ入力チャンネルの選択：オート(10ページ)
- 5 AUTO W/B BALスイッチをBLK側に押し、ブラックバランスを調整する(39ページ)。
- 6 照明条件に合わせてフィルターを選び、ホワイトバランスを調整する(39ページ)。
- 7 本機を被写体に向け、フォーカスとズームを調整する。

- 8 電子シャッターを使用する場合は、適切なシャッターモード/スピードに設定する(41ページ)。

- 9 次のいずれかの操作を行って記録を開始する。
 - REC STARTボタン(5ページ)を押す。
 - レンズのVTRボタンを押す。
 - Rec機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする(126ページ)。

記録中は、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が点灯します。必要に応じて、ズームとフォーカスを調整してください。

[ご注意]

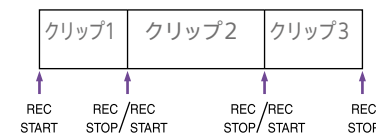
- 記録中は右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯、絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。もし取り外すと、記録処理が正常に終了しないため、記録中断直前の数秒間のデータが失われるおそれがあります。
- 記録中は、再生コントロールボタン(EJECT、F REV、F FWD、NEXT、PREV、PLAY/PAUSE、STOP)は動きません。

- 10 記録を停止するには、手順9のいずれかの操作を行う。
TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が消えます、本機は記録待機(Stby)状態になります。
手順9と10の間に記録した画像・音声と付随データが、1つのクリップとして記録されます。

記録内容を確認するには(レックレビュー)

記録待機中(Stby時)に、Rec Review機能が割り当てられたアサインブルスイッチを押すと、クリップの最終フレームの2秒前から1倍速で再生します。Rec Review機能が割り当てられたアサインブルスイッチを1秒以上押し続けると、クリップの最終フレームの2秒前から4倍速で逆再生を開始し、スイッチを離すとその位置から1倍速で再生します。クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、Stby状態に戻ります。レンズのRETボタンにRec Review機能が割り当てられている場合は、レンズのRETボタンを押してレックレビューすることもできます。

- 11 手順9と10を繰り返して、記録を繰り返す。
メモリーカード上に順次クリップが作成されます。



[ご注意]

- 記録を停止してから約1秒間は次の記録を再開できません。
- 1枚のメモリーカードに記録できるクリップ数は、最大600個です。クリップが600個記録されると、メモリーカードに空き容量があっても、記録できなくなります。
- 2秒以下のクリップを作成することはできません。たとえば記録を開始してから2秒以内に停止しても、2秒間は記録が継続します。また、記録開始後すぐに停止し、最初の記録から2秒以内に再び記録を開始すると、クリップが2つ作成されます。
- 複数のメモリーカードに渡って連続記録できる最長時間は24時間です。24時間に達すると記録は停止します。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、自動的に8文字のクリップ名(前半4文字の英数字+後半4桁の番号)が生成されます。

例：ABCD0001

クリップ名の前半部分(文字の英数字)は、メニューのOperation >Clip >Title Prefixで設定開始前に任意の文字列(4～46文字)にすることも可能です。(記録後に変更することはできません。)

クリップ名の後半部分(4桁の番号)は、記録順に自動的にカウントアップされます。

クリップを削除するには

Last Clip Delete機能(127ページ)を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。全クリップの削除、およびクリップを指定しての削除は、サムネイル画面(86ページ)で操作してください。

記録したクリップを再生する

- 1 再生するSxSメモリーカードを入れる(30ページ)。
- 2 PREVボタン(8ページ)またはF REVボタン(8ページ)を押して、再生したいクリップを頭出しする。

3 PLAY/PAUSEボタンを押す。
PLAY/PAUSEインジケータが点灯し、
ビューファインダー画面に再生画が表示され
ます。

シームレス再生

SxS PRO+、およびSxS PRO Xに記録した1つの
クリップが以下の状態の場合、クリップをまたい
でのシームレス再生が可能です。

- ビデオフォーマットがXAVC-I/XAVC-L
(QFHD/HD)でクリップ長が4秒以上
- ビデオフォーマットがMPEG HDでクリップ長
が2秒以上

[ご注意]

- SxS-1の場合は上記の約2倍のクリップ長が必要です。
- SDカードでのシームレス再生はできません。

再生の一時停止

PLAY/PAUSEボタンを押します。
一時停止中はPLAY/PAUSEインジケータが点
滅します。
もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生

F FWDボタン(8ページ) またはF REVボタン
(8ページ) を押します。
標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押
します。

再生の終了

STOPボタンを押す：再生が停止し、本機はE-E
モードになります。

THUMBNAILボタンを押す：再生が停止し、ビュー
ファインダー画面にサムネイル画面(86
ページ) が表示されます。

再生中に記録を開始したりSxSメモリーカードを
取り出した場合も、再生が停止し、ビューファイ
ンダー画面にカメラ画が表示されます。

メモリーカードの切り換え

メモリーカードを2枚装着しているときは、SLOT
SELECT ボタン(31ページ) を押して切り換え
ます。
再生中にメモリーカードを切り換えることはでき
ません。

応用操作

ショットマークを記録する

本機では、記録したクリップに対して、2種類のショットマークを任意の位置に記録できます。ショットマークを記録しておく、編集時にすばやく頭出しすることができます。1つのクリップに記録できるショットマークの最大数は999です。

- ◆ Thumbnailメニューを使用して、任意のクリップにショットマークを追加／削除することもできます。詳しくは、「クリップにエッセンスマークを付ける／削除する」(91ページ)をご覧ください。

ショットマークを記録するには、Shot Mark 1またはShot Mark 2機能が割り当てられたアサインダブルスイッチをオンにします。ショットマークが記録されると、ビューファインダー画面のタイムコード表示付近に「ShotMark1」または「ShotMark2」が約3秒間表示されます。

【ご注意】
メディアアダプター MEAD-SD02(別売)を使用してSxSスロットに挿入したSDカードには記録できません。

クリップフラグを設定する

編集時にクリップを選別する目安として、記録したクリップに対してクリップフラグを設定することができます。クリップフラグの設定は、Thumbnailメニューで行います。詳しくは、「クリップにクリップフラグを付ける」(90ページ)または「クリップフラグを削除する」(90ページ)をご覧ください。

【ご注意】
メディアアダプター MEAD-SD02(別売)を使用してSxSスロットに挿入したSDカードには記録できません。

数秒前の映像から記録する (ピクチャーキャッシュレック機能)

本機では、内蔵の大容量メモリーに、本機で撮影している映像／音声データを常時数秒間(最大15秒間)分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。本機能に対応するビデオフォーマットについては、「フォーマット別の特殊記録対応」(168ページ)をご覧ください。

ピクチャーキャッシュレックモードで記録を始めるには、あらかじめOperationメニューでピクチャーキャッシュレックモードおよびメモリーへの画像の蓄積時間(ピクチャーキャッシュレック時間)を選択しておく必要があります。記録を開始したときに、記録開始操作の実行から何秒前にさかのぼって記録できるかは、ピクチャーキャッシュレック時間によって決まります。次の**【ご注意】**に挙げるような特殊な場合は、さかのぼって記録できる時間が短くなる場合があります。

- 【ご注意】**
- メモリーへの画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレックモードを選択してから開始されます。したがって、選択後すぐに記録を開始した場合は、ピクチャーキャッシュレックモード選択以前に撮影した映像は記録されません。
 - 再生、レックレビュー、およびサムネイル表示を行って

いる間は、メモリーに画像を蓄えないため、再生やレックレビューを行っていた間の映像をさかのぼって記録することはできません。

ピクチャーキャッシュレック時間の設定

- 1 メニューのOperation > Rec Function > Picture Cache Recを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
- 3 メニューのOperation > Rec Function > Cache Rec Timeを選択する。
- 4 MENUつまみを回してピクチャーキャッシュレック時間を選択し、つまみを押す。選択値は記録フォーマット、およびシステム周波数の設定により変わります。付録の「ピクチャーキャッシュレックモード設定」(169ページ)をご覧ください。

一度選択したピクチャーキャッシュレックモードは、設定を変更するまで保持されます。手順1、2を行う代わりに、ピクチャーキャッシュレック機能を割り当てたアサインダブルスイッチを使用して(126ページ)ピクチャーキャッシュレックモードを選択することもできます。

- 【ご注意】**
- 一部の機能^①を除き、ピクチャーキャッシュレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
 - 一部の機能^②を除き、ピクチャーキャッシュレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、ピクチャーキャッシュレックは自動的に解除されます。
 - ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記

録されません。ピクチャーキャッシュレックモードは自動的に解除されます。

- 記録中にピクチャーキャッシュレック時間を設定することはできません。
- a) XAVC-L QFHDフォーマットが選択されている場合は、1スロット同時記録時にもピクチャーキャッシュレックが有効になります。

ピクチャーキャッシュレック撮影の開始

「基本操作」(48ページ)にしたがって、撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面のREC表示位置の●Cacheが●Recになります。通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプも点灯します。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

ピクチャーキャッシュレックモードの解除

記録待機中に、メニューのOperation > Rec Function > Picture Cache RecをOffに設定します。

ピクチャーキャッシュレックモードで記録する場合の本機の動作について

記録の手順は通常とほぼ同じですが、本機の動作には通常と異なる点がありますので、以下の点に充分ご注意ください。

- メディアへのアクセスが行われている間に記録を開始した場合、実際に記録される映像の開始点が、設定されたピクチャーキャッシュレック時間よりも遅くなる場合があります。記録ク

リップ数が多いほど遅くなるため、ピクチャーキャッシュレックモードでは、すばやい記録停止、記録開始操作はなるべく避けてください。

- F-RUN/SET/R-RUNスイッチの設定に関わらず、F-RUNモードになります。
- ピクチャーキャッシュレックモードでは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、いったんピクチャーキャッシュレックモードを解除してください。
- 現在選択されているスロット内のメディアの記録可能残量がピクチャーキャッシュレック時間よりも少ない場合は、選択されていないスロット内のメディア(十分な記録可能残量があれば)に対して記録が行われます。ただし、選択されていないスロット内にメディアがない場合や、スロット内のメディアの記録可能残量が不十分な場合は、記録は行われません。(ビューファインダー画面に、メディア残量が不足している旨を知らせるメッセージが表示されます。)
- 記録開始操作前にショットマークを設定しても、ショットマークは記録されません。

記録中に本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、数秒間メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DCケーブルを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、メモリーに蓄積されている映像／音声データが消滅するため、その瞬間までの映像は記録されません。バッテリー

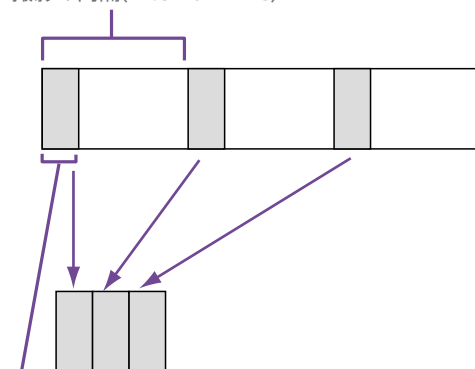
交換の際は、充分ご注意ください。

間欠的に映像を記録する(インターバルレック機能)

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。記録を開始すると、設定したフレーム数(Number of Frames)分の映像を、任意のインターバル(Interval Time)で自動記録できます。本機能は、下記のビデオフォーマット(35ページ)に設定されている場合に有効です。

XAVC-I
XAVC-L
MPEG HD 422

撮影の間隔(Interval Time)



1回に記録する画像フレーム数
(Number of Frames)

インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトを自動的に点灯させ、光

量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます(プリライティング機能)。

[ご注意]

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- 記録中にインターバルレックの設定を変更することはできません。

インターバルレックの設定

- 1 メニューのOperation > Rec Function > Interval Recを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
インターバルレックモードになり、ビューファインダー画面のREC表示位置に「Int Stby」が表示されます。(HDVFシリーズビューファインダー内のグリーンタリールランプも点滅します。)
- 3 Number of Framesを選択し、MENUつまみを回して1回に記録する希望のフレーム数を選択し、つまみを押す。
フォーマットが50P、59.94Pの場合、2/6/12から選択できます。
フォーマットが23.98P、25P、29.97P、50i、59.94iの場合、1/3/6/9から選択できます。
- 4 Interval Timeを選択し、MENUつまみを回して希望の録画間隔(インターバル)を選択し、つまみを押す。
1～10/15/20/30/40/50 sec、1～10/15/20/30/40/50 min、1～

4/6/12/24 hourから選択できます。

- 5 必要に応じてPre-Lightingを選択し、MENUつまみを回して記録開始前のビデオライト点灯時間を選択し、つまみを押す。
2/5/10 sec、またはOff(点灯しない)から選択できます。

[ご注意]

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、本機のLIGHTスイッチをAUTOに設定してください。ビデオライトのスイッチもオンしておく必要があります。このときビデオライトが自動点灯/消灯します。ただし、消灯時間が5秒以下の場合、ビデオライトは連続して点灯します。
- LIGHTスイッチをMANUALに設定し、ビデオライトのスイッチをオンにすると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、Number of Frames、Interval Time、Pre-Lightingの設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

インターバルレック撮影の開始

「基本操作」(48ページ)にしたがって、記録のための設定や準備を行った後、本機が動かないように固定して撮影を行います。

インターバルレックモードをOnにすると、ビューファインダー画面のREC位置に「Int Stby」が表示されます。記録を開始すると「●Int Rec」と「●Int Stby」が交互に表示されます。通常の記録時と同様に、TALLYランプとビューファインダー前面のタリーランプが点灯します。(HDVFシリーズビューファインダー内のグリーンタリーランプが高速で点滅します。) プライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードの解除

次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOFFにする。
- 記録待機中に、メニューのOperation >Rec Function >Interval RecをOffに設定する。

【ご注意】

本機を再起動すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。

記録中の動作制限

- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定に関わらず、R-RUNモードになります。
- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット(最大10秒)が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

スロー&クイックモーション撮影する

記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

【ご注意】

XAVCの記録フォーマットで撮影を行う場合、SxSメモリーカードは、SxS PRO X、またはSxS PRO+を使用してください。

記録フォーマット	システム周波数	S&Qフレームレート
XAVC-I 3840P	59.94P/50P/ 29.97P/23.98P/25P	1FPS ~ 60FPS (1FPS単位)
XAVC-L200 3840P		
XAVC-I 1080P		1FPS ~ 60FPS (1FPS単位)
XAVC-L 50 1080P		および72/75/ 90/96/100/ 120FPS
XAVC-L 35 1080P		
HD422 50 1080P ^{a)}	29.97P 23.98P 25P	1FPS ~ 30FPS (1FPS単位) 1FPS ~ 25FPS (1FPS単位)

a) exFAT、およびUDFのファイルシステムに対応しています。これ以外の記録フォーマットではexFATにのみ対応しています。

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生したり高速再生するよりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

スロー&クイックモーションの設定

- 1 メニューのOperation >Rec Function >Slow & Quick Motionを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
スロー&クイックモーションになり、ビューファインダー画面の記録動作状態表示部に「S&Q Stby」が表示されます。
あらかじめ、フレームレートが60FPSより上

に設定されている場合は「HFR Stby」表示になります。

次にフレームレートを設定します。

- 3 メニューのOperation >Rec Function >Slow & Quick Motion >Frame Rateを選択する。
- 4 MENUつまみを回してフレームレートを選択し、つまみを押す。

設定完了後、ビューファインダー画面上部にシステム周波数とフレームレートが表示されます。この表示を見ながら、MENUつまみでフレームレートを変更することもできます。

本機の電源を切ってもスロー&クイックモーションモードとフレームレートの設定は保持されます。

【ご注意】

- スロー&クイックモーションなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- スロー&クイックモーション使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、スロー&クイックモーションは自動的に解除されます。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションを設定できません。
- スローシャッター設定時は、スロー&クイックモーションを設定できません。
- 72FPS以上の設定では、画角が通常画面サイズの半分になります。

スロー&クイックモーション撮影の開始

「基本操作」(48ページ)に従って撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の

「S&Q Stby」表示が「●S&Q Rec」になります。あらかじめ、フレームレートが60FPS以上に設定されている場合は「●HFR Rec」表示になります。通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプも点灯します。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

【ご注意】

フレームレートを小さい値(遅いフレームレート)に設定すると、記録停止操作を行ってから記録を停止するまでの時間が長くなります。

スロー&クイックモーションモードの解除

記録待機中に、メニューのOperation >Rec Function >Slow & QuickをOffに設定します。

記録中の動作制限

- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定に関わらず、R-RUNモードになります。
- 再生フレームレートと異なる記録フレームレートを選択した場合、音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- 記録フレームレートを現在のシャッタースピードの設定値より速い値に変更すると、シャッタースピードは撮影可能な最も遅い値に変更されます。
例：フレームレート32でシャッタースピード1/40のときに、フレームレートを55に変更するとシャッタースピードは1/60に変更される。また、記録フレームレートより遅いシャッタースピードを選択することはできません。
- ゲンロックはかかりません。

クリップコンティニューアスレック機能を使って撮影する

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニューアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。本機能は、下記のビデオフォーマット(35ページ)に設定されている場合に有効です。

XAVC-I(XAVC-I 3840×2160Pを除く)

XAVC-L(XAVC-L 3840×2160P、XAVC-L 200 2160Pを除く)

MPEG HD 422

クリップコンティニューアスレックの設定

- 1 メニューのOperation >Rec Function >Clip Continuous Recを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
本機はコンティニューアスレックモードになり、ビューファインダー画面で「Cont Stby」の表示が点滅します。
記録を停止すると点灯に変わります。

【ご注意】

- クリップコンティニューアスレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用することはできません。
- クリップコンティニューアスレック使用中に他の特殊記録

機能を有効にすると、クリップコンティニューアスレックは自動的に解除されます。

ASSIGN. 1/2/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとONLINEボタンにクリップコンティニューアスレック機能のオン/オフを割り当てることもできます。

- ◆ 詳しくは、「アサインブルスイッチに機能を割り当てる」(126ページ)をご覧ください。

クリップコンティニューアスレック撮影の開始

「基本操作」(48ページ)に従って撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Cont Stby」表示が「●Cont Rec」表示に変わります。通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプも点灯します。

【ご注意】

記録中または記録待機中(「Cont Stby」表示が点灯した状態)で、メディアを取り出したりバッテリーや電源を抜くと、メディアの修復が必要になります。本機以外の機器を使ってメディアを修復することはできません。クリップコンティニューアスレックモードを終了してからメディアを取り出してください(53ページ)。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

【ご注意】

最低2秒間記録してから記録を停止してください。

クリップコンティニューアスレックモードの解除

記録待機中に、メニューのOperation >Rec Function >Clip Continuous RecをOffに設定します。

記録中または記録待機中の動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。(次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。)

- クリップ操作(クリップのロック、削除、または名前の変更)
- スロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- POWERスイッチオフ
- 再生
- サムネイル画面への切り換え

2枚のSxSメモリーカードに同時に映像を記録する(2スロット同時記録機能)

ビデオフォーマット(35ページ)が下表のいずれかに設定されているときは、同じ映像を2枚のSxSメモリーカードに記録することができます。撮影を行いながら映像のバックアップを取る場合などに使用する機能です。

【ご注意】

- SxSメモリーカードは、使用前に両方のカードを本機でフォーマット(初期化)することを推奨します。
- ファイルシステムがUDFのときには、同時記録はできません。
- SDカードは使用できません。

メニューの Operation >Format >Rec Format	メニューのOperation >Format >Frequency
XAVC-I 1920× 1080P	59.94/59/29.97/25/23.98

メニューの Operation >Format >Rec Format	メニューのOperation >Format >Frequency
XAVC-I 1920×1080i	59.94/50
XAVC-L 50 1920×1080P	59.94/50/29.97/25/23.98
XAVC-L 50 1920×1080i	59.94/50
XAVC-L 35 1080P	59.94/50/29.97/25/23.98
XAVC-L 35 1080i	59.94/50
XAVC-L 25 1080i	59.94/50
HD 422 50 1080P	29.97/25/23.98
HD 422 50 1080i	59.94/50
HD 422 50 720P	59.94/50/29.97/25/23.98
HQ 1920×1080P	29.97/25/23.98
HQ 1920×1080i	59.94/50
HQ 1440×1080i	59.94/50
HQ 1280×720P	59.94/50

2スロット同時記録機能の設定

1 メニューのOperation >Rec Function >Simul Recを選択する。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

- 2スロット同時記録機能などの特殊記録機能を複数同時に使用することはできません。
- 2スロット同時記録機能使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、2スロット同時記録機能は自動的に解除されます。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、2スロット同時記録機能を設定できません。

2スロット同時記録撮影の開始

1 カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードを装着する。
SxSスロットAおよびBのACCESSランプが点灯します。またビューファインダー画面にSxSスロットAおよびBのアイコンが表示されます(20ページ)。

2 「基本操作」(48ページ)に従って撮影を行う。

[ご注意]

- どちらかのメディアに不良があったり、書き込み禁止になっていたりする場合は、同時記録を行うことはできません。
- 同時記録中に、どちらか一方のメディアがフルになった場合や、エラーが発生して記録を継続できなくなったときは、そのメディアへの記録は中止されますが、残りのメディアへの記録は継続されます。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

2スロット同時記録の機能の解除

記録待機中に、メニューのOperation >Rec Function >Simul RecをOffに設定します。

1枚のSxSメモリーカードに4KサイズとHDサイズのクリップを同時に記録する(1スロット同時記録)

1枚のSxSメモリーカードにファイルサイズの大きな4K QFHD映像をメインクリップ、および事前編集などに活用できるサイズの小さなHD映像をサブクリップとして、同時に記録する機能です。1スロット同時記録に使用できるSxSメモリーカードの記録フォーマットは、4K QFHD(XAVC-I QFHDまたはXAVC-L QFHD)です。サブクリップの画サイズ/記録フォーマットはシステム周波数に異なります。

メインクリップ記録フォーマット	システム周波数	サブクリップ記録フォーマット
• XAVC-I 3840×2160P	29.97、25、	MPEG HD422 1920×1080P、XAVC-L50 1920x1080P
• XAVC L200 2160P	23.98	
• XAVC-L 3840×2160P	59.94、50	MPEG HD422 1920×1080i、XAVC-L50 1920x1080P

[ご注意]

- 1スロット同時記録にSDカードは使用できません。
- 1スロット同時記録時のサブクリップにはHLGメタデータは付加されません。

1スロット同時記録機能の設定

1 メニューのOperation >Rec Function >4K & HD (Sub) Recを選択する。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

- 一部の機能^{a)}を除き、1スロット同時記録機能などの特殊記録機能を複数同時に使用することはできません。
 - 一部の機能^{a)}を除き、1スロット同時記録機能使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、1スロット同時記録機能は自動的に解除されます。
 - 記録中、再生中、サムネイル表示中は、1スロット同時記録機能を設定できません。
- a) XAVC-L QFHDフォーマットが選択されている場合は、1スロット同時記録時にもピクチャーキャッシュレックが有効になります。

3 HD (Sub) Rec Formatを選択し、サブクリップ記録フォーマットを決定する。

1スロット同時記録機能の開始

「基本操作」(48ページ)に従って撮影を行います。撮影中は、ビューファインダー画面の記録フォーマット(コーデック)の右横に「/Sub」と表示されます(18ページ)。撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

1スロット同時記録機能の解除

記録待機中に、メニューのOperation >Rec Function >4K & HD (Sub) RecをOffに設定します。

サブクリップ記録フォーマットの再生

1 メニューのOperation >Input/Output >Output Format >HD 1920x1080を選択する。

2 メニューのOperation >Rec Function >HD (Sub) Playback Mode >Onを選択する。

3 PLAYボタンを押して再生する。
このとき、再生できるクリップは、サブクリップのみです。メインクリップである4K QFHDのクリップはスキップされます。
サブクリップの選択はサムネイル画面でも可能です。

[ご注意]

- 1スロット同時記録機能がOffのときにはサブクリップの再生はできません。
- サムネイル画面でのThumbnailメニューのクリップ操作(86ページ)は、メインクリップが操作対象になります。サブクリップの操作はできません。サブクリップを操作する場合は、下記の「サブクリップをメインクリップとしてコピー保存する」を参考にして、メインクリップとしてコピーしてから行ってください。

3 メニューのThumbnail >Copy Sub Clip >All Clipsを選択する。

[ご注意]

サブクリップを個別に選択することはできません。

4 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。

5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのサブクリップがメインクリップとしてコピー保存され、完了メッセージが表示されます。

6 MENUつまみを押してメッセージを消す。

サブクリップをメインクリップとしてコピー保存する

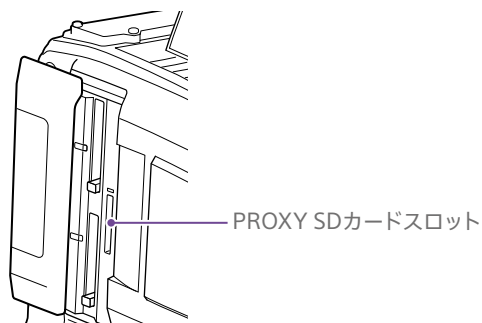
1スロット同時記録で作成したサブクリップを、別のメディアにメインクリップとしてコピー保存することができます。

1 1スロット同時記録で作成したサブクリップが記録されているメディアをカードスロットに装着する。

2 もう一方のカードスロットにメディアを装着する。

プロキシデータ

プロキシデータは、低解像度の映像データ(H.264)と音声データ(AAC-LC)で構成されています。オリジナルデータの代わりに、高速転送が可能なプロキシデータを利用することにより、編集、閲覧作業を効率化することができます。プロキシデータはクリップの記録時にPROXY SDカードスロットに挿入したSDカードに記録されます。



SDカードに記録されたプロキシデータをコンピューターに読み込んで、迅速に撮影内容を確認したり、短時間でオフライン編集を行うことができます。プロキシデータの記録はSxSメモリーカードと同期して行うだけでなく、SxSメモリーカードへの記録とは別に、単独で記録を実行することができます。

本機でのプロキシ記録について

- 同期記録時はSxSメモリーカードが挿入されていないと、プロキシ側の記録は開始されません。
- 本機の電源を入れてから約30秒後、LCDモニ

ター/ビューファインダー画面に [Proxy] (Proxy SDスロットメディア状態表示) が点灯し、プロキシ記録ができるようになります。

[Proxy] が点滅中、または消灯中に撮影を開始した場合、プロキシファイルは記録されません。

- SDカードを本機から抜くときは、必ずPROXY SDカードスロットのACCESSランプが消灯していることを確認してから、本機の電源を切るか、またはプロキシ記録/ワイヤレスLAN接続機能をオフにしてください。プロキシ記録/ワイヤレスLAN接続機能をOFFにするにはセットアップメニューで次の設定を行ってください。
 - Operation >XAVC Proxy Rec Mode >SettingをOff
 - Maintenance >Network >SettingをOff
- プロキシ記録、またはワイヤレスLAN接続機能を有効にしている状態でSDカードの抜き差しを行うと、まれに警告表示(E91-1C0)が表示される場合があります。記録中にこの警告が表示された場合、SxSメモリーカードへの記録は正常に行われますが、プロキシファイルは記録されませんのでご注意ください。この警告表示は本機の電源をオフ/オンするとクリアされます。
- ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション記録およびストリーミングを有効にすると、プロキシ記録は開始されません。
- SDI出力フォーマットが3840×2160Piに設定されているとプロキシ記録は行えません。

SDカードについて

プロキシデータ記録用に使用可能なSDカード

- SDHCメモリーカード^{*}(Speed Class : 4以上/UHS非対応/容量 : 4 ~ 32 GB)
- SDXCメモリーカード^{*}(Speed Class : 4以上/UHS非対応/容量 : 64 ~ 256 GB)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードのフォーマット(初期化)

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

- 1 メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >Settingを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。
- 3 メニューのOperation >Format Media >SD Card(Proxy)を選択する。
- 4 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

- 5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUつまみを押してメッセージを消します。

[ご注意]

SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量の確認

Media Status画面(15ページ)でSDカードの残量を確認することができます。

本機でフォーマットしたSDカードを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

プロキシデータを記録する

プロキシデータを同時記録するには

SxSメモリーカードと同期してSDカードにプロキシデータを記録することができます。

- 1 メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >Settingを選択する。
- 2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

3 プロキシデータ記録用SDカードをPROXY SDカードスロットに挿入する。

4 撮影を開始する。
SxSメモリーカードにオリジナルデータが記録されると同時に、プロキシデータファイルがSDカードの「/PRIVATE/PXROOT/Clip」ディレクトリーに保存されます。
撮影を終了すると、プロキシデータの記録も自動的に終了します。

[ご注意]

SDI出力フォーマットを3840×2160Pの設定で使用しているときにプロキシ同時記録を行うと、SDI出力フォーマットの設定は自動的に1920×1080P(Level-B)に切り換わりません。

プロキシデータをオリジナルデータとは別に単独で記録するには

アサインブルスイッチにXAVC Proxy Rec Start機能を割り当てることにより、SxSメモリーカードとは連動せずに、単独でSDカードにプロキシデータを記録することができます。

[ご注意]

- プロキシデータ単独記録動作中にプロキシ同時記録開始操作された場合は、記録中のプロキシデータは途切れずにそのまま記録が継続されます。その後、同時記録終了操作が行われたときに、プロキシデータの記録が止まります。
- プロキシ同時記録中はプロキシ単独記録の終了操作は受け付けません。

プロキシ記録の制限事項

以下の状態のときは、プロキシ記録はできません。

- ストリーミング中(メニューのMaintenance >Streaming >SettingがOnのとき)

- Interval Rec中(メニューのOperation >Rec Function >Interval RecがOnのとき)
- Picture Cache Rec中(メニューのOperation >Rec Function >Picture Cache RecがOnのとき)
- Slow & Quick Motion中(メニューのOperation >Rec Function >Slow & Quick MotionがOnのとき)
- ネットワーククライアントモード(メニューのMaintenance >Network Client Mode >SettingがOnのとき)。かつ、メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3 >NCM with ProxyがDisableのとき。
- メニューのOperation >Format >Frequencyが23.98P、かつOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SizeがHD Auto(9Mbps)、またはHD Auto(6Mbps)のとき
- 外部機器接続端子に電源を供給中(メニューのOperation >USBを操作中)

記録されるファイルについて

- 拡張子は「.mp4」となります。
- タイムコードも同時に記録されます。
- 先頭フレームの静止画も同時に記録されます。
- GPS機能が有効な場合に、測位した情報、およびLogファイルが同時に記録されます。Logファイルは「Root/PRIVATE/SONY/GPS」に保存されます。

プロキシデータの記録設定の解除

メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SettingをOffに設定します。

SDカードの空き容量が不足しているときは

空き容量の不足を知らせる警告が表示されます。

プロキシ記録時の設定変更

メニューのOperation >XAVC Proxy Rec ModeのSize、Audio Channelでそれぞれ、プロキシ記録フォーマットのサイズ、プロキシに記録するオーディオチャンネルの設定を変更することができます。

[ご注意]

メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SizeをHD Auto(9Mbps)またはHD Auto(6Mbps)にして、システム周波数を29.97、25、23.98のいずれかにした場合は、記録ビデオフォーマットの画サイズが1280×720であっても、プロキシデータの画サイズは、1920×1080になります。

プロキシ記録の設定確認

メニューのOperation >XAVC Proxy Rec ModeのFrame Rate、Bit Rateでそれぞれ、映像フレームレート、映像ビットレートの設定を確認することができます。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影を行うことができます。

プランニングメタデータは「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用して送受信することができます。

[ご注意]

- クリップ名やショットマーク名の定義には、メニューの Maintenance > Language で設定した言語のフォントセットを使用してください。本機の言語設定と異なる言語を使用すると、文字が正常に表示されない場合があります。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。LCDモニター（ステータス表示時）には、アルファベット、数字、記号のみ表示できます。

クリップ記録時にプランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み込む

1 事前にSxSメモリーカードにプランニングメタデータファイルを保存する。

プランニングメタデータファイルは「General/Sony/Planning」のディレクトリーに保存されています。

2 SxSメモリーカードをスロットAまたはBに挿入する。

3 メニューの Operation > Planning Metadata > Load Media(A)または Load Media(B)を選択する。

ファイルリスト画面が表示されます。

リストには最大64個のプランニングメタデータファイルが表示されます。

4 MENUつまみを回してファイルリストから読み込みたいファイルを選択し、つまみを押す。

5 MENUつまみを回してLoadを選択し、つまみを押してから、Executeを選択して、つまみを押す。

[ご注意]

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02を使用してSDXCカードからプランニングメタデータファイルを読み込みます。ただし、SDHC/SDカードからの読み込みはできません。

読み込んだプランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

1 メニューの Operation > Planning Metadata > Propertiesを選択する。

2 MENUつまみを回してExecuteを選択して、つまみを押す。
プランニングメタデータの詳細情報が表示されます。

項目	情報
File Name	ファイル名
Assign ID	アサインID
Created	ファイルの生成日時
Modified	ファイルの最終更新日時
Modified by	ファイルの更新者
Title	ファイルで指定されたTitle1の内容(ASCII形式のクリップ名)
Title2	ファイルで指定されたTitle2の内容(UTF-8形式のクリップ名)
Material Group	マテリアルグループ ^{a)} の数
Shot Mark0 ~ Shot Mark9	ファイルで定義されたショットマーク0 ~ ショットマーク9の名前

a) マテリアルグループ: 同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群

MENUつまみを回してリストをスクロールすることができます。

読み込んだプランニングメタデータを消去する

1 メニューの Operation > Planning Metadata > Clear Memoryを選択する。

2 MENUつまみを回してExecuteを選択して、つまみを押す。
消去が始まります。
消去が完了すると、「Clear Planning Metadata File done」が表示されます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面に表示されるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

メニューの Operation > Planning Metadata > Clip Name Disp でどちらのクリップ名を表示するか選択することができます。
プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、クリップ名が表示されます。

[ご注意]

プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定に関わらず定義されているクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。「Typhoon」はASCII形式(44文字以下)で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式(44バイト以下)で記述しています。

「sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xml_spversion="1.0"_spencoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata_spxmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"_spassignId="
P0001"_spcreationDate="
2019-10-06T17:00:00+09:00"_sp
lastUpdate="
2019-10-06T17:00:00+09:00"_sp
version="1.00">←
  <Properties_sppropertyId="
assignment"_spupdate="
2019-10-06T17:00:00+09:00"_sp
modifiedBy="Chris">←
    <Title_spusAscii="Typhoon"_sp
xml:lang="ja">台風東京上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

[ご注意]

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースを入れずに1つの文として記述してください。
- 以下の文字はクリップ名に使用できません。使用すると“_”に変換されます。
“ * / : < > ? \ | ”
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト(または44文字)です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

クリップ名の設定

1 クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルの本機のメモリーに読み込む(107ページ)。

2 メニューのOperation >Clip >Clip NamingをPlanに設定する。記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー (_) と5桁の通し番号(00001 ~ 99999) が付加された形式で自動生成されます。
例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、...

通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。

[ご注意]

他のプランニングメタデータを読み込んでも、通し番号は継続します。通し番号の変更は、メニューのOperation >Clip >Number Setで行ってください。

クリップ名の表示形式の選択

ASCII形式とUTF-8形式の両方の名前を定義しているときは、どちらの形式の名前をLCDモニター画面またはビューファインダー画面に表示するかを、メニューのOperation >Planning Metadata >Clip Name Dispで選択することができます。

ASCII形式の名前を表示するときは：

Title1(ASCII)を選択します。

クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となりますが、画面には「Typhoon_通し番号」が表示されます。

UTF-8形式の名前を表示するときは：

Title2(UTF-8)を選択します。

クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となり、画面に表示されます。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

プランニングメタデータでショットマークを設定する場合、Shot Mark0 ~ Shot Mark9の名前を設定することができます。

ショットマークを記録するときに、プランニングメタデータで定義したショットマーク名文字列を付けて記録することができます。

[ご注意]

ショットマーク1、2のみ本機の操作で記録できます。

ショットマーク名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式(32文字以下)、またはUTF-8形式(16文字以下)で記述します。

「sp」はスペース、←は改行を表します。

[ご注意]

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xml_spversion="1.0"_spencoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"_spassignId="
```

```
H00123"_spcreationDate="
2019-10-27T08:00:00Z"_splastUpdate="
2019-10-27T15:00:00Z"_spversion="
"1.00">←
<Properties_sppropertyId="
"assignment"_spclass="original"_sp
update="2019-10-27T15:00:00Z"_sp
modifiedBy="Chris">←
  <Title_spusAscii="Football
Game"_spxml:lang="ja">
Football Game 27/10/2019</
Title>←
    <Meta_spname="_ShotMark1"_sp
content="Goal"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark2"_sp
content="Shoot"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark3"_sp
content="Corner Kick"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark4"_sp
content="Free Kick"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark5"_sp
content="Goal Kick"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark6"_sp
content="Foul"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark7"_sp
content="PK"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark8"_sp
content="1st Half"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark9"_sp
content="2nd Half"/>←
    <Meta_spname="_ShotMark0"_sp
content="Kick Off"/>←
  </Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

[ご注意]

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「sp」が表示されていない位置にスペースを入れずに1つの文として記述してください。

測位情報の取得(GPS)

測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が本機に記録されます。またSDI信号にもそれらの情報が重畳されて出力されます。

工場出荷時、GPS機能はOffになっています。


GPS記録対応フォーマット

XAVC-IまたはXAVC-Lの記録フォーマットがGPS記録に対応しています。

また、対応フォーマット以外の設定されている場合でもSDI出力がオン(Operation >Input/Output >SDI Out1 OutputまたはSDI Out 2 OutputがOn) の場合は、SDI出力で測位情報を取得することができます。






【ご注意】

フォーマットがSD SDIのときは測位情報は出力されません。また、再生時も出力されません。

- 1 本機がスタンバイ状態であることを確認する。
- 2 メニューのOperation >GPSをOnに設定する。
ビューファインダー画面に  が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

GPS衛星からの電波の受信状況によって、画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星検索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- 電源を入れてから測位を始めるまで時間がかかることがあります。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

本機で使用できるネットワーク機能

本機は、さまざまなネットワーク機能に対応しています。ネットワークの接続および機能の概要と詳細説明の参照先を以下に示します。

ネットワークを使用するには、Basic Authentication > Passwordでパスワードを設定してください。

[ご注意]

- ネットワーク機能を初めて使用する場合や、ソフトウェアをバージョン2.0にアップデートした場合は、Basic Authentication > Passwordの設定は空欄になっています。
- パスワードを設定しないと、セットアップメニューのNetwork項目は選択できない状態(グレーアウト状態)になり、ネットワーク設定が行えません。

ネットワーク接続の概要

本機とデバイスをワイヤレスLANで接続する

USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3(付属)、またはワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)を使用して本機とスマートフォンやタブレットなどのデバイスをワイヤレスLAN接続します。

- ワイヤレス接続機器を選択する。
USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3(付属)を使用する場合⇒(63ページ)
ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)を使用する場合⇒(63ページ)

- ワイヤレスアクセスLANのアクセスモードを選択する。
本機をアクセスポイントにする(Wi-Fi Access Pointモード) ⇒(64ページ)
本機をクライアントにする(Wi-Fi Stationモード) ⇒(65ページ)

本機をLANケーブルでインターネットに接続する

本機のネットワーク端子を使用して、ルーター経由でインターネットに接続します。

- 本機とルーターをLANケーブルで接続する。
⇒(67ページ)

本機をワイヤレスLANでインターネットに接続する

USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3(付属)、ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)、またはモデム(別売) でインターネットに接続します。

[ご注意]

ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)、またはモデム(別売)での接続には、ネットワークアダプターキット CBK-NA1(別売)が必要です。

IFU-WLM3(付属)を使用する場合

- IFU-WLM3を本機に取り付ける。
⇒(63ページ)
- ワイヤレスLANのアクセスモードをWi-Fi Stationモードに設定して、インターネットに接続する。
⇒(69ページ)

CBK-WA02(別売)を使用する場合

- CBK-WA02を本機に取り付ける。
⇒(63ページ)
- ワイヤレスLANのアクセスモードをWi-Fi Stationモードに設定して、インターネットに接続する。
⇒(69ページ)

モデムを使用する場合

- CBK-NA1(別売)のUSB延長アダプターを取り付ける。
⇒(68ページ)
- モデムを接続する。
⇒(68ページ)

ネットワーク機能の概要

本機で記録したファイルをインターネット上のサーバーに転送する

SDカードに記録したプロキシファイルやSxSメモリーカードのオリジナルファイルを3G/4G/LTE回線やアクセスポイント、または有線LANルーター経由でインターネット上のサーバーに転送します。
⇒(71ページ)

映像・音声をストリーミング伝送する

カムコーダーで撮像・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送します。

本機のストリーミング設定の設定を使用してストリーミングを行う場合
⇒(75ページ)

ソニー製ネットワークRXステーション(別売)のConnection Control ManagerまたはXDCAM airを使用して高画質なストリーミングを行う場合
⇒(76ページ)

Wi-Fiリモコンを使用する

ワイヤレスLAN接続時、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。
⇒(78ページ)

Webメニューから設定する

ワイヤレスLAN接続したデバイスのブラウザーから本機にアクセスすると、本機のWebメニューが表示されます。
⇒(80ページ)

ネットワーク機能の対応状況と動作制限について

⇒(85ページ)

本機とデバイスのワイヤレスLAN接続

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3(付属) またはワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売) を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をワイヤレスLAN接続することができます。

ワイヤレスLAN接続されたデバイスと本機の間では、次の操作が可能です。

【ご注意】

IFU-WLM3またはCBK-WA02以外のUSBワイヤレスLANモジュール/アダプターは使用できません。

ワイヤレスLAN経由でのリモート操作

本機とワイヤレスLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。

ワイヤレスLAN経由でのファイル転送

本機のSDカードに記録されたプロキシファイル(低解像度)や本機で記録したオリジナルファイル(高解像度)を、ワイヤレスLAN経由でサーバーに転送することができます。

ワイヤレスLAN経由で映像をモニタリング

本機のカメラ映像や再生映像からストリーム(H.264)を作成し、ワイヤレスLAN経由でデバイスから「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってモニタリングすることができます。

「Content Browser Mobile」はデバイスの画面で本機をストリーミングしながらリモート操作をしたり、本機の設定をすることができるアプリケーションです。

また、プロキシデータのイン点/アウト点を指定し、切り出した部分を転送(72ページ)することもできます。

「Content Browser Mobile」アプリケーションは、最新のバージョンをご確認の上ご使用ください。

- ◆ 「Content Browser Mobile」アプリケーションについて詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

【ご注意】

- 本機のSDカードに記録されたプロキシファイル(低解像度)はワイヤレスLAN経由ではストリーミングできません。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイント、または端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなったり、接続できなくなることがあります。本機の場所を移動したり、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

対応デバイスについて

本機の設定や操作にはスマートフォン、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザは次のとおりです。

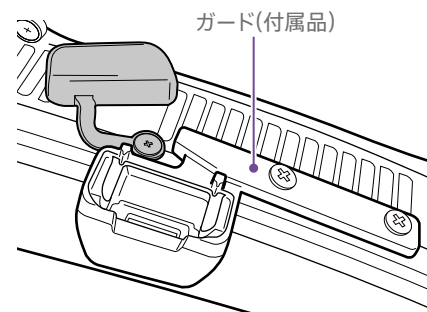
デバイス	OS	ブラウザ
スマートフォン	Android 9.0/10.0	Chrome
	iOS 13.x	Safari
タブレット	Android 9.0	Chrome
	iPadOS 13.x	Safari
コンピューター	Microsoft Windows 8.1/ Microsoft Windows 10	Chrome
	macOS 10.14/10.15	Safari

【ご注意】

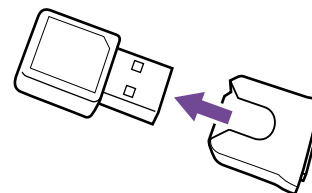
お使いの端末機器のOS、ブラウザのバージョンによっては再生できない場合があります。この場合は「Content Browser Mobile」を使用してください。

IFU-WLM3を取り付ける

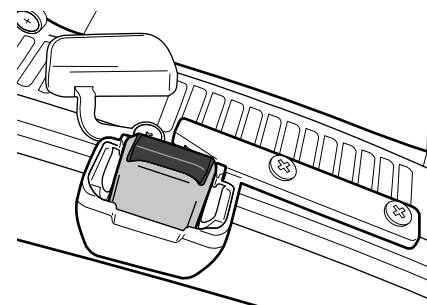
- 1 USBワイヤレスLANモジュール接続端子のカバーを開ける。



- 2 IFU-WLM3に保護キャップを取り付ける。



- 3 IFU-WLM3を端子に差し込む。



【ご注意】

IFU-WLM3の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

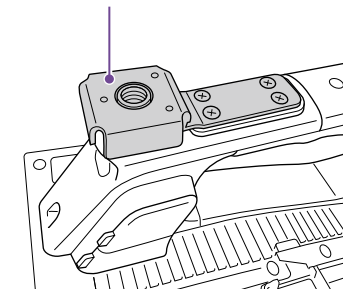
IFU-WLM3を使用しない場合

ネジ(2本)を外してガードを取り外し、端子カバーを閉じます。

CBK-WA02を取り付ける

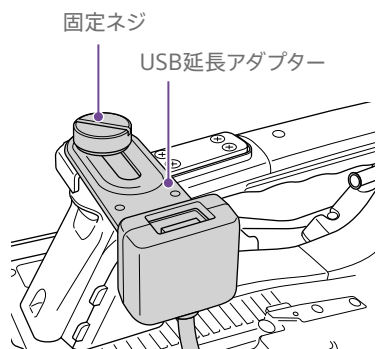
- 1 ハンドルの下図の位置にアタッチメント金具を取り付ける。アタッチメント金具(サービスパーツ番号: A-2092-367-)の取り付けは、サービス担当者にお問い合わせください。

アタッチメント金具

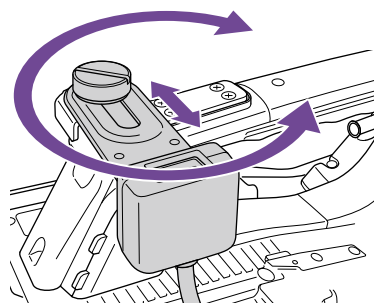


- 2 CBK-WA02(別売)に付属しているUSB延長アダプターをアタッチメント金具に取り付ける。

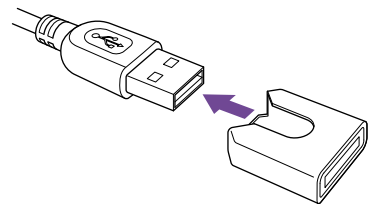
- 3 固定ネジを時計方向に回して、USB延長アダプターを固定する。



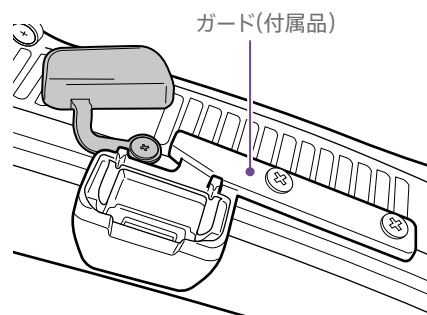
USB延長アダプターは、図に示す範囲で取り付け位置を調節することができます。



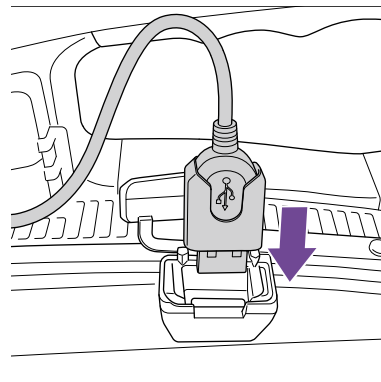
- 4 USB延長アダプターのUSB端子に保護キャップ(付属)を取り付ける。



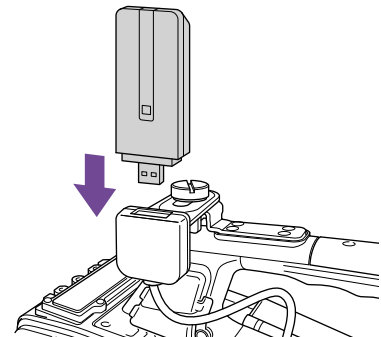
- 5 USBワイヤレスLANモジュール接続端子のカバーを開ける。



- 6 USB延長アダプターのUSB端子をUSBワイヤレスLANモジュール接続端子に差し込む。



- 7 CBK-WA02をUSB延長アダプターのUSB端子に差し込む。



- 8 メニューのMaintenance > Network > Channelで、ワイヤレスLANチャンネルを設定する(119ページ)。

- ◆ CBK-WA02の使いかたについて詳しくは、CBK-WA02に付属の取扱説明書をご覧ください。

[ご注意]

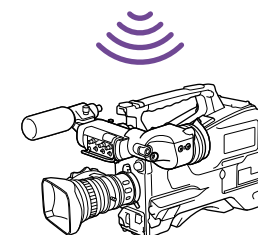
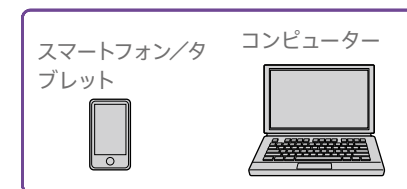
- CBK-WA02の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- CBK-WA02を装着して、メニューのMaintenance > Network > Wi-Fi ModeでWi-Fi Stationを選択すると、5GHz対応のアクセスポイントと接続できるようになります。
- Wi-Fi Access PointモードのCh設定のAuto(5GHz)は、ご使用のCBK-WA02によっては、メニューに表示されない場合があります。
- CBK-WA02を5GHz帯の屋外使用が禁止されている国/地域でご使用の場合、Auto(5GHz)はメニューに表示されません。CBK-WA02が、ご使用になる国/地域に対応しているかをご確認ください。詳しくは、CBK-WA02の取扱説明書をご覧ください。

CBK-WA02を使用しない場合

ネジ(2本)を外してガードを取り外し、端子カバーを閉じます。

ワイヤレスLANアクセスポイントモード(Wi-Fi Access Pointモード)で接続する

本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN接続します。

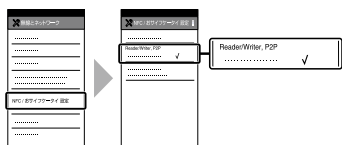


接続設定を開始する前に、「Content Browser Mobile」をお使いのデバイスにインストールしてください。

NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。

- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



- 2 本機の電源を入れ、メニューの Maintenance > Network > Setting を On にする。

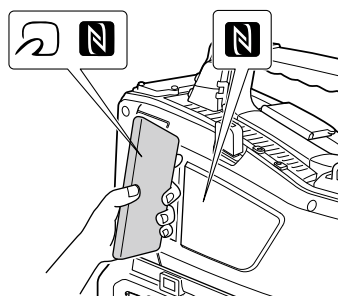
- 3 メニューの Maintenance > Network > Wi-Fi Mode を Wi-Fi Access Point にする。

- 4 NFC機能を有効にする。
メニューの Maintenance > Network > NFC を実行するか、NFC機能がアサインされたアサインブルスイッチを長押し(3秒間)して、NFC接続モードにしてください。
画面に **N** が表示されているときのみ NFC 機能を使用できます。

【ご注意】

画面に **N** が表示されるまでに時間がかかる(30秒から90秒)場合があります。ビューファインダー画面のワイヤレスネットワーク状態表示(19ページ)が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。

- 5 本機とデバイスをタッチする。
デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



【ご注意】

- 一部の **N** が付いているデバイスは NFC に対応していません。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。
- お使いのデバイスにすでに同一のSSIDが登録されている場合、デバイスのOSバージョンによっては、接続できないことがあります。この場合には、登録されているSSIDをデバイスから削除することにより、接続できます。

WPS機能搭載のデバイスで接続する場合

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 メニューの Maintenance > Network > Setting を On にする。
- 2 メニューの Maintenance > Network > Wi-Fi Mode を Wi-Fi Access Point にする。

【ご注意】

アクセスポイントモードになるまでに時間がかかる(30秒から90秒)場合があります。LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。

- 3 メニューの Maintenance > Network > WPS を選択する。

- 4 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

- 5 デバイスのNetwork設定/ Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 6 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択する。

【ご注意】

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する場合

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

- 1 メニューの Maintenance > Network > Setting を On にする。
- 2 メニューの Maintenance > Network > Wi-Fi Mode を Wi-Fi Access Point にする。

【ご注意】

アクセスポイントモードになるまでに時間がかかる(30秒から90秒)場合があります。LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)が「AP」点滅から「AP」点灯に変わるまでお待ちください。

- 3 デバイスのNetwork設定/ Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。
本機のSSIDおよびPasswordについては、メニューの Maintenance > Network

>SSID & Password(119ページ)でご確認ください。

【ご注意】

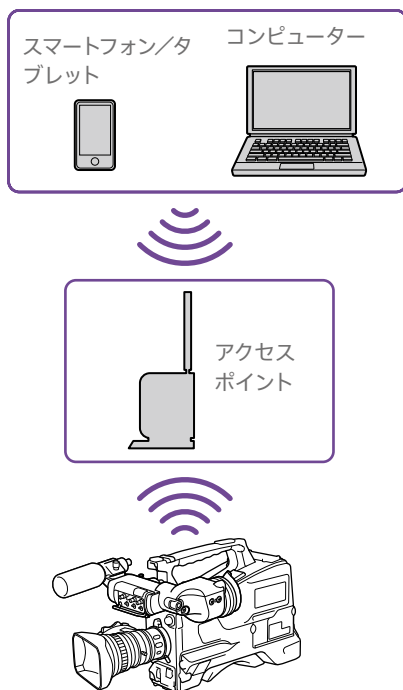
使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

ワイヤレスLANステーションモード(Wi-Fi Stationモード)で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。

デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。接続はセットアップメニューによる方法とWebメニューによる方法があります。ここではセットアップメニューのWPS機能を使用する方法で説明します。

Webメニューによる接続方法は「WPS機能を使用しないステーションモードでアクセスポイントに接続する」(82ページ)をご覧ください。
ネットワーク自動検出機能、または手動入力機能による接続方法は「セットアップメニューからアクセスポイントに接続する」(69ページ)をご覧ください。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 メニューのMaintenance >Network >SettingをOnにする。
- 4 メニューのMaintenance >Network >Wi-Fi ModeをWi-Fi Stationにする。

【ご注意】

ステーションモードになるまでに時間がかかる(30秒から1分)場合があります。LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)の電波強度アイコン表示が点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

- 5 メニューのMaintenance >Network >WPSを選択する。
- 6 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
- 7 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。
WPSボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
接続が完了すると、LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)の電波強度アイコン表示が強度1以上で点灯します。

【ご注意】

接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

- 8 デバイスをアクセスポイントに接続する。
接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

インターネット接続

本機は有線LAN、またはワイヤレスLANでインターネットに接続することができます。

有線の場合は、本機のネットワーク端子にLANケーブル(別売)を接続し、ルーター経由でインターネットに接続します。

ワイヤレスの場合は、USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3(付属)、ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)、またはモデム(別売)でインターネットに接続します。

ネットワーク接続に必要な機器

ワイヤレスLAN接続

次のいずれかの機器が必要です。

- USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3(付属)
- ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売) + ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)に同梱のUSB延長アダプター CBK-NA1E
- モデム(別売) + ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)に同梱のUSB延長アダプター CBK-NA1E

有線LAN接続

- LANケーブル(別売)

[ご注意]

- ワイヤレスLAN モジュールは国・地域によって利用できない場合があります。
- ワイヤレスLAN モジュールが使用する周波数帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。使用環境によっては、他の機器の影響によって、通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 3G/4G/LTE 回線を利用するには、携帯電話事業者との契約が必要です。
- 本機に対応しているネットワーク接続に必要な機器については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ネットワーク接続機能同時使用の制限について

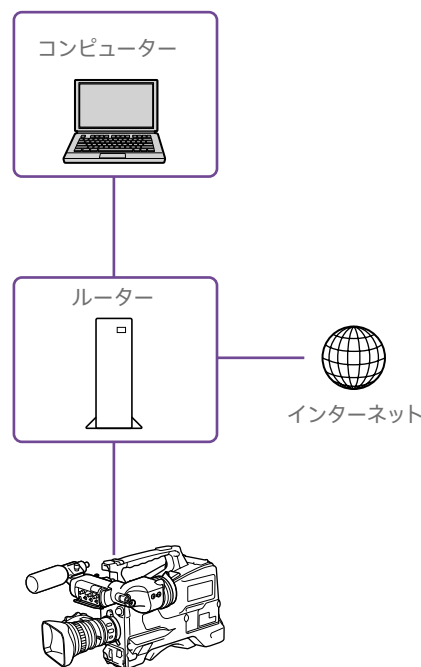
本機では複数の方法で、ワイヤレス、または有線LANでネットワークに接続することができます。ただし、それらの接続機能を同時使用については、一部動作に制限があります。詳しくは、「ネットワーク機能同時使用時の動作制限」(85ページ)をご覧ください。

LANケーブルを使用して接続する(有線LAN接続)

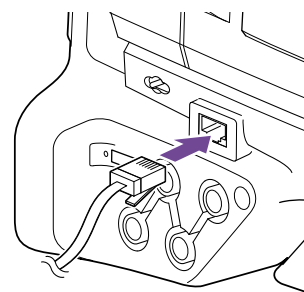
本機のネットワーク端子を使用して、ルーター経由で有線LAN接続によりインターネットに接続することができます。

[ご注意]

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。
- LANケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。



- 1 本機ネットワーク端子とルーターをLANケーブルで接続する。



- 2 メニューのMaintenance > Network > SettingをOnにする。

- 3 メニューのMaintenance > Network > Wired LANをEnableにする。自動的に本機にIPアドレスが割り当てられます。

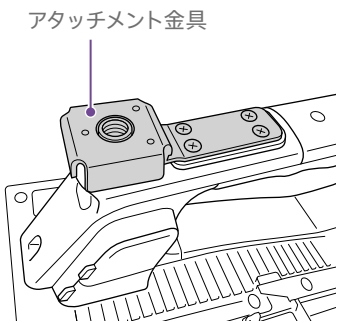
[ご注意]

- 有線LAN接続が有効になるまでに時間がかかる(30秒から1分)場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示(19ページ)のLANアイコンが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
- 本機に記録したオリジナルファイル/プロキシファイルの転送、Wi-Fiリモコンの使用、Webメニューの操作、および「Content Browser Mobile」アプリケーションでの映像モニタリングをするには、メニューのMaintenance > Network > Wired LAN RemoteをOnにしてください(120ページ)。
- インターネットからの不正アクセスを防ぐため、LANケーブルを使用したネットワークがインターネットに接続していないときにWired LAN RemoteをOnすることを推奨します。インターネットに接続する場合は、接続先がセキュアなネットワークであることをご確認の上、使用してください。
- USBワイヤレスLANモジュール接続端子にモデム(別売)を装着していた場合、有線LAN接続はできません。有線LAN接続する場合は、事前にモデム(別売)を取り外してから使用してください。
- Wi-Fi Stationモードでインターネットに接続の場合、有線LANがインターネットに接続していない場合は、エラーとなりインターネット経由の機能が動作しません。この場合はWired LAN > Disableにして、Wi-Fi Stationモードのみでインターネット接続してください。

モデムを使用してインターネットに接続するための準備

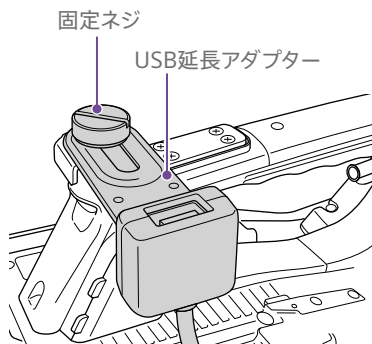
本機のUSBワイヤレスLANモジュール接続端子を使用して、3G/4G回線経由でインターネットに接続する場合は、準備として以下の方法で、ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)に同梱のUSB延長アダプター CBK-NA1Eを本機のUSBワイヤレスLANモジュール端子に取り付けます。

- 1 ハンドルの下図の位置にアタッチメント金具を取り付ける。
アタッチメント金具(サービスパーツ番号：A-2092-367-)の取り付けは、サービス担当者にお問い合わせください。

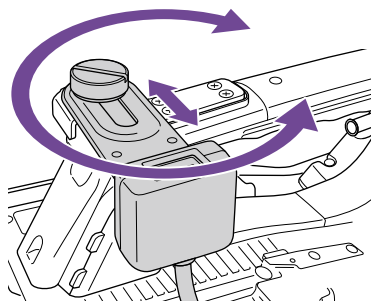


- 2 USB延長アダプターをアタッチメント金具に取り付ける。

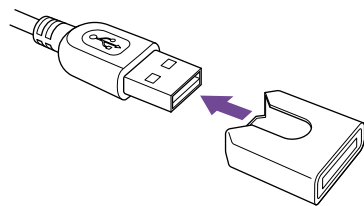
- 3 固定ネジを時計方向に回して、USB延長アダプターを固定する。



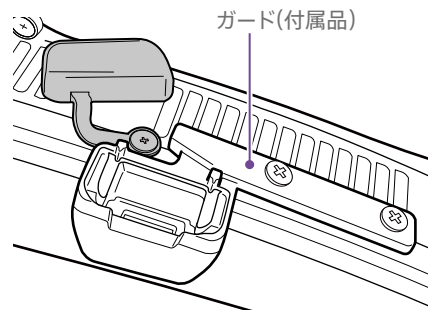
USB延長アダプターは、図に示す範囲で取り付け位置を調節することができます。



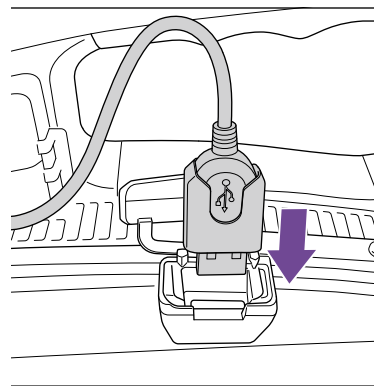
- 4 USB延長アダプターのUSB端子に保護キャップ(付属)を取り付ける。



- 5 USBワイヤレスLANモジュール接続端子のカバーを開ける。



- 6 USB延長アダプターのUSB端子をUSBワイヤレスLANモジュール接続端子に差し込む。



モデムを使用して接続する

ネットワークアダプターキットCBK-NA1(別売)経由でモデム(別売)を本機に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。



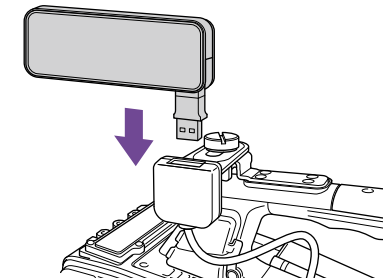
インターネット



CBK-NA1
+
モデム

接続する

- 1 USB延長アダプター CBK-NA1EのUSB端子にモデム(別売)を接続する。



◆ モデム側の接続方法は、モデムに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 2 メニューのMaintenance > Network > SettingをOnにする。

- 3 メニューのMaintenance > Network > ModemをOnにする。

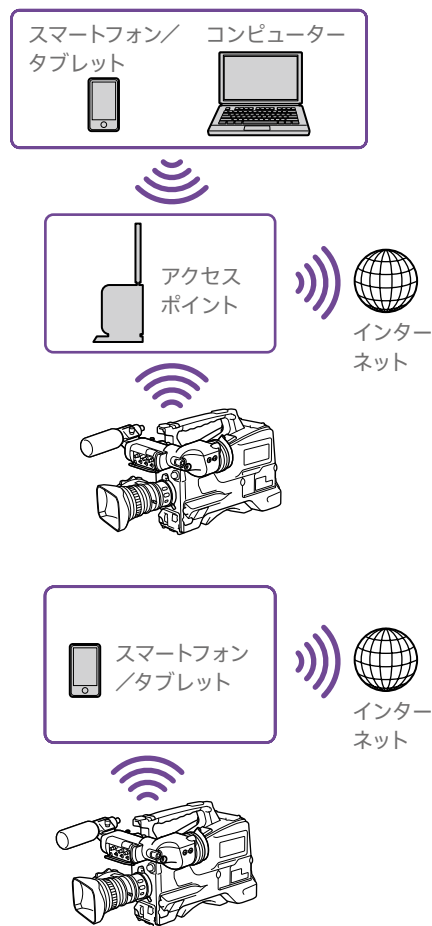
[ご注意]

- CBK-NA1およびモデムの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- モデムモードになるまでに時間がかかる(30秒から1分)場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク接続状態表示(19ページ)が「3G/4G」点滅から「3G/4G」点灯に変わるまでお待ちください。

ワイヤレスLANステーションモード(Wi-Fi Stationモード)で接続する

USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3(付属)、またはワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売)を本機に取り付け、3G/4G/LTE対応アクセスポイント(別売)またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fiステーションモードでインターネットに接続することができます。

取り付け方法は、「IFU-WLM3を取り付ける」(63ページ)、または「CBK-WA02を取り付ける」(63ページ)をご覧ください。



デバイスを使用して接続する

アクセスポイントまたはデバイスがWPS機能対応の場合は「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(66ページ)、WPS機能に対応していない場合は「WPS機能を使用しないステーションモードでアクセスポイントに接続する」

(82ページ)の手順で接続します。

接続の操作の前に、アクセスポイントまたはデバイスの電源を入れ、デバイスの場合はテザリング機能が使用できるようにしておいてください。

セットアップメニューからアクセスポイントに接続する

セットアップメニューからアクセスポイントに接続できます。

接続は、ネットワーク自動検出機能を使用するか、または手動入力で行います。

ネットワーク自動検出機能での接続

- 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(66ページ)の手順1～4を行う。
- 2 メニューのMaintenance > Network > Wi-Fi Station Detail SettingsのScan NetworksでExecuteを選択する。本機が接続先の検出を開始します。接続先を検出すると、Scan Networksの結果リストが表示されます。

[ご注意]

本機の電源を切る場合、リスト表示は閉じてください。

- 3 MENUつまみで接続先を選択し、つまみを押す。接続先を決定すると、Password入力画面に遷移します。

- 4 Password入力画面でPasswordを設定する。Passwordを設定後、Wi-Fi Station Detail Settings詳細設定画面に戻ります。なお、以前に接続したことがある接続先の情報が本機の履歴に残っていた場合、そのとき使用していたSSIDを選択すると、Wi-Fi Station Detail Settings詳細設定画面に戻ります。

- 5 Wi-Fi Station Detail Settings詳細設定画面で以下の接続設定を行う。

項目	内容
DHCP	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
IP Address	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効
Subnet mask	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効
Gateway	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効
DNS Auto	DNS自動取得設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
Primary DNS Server	アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効

項目	内容
Secondary DNS Server	アクセスポイントのセカンダリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効

6 設定入力完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。

[ご注意]

- 接続設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。
- ステーションモードになるまでに時間がかかる(30秒~1分)場合があります。LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)の電波強度アイコン表示が点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
- 接続したStation設定情報は履歴として保存されます。この履歴はALL Reset、Network Resetで消去されません。

手動入力での接続

1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(66ページ)の手順1~4を行う。

2 メニューのMaintenance > Network > Wi-Fi Station Detail Settingsで、以下の接続設定を行う。

項目	内容
SSID	接続先のアクセスポイントのSSIDを入力する。
Password	接続先のアクセスポイントのパスワードを入力する。 入力したパスワードは*で表示されるが、SHIFTキーを押している間は、入力した文字が表示される。

項目	内容
DHCP	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
IP Address	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効
Subnet mask	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効
Gateway	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効
DNS Auto	DNS自動取得設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
Primary DNS Server	アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効
Secondary DNS Server	アクセスポイントのセカンダリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効

強度アイコン表示が点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

3 設定入力完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。

[ご注意]

- 接続設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。
- ステーションモードになるまでに時間がかかる(30秒~1分)場合があります。LCDモニター画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示(19ページ)の電波

ファイルの転送

SDカードに記録したプロキシファイルやSxSメモリーカードのオリジナルファイルを3G/4G/LTE回線やアクセスポイント、または有線LANルーター経由で接続したインターネット上のサーバーへ転送することができます。


転送先を設定する

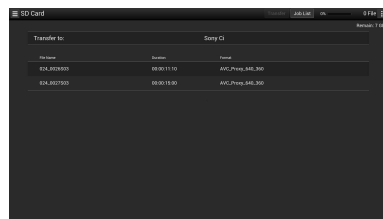
- 1 「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)、および「インターネット接続」(67ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。
- 2 あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておく。
サーバーの登録のしかたについては、「転送先のサーバーを登録するには」(84ページ)をご覧ください。

Webメニューでプロキシファイルを転送する

WebメニューでSDカードに記録したプロキシファイルをサーバーに転送します。

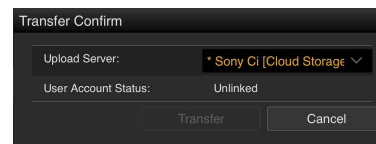
- 1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザを起動して本機にアクセスする。
- 2 ファイルを選択するためのファイルリスト画面を表示させる。

- 3  をタップしてMedia Infoを選択し、SD Cardをタップする。
SD Card画面が表示されます。



「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン2.0以降を使用すると、先頭フレームの静止画ファイルを使用し、SDカードのプロキシファイルのサムネイルをすばやく表示することができます。

- 4 転送したいファイルを選択する。
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。
- 5 Transferをタップする。
「転送先のサーバーを登録するには」(84ページ)のDefault Settingでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選択します。必要に応じて、転送先のディレクトリーを入力します。
転送先の選択は、本機メニューのMaintenance >File Transfer >Default Upload Serverで設定することもできます。



- 6 Transferをタップする。
選択したファイルの転送が開始されます。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

本機のサムネイル画面でプロキシファイルを転送する

本機のサムネイル画面でSDカードに記録したプロキシファイルをサーバーに転送します。

プロキシファイルの個別転送

- 1 あらかじめWebメニューに登録した転送先を選択する。
Webメニュー、または本機メニューのMaintenance >File Transfer >Default Upload Serverで選択できます。
- 2 THUMBNAILボタンを押して、サムネイル画面を表示する。
- 3 メニューのThumbnail >Transfer Clip(Proxy)で、Select Clipを選択する。
転送ファイル選択画面が表示されます。
- 4 MENUつまみを回して転送するファイル(クリップ)にカーソルを移動し、つまみを押す。
選択したクリップにチェックマークが付きます。

チェックマークを外すには、選択済みのクリップ上でMENUつまみを押します。

- 5 SHIFTボタンを押しながら、SETボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 6 MENUつまみを回して、確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。
選択したファイルがジョブリストに登録され、登録完了メッセージが表示されます。

プロキシファイルの一括転送

SDカードに記録したプロキシファイルをまとめて転送することができます。

[ご注意]

- オリジナルファイルがないプロキシファイルはサムネイル画面で転送ファイルとして選択できません。
- 転送ファイル選択画面に表示されないプロキシファイルは転送対象外です。

- 1 メニューのThumbnail >Transfer Clip(Proxy)で、All Clipsを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのファイルがジョブリストに登録され、登録完了メッセージが表示されます。
ファイルの転送はジョブリストに登録できたファイルから順に転送を開始します。
登録したファイルは、メニューのMaintenance >File Transfer >View Job

Listを選択して、転送ジョブ一覧を表示して確認できます。

記録終了時の自動転送

あらかじめメニューのMaintenance >File Transfer >Auto Upload(Proxy)をOnに設定すると、プロキシ記録が完了した時点で、設定されたサーバーにファイルが自動的に転送されます。

オリジナルファイルの情報を継承した同一デュレーションのプロキシファイルをプランニングメタデータに基づいて記録した場合、このプランニングメタデータの<Title>タグの内容で転送先のフォルダーが作成され、このフォルダーの下に転送されます。

また転送時に記録メディアのIDがプランニングメタデータファイルのファイル名に自動で付加されます。

プロキシファイルの部分転送

「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン2.0以降を使用すると、プロキシファイルのイン点/アウト点を指定し、切り出した部分を転送することができます。

また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

[ご注意]

- 生成されるファイルには、切り出し位置の前後に最大15フレームのマージンが付加されます。
- ネットワーク機能ソフトウェア(V1.25)以前で記録したプロキシファイルから切り出した場合には、ノンリニア編集機に取り込めない場合があります。
- ストーリーボードに基づいて部分転送を行った場合には、ノンリニア編集機へストーリーボードの情報を伝達するためのファイルがJob Listに表示されます。

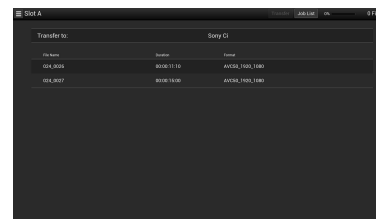
- 転送時にSDカードにGeneral/Sony/tmpフォルダーが自動で作成されます。ファイルはこのフォルダーに一時的に保存され、転送完了後に自動的に削除されます。
- 次の状態のときは、ファイルの転送は行えません。
 - セットアップメニューのMaintenance >Network >Wi-Fi ModeがWi-Fi Access Point、かつWired LAN >Disableのとき
 - ストリーミング機能が有効のとき(Maintenance >Streaming >SettingがOn)
 - ネットワーククライアントモードを有効にし、高品質なストリーミングを行っているとき(Maintenance >Network Client Mode >SettingがOnでストリーミング中)

Webメニューでオリジナルファイルを転送する

WebメニューでSxSメモリーカードに記録したオリジナルファイルをサーバーに転送します。

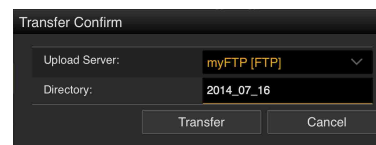
- 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザを起動して本機にアクセスする「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)。
- メニューのMaintenance >File Transfer >File Transferを選択する。
- MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。オリジナルファイルの転送モードに設定されます。
- デバイスのブラウザ上でファイルを選択するためのファイルリスト画面を表示させる。

- ☰をタップしてMedia Infoを選択し、Slot A (スロットAのメディアに記録されているファイル)またはSlot B(スロットBのメディアに記録されているファイル)をタップする。Slot AまたはSlot B画面が表示されます。例：Slot A画面



- 転送したいファイルを選択する。ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。

- Transferをタップする。「転送先のサーバーを登録するには」(84ページ)のDefault Settingでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選択します。Directoryに転送先のディレクトリを入力します。転送先の選択は、本機メニューのMaintenance >File Transfer >Default Upload Serverで設定することもできます。



- Transferをタップする。選択したファイルの転送が開始されます。転送を中止するときは、Cancelをタップします。すべてのファイルの転送が完了したら、自動的に転送モード設定が解除され、カメラ撮像画面に切り替わります。

本機のサムネイル画面でオリジナルファイルを転送する

本機のサムネイル画面でSxSメモリーカードに記録したオリジナルファイルをサーバーに転送します。

オリジナルファイルの個別転送

- あらかじめWebメニューに登録した転送先を選択する。Webメニュー、または本機メニューのMaintenance >File Transfer >Default Upload Serverで選択できます。
- THUMBNAILボタンを押して、サムネイル画面を表示する。
- メニューのThumbnail >Transfer Clipで、Select Clipを選択する。転送ファイル選択画面が表示されます。
- MENUつまみを回して転送するファイル(クリップ)にカーソルを移動し、つまみを押す。選択したクリップにチェックマークが付きます。

チェックマークを外すには、選択済みのクリップ上でMENUつまみを押します。

- 5 SHIFTボタンを押しながら、SETボタンを押す。
確認画面が表示されます。

- 6 MENUつまみを回して、確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。
選択したファイルがジョブリストに登録され、登録完了メッセージが表示されます。

オリジナルファイルの一括転送

SxSカードに登録したオリジナルファイルをまとめて転送することができます。

- 1 メニューのThumbnail > Transfer Clipで、All Clipsを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのファイルがジョブリストに登録され、登録完了メッセージが表示されます。
ファイルの転送はジョブリストに登録できたファイルから順に転送を開始します。
登録したファイルは、メニューのMaintenance > File Transfer > View Job Listを選択して、転送ジョブ一覧を表示して確認できます。

あらかじめメニューのMaintenance > File Transfer > Remote File TransferをEnableに設定すると、ファイルの転送モードに設定しなくても、自動的にオリジナルファイルの転送モード設定になります。

【ご注意】

- 次の状態のときは、ファイルの転送は行えません。
- 記録、再生、サムネイル画面表示中
 - メニューのMaintenance > Network > Wi-Fi ModeがWi-Fi Access Point、かつWired LAN > Disableのとき
 - ストリーミング機能が有効のとき(Maintenance > Streaming > SettingがOn)
 - ネットワーククライアントモードを有効にし、高品質なストリーミングを行っているとき(Maintenance > Network Client Mode > SettingがOnでストリーミング中)

オリジナルファイルの部分転送

「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン2.0以降を使用すると、本機で記録したオリジナルファイルにイン点/アウト点を指定し、切り出した部分を転送することができます。また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。
対応するオリジナルファイルのフォーマットは、以下のとおりです。

- XAVC-I
- XAVC-L
- HD422(exFAT/UDF共通)
- HD420HQ(exFAT/UDF共通)

【ご注意】

「Content Browser Mobile」を使用してオリジナルファイルを部分転送するには、オリジナルファイルと同一ファイル名のプロキシファイルが必要になります。
あらかじめプロキシファイルを作成する設定にしてから、記録を開始してください。

設定は以下のとおりです。

- メニューのOperation > XAVC Proxy Rec Mode > SettingをOnにする。
- ネットワーククライアントモードが有効のときは、メニューのMaintenance > Network Client Mode > Preset 1、Preset 2、またはPreset 3 > NCM with ProxyをEnableにする。

ファイルの転送状態を確認する

Webメニューでの確認

SD Card、Slot AまたはSlot B画面のJob Listをタップして表示されるJob List画面でファイル転送の状態を確認することができます(84ページ)。

本機セットアップメニューでの確認

メニューのMaintenance > File Transfer > View Job Listを選択すると、Job List画面が表示されます。
Job List画面でファイル転送の状態を確認することができます。

Src	Clip Name	Destination	Status
A	001_0001	Sony Ci	Waiting
A	001_0002	Sony Ci	Waiting
P	002_0001	NCM: RX Server	Waiting
P	002_0002	NCM: RX Server	Waiting
P	002_0003	NCM: RX Server	Waiting
B	002_0001	NCM: RX Server	Waiting
B	002_0003	Server Settings2	Waiting

項目	内容
Src.	転送クリップのソースメディアの表示 A：スロットAのメディア B：スロットBのメディア P：PROXY SDカードスロットのメディア
Clip Name	転送クリップのクリップ名の表示
Destination	転送クリップの転送先サーバーの表示
Status	転送状態の表示 Completed：転送完了 Transferring：転送中 Aborted：転送中止 Waiting：転送待ち Server Cap. Over：転送先サーバー容量超過(WebメニューのJob List(84ページ)にE03-006が表示される。) Upload Error：転送先サーバーアップロードエラー (WebメニューのJob List(84ページ)にE03-003が表示される。) Dest. Auth. Failed：転送先サーバー認証エラー(WebメニューのJob List(84ページ)にE03-005が表示される。) Dest. Cert. Err.：転送先証明書エラー (WebメニューのJob List(84ページ)にE03-008が表示される。)

本機セットアップメニューの Job List画面で転送ファイルを 削除する

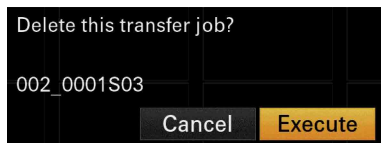
Job List画面で登録した転送ファイルを任意に選択して、削除することができます。

[ご注意]

ファイルは1ファイルずつ削除してください。複数まとめての削除はできません。

1 Job List画面で、MENUつまみを回して、削除したいファイルにカーソルを移動する。

2 MENUつまみを押す。
削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。



3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
削除完了メッセージが表示されます。

登録した転送ファイルの全削除

Job List画面のClear All jobsをタップします。

転送完了済みのジョブの全削除

Job List画面のClear Completed jobをタップします。

映像・音声をストリーミング伝送する

カムコーダーで撮像・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送することができます。

ストリーミング伝送の準備をする

- 1 「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)、および「インターネット接続」(67ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。
- 2 メニューのMaintenance >Streamingで、Preset1(またはPreset2、Preset3)を選択する。
ストリーミングの接続先設定画面が表示されます。
- 3 ストリーミングの接続先設定画面でSize、Bit Rate、TypeおよびTypeに応じた設定項目を設定する。
設定項目の詳細、制限事項などについては、「ストリーミング設定」(81ページ)をご覧ください。
- 4 メニューのMaintenance >Streaming >Preset Selectで、手順1、2で設定したPreset1(またはPreset2、Preset3)を選択する。

ストリーミングを開始する

- 1 メニューのMaintenance >Streaming >SettingをOnにする。
設定に応じてストリーミングが開始されます。
Streamingはアサインابلスイッチに割り当てることができます。割り当て方法については、「アサインابلスイッチに機能を割り当てる」(126ページ)をご覧ください。

【ご注意】

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - メニューのMaintenance >Network >SettingがOffのとき
 - メニューのMaintenance >Network Client Mode >SettingがOnのとき
 - メニューのMaintenance >Network >SettingはOnだがMaintenance >Network >Wi-Fi ModeがOff、Maintenance >Network >Wired LANがDisableのとき
- ストリーミングを開始してから実際に映像・音声がストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- SDフォーマットのクリップの再生時はストリーミングを開始できません。
- ストリーミングの伝送先設定が間違っている場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に×が表示されます。
- ストリーミングに移行すると、ネットワーククライアントモードによるストリーミング(76ページ)、モニタリング、プロキシ記録およびファイル転送はできません。
- モニタリング中、プロキシ記録中またはファイル転送中にストリーミングを開始すると、これらの機能は停止します。

ストリーミングを停止する

メニューのMaintenance >Streaming >SettingをOffにすると、ストリーミングを停止します。
StreamingがOnのときに、Streamingがアサインされたアサインابلスイッチを押すことでもストリーミングを停止できます。

デバイスとワイヤレスLAN接続している場合(63ページ)、およびワイヤレスLANステーションモードでインターネット接続している場合(65ページ)には、ストリーミング伝送先の設定、ストリーミングの開始/停止をWebメニュー(80ページ)から行うこともできます。

高品質なストリーミングを行う

ネットワーククライアントモードを有効にし、本機とソニー製ネットワークRXステーション(別売)のConnection Control Manager(以降「CCM」)またはXDCAM airを接続して使うことで、ソニーのQoS技術を使った高品質なストリーミングが可能になります。また複数のネットワークを経由することで、より高画質で安定したストリーミングが行えます。

[ご注意]

- ネットワークRXステーションにはV1.12.0以降をご使用ください。
- 複数のネットワークを使用して安定したストリーミングを行うには、それぞれのネットワークに異なるキャリアの回線を使用してください。
- 複数のネットワークを使用した場合、映像シーンによっては、ターゲットビットレートを超えることがあります。
- XDCAM airは、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域についてXDCAM airのサイトをご確認ください。
<https://www.xdcam-air.com>
また、XDCAM airのプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。
 - 利用規約
https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html
 - XDCAM airのプライバシーポリシー
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>
 - プロフェッショナルIDのプライバシーポリシー
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
- 詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

1 本機をネットワークに接続する。
詳しくは、「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)、および、「インターネット接続」(67ページ)をご覧ください。

2 メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3で接続先のネットワークを設定する。

接続先のネットワーク設定はプリセット設定としてPreset 1、Preset 2、またはPreset 3に設定できます。

項目	内容
CCM Address	接続先のCCMのアドレスを入力する。(ホスト名またはIPアドレス)
CCM Port	接続先のCCMのポート番号を入力する。
User Name	ユーザー名を入力する。
Password	パスワードを入力する。 入力したパスワードは*で表示されるが、SHIFTキーを押している間は、入力した文字が表示される。
NCM With Proxy	CCM接続時のプロキシ記録の有効/無効を設定する。
Camera Control	CCM接続時のカメラコントロール許可/不許可を設定する。
Camera Setting	CCM接続時のAll Fileのハンドリング許可/不許可を設定する。

[ご注意]

- すべての項目に値が入力されないと、ネットワーククライアントモードを設定できません。
- メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3 >NCM with ProxyをEnableに設定すると、ネットワーククライアントモードが有効な場合でも、プロキシ記録ができます。NCM with Proxyの設定を有効にするには、メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SettingをOnにしてください。
- メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3 >NCM with ProxyがDisableに設定されている場合、記録中にネットワーククライアントモードをOnにすると、プロキシ記録は停止します。オリジナルファイルの記録を継続している場合、同設定をOffにするとプロキシ記録を再開します。
- メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >Proxy File >SizeをHD Auto(9Mbps)またはHD Auto(6Mbps)に設定している場合、NCM with Proxyは設定できません。

NCM with ProxyがEnableに設定済みで、HD Auto(9Mbps)またはHD Auto(6Mbps)に設定した場合、設定値は保持されますが、プロキシ記録は行われません。

3 メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset Selectで手順1で設定したプリセットのいずれか1つを選択する。

4 メニューのMaintenance >Network Client Mode >SettingをOnにする。
ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションまたはXDCAM airと接続します。

ネットワークRXステーションの操作により、ライブストリーミングが開始されます。また、ネットワークRXステーションからの本機リモートコントロール、Allファイルの保存/呼び出しができます。

操作について詳しくは、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはXDCAM airのヘルプをご覧ください。

なお、Network Client ModeのSetting (On/Off)は、本機のアサインブルスイッチに割り当てることができます。割り当て方法については、「アサインブルスイッチに機能を割り当てる」(126ページ)をご覧ください。

[ご注意]

- 通常のストリーミング(75ページ)中はネットワーククライアントモードに移行できません。
- ネットワーククライアントモードに移行すると、通常のストリーミング(75ページ)、モニタリングはできません。
- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリングは停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。

- ファイル転送中にネットワーククライアントモードでのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ネットワークRXステーションで設定可能なストリーミングのビットレートが、プロキシ記録のフォーマットにより、以下のように制限されます。
 - プロキシ記録のフォーマットが、1280×720 9Mbps/6Mbpsの場合：ストリーミングのビットレートは、1Mbps以下になります。
 - プロキシ記録のフォーマットが、640×360 3Mbps以下の場合：ストリーミングのビットレートは、3Mbps以下になります。
- ネットワーククライアントモード時は、プロキシのフォーマット変更はできません。変更する場合は、一度ネットワーククライアントモードをオフにしてください。

ネットワーククライアントモードでファイルを転送する

ネットワークRXステーションのCCMと本機をネットワーククライアントモードで接続して、CCMで設定されたサーバーへファイル転送することができます。

- 転送したいファイルを選ぶ。
 - プロキシ記録を転送する場合
「Webメニューでプロキシファイルを転送する」の手順1～5(71ページ参照)
 - オリジナルファイルを転送する場合
「Webメニューでオリジナルファイルを転送する」の手順1～6(72ページ参照)
- Transferをタップする。
転送先に「NCM:RX Server」が表示されます。「NCM:RX Server」を転送先に指定します。
- Transferをタップする。
CCMで設定されたサーバーへ、選んだファイルの転送を開始します。

[ご注意]

ネットワーククライアントモードでないときも、転送先を「NCM : RX Server」にできません。

この場合は、転送は保留となり、ネットワーククライアントモードでCCMに接続後、CCMで設定されたサーバーへ転送を開始します。

Wi-Fiリモコンを使用する

ワイヤレスLAN接続時、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

Wi-Fiリモコンを表示する

Wi-Fi Remote画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り替わります。

1 「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)、および「インターネット接続」(67ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス(Maintenance > Network > IP Address(Wireless)) /rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.1.1/rm.html」と入力します。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード(メニューのMaintenance > Basic Authentication(119ページ))を入力する。接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。以降は、画面表示のとおり操作してください。

画面のLockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

Wi-FiリモコンはWebメニューのCam Remote Control(80ページ)からも表示できます。

【ご注意】

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致しなくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザで進む/戻る操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。

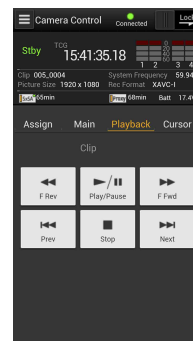
Wi-Fi Remote画面 (スマートフォン表示)

Main画面



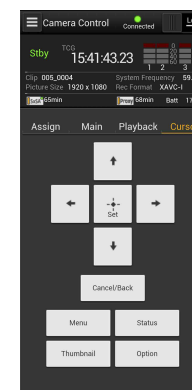
- ステータス表示
- 撮影設定表示
Iris, Focus, Zoom, S&Q
FPS, Shutter, White,
Gamma, Auto Iris, Gain,
ATW, Color Bars, Auto
Black, Auto White

Playback画面



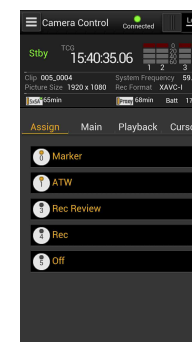
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
F Rev, Play/Pause, F
Fwd, Prev, Stop, Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー/ステータス表示
Up, Left, Set, Right,
Down, Cancel/
Back, Menu, Status,
Thumbnail, Option
(SHIFT+SET)

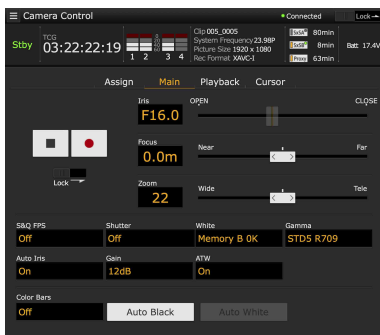
Assign画面



- ステータス表示
- アサインブルスイッチ表示
アサインブルスイッチ0、1、3、
4、5

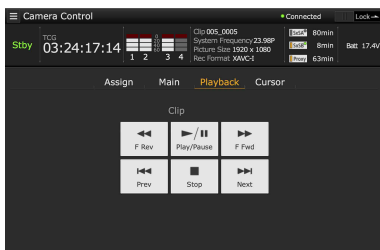
Wi-Fi Remote画面 (タブレット表示)

Main画面



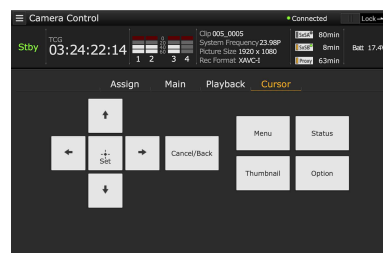
- ステータス表示
- アサインスイッチ表示
アサインスイッチ0、1、3、4、5
- 撮影設定表示
S&Q FPS、Shutter、White、Gamma、Auto Iris、Gain、ATW、Color Bars、Auto Black、Auto White

Playback画面



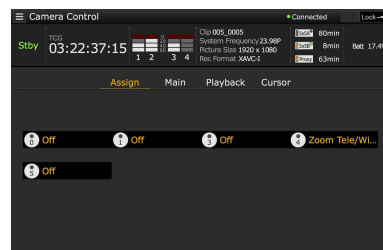
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー/ステータス表示
Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status、Thumbnail、Option (SHIFT+SET)

Assign画面



- アサインスイッチ表示
アサインスイッチ0、1、3、4、5

Webメニューから設定する


ワイヤレスLAN接続したデバイスのブラウザーから本機にアクセスすると、本機のWebメニューが表示されます。Webメニューでワイヤレス機能に関する各種設定やファイルの転送操作を行うことができます。

Webメニューを表示する

- 1 「本機とデバイスのワイヤレスLAN接続」(63ページ)、および「インターネット接続」(67ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。
- 2 デバイスのブラウザーを起動し、「http://192.168.1.1:8080/index.html」にアクセスする。
ユーザー名「User name」とパスワード「Password」を入力する画面が表示されます。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。
アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、メニューのMaintenance > Basic Authentication(119ページ)でご確認ください。

設定メニュー

デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス(Maintenance > Network > IP Address) :8080」にアクセスすると、本機の

Media InfoのSD Card画面が表示されます。Webメニュー画面左上の  をタップすると設定メニューが表示されます。設定したい項目をタップします。
項目にはSettings、Media Info、Job List、Cam Remote Controlがあります。

Settings

本機の設定を行います。本画面の項目は次のとおりです。

項目	内容	参照先
Wireless Module > Streaming Format	ストリーミングフォーマット設定	ストリーミングフォーマット設定「Streaming Format」(80ページ)
Wireless Module > Proxy Format	プロキシフォーマット設定	プロキシフォーマット設定「Proxy Format」(81ページ)
Wireless Module > System Settings	Network Client Modeの証明書のロード(Load Certification)のLoadボタンで実行	システム設定「System Settings」(82ページ)
Wireless LAN > Station Settings	ワイヤレスLAN設定	ワイヤレスLAN設定「Station Settings」(82ページ)
Wireless LAN > Status	ワイヤレスLAN設定状態の確認	ワイヤレスLAN設定の確認(82ページ)
Wired LAN > Wired LAN Settings	有線LAN設定	有線LAN設定「Wired LAN Settings」(83ページ)

項目	内容	参照先
Wired LAN > Status	有線LAN設定状態の確認	有線LAN設定の確認(83ページ)
Upload Settings	転送設定	転送設定「Upload Settings」(83ページ)

Media Info

メディアの情報を表示したりメディアから転送するファイルを選択する画面を表示します。

- SD Card : 本機のPROXY SDカードスロットに挿入されているメディア
再生したいファイルをダブルタップすると、選択したファイルが再生されます。

【ご注意】

お使いの端末機器のOS、ブラウザーのバージョンによっては再生できない場合があります。この場合は「Content Browser Mobile」を使用してください。

- Slot A : 本機のカードスロットAに挿入されているメディア
- Slot B : 本機のカードスロットBに挿入されているメディア

Job List

転送中のファイルを管理するJob List画面を表示します(84ページ)。

Cam Remote Control

Wi-Fiリモコンを表示します(78ページ)。

OSS Information

著作権情報を表示します。

ストリーミングフォーマット設定 「Streaming Format」

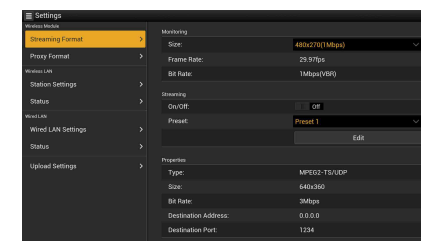
デバイスでモニタリングされるストリームや、インターネットまたはローカルネットを通じてストリーミング伝送するストリームのフォーマットや伝送先の設定を行います。

映像

- AVC/H.264 Main Profile、4 : 2 : 0 Long GOP
- サイズは以下の設定で選択

音声

- AAC-LC圧縮
- サンプリング周波数 : 48 kHz
- ビットレート : 128 kbps for Stereo



モニタリング設定

デバイスでモニタリングされるときにフォーマットを設定します。

項目	内容	設定値
Monitoring Size	モニタリング用の映像のサイズとビットレートを設定する。	480x270(1Mbps)/480x270(0.5Mbps)
Monitoring Frame Rate	モニタリング用の映像のフレームレートを表示する。	23.98fps/25fps/29.97fps/50fps/59.94fps
Monitoring Bit Rate	モニタリング用の映像のビットレートを表示する。	1Mbps(VBR)/0.5Mbps(VBR)

[ご注意]

- ビットレートは平均値であり、設定値を超える場合があります。
- 映像のフレームレートは24fps に対応していません。
- Monitoring sizeで640 × 360 : 3Mbps(VBR) には対応していません。

ストリーミング設定

ストリーミング伝送時のフォーマットや伝送先を設定します。設定はプリセットとして3つまで保持できます。

項目	内容	設定値
On/Off	ストリーミング伝送のオン/オフを切り換える。	On/Off
Preset	プリセットをPreset1～3から選択する。PresetはEditをタップすると編集できます。	Preset1/ Preset2/ Preset3
Type	ストリーミング用の映像の種類を選択する。	MPEG-2 TS/ UDP/ MPEG-2 TS/ RTP

項目	内容	設定値
Size	ストリーミング用の映像のサイズを設定する。HD Autoを選択した場合、SxSに記録される記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて、1920x1080か1280x720に設定される。	HD Auto/ 1280x720/ 640x360/ 480x270/ 320x180
Bit Rate	ストリーミング用の映像のビットレートを設定する。選択できるビットレートは、Sizeの設定により異なる。	9Mbps/6Mbps/ 3Mbps/2Mbps/ 1Mbps/0.5Mbps/ 0.3Mbps(Mono L)/ 0.3Mbps(Mono R)/ 0.2Mbps(Mono L)/ 0.2Mbps(Mono R)
Destination Address	ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力する。	ホスト名またはIPアドレス
Destination Port	伝送先サーバーのストリーミングに使用するポート番号を入力する。	1 ~ 65535
Audio Channel Select	ストリーミング出力に乗せるAudio Channelを選択する。	Ch-1 & Ch-2/ Ch-3 & Ch-4

[ご注意]

- StreamingをOnに設定した場合、モニタリング機能が使用できません。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータ

を送信してしまう可能性があります。

- ネットワークの状況により、すべてのフレームを再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合には、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためにはSizeでより小さいサイズを選んでください。
- 500kbps以下のネットワークの帯域をご使用の場合、SizeとBit Rateは以下のどちらかに設定してください。
 - Sizeが480x270のときは、Bit Rateの0.3Mbps(Mono L)、0.3Mbps(Mono R)、0.2Mbps(Mono L)、0.2Mbps(Mono R)のいずれかを設定する。
 - Sizeが320x180のときは、0.2Mbps(Mono L)、0.2Mbps(Mono R)のどちらかを設定する。このときのビデオのフレームレートは10fps、オーディオのサンプリング周波数は48kHz、ビットレートは56kbps Monoに設定されます。
- Bit rateが0.3Mbps(Mono L)、または0.2Mbps(Mono L)の場合、Audio Channel Selectは、Ch-1 & Ch-2のCh-1、またはCh-3 & Ch-4のCh-3に設定されます。Bit rateが0.3Mbps(Mono R)、または0.2Mbps(Mono R)の場合、Audio Channel Selectは、Ch-1 & Ch-2のCh-2、またはCh-3 & Ch-4のCh-4に設定されます。

プロキシフォーマット設定「Proxy Format」

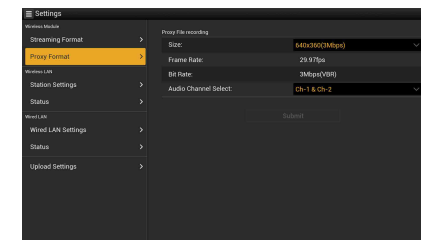
本機のSDカードに記録されるプロキシファイルのフォーマット設定を行います。

映像

- XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile、4 :2 :0 Long GOP)
- サイズは以下の設定で選択

音声

- AAC-LC圧縮
- サンプリング周波数 : 48 kHz
- ビットレート : 128 kbps for Stereo



項目	内容	設定値
Proxy File recording Size	プロキシファイル用映像のサイズとビットレートを設定する。	HD Auto(9Mbps)/ HD Auto(6Mbps)/ 1280x720(9Mbps)/ 1280x720(6Mbps)/ 640x360(3Mbps)/ 480x270(1Mbps)/ 480x270(0.5Mbps)
Proxy File recording Frame Rate	プロキシファイル用映像のフレームレートを表示する。	23.98fps/ 25fps/ 29.97fps/ 50fps/ 59.94fps
Proxy File recording Bit Rate	プロキシファイル用映像のビットレートを表示する。	9Mbps(VBR)/ 6Mbps(VBR)/ 3Mbps(VBR)/ 1Mbps(VBR)/ 0.5Mbps(VBR)
Proxy File recording Audio Channel Select	プロキシファイルに記録するオーディオチャンネルを設定する。	Ch-1 & Ch-2/ Ch-3 & Ch-4

[ご注意]

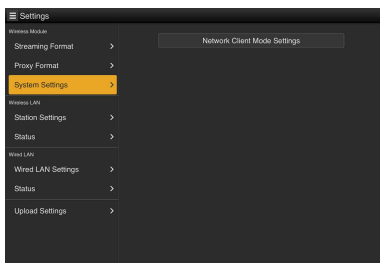
- ビットレートは平均値であり、設定値を超える場合があります。
- 24fps には対応していません。
- プロキシフォーマット設定のSizeにHD Autoを選択した

場合、SxSメモリーカードへの記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて、プロキシフォーマットが設定されます。

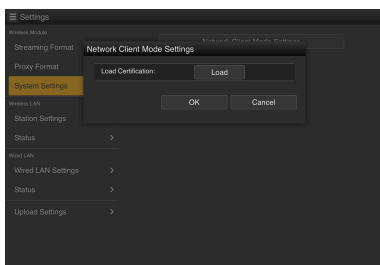
- プロキシフォーマット設定のSize をHD Autoに設定して記録したプロキシファイルは、ブラウザーやContent Browser Mobileで再生できない場合があります。プロキシファイルを記録したSDカードをコンピューターに直接挿入して再生してください。

システム設定 「System Settings」

Network Client Mode Settingsの証明書をロードします。



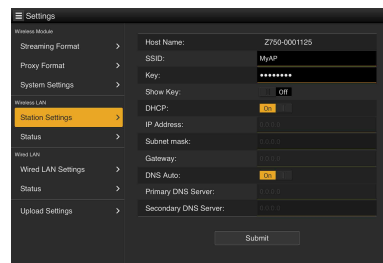
ネットワーククライアントモード設定「Network Client Mode Settings」



- Load Certification : LoadボタンロードするCCMの証明書「CCM_certification.pem」は、あらかじめSDカードのルートに書き込んでください。CCMの証明書については、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

ワイヤレスLAN 設定 「Station Settings」

本機をワイヤレスLAN に接続するための設定を行います。



項目	内容
Host Name	本機のデバイス名(変更不可)。
SSID	Access Pointで選んだSSIDを表示する。
Key	アクセスポイントのパスワードを入力する。
Show Key	Onで、入力中の文字を表示する。
DHCP	DHCP設定する。 Onにすると、自動的に本機にIP アドレスを割り当てる。 手で本機のIP アドレスを入力する場合は、Offにする。
IP Address	本機のIP アドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効

項目	内容
Subnet mask	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効
Gateway	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効
DNS Auto	DNS自動取得設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
Primary DNS Server	アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効
Secondary DNS Server	アクセスポイントのセカンダリー DNS サーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効
Submit	ワイヤレスLAN 設定を確定する。

WPS機能を使用しないステーションモードでアクセスポイントに接続する

- 1 アクセスポイントモードで本機とデバイスを接続する(64ページ)。
- 2 Station Settings画面の項目を設定する。
接続するアクセスポイントの設定に合わせて設定を行います。
◆ アクセスポイントの設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 3 Submitをタップする。
設定した項目が確定します。
- 4 メニューのMaintenance > Network > Wi-Fi Modeを選択する。

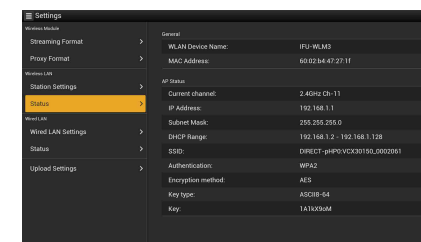
- 5 MENUつまみを回してWi-Fi Stationを選択し、つまみを押す。
この操作では、本機はステーションモードでアクセスポイントに接続するため、「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(66ページ)の手順9以降を行って、デバイスから本機にアクセスします。

ワイヤレスLAN設定の確認

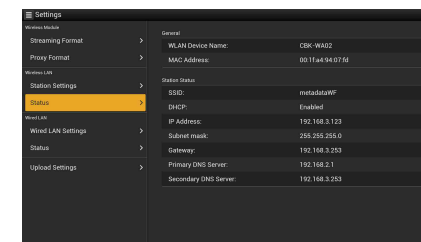
Wireless LANのStatusでワイヤレスLAN設定の確認画面を表示します。

本機のワイヤレスLANモードによって、表示される内容が変わります。

アクセスポイントモード

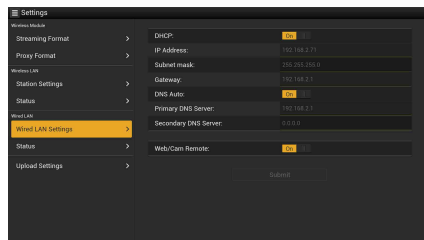


ステーションモード



有線LAN設定 「Wired LAN Settings」

本機を有線LANに接続するための設定を行います。



項目	内容
DHCP	DHCP設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
IP Address	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効になる。
Subnet mask	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効になる。
Gateway	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効になる。
DNS Auto	DNS自動取得設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
Primary DNS Server	ルーターのプライマリーDNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効になる。

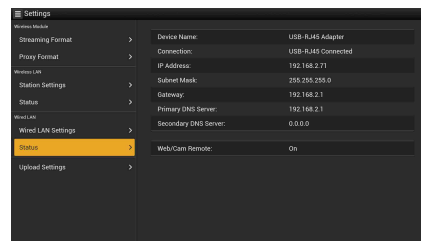
項目	内容
Secondary DNS Server	ルーターのセカンダリーDNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効になる。
Web/Cam Remote	本機WebメニューやWi-Fiリモコンへのアクセスの許可/不許可の設定する。 Onにするとアクセスを許可する。
Submit	有線LAN設定を確定する。

【ご注意】

インターネットからの不正アクセスを防ぐため、Web/Cam RemoteをOnにする場合は有線LANネットワークがインターネットに接続していないときを推奨します。インターネットに接続する場合は、接続先がセキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

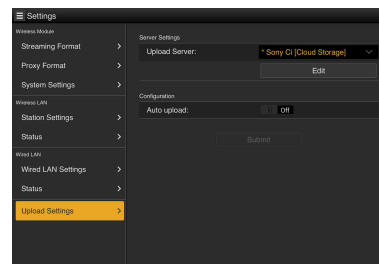
有線LAN設定の確認

Wired LANのStatusで有線LAN設定の確認画面を表示します。



転送設定 「Upload Settings」

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーを登録したり、設定を変更します。



自動転送のON/OFF

Auto uploadがOnでインターネット接続状態の場合、記録を終了するとUpload Settingでデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシファイルを送信します。

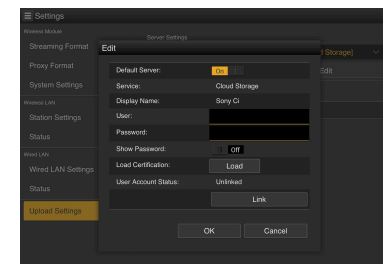
転送先サーバーには、「Sony Ci」、「NCM:RX Server」、「Server Settings1」、「Server Settings2」および「Server Settings3」が登録されています。初期値は「Sony Ci」です。「Sony Ci」とは、Sonyが提供するMedia Cloud Servicesです。ソニーのクラウドサービス「Sony Ci」へ転送することができます。

【ご注意】

- 一部対応していない地域があります。
- 「Sony Ci」をお使いになる場合は、別途契約が必要です。詳細は、www.sonymcs.com/wirelessをご覧ください。また、Sony Ciのプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。
 - 利用規約
<https://www.sonymcs.com/terms/>
 - 使用ポリシー
<https://www.sonymcs.com/use/>
 - プライバシーポリシー
<https://www.sonymcs.com/privacy/>
- 転送先のフォルダー名称は、「Destination Directory」で設定したフォルダーになります。未設定の場合には、当日の日付のフォルダーとなります。変更するには「登録済みのサーバーの設定を変更するには」(84ページ)で設定してください。

Sony Ciの登録方法は次のとおりです。登録方法の詳細は、www.SonyMCS.com/wirelessをご覧ください。

- Upload Settings画面で「Sony Ci」が表示されていることを確認し、Editをタップする。「Sony Ci」設定用の画面が表示されます。



- Userにユーザー名、「Password」にパスワードを入力する。
Show PasswordをOnにすると、入力中の文字を表示できます。

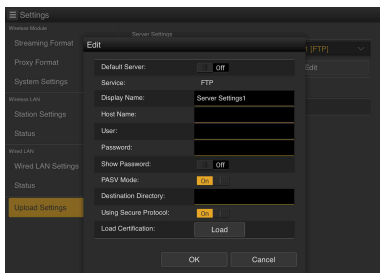
Load Certification : Loadボタン
ロードするCiの証明書「Ci_certification.pem」は、あらかじめSDカードのルートに書き込んでください。Ciの証明書については、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

- Linkをタップする。
しばらくすると完了のメッセージが表示されます。「Link」はユーザーと本機を関連付ける操作となります。「Link」を実行するにはインターネットの接続が必要です。

- 4 OKをタップする。
「Sony Ci」登録後は、設定画面に「Unlink」が表示されます。タップするとユーザーアカウントを解除し、他のユーザーアカウントでリンクすることもできます。

転送先のサーバーを登録するには

登録先サーバーをUpload Serverの「Server Settings1」、「Server Settings2」、「Server Settings3」のいずれかから選択します。選択後、Editをタップして表示される以下の画面でサーバー情報を設定します。



設定後にOKをタップすると設定を反映し、Cancelをタップすると、設定を中止します。

項目	内容
Default Server	Onにすると、ファイルの転送先をデフォルト設定する。(ファイル転送時の転送先リストに優先的に表示される。)
Display Name	リストに表示されるサーバー名を入力する。
Service	サーバーの種類を表示する。「FTP」: FTP サーバー

項目	内容
Host Name	サーバーのアドレスを入力する。 [ご注意] デフォルトのポート番号「21」以外を使用する場合は、アドレスの後に「:とポート番号」を付加してください。 例) :123
User	ユーザー名を入力する。
Password	パスワードを入力する。
Show Password	Onにすると、入力中の文字が表示される。
PASV Mode	PASV モードのON/OFFを行う。
Destination Directory	転送先のディレクトリーを指定する。 [ご注意] ディレクトリー名として不正な文字が入力された場合は、ディレクトリーを生成せず、転送先ディレクトリー直下に転送します。
Using Secure Protocol	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定する。
Load Certification	中間CA証明書を読み込みます。 Using Secure ProtocolをOnにすると、表示されます。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> FTPによる通信は暗号化されません。FTPSの使用をお勧めします。 ルート証明書を含んだ中間CA証明書が必要です。 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーにcertification.pemのファイル名であらかじめ書き込んでおいてください。

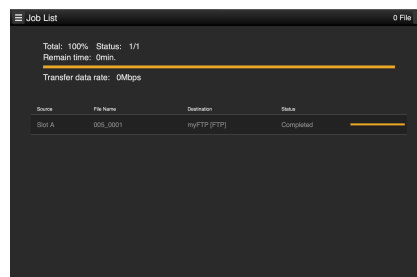
[ご注意]
FTPによる通信は暗号化されません。FTPSの使用をおすすめします。

登録済みのサーバーの設定を変更するには

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設定変更画面が表示されたら、必要に応じて設定を変更します。設定項目、内容については「転送先のサーバーを登録するには」をご覧ください。

ファイル転送の確認をする「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。本機はFTPレジューム機能(転送途中からのファイルの再転送機能)に対応しています。



項目	内容
Total	転送する全ファイルの進捗状況
Status	転送中のファイルの進捗状況
Remain time	予想残り転送時間表示

項目	内容
Transfer data rate	転送レート表示

ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除するには

- 1 ファイルを選ぶ。
- 2 画面右上の をタップする。以下の項目を選びます。
 - Abort selected : 転送を中止します。
 - Delete from list : 転送リストからファイルを削除します。
 - Start selected : ファイルの転送を開始します。
 - Select All : リストを全選択します。
 - Clear completed : 転送済みファイルリストを全削除します。

証明書ロード時のトラブルと対応

現象	対応
「Invalid certification file.」が表示される。	ロードする証明書が不正。証明書を確認する。
「Certification file not found.」が表示される。	証明書のファイル名が正しいか、確認する。

ネットワーク機能の対応状況／動作制限について

ネットワーク機能とネットワーク接続設定の対応状況

ネットワーク機能とネットワーク接続設定(メニューのMaintenance >Network >Wi-Fi Mode、ModemおよびWired LANの設定)の対応状況は以下のとおりです。

ネットワーク機能を有効にするには、メニューのMaintenance >Network >SettingをOnにしてください。

ネットワーク機能	メニューのMaintenance >Network >Wi-Fi Mode		メニューのMaintenance >Network >Modem			メニューのMaintenance >Network >Wired LAN	
	Wi-Fi Access Point	Wi-Fi Station	Off	On	Off	Enable	Disable
プロキシ記録 ¹⁾ (56ページ)	可	可	可	可	可	可	可
プロキシ再生 (80ページ)	可 ²⁾	可 ²⁾	不可	不可	不可	可 ²⁾	不可
ファイル転送 (71ページ)	不可	可 ²⁾	不可	可 ²⁾	不可	可 ²⁾	不可
ストリーミング 伝送 (75ページ)	不可	可	不可	可	不可	可	不可
モニタリング (80ページ)	可 ²⁾	可 ²⁾	不可	不可	不可	可 ²⁾	不可
ネットワーク クライアント モード (76ページ)	不可	可	不可	可	不可	可	不可
本機のリモート 操作 (78ページ)	可 ²⁾	可 ²⁾	不可	不可	不可	可 ²⁾	不可

1) プロキシ記録は、メニューのOperation >XAVC Proxy Rec Mode >SettingがOnで有効になります。

2) 本機とネットワーク接続したデバイスの機能に対応します。

ネットワーク機能同時使用時の動作制限

ネットワーク機能を同時に使用した場合の動作制限は以下のとおりです。

ワイヤレスLAN接続	有線LAN接続	動作仕様
なし	無効	ネットワーク機能動作停止
USBワイヤレスLANモジュール	無効	USBワイヤレスLANモジュールが動作
3G/4G/LTEUSBモデム	無効	3G/4G/LTEUSBモデムが動作
なし	有効	有線LANが動作
USBワイヤレスLANモジュール	有効	USBワイヤレスLANモジュールと有線LANが動作 ¹⁾

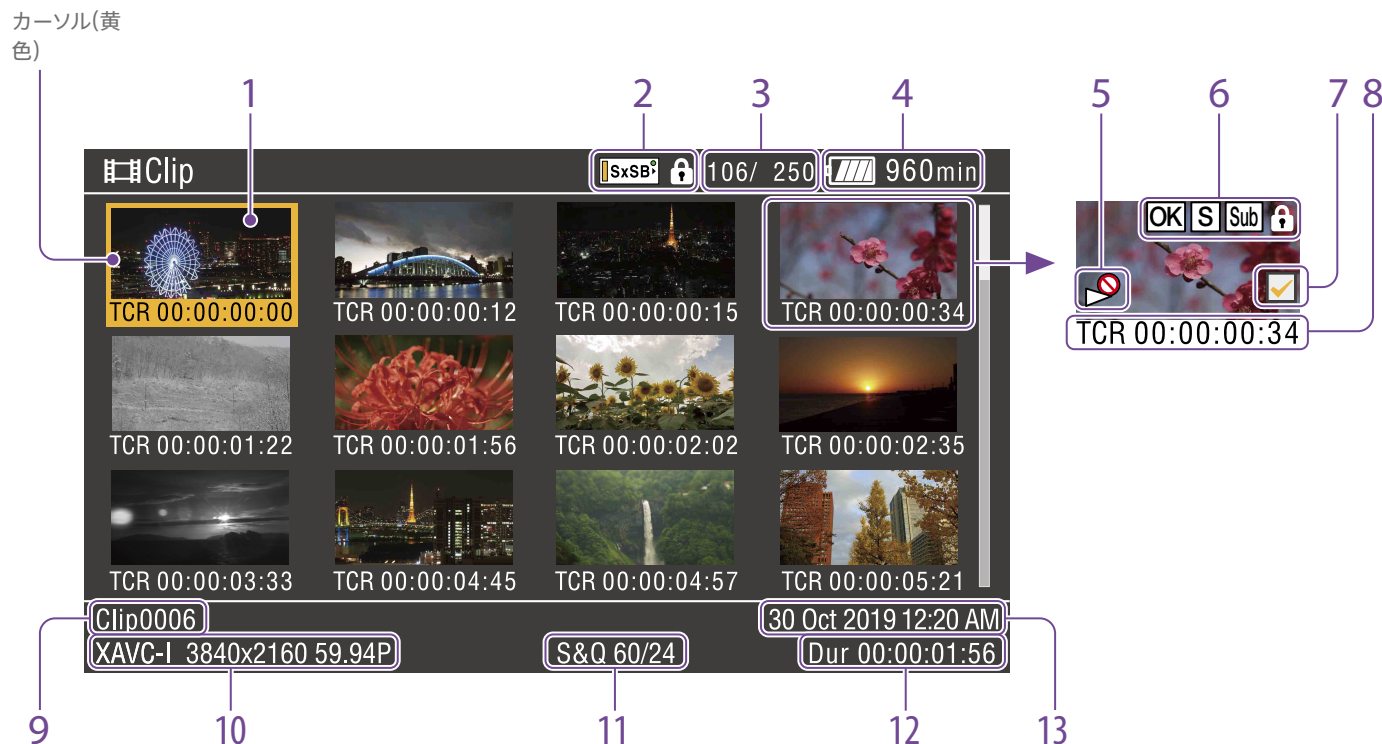
1) ストリーミング、ファイル転送は有線LANで動作します。USBワイヤレスLANモジュール側の操作はWi-Fiリモコンでの操作が前提です。

[ご注意]

CBK-NA1(別売)に同梱のEthernet変換アダプター CBK-NA1RのUSB延長アダプターをUSBワイヤレスLANモジュールに装着して、有線LANに接続することはできません。

サムネイル画面でのクリップ操作について

サムネイル画面について



E-E /再生モード時にTHUMBNAILボタンを押すと、「サムネイル画面」が表示され、SxSメモリーカードに収録されているクリップの代表画がサムネイル(縮小画)として一覧表示されます。サムネイル画面では、任意のクリップを選択し(87ページ)、そのクリップから再生を開始する(87ページ)ことができます。またサムネイル画面で任意のクリップにクリップフラグを付けることにより、フラグによるクリップの絞り込みを行うことができます。またサムネイル画面をエッセンスマークサムネイル画面に切り換えて、クリップの任意のフレームにエッセ

ンスマーク(ショットマークなど)を付けることもできます。

サムネイル画面を消すには、THUMBNAILボタンを押します。

1. サムネイル(縮小画)

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的にクリップの代表画として表示されます。代表画は変更することができます(91ページ)。

2. 選択されているメディアのアイコン/メディアの状態

メディアがプロテクトされていると🔒が表示されます。

SxSメモリーカードが2枚装着されている場合、SLOT SELECTボタンを押して切り換えると、メディアのアイコンも切り替わります。

3. クリップ番号/クリップ総数

4. バッテリー/電圧状態

5. 再生不可状態

6. クリップ状態

クリップの状態をアイコンで表示します。

アイコン	意味
S、OK、NG、KPアイコン	クリップに付けられたエッセンスマークまたはクリップフラグ
Subアイコン	1スロット同時記録によって生成されたサブクリップが存在
錠アイコン	クリップブロック(保護)中

7. クリップ選択チェックボックス

クリップ(サムネイル) 選択時にチェックが付きま

す。

8. サムネイル情報

サムネイルの情報が表示されます。表示内容はCustomize Viewの設定により異なります(92ページ)。

9. クリップ名/タイトル

選択されているクリップのクリップ名またはタイトルが表示されます。

10. 記録時のビデオフォーマット

11. 特殊記録撮影情報

特殊記録モード(スロー&クイックモーション)で記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。

スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右に[撮影フレームレート/再生フレームレート]が表示されます。

12. クリップの収録時間(Duration)

13. 作成日時

クリップを選択する

クリップのサムネイルを選択するには、以下のいずれかの操作により、選択したいサムネイルに黄色いカーソルを合わせます。

- 上、下、左、右ボタンを押す。
- MENUつまみを回す。
- PREVまたはNEXTボタンを押す。

先頭のサムネイルを選択する

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

最終のサムネイルを選択する

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 再生を開始したいクリップのサムネイルを選択する。
- 2 PLAY/PAUSEボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

選択したクリップ以降のすべてのクリップを連続再生します。

最後のクリップの再生が終わると、カメラ撮像画面または外部入力状態になります。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

【ご注意】

- 記録フォーマットが異なるクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、すべてのクリップを連続して再生できない場合があります。
- サムネイル画面で再生不可状態表示(86ページ)のクリップは再生されません。該当クリップをスキップして

連続再生されます。

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生を一時停止する

PLAY/PAUSEボタンを押します。

一時停止中はPLAY/PAUSEインジケーターが点滅します。

もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生する

F FWDボタン(8ページ) またはF REVボタン(8ページ)を押します。

標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

現在のクリップの先頭に戻る

PREVボタンを押します。

- 再生中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F FWD中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして一時停止します。
- F REV中または一時停止中に押すと、現在のク

リップの先頭にジャンプして静止画を表示します。

- 続けて押すと、押すたびに1つずつ前のクリップに移動します。

最初のクリップの先頭から再生する

PREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

後ろのクリップの先頭にジャンプする

NEXTボタンを押します。

- 再生中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F FWD中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして一時停止します。最終クリップの操作中は、クリップの最終にジャンプして一時停止します。
- F REV中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびに1つずつ後ろのクリップに移動します。

最後のクリップにジャンプする

F FWDボタンとNEXTボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの最終画にジャンプします。

再生中にショットマークを追加する

記録時と同じ操作で(50ページ)、再生中のクリップにショットマークを追加することができます。

【ご注意】

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。

再生を終了する

STOPボタンを押す:再生が停止し本機はE-Eモードになります。

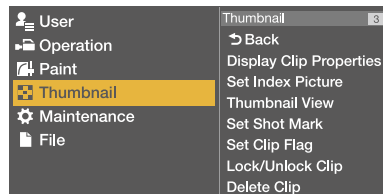
THUMBNAILボタンを押す:再生が停止し、ビューファインダー画面にサムネイル画面(86ページ)が表示されます。

再生中にメモリーカードを取り出した場合も、再生が停止し、ビューファインダー画面にカメラ画が表示されます。

Thumbnailメニューの基本操作

クリップの保護/削除、詳細情報の確認、クリップへのクリップフラグやクリップのフレームへのエッセンスマークの付加/削除などの操作にはThumbnailメニューを使用します。

- 1 THUMBNAILボタンを押す。
サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してThumbnailを選択し、MENUつまみを押す。
↑、↓ボタンを押してThumbnailを選択し、SETボタンを押して表示することもできます。



Thumbnailメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目/細目を選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- MENUつまみを回して項目/細目を選択し、つまみを押す。
- 矢印(↑、↓、←、→) ボタンを押して項目/細目を選択し、SETボタンを押す。

選択したメニュー項目/細目に応じて、選択リストまたはクリップの詳細情報画面(90ページ)が表示されます。

MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると、1つ上の階層に戻ります。

【ご注意】

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除、代表画の変更、クリップフラグ・ショットマークの付加/削除はできません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

Thumbnailメニュー構成は「Thumbnailメニュー」(92ページ)をご覧ください。

クリップを保護する

特定のクリップまたはすべてのクリップを保護して、クリップを削除できない状態にすることができます。

保護されたクリップのサムネイルには🔒が付きます。

クリップの保護操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面(91ページ)で行います。

【ご注意】

- ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。
- 1スロット同時記録で作成したクリップはサブクリップも保護されます。

特定クリップの保護

- 1 メニューのThumbnail >Lock/Unlock Clip >Select Clipを選択する。

- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップの選択画面が表示されます。

- 3 MENUつまみを回して保護するクリップを選択し、つまみを押す。
選択したクリップにチェックマークが付きます。

- 4 SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す。
確認画面が表示されます。

- 5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップが保護され、完了メッセージが表示されます。

- 6 MENUつまみを押してメッセージを消す。

すべてのクリップの保護

- 1 メニューのThumbnail >Lock/Unlock Clip >Lock All Clipsを選択する。

- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。

- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのクリップが保護され、完了メッセージが表示されます。

- 4 MENUつまみを押してメッセージを消す。

すべてのクリップの保護の解除

- 1 メニューのThumbnail >Lock/Unlock Clip >Unlock All Clipsを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのクリップの保護が解除され、完了メッセージが表示されます。
- 4 MENUつまみを押してメッセージを消す。

クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。
コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

【ご注意】

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例：
ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。

- コピー元のSxSメモリーカードに複数のクリップが記録されている場合は、コピー先のSxSメモリーカードが同じ容量であっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。
- 1スロット同時記録で作成したクリップをコピーした場合、メイン/サブクリップともにコピーされます。

特定クリップのコピー

- 1 メニューのThumbnail >Copy Clip >Select Clipを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップの選択画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してコピーするクリップを選択し、つまみを押す。
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 4 SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す。
確認画面が表示されます。

- 5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。

- 6 MENUつまみを押してメッセージを消す。

クリップの一括コピー

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

- 1 メニューのThumbnail >Copy Clip >All Clipsを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのクリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 4 MENUつまみを押してメッセージを消す。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。クリップの削除操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面(91ページ)で行います。

【ご注意】

1スロット同時記録で作成したクリップを削除した場合、メイン/サブクリップともに削除されます。

- 1 メニューのThumbnail >Delete Clip >Select Clipを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップの選択画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回して削除するクリップを選択し、つまみを押す。
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 4 SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 6 MENUつまみを押してメッセージを消す。

- 3 MENUつまみを回して削除するクリップを選択し、つまみを押す。
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 4 SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 5 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
クリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 6 MENUつまみを押してメッセージを消す。

サムネイル画面では、削除したクリップの次以降が1つずつ繰り上がります。

クリップの一括削除

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

【ご注意】

- 削除したクリップを復元することはできません。
- メディアやクリップが保護されている場合は、この機能を使用することはできません。

- 1 メニューのThumbnail >Delete Clip >All Clipsを選択する。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。

- MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
すべてのクリップが削除され、完了メッセージが表示されます。

- MENUつまみを押してメッセージを消す。

クリップを転送する

メニューのThumbnail >Transfer Clip、またはTransfer Clip(Proxy)でSxSメモリーカードのクリップ(オリジナルファイル)やSDカードに記録したプロキシファイルを任意のサーバーへ転送できます。

Thumbnail >Transfer Clipの操作手順は、「本機のサムネイル画面でオリジナルファイルを転送する」(72ページ)をご覧ください。

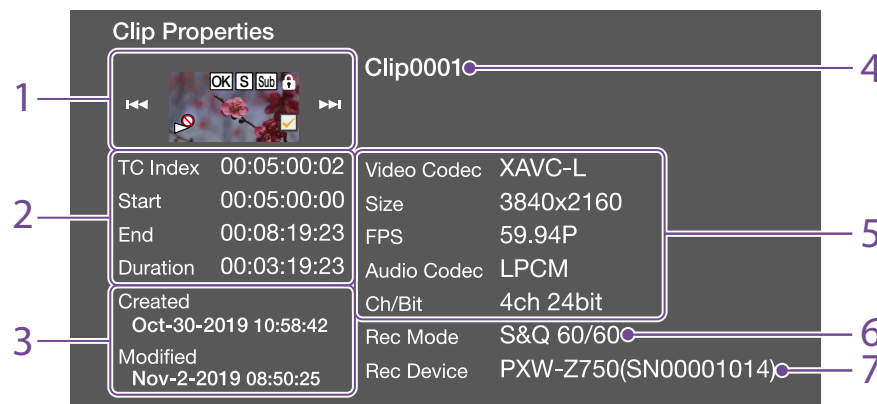
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)の操作手順は、「本機のサムネイル画面でプロキシファイルを転送する」(71ページ)を参照ください。

[ご注意]

1スロット同時記録で作成したクリップをメニューのThumbnail >Transfer Clipで転送した場合、メインクリップのみが転送されます。

クリップの詳細情報を表示する

メニューのThumbnail >Display Clip Propertiesを選択すると、選択しているクリップの詳細情報画面が表示されます。



1. 現在のクリップ画像

選択しているクリップの代表画とクリップの状態が表示されます。

2. タイムコード表示

TC Index : 表示されている画像のタイムコード

Start : 記録開始点のタイムコード

End : 記録終了点のタイムコード

Duration : 収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. クリップ名

5. 記録フォーマット

Video Codec : ビデオコーデック

Size : 画サイズ

FPS : フレームレート

Audio Codec : 音声コーデック

Ch/Bit : 音声記録チャンネル/音声記録ビット数

6. 特殊記録撮影情報

7. 収録機器名

クリップの詳細情報画面を消すには、次のいずれかの操作を行います。

RESET/RETURNボタンを押す : Thumbnailメニュー画面に戻ります。

THUMBNAILボタンを押す : 本機はE-Eモードになり、カメラ画が表示されます。

PLAY/PAUSEボタンを押す : 選択されているクリップから再生が始まります。

クリップにクリップフラグを付ける

クリップにクリップフラグ(OK、NG、KPマーク)を付けると、クリップフラグを基準にクリップを

絞り込んで表示することができます。この操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面(91ページ)で行います。

[ご注意]

ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。

- クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、メニューのThumbnail >Set Clip Flagを選択する。

- MENUつまみを回してクリップフラグを選択し、つまみを押す。

設定値	付加されるクリップフラグ
Add OK	OK
Add NG	NG
Add KEEP	KP

選択したクリップのサムネイルにクリップフラグが付けられます。

クリップフラグ機能を割り当てたアサインブルスイッチを使用してクリップフラグを付けることもできます(126ページ)。

クリップフラグを削除する

- クリップフラグを削除したいクリップのサムネイルを選択し、メニューのThumbnail >Set Clip Flag >Delete Clip Flagを選択する。
クリップフラグが削除されます。

フィルタードクリップ画面で表示するクリップを絞り込む

【ご注意】

ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。

1 メニューのThumbnail > Filter Clipsを選択する。

2 MENUつまみを回して絞り込み対象のクリップフラグを選択し、つまみを押す。

設定値	絞り込み対象のクリップフラグ
OK	OK
NG	NG
KEEP	KP
None	なし(絞り込まない)

選択したクリップフラグで絞り込まれたクリップ画面が表示されます。この画面をフィルタードクリップ画面と呼びます。

絞り込みを解除するには、次のいずれかの操作を行います。

- RESET/RETURNボタンを押す。
- メニューのThumbnail > Thumbnail View > Allを選択する。

クリップにエッセンスマークを付ける／削除する

クリップの任意の位置のフレームにエッセンスマーク(ショットマーク、レックスタートマーク)を

付加／削除することができます。エッセンスマークの付加／削除は、エッセンスマークサムネイル画面で行います。

【ご注意】

ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。

ショットマークの付加

1 メニューのThumbnail > Thumbnail View > Essence Mark Thumbnailを選択する。

2 MENUつまみを回してAllを選択し、つまみを押す。

3 エッセンスマークサムネイル画面でショットマークを付けるフレームのサムネイルを選択し、メニューのThumbnail > Set Shot Markを選択する。

4 MENUつまみを回して次のいずれかを選択し、つまみを押す。

設定値	動作
Add Shot Mark1	Shot Mark1を付ける
Add Shot Mark2	Shot Mark2を付ける

選択したフレームにショットマークが付けられます。

ショットマークの削除

1 メニューのThumbnail > Thumbnail View > Essence Mark Thumbnailを選択する。

2 削除するショットマークの種類を選択する。

3 エッセンスマークサムネイル画面でショットマークを削除するフレームのサムネイルを選択し、メニューのThumbnail > Set Shot Markを選択する。

4 MENUつまみを回して次のいずれかを選択し、つまみを押す。

設定値	動作
Delete Shot Mark1	Shot Mark1を削除する
Delete Shot Mark2	Shot Mark2を削除する

選択したフレームのショットマークが削除されます。

エッセンスマークサムネイル画面でクリップ(フレーム)を絞り込む

エッセンスマークサムネイル画面は、クリップに1つ以上のエッセンスマークが記録されている場合に、エッセンスマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示します。サムネイル画面を表示して、ESSENCE MARKボタン(10ページ)を押すか、次の手順で表示することができます。

【ご注意】

ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。

1 メニューのThumbnail > Thumbnail View > Essence Mark Thumbnailを選択する。

2 MENUつまみを回して絞り込み対象のエッセンスマークを選択し、つまみを回す。

設定値	内容
All	エッセンスマークが付いたすべてのフレームが対象
Rec Start	レックスタートマークがついているフレームおよび先頭フレームにレックスタートマークが付いていないクリップの先頭フレームが対象
Shot Mark0 ~ Shot Mark9	各ショットマークが付いたフレームが対象

選択したエッセンスマークで絞り込まれたエッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

クリップの代表画を変更する

エッセンスマークサムネイル画面で選択したフレームをクリップの代表画にすることができます。代表画にしたいフレームのサムネイルを選択し、メニューのThumbnail > Set Index Pictureで選択したフレームがクリップの代表画に設定されません。

Thumbnailメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

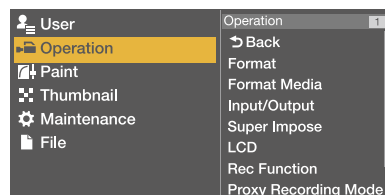
項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties	—	クリップの詳細情報を表示する(90ページ)。
Set Index Picture	—	クリップの代表画フレームを設定・変更する(91ページ)。
Thumbnail View 表示するサムネイル画面を変更します。	Essence Mark Thumbnail All/Rec Start/Shot Mark1/ Shot Mark2/Shot Mark3/ Shot Mark4/Shot Mark5/ Shot Mark6/Shot Mark7/ Shot Mark8/Shot Mark9/ Shot Mark0 Clip Thumbnail	エッセンスマークでクリップを絞り込んだエッセンスマークサムネイル画面を表示する(91ページ)。 サムネイル画面(クリップサムネイル画面)を表示する(86ページ)。
Set Shot Mark ショットマークの付加／削除を行います。	Add Shot Mark1 Delete Shot Mark1 Add Shot Mark2 Delete Shot Mark2	フレームにショットマーク1を付ける(91ページ)。 ショットマーク1を削除する(91ページ)。 フレームにショットマーク2を付ける(91ページ)。 ショットマーク2を削除する(91ページ)。
Set Clip Flag クリップフラグの付加／削除を行います。	Add OK Add NG Add KEEP Delete Clip Flag	クリップにOKフラグを付ける(90ページ)。 クリップにNGフラグを付ける(90ページ)。 クリップにKP(KEEP) フラグを付ける(90ページ)。 クリップフラグを削除する(90ページ)。
Lock/Unlock Clip クリップの保護／保護解除を行います。	Select Clip Lock All Clips Unlock All Clips	設定対象のクリップを選択する(88ページ)。 メディアのすべてのクリップを保護する(88ページ)。 メディアのすべてのクリップの保護を解除する(89ページ)。
Copy Clip クリップのコピーを行います。	Select Clip All Clips	コピー対象のクリップを選択する(89ページ)。 メディアのすべてのクリップをコピーする(89ページ)。

項目	細目と設定値	内容
Copy Sub Clip サブクリップを別のメディアにメインクリップとしてコピー保存します。	All Clips	コピー対象のすべてのサブクリップを選択する(55ページ)。
Delete Clip クリップの削除を行います。	Select Clip All Clips	削除対象のクリップを選択する(89ページ)。 メディアのすべてのクリップを削除する(89ページ)。
Transfer Clip 転送するオリジナルファイルをジョブリストに登録します。	Select Clip All Clips	オリジナルファイルをファイル転送対象として選択する。(72ページ) メディアのすべてのオリジナルファイルをファイル転送対象として選択する。(73ページ)
Transfer Clip(Proxy) 転送するプロキシファイルをジョブリストに登録します。	Select Clip All Clips	オリジナルファイルに対応しているプロキシファイルをファイル転送対象として選択する。(71ページ) オリジナルファイルに対応しているメディアのすべてのプロキシファイルをファイル転送対象として選択する。(71ページ)
Filter Clips クリップフラグでクリップ表示を絞り込みます。	OK NG KEEP None	OKフラグでクリップ表示を絞り込む(91ページ)。 NGフラグでクリップ表示を絞り込む(91ページ)。 KP(KEEP) フラグでクリップ表示を絞り込む(91ページ)。 絞り込みを行わない(91ページ)。
Customize View	Thumbnail Caption Date Time/ <u>Time Code</u> / Duration/Sequential Number	サムネイルのクリップ直下の情報表示を選択する。 Date Time : 日時時刻を表示する。 Time Code : タイムコードを表示する。 Duration : クリップの収録時間を表示する。 Sequential Number : クリップの通し番号を表示する。

セットアップメニューの構成

本機では、ビューファインダー画面に表示されるセットアップメニューを使用して、撮影や再生に必要な各種の設定を行います。

セットアップメニューは、外部ビデオモニターに表示する(140ページ) こともできます。



メニュー構成

Userメニュー

ユーザーがセットアップメニューを任意の順番で配置するとき使用するメニューです。(97ページ)

Operationメニュー

撮影に関する設定(画質関連以外) をするとき使用するメニューです。

Paintメニュー

画質に関する設定をするとき使用するメニューです。

Thumbnailメニュー

クリップのサムネイルに関する設定をするとき使用するメニューです。(92ページ)

[ご注意]

Thumbnailメニューは、サムネイル画面(86ページ) を表示しているときのみ使用できます。サムネイル画面を表示していないときは無効です。

Maintenanceメニュー

本機のメンテナンスやシステム管理関連の設定をするとき使用するメニューです。

Fileメニュー

各種ファイル操作をするとき使用するメニューです。

各メニュー項目について

Operationメニュー

項目	概要	参照先
Format	システム設定	100
Base Setting	ダイナミックレンジモードの設定	100
HDR Setting	HDR設定	100
Format Media	メディアフォーマット	101
Input/Output	入出力信号設定	101
Super Impose	スーパーインポーズ設定	101
LCD	LCDモニター設定	101
Rec Function	特殊記録モード設定	102
XAVC Proxy Rec Mode	プロキシデータ設定	103
Assignable Switch	アサインブルスイッチへの機能割り当て	103
VF Setting	ビューファインダー設定	103
Marker	マーカー表示	103
Gain Switch	ゲイン値設定	104
Auto Iris	オートアイリス設定	104
Zebra	ゼブラ設定	104
Display On/Off	ビューファインダー表示項目設定	104
"!"LED	ビューファインダー"! "設定	105
White Setting	ホワイトバランス設定	106
Offset White	オフホワイト設定	106
Shutter	シャッター設定	106
Slow Shutter	スローシャッター設定	106
Time Zone	時差設定	107

項目	概要	参照先
Clip	クリップ設定	107
Update Media	メディア管理情報アップデート	107
GPS	測位情報(GPS) 設定	107
Planning Metadata	プランニングメタデータ設定	107
USB	USBメディアへのコピー設定	107

Paintメニュー

項目	概要	参照先
Switch Status	補正機能、テスト信号ON/OFF設定	109
HDR Paint Setting	HDR設定	109
White	色温度設定	109
Black	ブラックレベル設定	109
Flare	フレア補正設定	109
Gamma(HDR)	HDRガンマ設定	110
Gamma	ガンマ補正設定	110
Black Gamma	ブラックガンマ補正設定	110
Knee	ニー補正設定	111
White Clip	ホワイトクリップ設定	111
Detail(QFHD)	ディテール設定	111
Detail(HD)	ディテール設定	111
Aperture	アパーチャー補正設定	111
Skin Detail	スキنديテール補正設定	112
Matrix	マトリクス補正設定	112
Multi Matrix	マルチマトリクス補正設定	112

項目	概要	参照先
V Modulation	Vモジュレーション シェーディング補正設 定	113
Low Key Saturation	ローキーサチュレー ション補正設定	113
Saturation Mode	サチュレーション補正 設定	113
Noise Suppression	ノイズサプレス設定	113

Maintenanceメニュー

項目	概要	参照先
White Shading	ホワイトシェーディ ング補正設定	114
Black Shading	ブラックシェーディ ング補正設定	114
Battery	バッテリー設定	114
DC Voltage Alarm	外部DC電源電圧ア ラーム設定	114
Audio	オーディオ設定	114
WRR Setting	ワイヤレスチューナー 設定	116
Time Code	タイムコード設定	116
Essence Mark	エッセンスマーク設定	117
Camera Config	カムコーダー動作設定	117
Preset White	プリセットホワイト設 定	118
White Filter	フィルター設定	118
DCC Adjust	DCC設定	118
Flicker Reduce	フリッカー補正設定	119
Genlock	ゲンロック設定	119
Auto Shading	オートブラックシェー ディング補正設定	119
APR	APR設定	119

項目	概要	参照先
Basic Authentication	Basic認証設定	119
Network	ネットワーク接続設定	119
Network Client Mode	ネットワーククライア ントモード設定	121
File Transfer	Wi-Fi転送設定	122
Streaming	ストリーミング設定	122
Clock Set	内蔵時計設定	123
Language	メッセージ表示言語設 定	123
Hours Meter	デジタル時計設定	123
Network Reset	ネットワークリセット	123
Fan Control	ファン制御設定	123
VF Display Setting	ビューファインダー表 示設定	123
Version	バージョン設定	123

Fileメニュー

項目	概要	参照先
User File	ユーザーファイル設定	124
All File	ALLファイル設定	124
Scene File	シーンファイル設定	124
Reference File	リファレンスファイル 設定	124
Lens File	レンズファイル設定	125
User Gamma	ガンマファイル設定	125

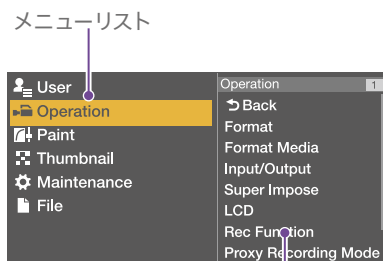
セットアップメニューの基本操作

セットアップメニューを表示する

MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押します。

本機がメニューモードになり、画面にメニューリストが表示されます。

以下は、Operationメニューにカーソルがある場合の画面例です。



メニュー項目項目選択エリア

[ご注意]

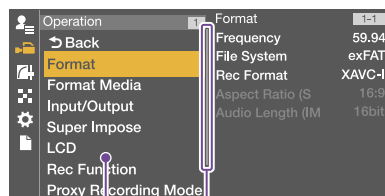
拡大フォーカス(Focus Mag)モードになっていると、セットアップメニューは操作できません。Focus Magが割り当てられているアサインナブスイッチで拡大フォーカスモードを解除してください。

メニューを設定する

1 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、設定したいメニューにカーソルを合わせる。メニューリスト右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

2 MENUつまみまたはSETボタンを押す。メニュー項目選択画面が表示されます。 \Rightarrow ボタンを押してメニュー項目選択画面を表示することもできます。

- メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できる項目が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

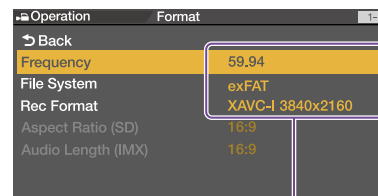


メニュー項目がまだ下にあるときに表示されます。

メニュー表示選択エリア

- 選択した項目に細目がある場合は、右に細目が表示されます。
- 細目がない場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- Backを選択すると1つ上の階層に戻ります。

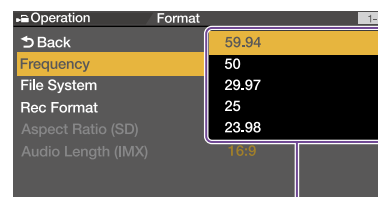
3 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。



設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
- Backを選ぶか \leftarrow ボタンを押す、またはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると1つ上の階層に戻ります。

4 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、設定したい細目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



選択肢エリア

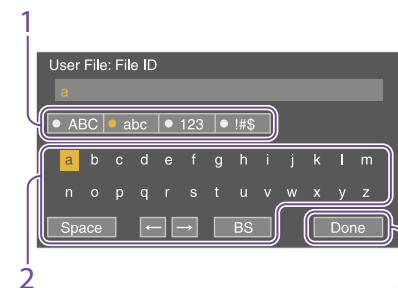
- 選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合(例: -99 ~ +99)は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

5 MENUつまみを回すか、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、設定したい値を選び、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。設定が変更され、変更後の状態が表示されます。実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。

実行前に確認が必要な項目の場合、手順3で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 MENUつまみを回して入力したい文字タイプを選択して、MENUつまみまたはSETボタンを押す。
 ABC : 英大文字
 abc : 英小文字
 123 : 数字
 !#\$: 特殊文字

- 2 選択した文字タイプから文字を選択し、決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
←/→：カーソル位置を移動します。
BS：カーソルの左の文字を削除します。
- 3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。
文字列が確定され、入力画面が消えます。

設定変更を取り消す

- 1 MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げる。

メニュー操作を終了する

- 1 MENU ON/OFFスイッチをOFFにするかMENUボタンを押す。
通常のカメラ画に戻ります。

メニューをロック/解除する

セットアップメニューの表示をロックして、Userメニューだけを表示させることができます。

メニューをロックする

- 1 MENUつまみを押しながら、MENU ON/OFFスイッチを押し下げて、セットアップメニューを表示する。
- 2 メニューのMaintenance >Camera Config >User Menu with Lockを表示する。

[ご注意]

- MENUつまみを押しながら、MENU ON/OFFスイッチを押し下げると、Camera Config >User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUつまみを押さずにMENU ON/OFFスイッチを押し下げる、またはMENUボタンを押してメニュー表示した場合は、Camera Config >User Menu with Lockは表示されません。

- 3 Onを選択してMENUつまみを押す。
ビューファインダー画面表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。
- 4 任意の暗証番号を入力する。
入力できる数値は4桁の0000～9999になります。初期値は0000です。
数値を入力してMENUつまみを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、Setにカーソルが移動します。

- 5 Setにカーソルがある状態で、MENUつまみを押す。
入力が確定します。
設定が完了したメッセージが表示され、Userメニューだけのメニュー表示に切り換わります。

[ご注意]

- 下表に示すセットアップメニューをUserメニューに登録しないでロックすると、そのセットアップメニューと同じ機能をアサインブルスイッチに割り当てできなくなります。
- 下表に示す機能をアサインブルスイッチに割り当てている状態で、その機能と同じセットアップメニューをロックすると、アサインブルスイッチに割り当てた機能の設定は強制的にOffになります。

セットアップメニュー	アサインブルスイッチへの割り当て可能機能
Operation >Rec Function >Picture Cache Rec	Picture Cache Rec
Operation >Rec Function >Clip Continuous Rec	Clip Continuous Rec
Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion	Slow & Quick Motion
Operation >Display On/Off >Video Signal Monitor	Video Signal Monitor
Operation >Display On/Off >Lens Info	Lens Info
Operation >Auto Iris >Mode	Spotlight Backlight
Operation >Marker >Setting	Marker
Maintenance >Audio >Front MIC Select	Front MIC
Maintenance >Network Client Mode >Setting	Network Client Mode
Maintenance >File Transfer >Auto Upload(Proxy)	Auto Upload(Proxy)

メニューのロックを解除する

- 1 MENUつまみを押しながら、MENU ON/OFFスイッチを押し下げて、セットアップメニューを表示する。

- 2 メニューのUser >Camera Config >User Menu with Lockを表示する。

[ご注意]

- MENUつまみを押しながら、MENU ON/OFFスイッチを押し下げると、Camera Config >User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUつまみを押さずにMENU ON/OFFスイッチを押し下げる、またはMENUボタンを押してメニュー表示した場合は、Camera Config >User Menu with Lockは表示されません。

- 3 Offを選択してMENUつまみを押す。
ビューファインダー画面表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。

- 4 メニューをロックしたときの暗証番号を入力する。
入力できる数値は4桁の0000～9999です。
数値を入力してMENUつまみを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、Setにカーソルが移動します。

- 5 Setにカーソルがある状態で、MENUつまみを押す。
入力が確定します。
メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメッセージが表示され、全メニュー表示に切り換わります。

[ご注意]

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのために、手元に記録を残すことをおすすめします。忘れたときは、サービス窓口にお問い合わせください。

Userメニューの編集

UserメニューのEdit User Menuで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、Userメニューをより使いやすく編集することができます。Operationメニュー、Paintメニュー、Maintenanceメニューの任意の項目、および一部のFileメニューの項目を選択して、Userメニューに追加することができます。

Userメニューには項目を20個まで登録できます。工場出荷時には6項目登録されていますが、そのうちの1項目は削除できないため、新規に19個まで項目を追加できます。

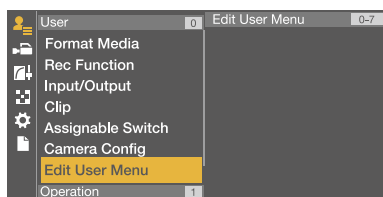
[ご注意]

メニューロック中は編集できません。

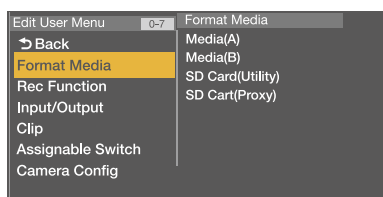
Edit User Menu画面を表示する

Userメニューの編集はEdit User Menu画面で行います。

- 1 MENUつまみを回してメニューのUser > Edit User Menuを選択し、つまみを押す。

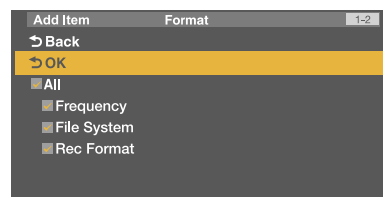


Edit User Menu画面が表示されます。



項目／細目を追加する

- 1 MENUつまみを回してEdit User Menu > Add Itemを選択し、つまみを押す。追加が可能な項目が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して追加する項目を選択し、つまみを押す。追加する細目を選択する画面が表示されます。



- 3 MENUつまみを回して追加する細目を選択し、つまみを押す。すべての細目を追加する場合はAllにチェックを付けます。追加する細目を指定する場合は、追加する細目にチェックを付けます。

- 4 MENUつまみを回してOKを選択し、つまみを押す。項目／細目の追加が完了します。

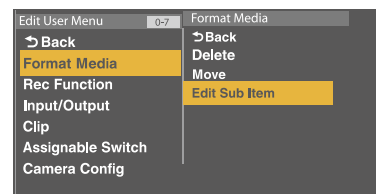
[ご注意]

同じ項目／細目を2回登録することはできません。また追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

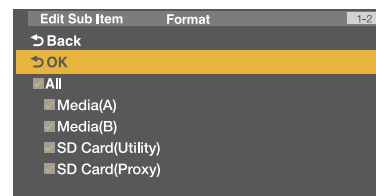
項目の細目を編集する

表示する項目を任意に設定することができます。

- 1 Edit User Menuを表示する。
- 2 MENUつまみを回して編集する項目を選択し、つまみを押す。編集機能リストが表示されます。
- 3 MENUつまみを回して編集機能リストのEdit Sub Itemを選択し、つまみを押す。



Edit Sub Item画面が表示されます。

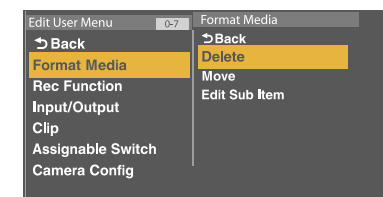


最初に開いたときは、すべての細目にチェックが付いています(すべての細目が表示される状態)。細目のチェックを外すとUserメニューに表示されなくなります。

- 4 MENUつまみを回してOKを選択し、つまみを押す。編集が完了します。

項目を削除する

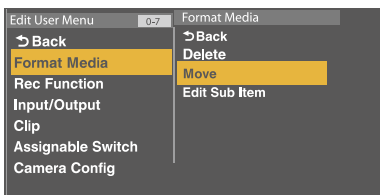
- 1 Edit User Menuを表示する。
- 2 MENUつまみを回して編集する項目を選択し、つまみを押す。編集機能リストが表示されます。
- 3 MENUつまみを回して編集機能リストのDeleteを選択し、つまみを押す。



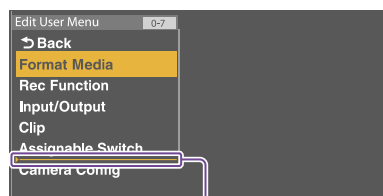
項目が削除されます。

項目を移動する

- 1 Edit User Menuを表示する。
- 2 MENUつまみを回して移動する項目を選択し、つまみを押す。編集機能リストが表示されます。
- 3 MENUつまみを回して編集機能リストのMoveを選択し、つまみを押す。

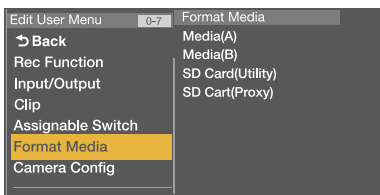


移動する項目がハイライトされ、移動先を示す三角マークと線が表示されます。



移動先を示す三角マークと線

- 4 MENUつまみを回して三角マークと線を移動先に合わせ、つまみを押す。項目が移動します。



Userメニューを工場出荷時の状態に戻す

- 1 MENUつまみを回してEdit User Menu >Customize Resetを選択し、つまみを押す。
Customize Reset画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してResetを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
Userメニューが工場出荷時の状態に戻ります。

Userメニュー（工場出荷時の構成）

工場出荷時のUserメニューには以下の項目が含まれています。

- Format Media(101ページ)
- Rec Function(102ページ)
- Input/Output(101ページ)
- Clip(107ページ)
- Assignable Switch¹⁾(103ページ)
- Camera Config²⁾(117ページ)

1) 細目<0>を除く

2) 細目はUser Menu Onlyのみ

Userメニューの編集については、「[Userメニューの編集](#)」(97ページ)をご覧ください。

Operationメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Operation >Format 使用するシステム周波数、ファイルシステム、記録フォーマット、記録アスペクトを設定します。		
項目	設定値	内容
Frequency	59.94 /50/29.97/25/23.98	システム周波数を選択する(Executeで実行)。 [ご注意] システム周波数の変更に関連して、そのシステム周波数で以前設定していたRec Formatに切り換わります。
File System	exFAT /UDF/FAT	ファイルシステムを切り換える(Executeで実行)。
Rec Format	システム周波数の設定に応じて変わる。 XAVC-I 3840×2160P XAVC-I 1920×1080P XAVC-I 1920×1080i XAVC-L200 2160P XAVC-L 3840×2160P XAVC-L 50 1920×1080P XAVC-L 50 1920×1080i XAVC-L 35 1080P XAVC-L 35 1080i XAVC-L 25 1080i HD422 50 1080i HD422 50 720P HQ 1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P XAVC-I 3840×2160P XAVC-I 1920×1080P XAVC-L 3840×2160P XAVC-L 50 1920×1080P XAVC-L 35 1080P HD422 50 1080P HD422 50 720P HQ 1920×1080P HD422 50 1080i HD422 50 720P HQ 1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P	記録フォーマットを選択する(Executeで実行)。 ファイルシステムがexFAT、システム周波数が59.94または50のとき ファイルシステムがexFAT、システム周波数が29.97、25または23.98のとき ファイルシステムがUDF、システム周波数が59.94または50のとき

Operation >Format 使用するシステム周波数、ファイルシステム、記録フォーマット、記録アスペクトを設定します。		
項目	設定値	内容
Rec Format	HD422 50 1080P HD422 50 720P HQ 1920×1080P HQ 1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P SP 1440×1080i HQ 1920×1080P	ファイルシステムがUDF、システム周波数が29.97、25または23.98のとき ファイルシステムがFAT、システム周波数が59.94または50のとき ファイルシステムがFAT、システム周波数が29.97、25または23.98のとき
Operation >Base Setting 撮像に使用するダイナミックレンジを設定します。		
項目	設定値	内容
Shooting Mode	SDR /HDR	SDR : 従来の標準的なダイナミックレンジの撮像モードに設定する。 HDR : ダイナミックレンジを拡大した撮像モードに設定する。
High Sensitivity Mode	Off /On	On : 通常モードと比較して約4 dB感度が高くなるように設定する。
Operation >HDR Setting HDR運用時の4K(QFHD)側とHD側それぞれの記録と出力システムを設定します。色域はHDR(HLG)時はITU-R BT.2020、HDR(S-Log3)時はITU-R BT.2020またはS-Gamut3/S-Gamut3.Cineから選択します。		
項目	設定値	内容
4K(QFHD) Rec/Out	HDR(HLG) /HDR(S-Log3)	HDR(HLG) : 4K(QFHD)側の記録と出力をHLGに設定する。 HDR(S-Log3) : 4K(QFHD)側の記録と出力をS-Log3に設定する。
HD Rec/Out	HDR(HLG) /SDR	4K(QFHD) Rec/Out設定がHDR(HLG)のときに有効。 HDR(HLG) : HD側の記録と出力をHLG設定に設定する。 SDR : HD側の記録と出力をSDR設定に設定する。 [ご注意] • 4K(QFHD) Rec/Out設定がHDR(S-Log3)のときはSDR固定となります。 • HDR(S-Log3) 設定はできません。

Operation > **HDR Setting**
HDR運用時の4K(QFHD)側とHD側それぞれの記録と出力システムを設定します。色域はHDR(HLG)時はITU-R BT.2020、HDR(S-Log3)時はITU-R BT.2020またはS-Gamut3/S-Gamut3.Cineから選択します。

項目	設定値	内容
SDR Gain	0dB ~ -6dB ~ -15dB	HD Rec/OutがSDRのとき、HDRに対するSDR側のゲインを調整する。
S-Log Color Space	BT.2020 / S-Gamut3(3200K)/ S-Gamut3(4300K)/ S-Gamut3(5500K)/ S-Gamut3.Cine(3200K)/ S-Gamut3.Cine(4300K)/ S-Gamut3.Cine(5500K)	S-Gamut3 : ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域 S-Gamut3.Cine : デジタルシネマの色域(DCI-P3) への調整がしやすい色域 ホワイトバランスの色温度を目安とした場合の設定値は以下のとおりです。 3700Kより低い場合 : S-Gamut3(3200K)か S-Gamut3.Cine(3200K)、 3700K ~ 4700K : S-Gamut3(4300K)か S-Gamut3.Cine(4300K) 4700Kより高い場合 : S-Gamut3(5500K)か S-Gamut3.Cine(5500K)

[ご注意]

S-Gamut3またはS-Gamut3.Cine選択時は、そのときのホワイトバランスに近い色温度を選択してください。

Operation > **Format Media**
メディアをフォーマットします。

項目	設定値	内容
Media(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
Media(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
SD Card(Utility)	Execute/Cancel	UTILITY SDカードスロットのSDカードを初期化する(Executeで実行)。
SD Card(Proxy)	Execute/Cancel	PROXY SDカードスロットのSDカードを初期化する(Executeで実行)。

Operation > **Input/Output**
入/出力信号を設定します。

項目	設定値	内容
Output Format	システム周波数の設定に応じて変わる。	出力フォーマットを選択する(Executeで実行)。記録フォーマットにより設定値が異なる(35ページ)。
Source Select	Camera /External	ビデオ入力ソースをカメラ画(Camera)にするかSDI IN端子からの入力信号にするかを選択する。
SDI Out1 Output	On /Off	SDI OUT1端子からの出力信号をオン/オフする。
SDI Out2 Output	On /Off	SDI OUT2端子からの出力信号をオン/オフする。
HDMI Output	On /Off	HDMI端子からの出力信号をオン/オフする。
SDI Out/HDMI Super	Off /On	SDI OUT2端子、およびHDMI端子からの文字情報(スーパーインポーズ)出力をオン/オフする。

Operation > **Super Impose**
スーパーインポーズされる文字情報/マーカを設定します。

項目	設定値	内容
Super(VF Display)	On /Off	Input/Output > SDI Out/HDMI SuperがOnのときに、SDI OUT端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報を項目ごとにオン/オフする。
Super(Menu)	On /Off	
Super(Marker)	On/ Off	Input/Output > SDI Out/HDMI SuperがOnのときにSDI OUT端子からの出力にスーパーインポーズされるマーカ表示をオン/オフする。

Operation > **LCD**
LCDモニターを設定します。

項目	設定値	内容
LCD Color	-99 ~ ±0 ~ +99	LCDモニター画面の色の濃さを調整する。
LCD Marker&Zebra	On /Off	LCDモニターのマーカ表示とゼブラ表示をオン/オフする。

Operation > Rec Function 特殊記録モードを設定します。		
項目	設定値	内容
Slow & Quick Motion	On/ Off	スロー&クイックモーションモードをオン/オフする。(この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。)
Frame Rate	記録フォーマットの設定に応じて変わる。	Slow & Quick Motion設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを選択する。
	72、75、90、96、100、120	ファイルシステムがexFAT、記録フォーマットがXAVC Intra(1920×1080)、XAVC Long (1920×1080)のとき
	1 ~ 60	ファイルシステムがexFAT、記録フォーマットがXAVC Intra、XAVC Longのとき
	1 ~ 50	ファイルシステムがUDF、記録フォーマットがMPEG HD 422 50M(1280×720)、50P/25Pのとき
	1 ~ 30	ファイルシステムがexFATまたはUDF、記録フォーマットがMPEG HD 422 50M(1920×1080)、29.97P/23.98Pのとき
1 ~ 25	ファイルシステムがexFATまたはUDF、記録フォーマットがMPEG HD 422 50M(1920×1080)、25Pのとき	
Clip Continuous Rec	On/ Off	クリップコンティニュースレックモードをオン/オフする。(この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。)
Picture Cache Rec	On/ Off	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする。(この設定をOnにすると、一部の機能を除き他の特殊記録モードの設定がOffになる。)
Cache Rec Time	設定値は記録フォーマットの設定により変わる。	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間(キャッシュレック開始時にさかのぼる時間)を設定する。 ◆ 詳しくは付録の「ピクチャーキャッシュレックモード設定」(169ページ)をご覧ください。
Interval Rec	On/ Off	インターバルレックモードをオン/オフする。(この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。)

Operation > Rec Function 特殊記録モードを設定します。		
項目	設定値	内容
Number of Frames	Format > Frequencyの設定に応じて変わる。 2frames /6frames/12frames	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。 記録フォーマットのフレームレートが50P、59.94Pのとき
	1frame/3frames/6frames/9frames	記録フォーマットのフレームレートが23.98P、25P、29.97P、50i、59.94iのとき
Interval Time	1 /2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50 (sec)	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する。
	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50/ (min)	
	1/2/3/4/6/12/24 (hour)	
Pre-Lighting	Off /2sec/5sec/10sec	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させない場合はOffを選択する。
Simul Rec	On/ Off	Aスロット&Bスロットへの2スロット同時記録機能をオン/オフする。
4K & HD (Sub) Rec	On/ Off	1スロット同時記録をオン/オフする。
HD (Sub) Rec Format	システム周波数が59.94、50のとき XAVC-L50 1920x1080P/ HD422 50 1080i	1スロット同時記録のHD (Sub)記録フォーマットを設定する。
	システム周波数が29.97、25、23.98のとき XAVC-L50 1920x1080P/ HD422 50 1080P	
HD (Sub) Playback Mode	On/ Off	1スロット同時記録されたサブクリップの再生機能をオン/オフする。

Operation >XAVC Proxy Rec Mode プロキシ記録を設定します。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	プロキシ記録をオン/オフする。
Size	HD Auto(9Mbps)/ HD Auto(6Mbps)/ 1280x720(9Mbps)/ 1280x720(6Mbps)/ 640x360(3Mbps) / 480x270(1Mbps)/ 480x270(0.5Mbps)	プロキシ記録フォーマットのサイズを選択する。
Frame Rate	23.98fps/25fps/29.97fps/5 0fps/59.94fps	プロキシ記録フォーマットのフレームレートを表示する。
Bit Rate	9Mbps/6Mbps/3Mbps/ 1Mbps/0.5Mbps	プロキシ記録フォーマットのビットレートを表示する。
Audio Channel	CH1/CH2 /CH3/CH4	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。

Operation >Assignable Switch アサインブルスイッチに機能を割り当てます。 ◆ 機能の割り当てについて詳しくは、「アサインブルスイッチに機能を割り当てる」(126ページ)をご覧ください。		
項目	設定値	内容
<0>	126ページ	ASSIGN. 0スイッチに機能を割り当てる。
<1>	127ページ	ASSIGN. 1スイッチに機能を割り当てる。
<2>	126ページ	ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てる。
<3>	127ページ	ASSIGN. 3スイッチに機能を割り当てる。
<4>	127ページ	ASSIGNABLE 4スイッチに機能を割り当てる。
<5>	127ページ	ASSIGNABLE 5スイッチに機能を割り当てる。
Lens RET	128ページ	レンズのRETボタンに機能を割り当てる。
Online	127ページ	ONLINEボタンに機能を割り当てる。
Zoom Speed	0 ~ 20 ~ 99	ASSIGNABLE 4または5スイッチにZoomを割り当てた場合の動作速度を設定する。

Operation >VF Setting ビューファインダー画面を設定します。		
項目	設定値	内容
Color	-99 ~ ±0 ~ +99	ビューファインダー映像の色の濃さを調整する。
VF Detail Level	-99 ~ ±0 ~ +99	カムコーダー側で付けるビューファインダーのディテールレベルを設定する(HDVF-20A使用時)。

Operation >Marker ビューファインダー画面のマーカー表示を設定します。		
項目	設定値	内容
Setting	On /Off	すべてのマーカー表示をオン/オフする。 [ご注意] ASSIGN. 2にMarkerを割り当てている場合、この設定は無効です。
Color	White /Yellow/Cyan/ Green/Magenta/Red/Blue	マーカーの表示色を選択する。
Center Marker	1/2/3/4/ Off	センターマーカーを表示する場合はその種類を選択、表示しない場合はOffを選択する。
Safety Zone	On/ Off	セーフティゾーンの表示をオン/オフする。
Safety Area	80%/ 90% /92.5%/95%	セーフティゾーンの範囲を選択する。
Aspect Marker	Line/Mask/ Off	アスペクトマーカーを表示する場合は表示方法を選択、表示しない場合はOffを選択する。 Line : 白線で表示する。 Mask : マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。
Aspect Select	15:9/14:9/13:9/ 4:3 /1.66:1/ 1.85:1/2.35:1/2.4:1	マーカーのアスペクト比を選択する。
Aspect Mask	0% ~ 12% ~ 15%	Aspect MarkerがMaskの場合に、マーカー範囲内のビデオ信号レベルに対するマーカー範囲外のビデオ信号レベルを設定する。
Aspect Safety Zone	On/ Off	アスペクトセーフティゾーンマーカーをオン/オフする。
Aspect Safety Area	80%/ 90% /92.5%/95%	アスペクトセーフティゾーンマーカーの大きさ(画面全体に対する比率)を選択する。
100% Marker	On/ Off	100%のセーフティゾーンマーカーの表示をオン/オフする。
User Box	On/ Off	ボックスカーソルの表示をオン/オフする。
User Box Width	40 ~ 500 ~ 999	ボックスカーソルの幅(中心から左右端までの距離)を設定する。
User Box Height	70 ~ 500 ~ 999	ボックスカーソルの高さ(中心から上下端までの距離)を設定する。
User Box H Position	-479 ~ 0 ~ 479	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する。
User Box V Position	-464 ~ 0 ~ 464	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する。

Operation >Gain Switch ゲイン値の切り換え設定をします。		
項目	設定値	内容
Gain<L>	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がLの場合のゲイン値を選択する。
Gain<M>	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がMの場合のゲイン値を選択する。
Gain<H>	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	GAINスイッチの設定がHの場合のゲイン値を選択する。
Gain <Turbo>	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	Turbo Gain機能を割り当てたアサインプラス スイッチをオンにしたときのゲイン値を選択する。
Shockless Gain	On/Off	ショックレスゲイン(ゲイン切り換え時にスムーズ に値が切り替わる機能)をオン/オフする。

Operation >Auto Iris オートアイリスを設定します。		
項目	設定値	内容
Iris Override	On/Off	絞りを開きぎみまたは閉じぎみにする設定をオン /オフする。
Mode	Backlight/Standard/ Spotlight	オートアイリスの制御モードを選択する。 Backlight: バックライトモード(中心となる被写 体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード(オプションのリモコン接 続時は選択できません。) Spotlight: スポットライトモード(中心となる被 写体にスポットライトがあたっているとき、 白つぶれを軽減するモード)
Level	-99 ~ ±0 ~ +99	収束目標レベルを設定する(値が大きいかほど明る めになる)。
Speed	-99 ~ ±0 ~ +99	制御スピード(映像の変化に対する反応速度)を 設定する(値が大きいかほど反応は速くなる)。
Clip High light	On/Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反 応を鈍くさせる機能をオン/オフする。
Detect Window	1/2/3/4/5/6/Var	オートアイリス検出ウィンドウの種類を選択す る。 Var: 可変

Operation >Auto Iris オートアイリスを設定します。		
項目	設定値	内容
Detect Window Indication	On/Off	オートアイリス検出ウィンドウの枠をマーカ ーで表示する機能をオン/オフする。
Iris APL Ratio	-99 ~ ±0 ~ +99	Auto IrisのModeがStandardの場合に、オ ートアイリス検出値のピークと平均値の混合比を設 定する。
Iris Var Width	40 ~ 500 ~ 999	Iris WindowがVarの場合に、ウィンドウの幅 を設定する。
Iris Var Height	70 ~ 500 ~ 999	Iris WindowがVarの場合に、ウィンドウの高 さを設定する。
Iris Var H Position	-479 ~ 0 ~ 479	Iris WindowがVarの場合に、ウィンドウの水平 方向の位置を設定する。
Iris Var V Position	-464 ~ 0 ~ 464	Iris WindowがVarの場合に、ウィンドウの垂 直方向の位置を設定する。

Operation >Zebra ビューファインダーに表示されている映像に対してゼブラ表示を設定します。		
[ご注意] HLG Display Assist効果は反映されません。		
項目	設定値	内容
Zebra Select	1/2/Both	ゼブラ表示の種類(ゼブラ1、ゼブラ2、または 両方)を選択する。
Zebra1 Level	0% ~ 70% ~ 107%	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
Zebra1 Aperture Level	1% ~ 10% ~ 20%	ゼブラ1のアーチャーレベルを設定する。
Zebra2 Level	1% ~ 100% ~ 109%	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。

Operation >Display On/Off ビューファインダー画面に表示する項目を設定します。		
項目	設定値	内容
Video Level Warning	On/Off	映像が明るすぎる場合または暗すぎる場合の警 告表示をオン/オフする。
Shutter Setting	On/Off	シャッターモードとシャッタースピードの表示を オン/オフする。
ND Filter Position	On/Off	NDフィルター設定の表示をオン/オフする。
Gain Setting	On/Off	ゲイン設定表示をオン/オフする。
Rec /Play Status	On/Off	記録、再生状態の表示をオン/オフする。
Color Temp.	On/Off	色温度表示をオン/オフする。

Operation >Display On/Off ビューファインダー画面に表示する項目を設定します。		
項目	設定値	内容
Frame Rate/ Interval	<u>On</u> /Off	特殊記録モード表示をオン/オフする。
Battery Remain	<u>Auto</u> /Voltage/Off	バッテリー残量/入力電圧表示を設定する。 Auto : バッテリー種別に応じた残量を表示 Voltage : バッテリー種別に関わらず入力電圧 値を表示 Off : 表示オフ
Timecode	<u>On</u> /Off	タイムデータ(タイムコード、ユーザービット、デ レーション) 表示をオン/オフする。
Audio Level Meter	<u>On</u> /Off	オーディオレベルメーターの表示をオン/オフす る。
Media Status	<u>On</u> /Off	メディア状態の表示をオン/オフする。
SD Card(Utility)	<u>On</u> /Off	SDカード(Utility) 状態表示をオン/オフする。
Focus Position	<u>Meter</u> /Feet/Off	レンズのフォーカスポジションを表示するかどう かと表示単位を選択する。
Iris Position	<u>On</u> /Off	レンズのアイリスポジション表示をオン/オフす る。
Zoom Position	<u>On</u> /Off	レンズのズームポジション表示をオン/オフする。
Extender	<u>On</u> /Off	レンズのエクステンダーの表示をオン/オフす る。
ALAC	<u>On</u> /Off	収差補正の表示をオン/オフする。
AE Mode	<u>On</u> /Off	AEのモードと現在のAEレベルの設定値の表示 をオン/オフする。
Focus Mode	<u>On</u> /Off	フォーカスモード表示をオン/オフする。
White Balance Mode	<u>On</u> /Off	ホワイトバランスモード表示をオン/オフする。
CC5600K	<u>On</u> /Off	CC5600Kの表示をオン/オフする。
Rec Format	<u>On</u> /Off	記録フォーマットの表示をオン/オフする。
Gamma	<u>On</u> /Off	選択されているGammaの種類の表示をオン/ オフする。
Timecode Lock	<u>On</u> /Off	タイムコードの表示をオン/オフする。
Network Condition	<u>On</u> /Off	ネットワーク接続状態の表示をオン/オフする。
Proxy Status	<u>On</u> /Off	プロキシ状態の表示をオン/オフする。
NW Client Mode Status	<u>On</u> /Off	ネットワーククライアントモード表示をオン/オ フする。

Operation >Display On/Off ビューファインダー画面に表示する項目を設定します。		
項目	設定値	内容
Streaming Status	<u>On</u> /Off	ストリーミング状態の表示をオン/オフする。
GPS	<u>On</u> /Off	GPS受信状態の表示をオン/オフする。
Video Signal Monitor	<u>Off</u> /Waveform/Vector/ Histogram	出力映像信号の状態表示のオン/オフ、および 表示するビデオ信号の種類を選択する(20 ページ)。 [ご注意] 次の場合は表示されません。 メニューのOperation >Input/Output >SDI Out1 SelectとSDI Out2 Selectが両方ともOffのとき。
Clip Name	<u>On</u> /Off	クリップ名の表示をオン/オフする。
Focus Assist Indicator	On/ <u>Off</u>	フォーカスアシストの表示をオン/オフする。
Focus Area Marker	On/ <u>Off</u>	フォーカスエリアマーカの表示をオン/オフす る。
Lens Info	Meter/Feet/ <u>Off</u>	被写界深度を表示するかどうかと表示単位を選 択する。
WRR RF Level	On/ <u>Off</u>	ワイヤレスレシーバーの受信状態の表示をオン/ オフする。
Clip Number	<u>On</u> /Off	クリップ情報の表示をオン/オフする。
Operation >"!LED ビューファインダーの"!表示を設定します。(HDVF-20A使用時に有効な設定です。)		
項目	設定値	内容
Gain <!>	<u>On</u> /Off	ゲインが0dB以外に設定されている場合に、! ランプを点灯させる機能をオン/オフする。
Shutter <!>	<u>On</u> /Off	SHUTTERスイッチがONに設定されている場合 に、!ランプを点灯させる機能をオン/オフする。
White Preset <!>	<u>On</u> /Off	WHITE BALスイッチがPRSTに設定されている 場合に、!ランプを点灯させる機能をオン/オフ する。
ATW Run <!>	<u>On</u> /Off	ATWが使用されている場合に、!ランプを点灯 させる機能をオン/オフする。
Extender <!>	<u>On</u> /Off	レンズのエクステンダーが使用されている場合 に、!ランプを点灯させる機能をオン/オフする。
Filter <!>	On/ <u>Off</u>	NDフィルターが1以外に設定されている場合 に、!ランプを点灯させるか機能をオン/オフす る。

Operation >"!LED ビューファインダーの"!表示を設定します。(HDVF-20A使用時に有効な設定です。)		
項目	設定値	内容
Iris Override <!>	<u>On</u> /Off	オートアイリスオーバーライドが標準値以外に設定されている場合に、!ランプを点灯させる機能をオン/オフする。
Operation >White Setting ホワイトバランス調整に関する設定をします。		
項目	設定値	内容
White Switch	<u>Memory</u> /ATW	WHITE BALスイッチの設定がBの場合の動作モードを設定する。 Memory: オートホワイトバランス ATW: 自動追尾ホワイトバランス
Shockless White	Off/ <u>1</u> /2/3	WHITE BALスイッチ切り換え時の切り替わり遷移時間を選択する(1が最も速い)。
ATW Speed	1/2/ <u>3</u> /4/5	ATW(自動追尾ホワイトバランス)の遷移スピードを選択する(1が最も速い)。
ATW Mode	<u>Natural</u> /Pure	ATW(自動追尾ホワイトバランス)の動作を設定する。 Natural: シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるようにATWを自動調整する。 Pure: 青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにATWを自動調整する。
AWB Fixed Area	On/ <u>Off</u>	画面中央部でAWB(オートホワイトバランス)を実行する。
Filter White Memory	On/ <u>Off</u>	White BalanceがPresetまたはATWのときに、FILTERつまみのポジション番号ごとにホワイトバランスのメモリー領域を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> AssignボタンにElectrical CCを割り当てているときは、Electrical CCのA、B、C、Dにそれぞれ独立のホワイトのメモリー領域を設定する。 AssignボタンにElectrical CCを割り当てていないときは、FILTERつまみのポジション番号ごとにホワイトバランスのメモリー領域を設定する。

Operation >Offset White ホワイトバランスオフセット値に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Offset White<A>	On/ <u>Off</u>	メモリー Aのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On)か付加しないか(Off)を選択する。
Warm Cool <A>	目安の色温度を表示 (約1600K ~ <u>3200K</u> ~ 16000K程度)	Offset White<A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットの色温度で設定する(オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整)。
Warm Cool Balance<A>	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Warm Cool <A>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Offset White 	On/ <u>Off</u>	Onにするところで調整したオフセットがBチャンネルのホワイトバランスに付加される。
Warm Cool 	目安の色温度を表示 (約1600K ~ <u>3200K</u> ~ 16000K程度)	Offset WhiteがOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットの色温度で設定する(オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整)。
Warm Cool Balance	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Warm Cool の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Operation >Shutter シャッターの動作モードを設定します。		
項目	設定値	内容
Mode	<u>Speed</u> /Angle	電子シャッターの動作モードを選択する。 Speed: シャッタースピードを時間(秒単位)で設定する。 Angle: シャッタースピードを角度(度単位)で設定する。
Operation >Slow Shutter スローシャッターを設定します。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ <u>Off</u>	スローシャッター機能をオン/オフする。
Number of Frames	<u>2</u> /3/4/5/6/7/8/16	スローシャッター機能の蓄積フレーム数を設定する。

Operation >Time Zone 時差を設定します。		
項目	設定値	内容
Time Zone	UTC +14:00 ~ UTC Greenwich ~ UTC -12:00 (30分単位)	UTC(グリニッジ標準時)からの時差を30分単位で選択する。

Operation >Clip クリップの名称や管理に関する設定をします。		
[ご注意] クリップ名の最初の文字を「.」の記号にしないでください。クリップ名の最初の文字が「.」になっているクリップは、コンピュータ上のアプリケーションソフトウェアで閲覧できません。		

項目	設定値	内容
Clip Naming	Title/ Plan	クリップ名の設定方法を選択する。 Title : Title Prefixで任意に設定する。 Plan : プランニングメタデータで設定した名称にする(プランニングメタデータで設定した名称がない場合は、Title Prefixで設定した名称にする)。
Title Prefix	文字入力	文字列の入力画面でクリップ名のタイトル部分(4 ~ 46文字の英数字)を設定する(95ページ)。
Number Set	Clip Namingの選択により変わる(「内容」欄参照)	クリップ名の番号部分を設定する。 Clip Namingの設定がTitleのとき : 0001 ~ 9999 Clip Namingの設定がPlanでプランニングメタデータがロードされているとき : 00001 ~ 99999

Operation >Update Media メディア内管理ファイルを更新します。		
[ご注意] ファイルシステムがFATに設定されているとき、この機能は使用できません。		

項目	設定値	内容
Media(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードの管理情報を更新する(Executeで実行)。
Media(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードの管理情報を更新する(Executeで実行)。

Operation >GPS 測位情報(GPS) をオン/オフします。		
項目	設定値	内容
GPS	On/ Off	GPS機能をオン/オフする。

Operation >Planning Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定をします。		
項目	設定値	内容

Load Media(A)	Execute/Cancel	Slot(A)のSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。 Executeを選択するとSlot(A)のSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルが一覧表示される。ファイルを選択すると、詳細画面が表示される。
---------------	----------------	--

[ご注意] ファイルシステムがFATに設定されているとき、この項目は表示されません。		
--	--	--

Load Media(B)	Execute/Cancel	Slot(B)のSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。 Executeを選択するとSlot(B)のSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルが一覧表示される。ファイルを選択すると、詳細画面が表示される。
---------------	----------------	--

[ご注意] ファイルシステムがFATに設定されているとき、この項目は表示されません。		
--	--	--

Properties	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータの内容を表示する(Executeで実行)。
------------	----------------	---

Clear Memory	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータを消去する(Executeで実行)。
--------------	----------------	--

Clip Name Disp	Title1(ASCII) /Title2(UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を選択する(58ページ)。
----------------	--	--

Operation >USB SxSカードスロットに挿入された記録メディア内のクリップをUSBメディアにコピーするときの操作に関する設定をします。		
項目	設定値	内容

Select Folder		USBメディア内のフォルダーを選択する。 USBメディア内に新しいフォルダーを作成する。
---------------	--	---

View Clip List		USBメディア内のクリップ一覧を表示する。
Rename Folder		USBメディア内のフォルダー名を編集する。

Error Check	On/ Off	SxSカードスロットに挿入された記録メディア内のクリップをUSBメディアへコピーするときに、エラーチェックを行うかどうかを選択する。
-------------	-------------------------	--

Format USB	Execute/Cancel	USBメディアを初期化する(Executeで実行)。
------------	----------------	----------------------------

Operation > **USB**

SxSカードスロットに挿入された記録メディア内のクリップをUSBメディアにコピーするときの操作に関する設定をします。

項目	設定値	内容
Copy to USB	Media(A) to USB / Media(B) to USB/ Media(A)(B) to USB	SxSカードスロット内のすべてのクリップを一括コピーするとき、対象のスロットを選択する。 Media(A) to USB : スロットAに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。 Media(B) to USB : スロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。 Media(A)(B) to USB : スロットA、およびスロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。
Media Remain	(空き容量 : 数値表示) (バー表示)	USBメディアの空き容量を表示する。

Paintメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

Paint >Switch Status		
各種補正機能とテスト信号をオン/オフします。		
項目	設定値	内容
Gamma	On /Off	ガンマ機能をオン/オフする。
Black Gamma	On/ Off	ブラックガンマ機能をオン/オフする。
Matrix	On /Off	マトリクス機能をオン/オフする。
Knee	On /Off	ニー機能をオン/オフする。
White Clip	On /Off	ホワイトクリップ機能をオン/オフする。
[ご注意] Offに設定しても、電源再投入後はOnに戻ります。		
Detail(QFHD)	On /Off	ディテール機能をオン/オフする。
Detail(HD)	On /Off	
Aperture	On /Off	アパーチャー機能をオン/オフする。
Flare	On /Off	フレア補正機能をオン/オフする。
Test Saw	On/ Off	テスト信号をオン/オフする。
Paint >HDR Paint Setting		
Shooting ModeがHDRのときのHDR設定を行います。		
項目	設定値	内容
HLG Look	Natural/ Live	HDRモード時のHLG種類を設定する。 Natural : ITU-R BT.2100(HLG)に準拠した特性 Live : ITU-R BT.2100(HLG)に準拠し、よりHDRの効果を引き出す特性
HDR Black Offset	-95 ~ ±0 ~ +103	HDRモード時のSDR設定(Master Black)に対するHDRのBlackのオフセット値を設定する。
HDR Knee	On/ Off	HDRモード時のHDR信号に対するニー補正機能をオン/オフする。
HDR Knee Point	-99 ~ ±0 ~ +99	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニーポイントを設定する。
HDR Knee Slope	-99 ~ ±0 ~ +99	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニースロープを設定する。
Paint >White		
色温度を設定して、手動でホワイトバランス調整を行います。		
項目	設定値	内容
Color Temp <A>	1500K ~ 3200K ~ 50000K	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。

Paint >White		
色温度を設定して、手動でホワイトバランス調整を行います。		
項目	設定値	内容
Color Temp Balance <A>	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値(Rゲイン、Bゲイン連動)を設定する。
R Gain <A>	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain <A>	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
Color Temp 	1500K ~ 3200K ~ 50000K	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
Color Temp Balance 	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値(Rゲイン、Gゲイン連動)を設定する。
R Gain 	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain 	-99 ~ ±0 ~ +99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
Paint >Black		
ブラックレベル(光があたっていないときの映像のレベル)を設定します。 ブラックレベルを調整して、黒を浮かせる、黒を沈めるといった絵作りが可能です。		
項目	設定値	内容
Master Black	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターブラックレベルを設定する。
R Black	-99 ~ ±0 ~ +99	Rブラックレベルを設定する。
B Black	-99 ~ ±0 ~ +99	Bブラックレベルを設定する。
Paint >Flare		
フレア補正に関する設定を行います。 フレアは、画面上の明るい部分の影響を受けて映像のレベル全体が上がってしまい、黒い部分が明るくなる現象で、レンズ内部での光の乱反射により発生します。		
項目	設定値	内容
Setting	On /Off	フレア補正機能をオン/オフする。
Master Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターフレア補正レベルを設定する。
R Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	Rフレア補正レベルを設定する。
G Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	Gフレア補正レベルを設定する。
B Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	Bフレア補正レベルを設定する。

Paint >Gamma(HDR)		
HDRのガンマ設定値を表示します。		
項目	設定値	内容
Gamma Select	S-Log3 HLG(Natural) HLG(Live) ---	HDRのガンマ設定値(表示のみ)
Paint >Gamma		
ガンマ補正に関する設定を行います。 ガンマ補正により、画面のコントラストを調整して、映像の印象を大きく変えることができます。		
項目	設定値	内容
Setting	On /Off	ガンマ補正機能をオン/オフする。
Step Gamma	0.35 ~ 0.45 ~ 0.90 (0.05ステップ)	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する。
Master Gamma	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターガンマレベルを設定する。
R Gamma	-99 ~ ±0 ~ +99	Rガンマレベルを設定する。
G Gamma	-99 ~ ±0 ~ +99	Gガンマレベルを設定する。
B Gamma	-99 ~ ±0 ~ +99	Bガンマレベルを設定する。
Gamma Category	STD /HG/User/---	ガンマカテゴリーを選択する。 STD : ビデオ信号用の通常のガンマカーブ HG : フィルムで撮影したような階調や色再現に似せたガンマカーブ User : ユーザーがCvpFileEditorTM V4.2で作成したガンマカーブ --- : SDR出力がない場合

Paint >Gamma		
ガンマ補正に関する設定を行います。 ガンマ補正により、画面のコントラストを調整して、映像の印象を大きく変えることができます。		
項目	設定値	内容
Gamma Select	Gamma Categoryの選択により変わる(以下を参照)	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
Gamma CategoryがSTDの場合		
STD1 DVW : DVWカムコーダー相当		
STD2 x4.5 : ×4.5ゲイン		
STD3 x3.5 : ×3.5ゲイン		
STD4 240M : SMPTE-240M相当		
STD5 R709 : ITU-R709相当		
STD6 x5.0 : ×5.0ゲイン		
Gamma CategoryがHGの場合		
HG1 3250G36 : 325%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する		
HG2 4600G30 : 460%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する		
HG3 3259G40 : 325%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する		
HG4 4609G33 : 460%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する		
Gamma CategoryがUserの場合		
User 1 : User1に登録されたガンマテーブル		
User 2 : User2に登録されたガンマテーブル		
User 3 : User3に登録されたガンマテーブル		
User 4 : User4に登録されたガンマテーブル		
User 5 : User5に登録されたガンマテーブル		
SDR出力がない場合		

Paint >Black Gamma		
ブラックガンマ補正に関する設定を行います。 ブラックガンマ補正により、映像の黒または黒に近い(暗い)部分の階調や色合いが再現することができます。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする。
[ご注意] ブラックガンマ機能を有効にするにはSaturation ModeをLow Keyに設定してください。		

Paint >Black Gamma

ブラックガンマ補正に関する設定を行います。
ブラックガンマ補正により、映像の黒または黒に近い(暗い)部分の階調や色合いが再現することができます。

項目	設定値	内容
Range	Low/L.Mid/ <u>H.Mid</u>	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。 Low : 0 ~ 3.6 % L.Mid : 0 ~ 7.2 % H.Mid : 0 ~ 14.4 %
Master Black Gamma	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	マスターブラックガンマレベルを設定する。

Paint >Knee

ニー補正に関する設定を行います。
ニー補正は、映像の明るい部分を記録/出力する映像のダイナミックレンジの上限に応じて圧縮し、白つぶれを防ぐ処理です。ニーをかけ始める信号レベルを「ニーポイント」、ニーによる圧縮の傾きを「ニースロープ」と呼びます。

項目	設定値	内容
Setting	<u>On</u> /Off	ニー補正機能をオン/オフする。
Point	75% ~ <u>95%</u> ~ 109%	DCC機能がオフのとき、ニーポイントを設定する。
Slope	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	DCC機能がオフのとき、ニースロープを設定する。
Knee Saturation	<u>On</u> /Off	ニーサチュレーション機能をオン/オフする。 [ご注意] ニーサチュレーション機能を有効にするには Saturation ModeをKneeに設定してください。
Knee Saturation Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	ニーサチュレーションレベルを設定する。

Paint >White Clip

ホワイトクリップ調整に関する設定を行います。
ホワイトクリップは、ビデオ出力信号の最大レベルに制限をかける処理です。ビデオ出力信号の最大値を「ホワイトクリップレベル」と呼びます。

項目	設定値	内容
Setting	<u>On</u> /Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする。
Level	90.0% ~ <u>108.0%</u> ~ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。 初期設定は、システム周波数が59.94、29.97、24、23.98のときは108.0%、50.25のときは105.0%

Paint >Detail(QFHD)/Detail(HD)

4K/HDモード時のディテール調整に関する設定を行います。
ディテール調整は、被写体の輪郭部分にディテール信号を加えて輪郭を強調し、クリアな映像を作成する処理です。

[ご注意]

QFHD/HD同時出力時、HD出力側には本設定は反映されません。

項目	設定値	内容
Setting	<u>On</u> /Off	ディテール調整機能をオン/オフする。
Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	クリスピングレベルを設定する。
Level Depend	<u>On</u> /Off	レベルディバインド調整機能をオン/オフする。
Level Depend Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	レベルディバインドレベルを設定する。
Frequency	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Hディテール信号の中心周波数を設定する(値を大きくするほどディテールは細くなる)。
Knee Aperture	On/ <u>Off</u>	ニーアパーチャー補正機能をオン/オフする。
Knee Aperture Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	ニーアパーチャーレベルを設定する。
Limit	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する。
White Limit	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	黒側のディテールリミッターを設定する。
V Black Limit	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	黒側のVディテールリミッターを設定する。
V Detail Creation	NAM/ <u>Y</u> /G/G+R	Vディテール信号を生成するためのソース信号を選択する。 NAM : R信号から作られたVディテール信号とG信号から作られたVディテール信号とB信号から作られたVディテール信号のうち最もレベルの高い信号 Y : Y信号 G : G信号 G+R : G信号とR信号を1 : 1で合成した信号

Paint >Aperture

アパーチャー補正に関する設定を行います。
アパーチャー補正は、ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理です。

項目	設定値	内容
Setting	<u>On</u> /Off	アパーチャー補正機能をオン/オフする。

Paint >Aperture

アパーチャー補正に関する設定を行います。
アパーチャー補正は、ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理です。

項目	設定値	内容
Level	-99 ~ ±0 ~ +99	アパーチャーレベルを設定する。

Paint >Skin Detail

スキンドイテール補正に関する設定を行います。
スキンドイテール補正は、人物の肌をきれいに見せるなどの目的で、特定の色の範囲を選んでディテールレベルを増減させる処理です。

項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	スキンドイテール補正機能をオン/オフする。
Area Detection	Execute/Cancel	スキンドイテール補正の対象となる色を検出する色検出画面が表示される(Executeで実行)。
Area Indication	On/ Off	スキンドイテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする。
Level	-99 ~ ±0 ~ +99	スキンドイテールレベルを設定する。
Saturation	-99 ~ ±0 ~ +99	スキンドイテール補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション)を設定する。
Hue	0 ~ 359	スキンドイテール補正の対象となる色の色相(ヒュー)を設定する。
Width	0 ~ 40 ~ 90	スキンドイテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。

Paint >Matrix

マトリクス補正に関する設定を行います。
マトリクス補正により、映像の色味、鮮やかさを調整することができます。
「プリセットマトリクス」としてあらかじめ用意されたパラメーターセットから目的に合うマトリクスを選択できます。また自分でパラメーターを任意に設定して「ユーザーマトリクス」を作成することもできます。
「アダプティブマトリクス」はマトリクスの効き具合を抑制する機能です。

項目	設定値	内容
Setting	On /Off	マトリクス補正機能をオン/オフする。
Adaptive Matrix	On/ Off	アダプティブマトリクス機能をオン/オフする。
Preset Matrix	On /Off	プリセットマトリクス機能をオン/オフする。

Paint >Matrix

マトリクス補正に関する設定を行います。
マトリクス補正により、映像の色味、鮮やかさを調整することができます。
「プリセットマトリクス」としてあらかじめ用意されたパラメーターセットから目的に合うマトリクスを選択できます。また自分でパラメーターを任意に設定して「ユーザーマトリクス」を作成することもできます。
「アダプティブマトリクス」はマトリクスの効き具合を抑制する機能です。

項目	設定値	内容
Preset Select	1: SMPTE240M 2: ITU-709 3: SMPTE Wide 4: NTSC 5: EBU 6: PAL	プリセットマトリクスを選択する。 1: SMPTE240M: SMPTE-240M相当 2: ITU-709: ITU-709相当 3: SMPTE Wide: SMPTE WIDE相当 4: NTSC: NTSC相当 5: EBU: EBU相当 6: PAL: PAL相当
User Matrix	On/ Off	ユーザーマトリクス補正機能をオン/オフする。
Level	-99 ~ ±0 ~ +99	映像全域の色の濃さ(Saturation)を設定する。
Phase	-99 ~ ±0 ~ +99	映像全域の色合い(Phase)を設定する。
User Matrix R-G	-99 ~ ±0 ~ +99	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix R-B	-99 ~ ±0 ~ +99	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-R	-99 ~ ±0 ~ +99	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-B	-99 ~ ±0 ~ +99	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-R	-99 ~ ±0 ~ +99	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-G	-99 ~ ±0 ~ +99	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

Paint >Multi Matrix

マルチマトリクス補正に関する設定を行います。
マルチマトリクス補正は、16軸の色相(Hue)空間で飽和度(Saturation)を設定します。

項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	マルチマトリクス補正機能をオン/オフする。
Area Indication	On/ Off	マルチマトリクス補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする。
Color Detection	Execute/Cancel	マルチマトリクス補正の対象となる色を検出する色検出画面が表示される(Executeで実行)。
Reset	Execute/Cancel	各軸の[Hue]と[Saturation]をすべて初期値にする(Executeで実行)。
Axis	B /B+/MG-/MG/MG+/R/ R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/ CY/CY+/B-	マルチマトリクス補正の対象となる色(16軸モード)を設定する。
Hue	-99 ~ ±0 ~ +99	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相(ヒュー)を16軸モードごとに設定する。

Paint >Multi Matrix		
マルチマトリクス補正に関する設定を行います。 マルチマトリクス補正は、16軸の色相(Hue) 空間で飽和度(Saturation) を設定します。		
項目	設定値	内容
Saturation	-99 ~ ±0 ~+99	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション) を16軸モードごとに設定する。

Paint >V Modulation		
Vモジュレーションシェーディング補正に関する設定を行います。 レンズとプリズムの関係で発生する垂直方向の感度の傾きを補正します。		
項目	設定値	内容
Setting	On /Off	Vモジュレーションシェーディング補正機能をオン/オフする。
Master V Modulation	-99 ~ ±0 ~+99	マスターVモジュレーションレベルを設定する。
R V Modulation	-99 ~ ±0 ~+99	R信号のVモジュレーションレベルを設定する。
G V Modulation	-99 ~ ±0 ~+99	G信号のVモジュレーションレベルを設定する。
B V Modulation	-99 ~ ±0 ~+99	B信号のVモジュレーションレベルを設定する。

Paint >Low Key Saturation		
ローキーサチュレーション補正に関する設定を行います。 映像の暗い部分の色の濃さだけを補正できます。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ローキーサチュレーション補正機能をオン/オフする。 [ご注意] ローキーサチュレーション機能を有効にするには Saturation ModeをLow Keyに設定してください。
Level	-99 ~ ±0 ~+99	低輝度エリアの色の飽和度(サチュレーション) を設定する。
Range	Low/L.Mid/ H.Mid	ローキーサチュレーション補正を有効にする輝度レベルを選択する。

Paint >Saturation Mode		
サチュレーション補正に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Saturation Mode	Knee /Low Key	サチュレーション機能をレベルが高いところ(Knee) で働かせるか低いところ(Low Key) で働かせるかを選択する。
Knee Saturation	On /Off	ニーサチュレーション機能をオン/オフする。

Paint >Saturation Mode		
サチュレーション補正に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Black Gamma	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする。
Low Key Saturation	On/ Off	ローキーサチュレーション機能をオン/オフする。

Paint >Noise Suppression		
ノイズサプレス(ノイズ圧縮) 機能に関する設定を行います。 被写体の細かなエッジ成分を残しつつ、ノイズ成分を効果的に抑制することができます。		
項目	設定値	内容
Setting	On /Off	ノイズサプレス機能をオン/オフする。
Level	Low/ Mid /High/Super	ノイズサプレスのレベルを選択する。
Gain Link	On/ Off	ノイズサプレスのレベルをゲインに連動する/しないを設定する。
-3dB	Off/ Low /Mid/High/Super	Gain LinkがOnのとき、-3 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
0dB	Off/ Low /Mid/High/Super	Gain LinkがOnのとき、0 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
3dB	Off/ Low /Mid/High/Super	Gain LinkがOnのとき、3 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
6dB	Off/Low/ Mid /High/Super	Gain LinkがOnのとき、6 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
9dB	Off/Low/ Mid /High/Super	Gain LinkがOnのとき、9 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
12dB	Off/Low/ Mid /High/Super	Gain LinkがOnのとき、12 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
18dB	Off/Low/Mid/ High /Super	Gain LinkがOnのとき、18 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
24dB	Off/Low/Mid/ High /Super	Gain LinkがOnのとき、24 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
30dB	Off/Low/Mid/ High /Super	Gain LinkがOnのとき、30 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
36dB	Off/Low/Mid/High/ Super	Gain LinkがOnのとき、36 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。
42dB	Off/Low/Mid/High/ Super	Gain LinkがOnのとき、42 dBのノイズサプレスのレベルを設定する。

Maintenanceメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

Maintenance >White Shading		
ホワイトシェーディング補正に関する設定を行います。 ホワイトシェーディングはレンズの特性により発生する明るい部分の輝度ムラや色ムラで、レンズごとに補正が必要です。		
項目	設定値	内容
Channel Select	Red /Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する。
White H Saw	-99 ~ ±0 ~ +99	水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する。
White H Para	-99 ~ ±0 ~ +99	水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する。
White V Saw	-99 ~ ±0 ~ +99	垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する。
White V Para	-99 ~ ±0 ~ +99	垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する。
White Saw/ Para	On /Off	ホワイトシェーディングのSAW /パラボラ補正機能をオン/オフする。
Maintenance >Black Shading		
ブラックシェーディング補正に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Channel Select	Red /Green/Blue	ブラックシェーディング補正の対象を選択する。
Black H Saw	-99 ~ ±0 ~ +99	水平方向のSAWブラックシェーディング補正値を設定する。
Black H Para	-99 ~ ±0 ~ +99	水平方向のパラボラブラックシェーディング補正値を設定する。
Black V Saw	-99 ~ ±0 ~ +99	垂直方向のSAWブラックシェーディング補正値を設定する。
Black V Para	-99 ~ ±0 ~ +99	垂直方向のパラボラブラックシェーディング補正値を設定する。
Black Saw/Para	On /Off	ブラックシェーディングのSAW /パラボラ補正機能をオン/オフする。
Master Black	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターのブラックレベルを設定する。
Master Gain (TMP)	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	一時的にマスターゲインの値を設定する。

Maintenance >Battery		
バッテリーに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Near End:Info Battery	5% /10%/15%...95%/100%	バッテリーパックBP-GL95B使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する。
End:Info Battery	0% /1%/2%/3%/4%/5%	バッテリーパックBP-GL95B使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Sony Battery	11.5V ~ 17V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する。
End:Sony Battery	11.0V ~ 12.5V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Other Battery	11.5V ~ 11.8V ~ 17.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する。
End:Other Battery	11.0V ~ 14.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Detected Battery	Sony Info Battery/ Sony Battery/Other Battery/DC IN	バッテリーの種類を自動判別した結果を表示する。
Maintenance >DC Voltage Alarm		
外部DC電源電圧に関するアラームを設定します。		
項目	設定値	内容
DC Low Voltage1	11.5V ~ 17V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ~ 14.0V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。」
Maintenance >Audio		
オーディオに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Front MIC Select	Mono/ Stereo	フロントマイクをモノラル(Mono)にするか、ステレオ(Stereo)にするかを選択する。
Rear XLR Auto	On/ Off	後面のAUDIO IN CH-1/CH-2端子にケーブルが接続されているかどうかを自動的に検出する機能をオン/オフする。
Front MIC CH1 Ref	-70dB/-60dB/ -50dB / -40dB/-30dB	フロントマイクのチャンネル1の基準入力レベルを選択する。

Maintenance >Audio オーディオに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Front MIC CH2 Ref	-70dB/-60dB/ -50dB / -40dB/-30dB	フロントマイクのチャンネル2の基準入力レベルを選択する。
Rear MIC CH1 Ref	-70dB/ -60dB / -50dB/-40dB/-30dB	AUDIO IN CH1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
Rear MIC CH2 Ref	-70dB/ -60dB / -50dB/-40dB/-30dB	AUDIO IN CH2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
Line Input Ref	+4dB /0dB/-3dB/EBUL	AUDIO IN CH1/CH2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
Min Alarm Volume	Off /Set	ALARMつまみを絞りにきたときの音量を選択する。 Off : ほぼ聞こえない Set : ある程度は聞こえる
Speaker Attenuate	Off /3dB/6dB/9dB/12dB	モニタースピーカーからの音量を選択する(イヤホンの音量には影響しない)。
Headphone Out	Mono /Stereo	イヤホンをモノラル(Mono)にするか、ステレオ(Stereo)にするかを選択する。
Reference Level	-20dB / -18dB/-16dB/ -12dB/EBUL	基準入力レベルを設定する。合わせて、1kHzテスト信号の出力レベルを設定する。
Reference Out	+4dB/ 0dB / -3dB/EBUL	基準入力レベルに対する出力レベルを設定する。
CH1&2 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を、各チャンネルで独立して行うか(Mono)、ステレオモードで行うか(Stereo)を選択する。
CH3&4 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル3、4に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を、各チャンネルで独立して行うか(Mono)、ステレオモードで行うか(Stereo)を選択する。
AGC Spec	-6dB / -9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	AGCの特性(飽和レベル)を選択する。
Limiter Mode	Off / -6dB/-9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	オーディオ入力レベルの手動調整時、大きな入力信号に対するリミッター特性(飽和レベル)を選択する。リミッターを使用しない場合はOffを選択する。
Output Limiter	On/ Off	オーディオ出力リミッターをオン/オフする。
CH1 Wind Filter	On/ Off	チャンネル1の風音低減フィルターをオン/オフする。

Maintenance >Audio オーディオに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
CH2 Wind Filter	On/ Off	チャンネル2の風音低減フィルターをオン/オフする。
CH2 Wind Filter	On/ Off	チャンネル3の風音低減フィルターをオン/オフする。
CH4 Wind Filter	On/ Off	チャンネル4の風音低減フィルターをオン/オフする。
1kHz Tone on Color Bars	On/ Off /Auto	カラーバーモード時に1kHzのテスト信号を出力するか(On) 出力しないか(Off) を設定する。 Auto : AUDIO SELECT CH1スイッチの設定がAUTOの場合のみテスト信号を出力する。
MIC CH1 Level	Side1/ Front /Front+Side1	フロントマイクの入力音声をチャンネル1に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する。 Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ(左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ(左) とMIC LEVELつまみを連動させる
MIC CH2 Level	Side2/ Front /Front+Side2	フロントマイクの入力音声をチャンネル2に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する。 Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ(右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ(右) とMIC LEVELつまみを連動させる
Rear1/WRR Level	Side1 /Front/Front+Side1	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH-1端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する。 Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ(左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ(左) とMIC LEVELつまみを連動させる
Rear2/WRR Level	Side2 /Front/Front+Side2	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH-2端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する。 Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ(右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ(右) とMIC LEVELつまみを連動させる

Maintenance >Audio オーディオに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Audio CH3 Level	Side3 /Front/Front+Side3	チャンネル3に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する。 Side3 : サイドパネルのLEVELつまみ Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side3 : LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる
Audio CH4 Level	Side4 /Front/Front+Side4	チャンネル4に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する。 Side4 : サイドパネルのLEVELつまみ Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side4 : LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる

Maintenance >WRR Setting ワイヤレスチューナーに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
WRR Valid CH Sel	All /CH1	ワイヤレスレシーバーのチャンネル1、2とも有効にするか(All)、チャンネル1のみを有効にするか(CH1)を選択する。
WRR CH Select	TX1 /TX2	内容をメニューに表示する受信チャンネルを選択する。 TX1 : チャンネル1の内容を表示する。 TX2 : チャンネル2の内容を表示する。
WRR Delay Comp	On /Off	ワイヤレス入力音声の遅延補正機能を有効にするか(On) 無効にするか(Off) を選択する(Onを選択するとすべてのE-E出力の音声は約8ms遅延する)。
TX	---	WRR CH Selectで選択したチャンネルで受信している送信機の名前を表示する。
TX Audio Peak	--- /Peak	WRR CH Selectで選択したチャンネルで受信している送信機のAFレベルがピークオーバーかどうかを表示する。
TX Input Level	--- /Mic/Line	WRR CH Selectで選択したチャンネルで受信している送信機の入力レベルがマイク(Mic) とライン(Line) のどちらに設定されているかを表示する。

Maintenance >WRR Setting ワイヤレスチューナーに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
TX ATT Level	---	WRR CH Selectで選択したチャンネルで受信している送信機のATTレベルを設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)。
TX LCF Frequency	---	WRR CH Selectで選択したチャンネルで受信している送信機のローカットフィルター周波数を設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)。
TX System Delay	Auto /0.0ms ~ 8.0ms	音声の遅延量を設定する。 Auto : ワイヤレスレシーバーから送られてくる音声の遅延量が0になるように自動的に遅延量を補正する。 0.0ms ~ 8.0ms : オーディオミキサーなどを介して複数のワイヤレスシステムを使用している場合に、予測されるワイヤレスシステムの遅延量を設定する。
TX RF Power	High(Power値) mW/Mid (Power値) mW/Low(Power値) mW	WRR CH Selectで選択されたチャンネルで通信している送信機のRF Power Levelを設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)。
TX Power Save	Active/Sleep	WRR CH Selectで選択されたチャンネルで受信している送信機のパワーセーブモードを設定する。 Active : 送信機を起動モードにする。 Sleep : 送信機をパワーセーブモードにする。
TX-Cam Power Sync	Off /On	送信機のパワーセーブ状態を本機のPOWERスイッチと同期して切り替えるかどうかを設定する。

Maintenance >Time Code タイムコードに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
TC Out	Auto /Generator	タイムコード出力を選択する。 Auto : 記録時はタイムコードジェネレーターの値を出力し、再生時はタイムコードリーダーの値を出力する Generator : 記録時、再生時ともタイムコードジェネレーターの値を出力する

Maintenance >Time Code タイムコードに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
DF/NDF	<u>DF</u> /NDF	ドロップフレームモード(DF) またはノンドロップフレームモード(NDF) を選択する。
LTC UBIT	<u>Fix</u> /Time	LTCのユーザービットに記録するデータを設定する。 Fix : ユーザーが設定したデータを記録する Time : 現在の時刻を記録する
Counter Display	<u>Counter</u> /Duration	ビューファインダーに表示されるカウンター値のリセットの方法を選択する。 Counter : RESETボタンを押すまで積算される。 Duration : 記録開始ごとにリセットされる。
HDMI TC Out	On/ <u>Off</u>	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。
Maintenance >Essence Mark エッセンスマークに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Find Mode	<u>Clip</u> /Rec Start	NEXT/PREVボタンを押したときの動作を設定する。 Rec Start : 次または1つ前のレックスタートマークに移動する。 Clip : NEXTボタンを押すと、次のクリップの先頭へ移動する。PREVボタンを押すと、現在のクリップの先頭に移動する(クリップの先頭でPREVボタンを押すと1つ前のクリップの先頭に移動する)。

Maintenance >Camera Config カムコーダーの各種動作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
HD SDI Remote I/F	<u>Off</u> /Characters/ Green Tally/Red Tally	本機のSDI OUT 1/2端子(HD SDI出力) に接続された外部機器に対する記録動作制御機能を使用するかどうかを設定する。使用する場合、外部機器が記録状態であることの表示方法を選択する。 Off : 記録動作制御機能を使用しない。 Chara : ビューファインダー画面上の状態表示の外部機器制御表示で表示する。 G-Tally : ビューファインダー内のTALLY(グリーンタリー) ランプで表示する。 R-Tally : ビューファインダー内のREC(記録・レッドタリー) ランプで表示する。
Color Bars Select	<u>ARIB</u> /100%/75%/SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
User Menu Only	On/ <u>Off</u>	メニューを表示したときに、Userメニューだけを表示するか(On)、メニューリストを表示するか(Off) を選択する。
User Menu with Lock	On/ <u>Off</u>	メニュー表示にロックをかけて、Userメニューだけの表示にするかどうかを選択する。 On : 任意の暗証番号を入力し、メニュー表示にロックをかける。(Userメニューだけの表示になります。) Off : Onしたときに入力した任意の暗証番号を入力し、ロックを解除する。(解除すると、通常のメニューリスト表示に切り換わりま
<p>[ご注意] 通常のメニュー表示操作では、表示されません。 メニュー表示操作方法は、96ページをご覧ください。</p>		
RM Common Memory	On/ <u>Off</u>	リモートコントロールユニット接続時とローカル操作時で設定を共有するか(On) 共有しないか(Off) を選択する。
RM Rec Start	<u>RM</u> /Camera/PARA	リモートコントロールユニット接続時にどちらの記録開始/停止ボタンを有効にするかを設定する。 RM : リモートコントロールユニット Camera : カムコーダー PARA : 両方

Maintenance >Camera Config		
カムコーダーの各種動作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Detail Control(RM/RCP)	<u>HD</u> /QFHD	QFHD記録フォーマット時にRM/RCPでディテール操作ができる信号フォーマットをHD、またはQFHDから選択する。
SET Key on Thumbnail	<u>Pause</u> /Play	1つのサムネイルを選択した状態でMENUつまみを押したときの動作を選択する。
ALAC	<u>Auto</u> /Off	ALAC(倍率色収差補正)を自動的に実行するかどうかを設定する。 Auto: ALACに対応しているレンズが取り付けられ、ALACが有効になっていると、自動的にALACを実行する。 Off: 実行しない。 【ご注意】 収差補正対応レンズによっては、本項目がAutoに設定されていても電源投入直後に収差補正機能が動作しない(ビューファインダー画面上に「ALAC」と表示されない)ことがあります。このようなときは、レンズのズームリングとフォーカスリングをいったん端まで動かして、ビューファインダー画面上に「ALAC」の表示が出ることを確認してから使用してください。 ◆ 収差補正対応レンズについては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。
SD HDMI	On/ <u>Off</u>	HDMI出力信号をSDフォーマットにする機能をオン/オフする。
Maintenance >Preset White		
ホワイトバランスのプリセット値に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Color Temp <P>	1500K ~ <u>3200K</u> ~ 50000K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
Color Temp Balance <P>	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Color Temp <P>で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
R Gain <P>	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Rゲインのプリセット値を設定する。
B Gain <P>	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Bゲインのプリセット値を設定する。
AWB Enable <P>	On/ <u>Off</u>	WHITE BALスイッチがPRSTのとき、AWB(オートホワイトバランス)を実行する機能をオン/オフする。

Maintenance >White Filter		
フィルターに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
ND Filter C.Temp	On/ <u>Off</u>	電氣的CCフィルターをNDフィルターに割り当てる機能をオン/オフする。
ND FLT C.Temp<1>	<u>3200K</u> /4300K/5600K/6300K	電氣的CCフィルターをNDフィルターに割り当てるときの色温度を選択する(フィルター1用)。
ND FLT C.Temp<2-4>	3200K/4300K/ <u>5600K</u> /6300K	電氣的CCフィルターをNDフィルターに割り当てるときの色温度を選択する(フィルター2~4用)。
Electrical CC<A>	<u>3200K</u> /4300K/5600K/6300K	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインブルスイッチに割り当てるときの色温度を選択する。
Electrical CC	3200K/ <u>4300K</u> /5600K/6300K	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインブルスイッチに割り当てるときの色温度を選択する。
Electrical CC<C>	3200K/4300K/ <u>5600K</u> /6300K/ ---	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインブルスイッチに割り当てるときの色温度を選択する。Cを使わないときは----を選択する。
Electrical CC<D>	3200K/4300K/5600K/ <u>6300K</u> / ---	電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサインブルスイッチに割り当てるときの色温度を選択する。Dを使わないときは----を選択する。
Maintenance >DCC Adjust		
DCC(ダイナミックコントラストコントロール)に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
DCC Function Select	<u>DCC</u> /Fix	OUTPUT/DCCスイッチをCAM、DCC: ONにしたときのニーポイントの設定方法を選択する。 DCC: ニーポイントを被写体の輝度に合わせて自動調整する Fix: ニーポイントを固定値にする
DCC D Range	400%/450%/500%/550%/ <u>600%</u>	OUTPUT/DCCスイッチをCAM、DCC: ONにしたときのダイナミックレンジを設定する。
DCC Point	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	DCCの最小ニーポイントを設定する。
DCC Gain	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	DCCの検出値に対するゲイン値を設定する。
DCC Delay Time	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	DCCの制御スピード(映像の変化に対する反応速度)を設定する。
DCC Peak Filter	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	DCCの検出値のピークに対する応答感度を調整する。

Maintenance >Flicker Reduce		
フリッカー補正機能に関する設定を行います。 蛍光灯など周期的に輝度に変化する照明下で被写体を撮影したとき、記録フレームレートとの関係で発生するフリッカーを補正できます。		
項目	設定値	内容
Mode	Auto /On/Off	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On : 常に動作させる。 Auto : フリッカーを検出すると動作する。 Off : 動作させない。
Frequency	60Hz/50Hz	フリッカーの原因となっている照明の電源周波数に合わせる。 System Frequencyの設定が59.94、29.97、23.98の場合の出荷時設定は60Hz System Frequencyの設定が50、25の場合の出荷時設定は50Hz

Maintenance >Genlock		
ゲンロックに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Genlock	On /Off	ゲンロック機能オン/オフする。
Reference	Internal /External(HD)/ External(SD)/SDI IN/CA	本機が使用している基準信号の種類を表示する。

Maintenance >Auto Shading		
オートブラックシェーディング補正を実行します。		
項目	設定値	内容
Auto Black Shading	Execute/Cancel	オートブラックシェーディング補正を実行する(Executeで実行する)。
Reset Black Shading	Execute/Cancel	ブラックシェーディング補正值をクリアする(Executeで実行する)。
Master Gain (TMP)	-3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/ 12dB/18dB/24dB/30dB/ 36dB/42dB	一時的にマスターゲインの値を設定する(GAINスイッチの設定値と同じ値になる)。

Maintenance >APR		
自動ピクセルノイズリダクション補正に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
APR	Execute/Cancel	自動欠陥補正(自動ピクセルノイズリダクション)機能を実行し、SLSモード時の白点を軽減する(Executeで実行する)。

Maintenance >APR		
自動ピクセルノイズリダクション補正に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Reset	Execute/Cancel	APRおよびブラックバランスの自動調整の実行によって、追加登録された白点データを削除する(Executeで実行する)。

Maintenance >Basic Authentication		
Basic認証に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
User Name	(現在のユーザー名を表示)	任意のユーザー名を設定する(Basic認証用)。出荷時はadminに設定されています。
Password	*****	Basic認証に使用するパスワードを設定する。パスワードには、8文字以上の英数字をそれぞれ1文字以上使用する。入力したパスワードは*で表示されるが、SHIFTキーを押している間は、入力した文字が表示される。 [ご注意] 本機のファームウェアを2.0未満から2.0以降にバージョンアップすると、パスワード設定はリセットされます。この場合はパスワードを再設定してください。

Maintenance >Network		
ネットワーク接続に関する設定と表示を行います。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ネットワーク機能をオン/オフする。
Wi-Fi Mode	Wi-Fi Access Point/ Wi-Fi Station/ Off	ワイヤレスLAN接続の動作モードを設定する。
NFC	Execute/ Cancel	NFCによる簡単接続を開始する(Executeで実行する)。
WPS	Execute/Cancel	Wi-Fi Protected Setup(=WPS)を開始する(Executeで実行する)。
Channel	Auto(5GHz)/ Auto /CH1/ CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/ CH7/CH8/CH9/CH10/CH11	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。 [ご注意] Auto(5GHz)は、ご使用のワイヤレスLANモジュールによっては、表示されない場合があります。
SSID & Password	(SSID表示) (Password表示)	SSIDとパスワードを表示する。
SSID	(SSID表示)	Wi-Fi Station Modeでの接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。

Maintenance > Network ネットワーク接続に関する設定と表示を行います。		
項目	設定値	内容
Wi-Fi Station Detail Settings	Scan Networks(Execute/ Cancel)	接続先ネットワーク自動検出を開始する(Executeで実行する)。
	SSID(アクセスポイントのSSID)	Wi-Fi Station Modeでの接続先アクセスポイントのSSIDを入力する。 入力できる文字は以下のとおりです。 アルファベット大文字: A ~ Z アルファベット小文字: a ~ z 数字: 0 ~ 9 記号: !"#\$%&'*+/,/;<=>?[\]^_{ }~
	Password(アクセスポイントのパスワード)	Wi-Fi Station Modeでの接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。 入力したパスワードは*で表示されるが、SHIFTキーを押している間は、入力した文字が表示される。 入力できる文字は以下のとおり。 アルファベット大文字: A ~ Z アルファベット小文字: a ~ z 数字: 0 ~ 9 記号: !"#\$%&'*+/,/;<=>?[\]^_{ }~
	DHCP(On /Off)	Wi-Fi Station ModeでのDHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
	IP Address(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 192.168.1.50)	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Subnet Mask(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Gateway(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 0.0.0.0)	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	DNS Auto(On /Off)	DNS自動取得を設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
	Primary DNS Server(DNS Auto/On: 自動取得 DNS Auto/Off: 0.0.0.0)	ルーターのプライマリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効。
	Secondary DNS Server(DNS Auto/On: 自動取得 DNS Auto/Off: 0.0.0.0)	ルーターのセカンダリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効。

Maintenance > Network ネットワーク接続に関する設定と表示を行います。		
項目	設定値	内容
Device Name (Wi-Fi)		USBワイヤレスLANモジュール用端子に装着されているネットワーク機器の名称を表示する。
IP Address (Wi-Fi)		ワイヤレスLAN接続時の本機のIPアドレスを表示する。
Subnet Mask (Wi-Fi)		ワイヤレスLAN接続時のサブネットマスクを表示する。
MAC Address (Wi-Fi)		本機に搭載されているUSB Wireless LAN ModuleのMacアドレスを表示する。
Regenerate Password	Execute/ Cancel	パスワードを再生成する(Executeで実行する)。
Modem	On/ Off	3G/4Gモデムによるネットワーク接続の有効/無効を設定する。
Wired LAN	Enable/ Disable	有線LAN接続有効/無効を設定する。
Wired LAN Remote	On/ Off	LANケーブルでネットワーク接続したときに、Wi-Fiリモコン、Webメニュー、「Content Browser Mobile」アプリケーションからの操作の有効/無効を設定する。

Maintenance > Network		
ネットワーク接続に関する設定と表示を行います。		
項目	設定値	内容
Wired LAN Detail Settings	DHCP(On /Off)	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。 手で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
	IP Address(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 192.168.2.50)	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Subnet Mask(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Gateway(DHCP/On: 自動取得 DHCP/Off: 0.0.0.0)	アクセスポイントのゲートウェイを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	DNS Auto(On /Off)	DNS自動取得を設定する。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する。
	Primary DNS Server(DNS Auto/On: 自動取得 DNS Auto/Off: 0.0.0.0)	ルーターのプライマリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効。
	Secondary DNS Server(DNS Auto/On: 自動取得 DNS Auto/Off: 0.0.0.0)	ルーターのセカンダリー DNSサーバーを入力する。 DNS AutoがOffのときに有効。
Maintenance > Network Client Mode		
XDCAM airやソニー製ネットワークRXステーションと接続するためのネットワーククライアントモードに関する設定を行います。		
[ご注意] すべての項目に値が入力されないと、ネットワーククライアントモードを設定できません。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ネットワーククライアントモードをオン/オフする。 [ご注意] Onにすると、ファームウェアのバージョンアップはできません。
Preset Select	Preset 1 /Preset 2/Preset 3	ネットワーククライアントモードの接続設定をあらかじめ設定したプリセット設定(Preset 1/Preset 2/Preset 3) から選択する。

Maintenance > Network Client Mode		
XDCAM airやソニー製ネットワークRXステーションと接続するためのネットワーククライアントモードに関する設定を行います。		
[ご注意] すべての項目に値が入力されないと、ネットワーククライアントモードを設定できません。		
項目	設定値	内容
Preset 1	(プリセット名の表示)	プリセット名を入力する。
	CCM Address	接続先CCMのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス
	CCM Port(1 ~ 65535(8443))	接続先CCMのポート番号を設定する。
	User Name	接続先CCMの認証用ユーザー名を設定する。
	Password	接続先CCMのパスワードを設定する。 入力したパスワードは*で表示されるが、SHIFTキーを押している間は、入力した文字が表示される。
	NCM with Proxy(Enable/ Disable)	Enable : CCM接続時のプロキシ記録を有効にする。 Disable : CCM接続時のプロキシ記録を無効にする。
	Camera Control(Enable/ Disable)	CCM接続時のカメラコントロール操作の許可/不許可を設定する。
	Camera Setting (Always/Onetime/ Off)	CCM接続時のALLファイル操作の許可/不許可を設定する。 Always : 常にALLファイルの操作を許可する Onetime : 1回だけALLファイルの操作を許可する Off : ALLファイルの操作を許可しない
Preset 2	Preset 1と同じ	Preset 1と同じ
Preset 3	Preset 1と同じ	Preset 1と同じ

Maintenance >File Transfer		
ファイルのネットワーク転送に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
File Transfer	Execute/Cancel	転送モードへ移行する(Executeで実行する)。
Remote File Transfer	Enable/ <u>Disable</u>	本機で記録したオリジナルファイル転送時、転送モードへの移行をネットワークからのリモート操作で許可する/許可しないを設定する。 Enable : ネットワークからのリモート操作で、転送モードへの移行を許可する。 Maintenance >File Transferで転送を実行する必要はありません。 Disable : ネットワークからのリモート操作で、転送モードへの移行を許可しない。 Maintenance >File Transferで転送を実行する必要があります。
Auto Upload (Proxy)	<u>Off</u> /On	プロキシファイルの自動転送をオン/オフする。
Default Upload Server	<u>Sony Ci</u> /NCM RX Server/Server Settings1/Server Settings2/Server Settings3	オリジナルファイルやプロキシファイルの転送先サーバーを選択する。 Server Settings1 ~ 3には、Webメニューの「Upload Settings」のDisplay Nameに入力したサーバー名が表示されます。詳しくは「転送先のサーバーを登録するには」(84ページ)をご覧ください。
Clear Completed Jobs	Execute/Cancel	転送完了済みのジョブをジョブリストからクリアする。
Clear All Jobs	Execute/Cancel	ジョブリストに登録したすべてのジョブをクリアする。
View Job List		転送ジョブ一覧を表示する。
Maintenance >Streaming		
ストリーミングに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Setting	On/ <u>Off</u>	ストリーミング伝送をオン/オフする。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> この設定は、本機の電源を入れ直したときにOffにリセットされます。 Onにすると、「Content Browser Mobile」アプリケーションでのモニタリング機能は使えません。

Maintenance >Streaming		
ストリーミングに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Preset Select	<u>Preset 1</u> /Preset 2/Preset 3	ストリーミングのプリセット項目を選択する。 設定項目はPreset 1/Preset 2/Preset 3で共通です。各設定項目については、以下を参照してください。
Size	HD Auto/ 1280x720/ <u>640x360</u> / 480x270/ 320x180	ストリーミング用の映像のサイズを設定する。 HD Autoを選択した場合、SxSに記録される記録フォーマットの設定や、再生するクリップのフォーマットに基づいて、サイズが1920×1080か1280×720に設定されます。
Bit Rate	9Mbps/ 6Mbps/ <u>3Mbps</u> / 2Mbps/ 1Mbps/ 0.5Mbps/ 0.3Mbps(Mono L)/ 0.3Mbps(Mono R)/ 0.2Mbps(Mono L)/ 0.2Mbps(Mono R)	ストリーミング用の映像のビットレートを設定する。 選択できるビットレートはSizeの設定値により異なります。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。 アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。 ネットワークの状況により、すべてのフレームを再生できない場合があります。 動きの激しいシーンでは、画質が悪くなります。 ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためにはSizeでより小さいサイズを選んでください。
Type	<u>MPEG-2 TS/UDP</u> / MPEG-2 TS/RTP	ストリーミング用の映像の種類を選択する。
Destination Address	文字列(<u>0.0.0.0</u>)	ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力する。
Destination Port	1 ~ 65545(<u>1234</u>)	伝送先サーバーの、ストリーミングに使用するポート番号を入力する。
Audio Channel	<u>CH1/CH2</u> /CH3/CH4	ストリーミング出力に乗せるAudio Channelを選択する。

Maintenance >Clock Set 内蔵時計を設定します。		
項目	設定値	内容
Date Mode	<u>YYMMDD</u> /MMDDYY/ DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。
12H/24H	12H/ <u>24H</u>	時刻の表示形式を選択する。
Date		日付設定画面を表示する。
Time		時刻設定画面を表示する。
Maintenance >Language メッセージの表示言語を選択します。		
項目	設定値	内容
Select	<u>English</u> /中文(簡)/日本語/ Español/Русский	メッセージの表示言語を選択する。
Maintenance >Hours Meter デジタル時計に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Hours (System)	xxxxH (xxxxは時間)	積算使用時間(リセット不可)を表示する。
Hours (Reset)	xxxxH (xxxxは時間)	積算使用時間(リセット可)を表示する。
Reset	Execute/Cancel	Hours(Reset) 表示を0にリセットする(Executeで実行する)。
Maintenance >Network Reset ネットワーク関連設定を工場出荷状態に戻します。		
項目	設定値	内容
Reset	Execute/Cancel	ネットワーク関連の設定を初期化する(Executeで実行する)。
Maintenance >Fan Control ファンの制御モードを設定します。		
項目	設定値	内容
Setting	<u>Auto</u> /Minimum/Off in Rec	ファンの制御モードを選択する。
Maintenance >VF Display Setting ビューファインダーの表示に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Chara/Marker Brightness	5/4/ <u>3</u> /2/1	ビューファインダーの映像に重畳するキャラクター、アイコン、マーカの明るさを設定する。

Maintenance >Version 本機のバージョン表示およびバージョンアップを実行します。		
項目	設定値	内容
Number		本機のソフトウェアバージョンを表示する(Vx.xx)。
Version Up	Execute/Cancel	UTILITY SDカードスロットを使用し、本機のソフトウェアをバージョンアップする(Executeで実行する)。 以下のSDカードが使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> SDHCメモリーカード(Speed Class : 4以上/UHS非対応/容量 : 4 ~ 32 GB) <p>[ご注意] バージョンアップデータのSDカードが挿入されていないとき、またはMaintenanceメニューのNetwork Client Mode >SettingがOnのときは選択できません。</p>
Net-Func Version Number		本機のワイヤレスLAN接続機能のバージョンを表示する(Vx.xx)。 <p>[ご注意] OperationメニューのXAVC Proxy Rec Mode >SettingがOff、かつMaintenanceメニューのNetwork >SettingがOffのときは表示されません。</p>
Net-Func Ver.Up	Execute/Cancel	PROXY SDカードスロットを使用し、本機のワイヤレスLAN接続機能のソフトウェアをバージョンアップする(Executeで実行する)。 以下のSDカードが使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> SDHCメモリーカード(Speed Class : 4以上/UHS非対応/容量 : 4 ~ 32 GB) SDXCメモリーカード(Speed Class : 4以上/UHS非対応/容量 : 64 ~ 256 GB) <p>[ご注意] MaintenanceメニューのNetwork Client Mode >SettingがOnのときは選択できません。</p>

Fileメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

File > User File ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Load SD Card		ユーザーファイルの設定をSDカードから呼び出す画面を表示する。
Save SD Card		ユーザーファイルの設定をSDカードへ保存する画面を表示する。
File ID		ユーザーファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
Recall User Preset	Execute/Cancel	Userメニューに登録されているメニュー項目の値をプリセット値に戻す(Executeで実行)。
Store User Preset	Execute/Cancel	Userメニューに登録されているメニュー項目の値をプリセット値として保存する(Executeで実行)。
Clear User Preset	Execute/Cancel	Userメニューに登録されているメニュー項目の現在の設定値およびプリセット値を工場出荷値に戻す(Executeで実行)。
Load Customize Data	On/ Off	[Load SD Card] の実行時にUserメニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
Load White Data	On/ Off	[Load SD Card] の実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。
File > All File ALLファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Load SD Card		All Fileの設定をSDカードから呼び出す画面を表示する。
Save SD Card		All Fileの設定をSDカードへ保存する画面を表示する。
File ID		All FileのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
All Preset	Execute/Cancel	すべての項目をプリセット値に戻す(Executeで実行する)。
Store All Preset	Execute/Cancel	すべての項目について現在の設定値をプリセット値として保存する(Executeで実行する)。

File > All File ALLファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Clear All Preset	Execute/Cancel	All Fileの対象のメニュー項目の現在の設定値およびプリセット値を一部を除き工場出荷値に戻す(Executeで実行する)。 詳細は「ユーザーデータに保存される項目」(157ページ)をご覧ください。
3Sec Clear Preset	On/ Off	MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に3秒間押し上げたままにすると項目ごとに現在の設定値とプリセット値がクリアされる機能をオン/オフする。
File > Scene File シーンファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Recall Internal Memory		内蔵メモリーからシーンファイルを読み出す画面を表示する。
Store Internal Memory		内蔵メモリーにシーンファイルを保存する画面を表示する。
Load SD Card		SDカードからシーンファイルを読み出す画面を表示する。
Save SD Card		SDカードにシーンファイルを保存する画面を表示する。
File ID		シーンファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
Scene White Data	On/ Off	シーンファイルを読み出す場合に、シーンファイルのホワイトバランスデータを反映させるかどうかを設定する。
File > Reference File リファレンスファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Store Reference	Execute/Cancel	リファレンスファイルの対象メニュー項目の現在の設定値をプリセット値に保存する(Executeで実行)。
Clear Reference	Execute/Cancel	リファレンスファイルの対象メニュー項目の現在の設定値およびプリセット値を工場出荷値に戻す(Executeで実行)。
Load Reference(SD Card)	Execute/Cancel	SDカードからリファレンスファイル設定値を読み出し、プリセット値に設定する(Executeで実行)。

File >Reference File		
リファレンスファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Save Reference(SD Card)	Execute/Cancel	リファレンスファイルの対象メニュー項目のプリセット値をSDカードに保存する(Executeで実行)。
File ID		リファレンスファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
File >Lens File		
レンズファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Display Mode	Model Name /Lens ID	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する。
Recall Internal Memory		内蔵メモリーからレンズファイルを呼び出す画面を表示する。
Store Internal Memory		内蔵メモリーにレンズファイルを保存する画面を表示する。
Load SD Card		SDカードからレンズファイルを呼び出す画面を表示する。
Save SD Card		SDカードにレンズファイルを保存する画面を表示する。
File ID		レンズファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
File Source		選択しているファイルの番号が表示される。
Clear Lens Offset	Execute/Cancel	レンズファイルをクリアする(Executeで実行する)。
Lens Auto Recall	Off /On(Lens Name)/On(Serial Number)	シリアル通信対応レンズ装着時に、該当するレンズファイルを自動的に呼び出すかどうかを設定する。
Lens Serial Number		装着されたシリアル通信対応レンズのシリアルナンバーが表示される(対応レンズのみ)。
Lens Name		装着されたシリアル通信対応レンズの機種名が表示される(対応レンズのみ)。
Lens Manufacturer		装着されたシリアル通信対応レンズのメーカー名が表示される(対応レンズのみ)。
Master V Modulation	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルに垂直方向のSAWシェーディング補正値を設定する。
Lens Center H	-40 ~ ±0 ~ +40	レンズファイルにセンターマーカの水平位置を設定する。

File >Lens File		
レンズファイルの操作に関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Lens Center V	-40 ~ ±0 ~ +40	レンズファイルにセンターマーカの垂直位置を設定する。
R Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルにRフレアレベルを設定する。
G Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルにGフレアレベルを設定する。
B Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルにBフレアレベルを設定する。
White Offset R	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのRch補正値を設定する。
White Offset B	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのBch補正値を設定する。
Shading Ch Select	Red /Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する。
Shading H SAW	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルに水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する。
Shading H PARA	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルに水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する。
Shading V SAW	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルに垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する。
Shading V PARA	-99 ~ ±0 ~ +99	レンズファイルに垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する。
File >User Gamma		
User Gammaに関する設定を行います。		
項目	設定値	内容
Current Settings		ユーザーガンマファイルの現在の設定(ファイル名) リスト画面を表示する。
Load SD Card		User Gammaの設定をSDカードから呼び出す画面を表示する。
Reset	1/2/3/4/5/All	設定をリセットするユーザーガンマファイルを選択し、Executeで実行する。Allを選択するとすべてのユーザーガンマファイルがリセットされる。

アサインブルスイッチに機能を割り当てる

OperationメニューのAssignable Switchで、ASSIGN. 0～3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとONLINEボタン、レンズのRETボタンに任意の機能を割り当てることができます。

工場出荷時には、それぞれ下表に示す機能が割り当てられています。

スイッチ/ボタン	機能	Assignable Switchの設定
ASSIGN. 0スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 1スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 2スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 3スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 4スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 5スイッチ	未設定	Off
RETボタン	レックレビュー (再生可能な場合)	Lens RET
ONLINEボタン	Proxyクリップを自動転送する	Network Client Mode

ASSIGN. 0スイッチに割り当て可能な機能

Assignable Switchの設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Marker	すべてのマーカー表示をオン/オフする	設定を保持する
ATW Hold	ATW(自動追尾ホワイトバランス) によるホワイトバランス設定値を保持する	—
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする	設定を保持する
Focus Magnifier	拡大フォーカス機能をオン/オフする	設定を保持しない
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする	設定を保持しない
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKP(Keep)フラグを設定/解除する	設定を保持しない

ASSIGN. 2スイッチに割り当て可能な機能

【ご注意】

ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てた直後と記録フォーマットの切り換え直後は、その時点のスイッチの設定と本機の状態が一致しないことがあります。機能の割り当て後にASSIGN. 2スイッチを切り換えるか、電源を再投入すると一致します。

Assignable Switchの設定	機能
Off	未設定
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ/モノラルを切り換える
Marker	すべてのマーカー表示をオン/オフする
Picture Cache Rec ¹⁾	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする
Clip Continuous Rec	クリップコンティニューアスレックモードをオン/オフする
Rec Source	記録する信号をカメラ画または外部入力に切り換える(記録/再生中に操作すると、記録/再生が終了してから切り換えが実行される)
TX Power Save	ワイヤレス送信機のパワーセーブモードを切り換える

1) Picture Cache Recを割り当てると、メニューのOperation > Rec Functionは無効(グレー表示)になり、設定できなくなります。

ASSIGN. 1/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとONLINEボタンに割り当て可能な機能

Assignable Switchの設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ(オン) /モノラル(オフ) を切り換える	設定を保持する
Marker	すべてのマーカー表示をオン/オフする	設定を保持する
Last Clip Delete	直前に記録したクリップを削除する	—
ATW	ATW(自動追尾ホワイトバランス) モードをオン/オフする	設定を保持しない
ATW Hold	ATWによるホワイトバランス設定値を保持する	—
Turbo Gain	Operation >Gain Switch >Gain <Turbo>の設定に基づいてターボゲインを実行する	設定を保持しない
Rec Review	レックレビューを実行する	—
Rec	記録開始/停止を実行する	—
NFC	NFC機能を実行する	—
Network Client Mode	ネットワーククライアントモードをオン/オフする	設定を保持する
Streaming	ストリーミング伝送をオン/オフする	設定を保持しない
Auto Upload(Proxy)	プロキシファイルの自動転送のオン/オフを設定する	設定を保持する
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする	設定を保持する
Spotlight	オートアイリスモードをスポットライトに設定/解除する	設定を保持する
Backlight	オートアイリスモードをバックライトに設定/解除する	設定を保持する
Video Signal Monitor	ビデオ信号モニター表示機能を切り換える	設定を保持する
Lens Info	被写界深度表示のオフ、メーター表示、フィート表示を切り換える	設定を保持する

Assignable Switchの設定	機能	電源再投入時の状態
Zoom Tele/Wide	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4にZoom Tele機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Wide機能をそれぞれ割り当てる(<4>、<5>の設定時のみ表示する) 【ご注意】 プロキシ単独記録中に割り当て設定を変更しないでください。	—
Zoom Wide/Tele	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4にZoom Wide機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Tele機能をそれぞれ割り当てる(<4>、<5>の設定時のみ表示する) 【ご注意】 プロキシ単独記録中に割り当て設定を変更しないでください。	—
Manual Focus Assist	マニュアルフォーカスアシスト機能をオン/オフする	設定を保持する
Focus Magnifier	拡大フォーカス機能をオン/オフする	設定を保持しない
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする	設定を保持しない
Lens RET	レックレビュー (再生可能な場合)	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定 /解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定 /解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKP(Keep)フラグを設定 /解除する	設定を保持しない
Color Temp SW 3200K	ホワイトバランスを3200Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 4300K	ホワイトバランスを4300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 5600K	ホワイトバランスを5600Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 6300K	ホワイトバランスを6300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する

Assignable Switchの設定	機能	電源再投入時の状態
Electrical CC	ホワイトバランス調整値に対して電氣的CCフィルターを切り換える(3200K/4300K/5600K/6300K) 機能 スイッチ/ボタンを押すたびに3200K→4300K→5600K→6300Kと切り換わる Menu設定で変更可能(Electrical CC<A><C><D>で設定) [ご注意] メニューのMaintenance >White Filter >ND Filter C.TempがOnの場合は設定できません。 機能を割り当てたあとでND Filter C.TempをOnすると、そのアサインブルスイッチは機能しなくなります。	設定を保持する
CC5600K	ホワイトバランス調整値に対して5600Kの電氣的CCフィルターをかける	設定を保持する
Clip Continuous Rec	クリップコンティニューアスレックモードをオン/オフする	設定を保持しない
Slow & Quick Motion	スロー&クイックモーションをオン/オフする	設定を保持する
Slot Select	スロットAとBの両方に記録メディアが装着されているとき、使用する記録メディアを切り換える	—
TX Power Save	ワイヤレス送信機のパワーセーブモードを切り換える	設定を保持しない
XAVC Proxy Rec Mode	プロキシデータ記録機能をオン/オフする	設定を保持する
XAVC Proxy Rec Start	プロキシ記録を開始/停止する	設定を保持しない
HLG Display Assist	ビューファインダー上の映像にHLGのガンマカーブをかけて表示する [ご注意] SDRモード時、または再生時は使用できません。	設定を保持しない
HD (Sub) P/B Mode	サブクリップ再生モードをオン/オフする	設定を保持する

レンズのRETボタンに割り当て可能な機能

Assignable Switchの設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Lens RET	レックレビュー(再生可能な場合)	—
Rec Review	レックレビューを実行する	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
Clip Flag OK	記録または再生中のクリップに対してOKフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag NG	記録または再生中のクリップに対してNGフラグを設定/解除する	設定を保持しない
Clip Flag Keep	記録または再生中のクリップに対してKP(Keep)フラグを設定/解除する	設定を保持しない
Focus Magnifier	拡大フォーカス機能をオン/オフする	設定を保持しない
XAVC Proxy Rec Start	プロキシ記録を開始/停止する	設定を保持しない
HLG Display Assist	ビューファインダー上の映像にHLGのガンマカーブをかけて表示する [ご注意] SDRモード時、または再生時は使用できません。	設定を保持しない

ユーザー設定データ

セットアップメニューの設定内容は、本機の内蔵メモリーまたはSDカードに保存することができます。このデータを使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データをSDカードに保存する場合は、あらかじめ、書き込み可能なSDカード(33ページ)をUTILITY SDカードスロットに挿入しておきます。各ファイルに保存される設定値については、「ユーザーデータに保存される項目」(157ページ)をご覧ください。

設定データ保存用SDカードの挿入

- 1 スイッチカバーを開ける。
- 2 設定データ保存用SDカードをUTILITY SDカードスロットに挿入する。
- 3 スイッチカバーを閉める。

設定データ保存用SDカードの取り出し

- 1 スイッチカバーを開ける。
- 2 設定データ保存用SDカードを軽く1回押して取り出す。

【ご注意】

- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合、データは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードのACCESSランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

使用できるユーザーデータは次のとおりです。

ユーザーファイル

カスタマイズしたUserメニューの設定項目と設定データを保存します。SDカードに64個まで保存することができます。このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、USERメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

ALLファイル

全メニューの設定データを保存します。SDカードに64個まで保存することができます。

【ご注意】

機器固有のデータ(機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど)は保存されません。

シーンファイル

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードに64個まで保存することができます。次のデータをシーンファイルに保存できます。

- Paintメニューを使用して設定した値
- 標準モードおよびECSモードでのシャッタースピードの設定
- ホワイトバランスのデータ
保存されるデータおよび呼び出されるデータは、メニューのFile >Scene File >Scene

White Dataの設定によって異なります。

シーンファイルは本機の内蔵メモリーまたはSDカードに保存することができます。また保存したシーンファイルを呼び出すこともできます。

リファレンスファイル

シーンファイルの基準設定(File IDがStandard)の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーとSDカードに1個ずつ保存することができます。

レンズファイル

レンズ固有の特性を補正する以下のデータを設定し、レンズファイルとして保存します。本機の内蔵メモリーに32個、SDカードに64個まで保存することができます。

設定データ	細目
Vモジュレーションシェーディング補正值	M V Modulation
センターマーカの位置	Lens Center H Lens Center V
フレアレベル	R Flare G Flare B Flare
ホワイトバランス補正值	White Offset R White Offset B
ホワイトシェーディング補正值	Shading Ch Select Shading H SAW Shading H PARA Shading V SAW Shading V PARA

ガンマファイル

ユーザーが作成したガンマテーブルデータ(User Gamma Data File)を本機の内蔵メモリーに5個まで保存することができます。

ユーザーファイル

ユーザーファイルを保存する

- 1 メニューのFile > User File > Save SD Cardを選択する。
ユーザーファイルの保存先画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

File IDを変更する

- 1 メニューのFile > User File > File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUつまみを回してDoneを選択し、つまみを押す。
File IDの変更が完了します。

ユーザーファイルを呼び出す

- 1 メニューのFile > User File > Load SD Cardを選択する。
ユーザーファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

設定データを呼び出すと、本機は自動的に再起動されます。

ALLファイル

設定データをALLファイルとして保存する

- 1 メニューのFile > All File > Save SD Cardを選択する。
ALLファイルの保存先画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

ALLファイルには現在の設定値とプリセット値が保存されます。

ファイルの保存が実行されないときは

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示されたときは、ファイルは保存されません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	記録可能なメディアが挿入されていない	記録可能なメディアを挿入する

File IDを変更する

- 1 メニューのFile > All File > File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUつまみを回してDoneを選択し、つまみを押す。
File IDの変更が完了します。

設定データを呼び出す

- 1 メニューのFile > All File > Load SD Cardを選択する。
ALLファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

- SDカードからファイルを読み出すと、本機内部に保存されている現在の設定値とプリセット値は上書きされません。
- ファイルを保存した機器より古いバージョンの機器では呼び出しをしないでください。故障の原因となることがあります。
- 設定データを呼び出すと、本機は自動的に再起動されます。

ファイルの呼び出しが実行されないとき

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示された場合は、ファイルの呼び出しは行われません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	読み出し可能なメディアがない メディアに該当のファイルがない	ファイルを保存したメディアを挿入する

現在の設定値をすべてプリセット値に戻す

本書では、ユーザーが最初に設定／保存したセットアップメニューの設定内容を「プリセット値」と表記します。

ファイルを読み出して本機をセットアップし、さらに設定変更を行った状態で元のファイルを上書き保存した場合でも、プリセット値を復活させることにより、ファイルの内容をリセットすることができます。

- 1 メニューのFile > All File > All Presetを選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

現在の設定値をすべてプリセット値として保存する

- 1 メニューのFile > All File > Store All Presetを選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

実行後、本機は自動的に再起動されます。

現在のすべての設定値とプリセット値を工場出荷値に戻す

- 1 メニューのFile > All File > Clear All Presetを選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

[ご注意]

実行後、本機は自動的に再起動されます。

シーンファイル

シーンファイルを内蔵メモリーに保存する

- 1 メニューのFile > Scene File > Store Internal Memoryを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されています。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
選択した保存先にシーンファイルが上書き保存されます。
- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

シーンファイルをSDカードに保存する

- 1 メニューのFile > Scene File > Save SD Cardを選択する。
シーンファイル保存先画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

File IDを変更する

- 1 メニューのFile > Scene File > File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUつまみを回してDoneを選択し、つまみを押す。
File IDの変更が完了します。

シーンファイルを内蔵メモリーから呼び出す

- 1 メニューのFile > Scene File > Recall Internal Memoryを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

シーンファイルをSDカードから呼び出す

- 1 メニューのFile > Scene File > Load SD Cardを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

リファレンスファイル

現在の設定値をプリセット値として保存する

- 1 メニューのFile >Reference File >Store Referenceを選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

現在の設定値をプリセット値としてSDカードに保存する

- 1 メニューのFile >Reference File >Save Reference(SD Card)を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

File IDを変更する

- 1 メニューのFile >Reference File >File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。

- 3 MENUつまみを回してDoneを選択し、つまみを押す。
File IDの変更が完了します。

リファレンスファイルをSDカードから呼び出す

- 1 メニューのFile >Reference File >Load Reference(SD Card)を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

現在のすべての設定値とプリセット値を工場出荷値に戻す

- 1 メニューのFile >Reference File >Clear Referenceを選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

レンズファイル

レンズファイルを内蔵メモリーに保存する

- 1 メニューのFile > Lens File > Store Internal Memoryを選択する。
レンズファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
File IDがNo offsetの行にファイルを保存することができます。File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

レンズファイルをSDカードに保存する

- 1 メニューのFile > Lens File > Save SD Cardを選択する。
レンズファイル保存先画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して保存先を選択し、つまみを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。

File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 3 MENUつまみを回して確認画面のExecuteを選択し、つまみを押す。

File IDを変更する

- 1 メニューのFile > Lens File > File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUつまみを回してDoneを選択し、つまみを押す。
File IDの変更が完了します。

レンズファイルを内蔵メモリーから呼び出す

- 1 メニューのFile > Lens File > Recall Internal Memoryを選択する。
レンズファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

レンズファイルをSDカードから呼び出す

- 1 メニューのFile > Lens File > Load SD Cardを選択する。
レンズファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

レンズファイルを自動で呼び出す

シリアル通信対応レンズを使用しているときは、レンズの設定に対応するレンズファイルを自動的に呼び出して、本機をセットアップすることができます(Lens Auto Recall機能)。

Lens Auto Recall機能を使用するときは、Fileメニューの > Lens File > Lens Auto Recallを以下のいずれかに設定します。

Off : 機能を使用しない

On(Lens Name) : レンズ機種名に対応するレンズファイルを呼び出す

On(Serial Number) : レンズ機種名とシリアル番号に対応するレンズファイルを呼び出す(シリアル番号の通信が可能なレンズの場合)

シリアル番号の通信に対応していないレンズを使用している場合は、On(Serial Number)の設定

でも、レンズ機種名に対応するレンズファイルを呼び出します。

ガンマファイル

ガンマファイルの現在の設定 (ファイル名)を確認する

メニューのFile >User Gamma >Current Settingsを選択すると、現在設定されているユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。

SDカードからユーザーガンマ ファイルを読み出す

- 1 メニューのFile >User Gamma >Load SD Cardを選択する。
ユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回して呼び出すファイルを選択し、つまみを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

CvpFile EditorTM V4.3で作成したユーザーガンマファイルを使用する

作成したユーザーガンマファイルはSDカードの「PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/HD_CAM」ディレクトリーに保存して、呼び出し操作を行ってください。

変更されたファイルの内容を 初期状態にリセットする

- 1 メニューのFile >User Gamma >Resetを選択する。
リセットするガンマファイルの番号画面が表示されます。
- 2 MENUつまみを回してリセットするガンマファイルの番号(1～5)を選択する。
すべてのガンマファイルをリセットする場合はAllを選択します。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

リモートコントロールユニットを接続する

リモートコントロールユニットRM-B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501などのコントロールユニットを接続すると、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールすることが可能です。

- Turbo GainまたはATW機能が割り当てられている場合のASSIGN. 1/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチおよびONLINEボタン

リモートコントロールユニットを接続する

リモートケーブルを使って、本機のREMOTE端子(8ピン)と、コントロールユニットのカメラ端子を接続します。

接続後に本機の電源を入ると、本機はリモートコントロールモードになり、本機のメニュー操作や撮影操作が可能となります。

【ご注意】

- 本機へのUSB接続が有効になっている状態では、リモートコントロールはできません。
- リモートコントロール中に、本機へのUSB接続が有効になると、リモートコントロールモードが解除されます。
- 本機の電源を入れたままコントロールユニットを接続したり、接続を外さないでください。
- リモートコントロールパネルRCP-1001/1501にはリモートケーブルは付属されていません。
- RM-B170などでDetailの調整を行った場合は、HDのDetailのみが変化します。
- QFHDのDetailの調整は、PaintメニューのDetail(QFHD)で行ってください。

コントロールユニットが接続されているときは、本機の下記スイッチ類は無効になります。

- GAINスイッチ
- WHITE BALスイッチ
- AUTO W/B BALスイッチ
- SHUTTERスイッチ
- OUTPUT/DCCスイッチ

リモートコントロールモードを解除する

本機の電源を切り、コントロールユニットを取り外します。

本機のスイッチ類の設定が有効になります。

RM-B170接続時の画質調整項目について

カメラの画質調整項目(ペイントデータ)については、前回RM-B170を接続したときに設定したパラメーターが再現されます。

RM-B170接続時の記録開始／停止ボタンの機能について

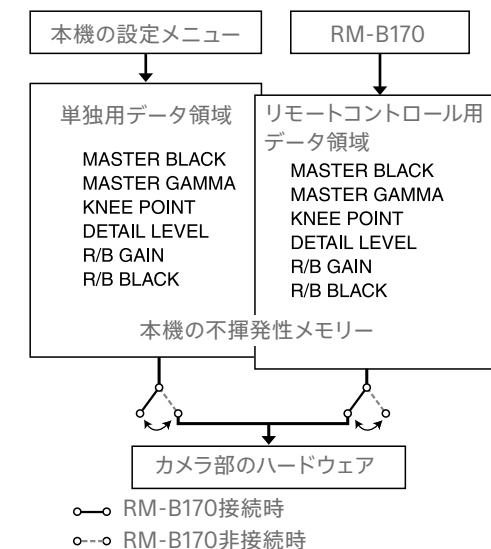
メニューのMaintenance > Camera Config > RM Rec Startで選択できます。

RM Rec Startの設定値に対するボタンの機能は、以下のとおりです。

ボタン	RM Rec Startの設定値		
	RM	Camera	PARA
本機のREC STARTボタン	無効	有効	有効
レンズのVTRボタン	無効	有効	有効
記録開始／停止機能が割り当てられているASSIGN. 1/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチ、およびONLINEボタン	無効	有効	有効
RM-B170のMEDIA STARTボタン	有効	無効	有効

カメラ画質調整データのデータ構造について

本機の持つカメラ画質調整データ(ペイントデータ)のデータ領域には、次図のように、リモートコントロールユニットを接続しないときに有効となる「単独用データ領域」と、リモートコントロールユニットを接続したときに有効となる「リモートコントロール用データ領域」があります。RM-B170などのリモートコントロールユニットの接続／非接続に応じて、「単独用データ領域」と「リモートコントロール用データ領域」が自動的に切り換えられて、カメラ部に出力されます。



リモートコントロールユニットを接続すると、ペイントデータのデータ領域は「リモートコントロール用データ領域」に切り替わり、以前にリモートコントロールユニットを接続していたときの状態が再現されます。

ただし、リモートコントロールユニット側で絶対

値ボリューム¹⁾や絶対値スイッチ²⁾などが設定されているときは、絶対値ボリュームや絶対値スイッチのポジションに合わせて状態が変更されません。

また、リモートコントロールユニットを外すと、「単独用データ領域」が有効となり、リモートコントロールユニットを接続する前の状態に戻ります。

- 1) 絶対値ボリューム：ボリュームの回転角度(位置)に対応したデータが出力される。これに対して、回転(変化)量に応じたデータが出力されるものを相対値ボリュームと呼ぶ。
- 2) 絶対値スイッチ：トグルスイッチや、スライドスイッチ(原則としてモーメンタリー型を除く)のように、スイッチのレバー(またはつまみ)の位置とそのスイッチの機能の状態とが一致している必要があるスイッチ

メニューのMaintenance > Camera Config > RM Common MemoryをOnに設定すると、リモートコントロールユニットを接続しても「リモートコントロールユニット用データ領域」を無効にしたまま「単独用データ領域」を使うことができます。この場合、リモートコントロールユニットは「単独用データ領域」のデータを更新することになり、外したときもリモートコントロールユニットで調整したままの画質が維持されます。ただし、本機のスイッチのポジションと状態が異なるときは、本機のスイッチが優先されます。また、リモートコントロールユニットを接続したときに、接続前と比べて画質が変化しないようにすることができます。この場合は、リモートコントロールユニットのボリュームをすべて相対値ボリュームに設定しておく必要があります。

- ◆ 詳しくは、各リモートコントロールユニットに付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。

RM-B170からメニューを操作する

- 1 RM-B170のCHARACTERボタンを押して点灯させてから、MENUボタンを押す。
RM-B170のMONITOR端子に接続したモニター画面にメニューが表示されます。
- 2 調整つまみとCANCEL/ENTERボタンを使用してメニューを選択・設定する。
- 3 設定が終わったら、MENUボタンをOFFにしてメニューを抜ける。

- ◆ RM-B170の操作について詳しくはRM-B170のオペレーションマニュアルをご覧ください。

RCP-1001/1501、RM-B170で操作できる主な機能

表の見かた

操作表示の記号の意味は次のとおりです。

○：操作できる

—：操作できない

項目	細目	選択肢	機能	RCP-1001	RCP-1501	RM-B170
Panel Active	Panel Active	On/Off	パネル操作の有効をオン/オフする	○	○	○
Bars	Bars	On/Off	カラーバー出力をオン/オフする	○	○	○
Call	Call	On/Off	RCP/RMからカムコーダーをコールする	○	○	○ ¹⁾
Standard	Standard	On/Off	標準モードにする	○	○	○ ¹⁾
ND Filter	ND Filter	1/2/3/4	選択されているNDフィルターを表示する	○	○	○
CC Filter	CC Filter	A/B/C/D	選択されているCCフィルターを表示する	—	—	—
Gain	Step Gain	—3/0/3/6/9/12/18/24/30/36/ 42dB	マスターゲインの設定	○	○	○
White Balance	AWB	Start/Stop	オートホワイトバランスを実行する 実行中に行った場合はストップする	○	○	○
	White Memory	A/B/PRESET	ホワイトバランスのメモリーを切り替える	○	○	○
	ATW	On/Off	ATWをオン/オフする	○ ¹⁾	○	○ ¹⁾
	5600K	On/Off	電気色温度変換をオン/オフする	○	○	○ ¹⁾
Black	ABB	Start/Stop	ブラックバランス自動調整を実行する 実行中に行った場合はストップする	○	○	○
Knee	Point	75% ~ 90% ~ 109%	ニーポイントを設定する	—	○	○ ¹⁾
Detail	Level	—99 ~ ±0 ~ +99	QFHDまたはHDディテールレベルを設定する	○ ³⁾	○ ³⁾	○ ³⁾
Shutter	Shutter Setting	On/Off	シャッターをオン/オフする	—	○	○
	Shutter Speed	—	シャッター速度を設定する	—	○	○
	ECS Setting	On/Off	ECS モードをオン/オフする	—	○	○
	ECS Frequency	—	ECS モードの周波数を設定する	—	○	○
	SLS Setting	On/Off	SLS モードをオン/オフする	—	○	○
	SLS Speed	—	SLS モードのスピード(フレーム数)を設定する	—	○	○
Iris	Iris Mode	Auto/Manual	アイリスモードを設定する	○	○	○
	Iris Level	—99 ~ ±0 ~ +99	オートアイリスの目標値レベルを調整する	○	○	○
	Close	On/Off	アイリス強制クローズをオン/オフする	○	○	—

項目	細目	選択肢	機能	RCP-1001	RCP-1501	RM-B170
Switch Status	Gamma	On/Off	ガンマ補正機能をオン/オフする	—	○	○ ¹⁾
	Black Gamma	On/Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする	○ ¹⁾	○	○ ¹⁾
	Matrix	On/Off	マトリクス機能をオン/オフする	—	○	○ ²⁾
	Knee	On/Off	ニー補正機能をオン/オフする	—	○	○ ¹⁾
	White Clip	On/Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする	—	○	○ ²⁾
	Detail(QFHD)	On/Off	QFHDディテール調整機能をオン/オフする	—	○	○
	Detail(HD)	On/Off	HDディテール調整機能をオン/オフする	—	○	○
	Flare	On/Off	フレア補正機能をオン/オフする	—	○	○ ¹⁾
	Test Saw	On/Off	テスト信号をオン/オフする	—	○	○ ¹⁾
White	R Gain	-99 ~ ±0 ~ +99	ホワイトバランスのRゲイン値を設定する	○	○	○
	B Gain	-99 ~ ±0 ~ +99	ホワイトバランスのBゲイン値を設定する	○	○	○
Black	Master Black	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターブラックレベルを設定する	○	○	○
	R Black	-99 ~ ±0 ~ +99	Rチャンネルブラックレベルを設定する	○	○	○
	B Black	-99 ~ ±0 ~ +99	Bチャンネルブラックレベルを設定する	○	○	○
Camcorder Menu	Menu	On/Off	本機のメニューを操作する	—	—	○
	Cancel/Preset	Cancel/Preset		—	—	○
	Select/Set	Select(Up/Down)/Set		—	—	○
Media	Rec	Start/Stop	記録を開始/停止する	—	—	○
	Play	Play/Pause	再生を開始する	—	—	○
	FREV	—	逆高速再生する	—	—	○
	FFWD	—	高速再生する	—	—	○
	STOP	—	再生を停止する	—	—	○
	Rec Review	—	レックレビューを開始する	—	—	○
	PREV	—	現在のクリップの先頭にジャンプする	—	—	○
	NEXT	—	次のクリップの先頭にジャンプする	—	—	○
Shot Mark	Shot Mark1	—	ショットマーク1を設定する	—	—	○
	Shot Mark2	—	ショットマーク2を設定する	—	—	○ ¹⁾
ZOOM	—	—	ズーム操作(対応レンズ)	—	—	○ ¹⁾
FOCUS	—	—	フォーカス操作(対応レンズ)	—	—	○ ¹⁾

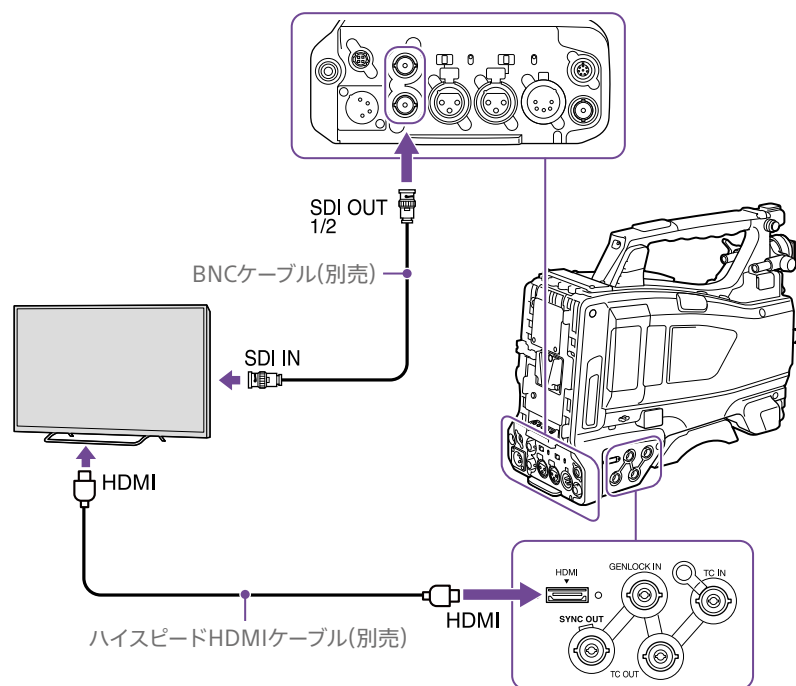
1) RCP/RM側のアサインブルスイッチに機能が割り当てられている場合に操作可能

2) RM側から本機のメニューを操作可能

3) メニューのMaintenance > Camera Config > Detail Control(RM/RCP)の設定に従い、QFHDまたはHDのディテールを操作できます。

外部モニターを接続する

本機出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。



4K信号／HD信号を問わず、外部モニターにビューファインダー画面と同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

SDI OUT端子(BNC型)

SDI OUT端子には、SDI対応のモニター、スイッチャーやVTRなどの記録装置を接続することができます。

本端子からの出力信号は、メニューのOperation > Input/Output > SDI Out1 Output/SDI Out2 Output(101ページ)でオン/オフすることができます。

接続には、別売のBNCケーブルを使用します。

HDMI OUT端子(Type Aコネクター)

本端子からの出力信号は、メニューのOperation > Input/Output > HDMI Outputでオン/オフすることができます。

出力信号のフォーマットは、メニューのOperation > Input/Output > Output Formatで設定します。

接続には、市販のハイスピードHDMI接続ケーブルを使用します。

コンピューターでクリップを管理・編集する

本機でSxSメモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売のノンリニア編集ソフトで編集することができます。

また外部機器接続端子にポータブルストレージ／USBメディアを接続すれば、SxSメモリーカード内のクリップをポータブルストレージ／USBメディアにコピーすることができます。

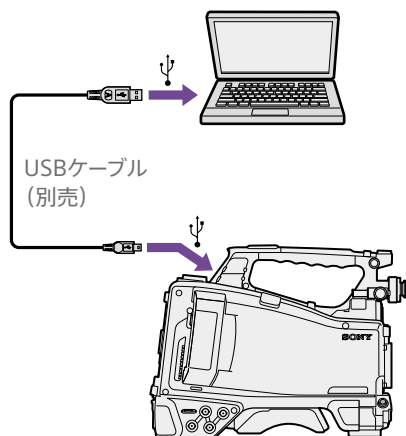
【ご注意】

ファイルシステムがUDFに設定されている時にはコピーはできません。

コンピューターとUSB接続する

本機を別売のUSBケーブルを使ってコンピューターに接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。



【ご注意】

- 本機の電源をオンにして、画面に映像や情報が表示されてから、本機にUSBケーブルを接続してください。
- コンピューターに接続するときは、USBコネクターの形と向きに注意してください。
- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。

USB接続を開始するには

PC接続端子とコンピューターを別売のUSBケーブルを使って接続したとき、USB接続を有効にするか、無効にするかを確認する「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

「Cancel」を選択したり、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げた場合、またはUSBケーブルを抜いた場合は、「Connect USB Now?」のメッセージが消え、元の画面に戻ります。

「Execute」を選択し、MENUつまみを押すと、USB接続が有効になり、本機はコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

記録／再生動作中にUSB接続を許可した場合は、動作を停止し「USB Connecting(USB接続中)」をビューファインダー画面に表示します。このとき、SDI OUT 1/2端子からの出力信号は黒画となります。

【ご注意】

- USB接続中は、本機で記録／再生などの操作はできません。
- コンピューターから本機の記録メディアにアクセス(読み書き)しているときは以下の操作を行わないでください。
 - 本機の操作(電源のオン/オフ、モード切り換えなど)
 - アクセス中の記録メディアを抜き差し
 - USB接続ケーブルの抜き差し

USB接続の解除

USB接続の解除は、コンピューターのデバイス取り外し手順に従って操作します。

USBを再接続するときは、一度USBケーブルを抜いたあとに再度接続してください。再び「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

SxSメモリーカードを取り外すには

Windowsの場合

- 1 コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックする。
- 2 表示されたメニューから「SxS Memory Card ドライブ(X:) を安全に取り外します」を選択する。
- 3 安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

Macintoshの場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」(イジェクトアイコン)にドラッグします。ファインダー上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

アプリケーションソフトウェアを使うには

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールし

て使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」(174ページ)をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

【ご注意】

Explorer(Windows環境)やFinder(Mac環境)を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

ノンリニア編集システムを使うには

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売)が必要です。付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

ポータブルストレージ／USBメディアを接続する

本機の外部機器接続端子にポータブルストレージやUSBメディアを接続しているときは、SxSカードスロットに挿入されている記録メディアのクリップをポータブルストレージやUSBメディアにコピーすることができます。

- 1 メニューのOperation >USB>Select Folderでクリップのコピー先フォルダーを指定する。

画面のNewを選択して、新しいフォルダーを任意に作成することもできます。

【ご注意】

フォルダーを指定しない場合は、コピーするクリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名とするフォルダーが自動的に作成され、クリップはそのフォルダーにコピーされます。

- 2 メニューのOperation >USB >Copy to USBを選択する。

- 3 画面からコピー対象の記録メディアが挿入されているスロットを選択する。

Media(A) to USB：スロットAに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(B) to USB：スロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(A)(B) to USB：スロットA、およびスロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

【ご注意】

手順1でコピー先フォルダーを指定して、Media(A)(B) to USBを選択した場合、スロットAのクリップは、指定先のフォルダーにコピーされます。スロットBのクリップは、クリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名として自動的に作成されるフォルダーにコピーされます。

- 4 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。

対象の記録メディアのクリップがすべてUSBメディアにコピーされます。

【ご注意】

コピーするクリップと同じファイル名のクリップがコピー先フォルダーに既存の場合、そのクリップはコピーされません。

ポータブルストレージ／USBメディア内のクリップの一覧表示

メニューのOperation >USB >View Clip Listでポータブルストレージ／USBメディア内のクリップを一覧表示することができます。

ポータブルストレージ／USBメディア内のフォルダー名の変更

メニューのOperation >USB >Rename Folderでフォルダー名を変更することができます。

- 1 メニューのOperation >USB >Rename Folderを選択する。

- 2 変更するフォルダーを選択し、SETボタンを押す。
ファイル名の入力画面が表示されます。

- 3 フォルダー名を入力し、画面のDoneを選択する。
フォルダー名が変更されます。

コピーのリードチェックエラー

メニューのOperation >USB >Error CheckをOnにすると、クリップの書き込み後、リードチェックエラーを行うことができます。

ポータブルストレージ／USBメディアの初期化

メニューのOperation >USB >Format USBでポータブルストレージ／USBメディアを初期化(exFATでフォーマット)することができます。

- 1 メニューのOperation >USB >Format USBを選択する。

- 2 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
初期化(フォーマット)が開始されます。

- 3 初期化完了のメッセージが表示されたら、画面のOKを選択する。

ポータブルストレージ／USBメディアの空き容量確認

ポータブルストレージ／USBメディアの空き容量は、メニューのOperation >USBを選択したときに表示される画面のMedia Remainの行にGB単位で表示されます。

ポータブルストレージ／USBメディアへの電源供給について

外部機器出力端子からポータブルストレージ／USBメディアへの電源供給は、メニューのOperation >USBのメニュー操作を行うと自動的に開始されます。

ただし、以下の表に示す状態ではメニューのOperation >USBのメニュー操作を行っても、電源供給は開始されません。電源供給を開始するには、表に示す対策を行ってください。

状態	対策
クリップ記録中、再生中、サムネイル表示中、プロキシ記録中、ストリーミング中、プロキシ転送中、本線転送モード中	左記操作を終了する。
Network Client ModeがOn	Network Client ModeをOffにする。
カメラアダプター接続中 ^{a)}	カメラアダプターの接続を解除する。

a) カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。

【ご注意】

- ポータブルストレージやUSBメディアのクリップをSxSカードスロットに挿入されている記録メディアにコピーすることはできません。
- 外部機器出力端子への電源供給中は、クリップ記録はできません。クリップ記録を開始する場合は、メニューのOperation >USBのメニュー操作を終了してください。

撮影／収録システムを構成する

本機にHDカメラアダプター CA-FB70/TX70^{a)}をマウントしてCCU(Camera Control Unit)と接続することができます。

これにより、複数のカムコーダーやカメラエクステンションユニット、リモートコントロールユニットと撮影／収録システムを構成することができます。

a) カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。

◆ CA-FB70およびCA-TX70について詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

[ご注意]

- 本機をこのシステムで使う場合、本機にビデオライトを接続しないでください。
- XAVC、MPEG HD記録にのみ対応しています。
- プロキシ記録、ワイヤレスLAN接続機能には対応していません。
- 本機はリターンビデオの表示には対応していません。

タリーとコールの表示

システムを構築したときのタリーやコール表示を示します。

システムからの受信データ				HDVFのLED表示		VF画面内キャラクターによる表示		
Tally	Green Tally	CAのCall	CA以外のCall	REC/TALLY LED	GREEN TALLY LED	●	●	CALL
OFF	OFF	OFF	OFF	消灯	消灯	非表示	非表示	非表示
OFF	OFF	OFF	ON	点灯	消灯	●	非表示	CALL
OFF	OFF	ON	OFF	消灯	消灯	非表示	非表示	CALL
OFF	OFF	ON	ON	点灯	消灯	●	非表示	CALL
OFF	ON	OFF	OFF	消灯	点灯	非表示	●	非表示
OFF	ON	OFF	ON	点灯	点灯	●	●	CALL
OFF	ON	ON	OFF	消灯	点灯	非表示	●	CALL
OFF	ON	ON	ON	点灯	点灯	●	●	CALL
ON	OFF	OFF	OFF	点灯	消灯	●	非表示	非表示
ON	OFF	OFF	ON	消灯	消灯	非表示	非表示	CALL
ON	OFF	ON	OFF	点灯	消灯	●	非表示	CALL
ON	OFF	ON	ON	消灯	消灯	非表示	非表示	CALL
ON	ON	OFF	OFF	点灯	点灯	●	●	非表示
ON	ON	OFF	ON	消灯	点灯	非表示	●	CALL
ON	ON	ON	OFF	点灯	点灯	●	●	CALL
ON	ON	ON	ON	消灯	点灯	非表示	●	CALL

[ご注意]

カメラアダプター CA-FB70/TX70を接続中は、警告表示に記載しているタリーランプによるアラーム表示は行いません。

撮影／収録システム構成時の対応フォーマットと動作制限

本機とカメラアダプター^{a)}、カメラコントロールユニットを接続して撮影／収録システムを構成する場合の対応フォーマットを下表に示します。

a) カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。

メニューのOperation		カメラアダプター／ カメラコントロール ユニットのシステムフォー マット	カムコーダー の動作制限
Format	Input / Output	リターン ビデオの 表示	
Frequency	Rec Format	Output Format SDI	
59.94	XAVC-I 3840×2160P	1920×1080i	1920×1080 59.94i ×
	XAVC-L 200 2160P		
	XAVC-L 3840×2160P		
	XAVC-I 1920×1080P		
	XAVC-L 50 1920×1080P		
	XAVC-L 35 1080P		
	XAVC-I 1920×1080i	1920×1080i	1920×1080 59.94i ×
	XAVC-L 50 1920×1080i		
	XAVC-L 35 1080i		
	XAVC-L 25 1080i		
	HD422 50 1080i		
	HQ 1920×1080i		
	HQ 1440×1080i		
	SP 1440×1080i		
HD 422 50 720P	1280×720P	1280×720 59.94P ×	
HQ 1280×720P			
29.97	XAVC-I 3840×2160P	1920×1080PsF	1920×1080 29.97PsF ^{a)} ×
	XAVC-L 3840×2160P		1920×1080 59.94i
	XAVC-I 1920×1080P		
	XAVC-L 50 1920×1080P		
	XAVC-L 35 1080P		
	HD422 50 1080P		
	HQ 1920×1080P		
	HD422 50 720P	1280×720P	1280×720 59.94P ×

メニューのOperation		カメラアダプター／ カメラコントロール ユニットのシステムフォー マット	カムコーダー の動作制限
Format	Input / Output	リターン ビデオの 表示	
Frequency	Rec Format	Output Format SDI	
23.98	XAVC-I 3840×2160P	1920×1080i	1920×1080 59.94i ×
	XAVC-L 3840×2160P		
	XAVC-I 1920×1080P		
	XAVC-L 50 1920×1080P		
	XAVC-L 35 1080P		
	HD422 50 1080P		
	HQ 1920×1080P		
	HD422 50 720P	1280×720P (2-3PD)	1280×720 59.94P ×
50	XAVC-I 3840×2160P	1920×1080i	1920×1080 50i ×
	XAVC-L 200 2160P		
	XAVC-L 3840×2160P		
	XAVC-I 1920×1080P		
	XAVC-L 50 1920×1080P		
	XAVC-L 35 1080P		
	XAVC-I 1920×1080i	1920×1080i	1920×1080 50i ×
	XAVC-L 50 1920×1080i		
	XAVC-L 35 1080i		
	XAVC-L 25 1080i		
	HD422 50 1080i		
	HQ 1920×1080i		
HQ 1440×1080i			
SP 1440×1080i			
HD 422 50 720P	1280×720P	1280×720 50P ×	
HQ 1280×720P			

メニューのOperation		カメラアダプター／ カメラコントロール	カムコーダー の動作制限
Format	Input / Output	ユニットのシステムフォー マット	リターン ビデオの 表示
Frequency Rec Format	Output Format SDI		
25	XAVC-I 3840×2160P	1920×1080PsF	1920×1080 25PsF ^{a)} ×
	XAVC-L 3840×2160P		1920×1080 50i
	XAVC-I 1920×1080P		
	XAVC-L 50 1920×1080P		
	XAVC-L 35 1080P		
	HD422 50 1080P		
	HQ 1920×1080P		
	HD422 50 720P	1280×720P	1280×720 50P

a) カメラアダプター CA-TX70接続時はPsF設定を推奨します。カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。

【ご注意】

撮影／収録システム構成時はプロキシ記録、ワイヤレスLAN接続機能、およびスロー&クイックモーションなどの特殊記録機能を同時に使用することはできません。

外部入力信号の記録

本機のSDI IN端子に接続した機器からのSDI信号を記録することができます。

カメラ画の代わりに入力信号を出力／記録するには、メニューのOperation > Input/Output > Source SelectをExternalに設定します。

[ご注意]

- 外部入力信号を、スロー&クイックモーションモードで記録することはできません。スロー&クイックモーションのいずれかの記録モードを選択しているときに、メニューのOperation > Input/Output > Source SelectをExternalに設定すると、上記の記録モードは解除されます。
- オートブラックバランスなどの自動調整機能の実行中や、再生／レックレビュー／サムネイル表示中にメニューのOperation > Input/Output > Source SelectをExternalに設定すると、実行中の調整および操作が終了し、本機が停止状態になってからカメラ画を外部入力に切り換えます。
- 外部入力の記録中に入力信号が乱れたときには、記録が停止する場合があります。入力信号が正常に戻ると、記録は自動で再開します。
- プロキシ記録、ワイヤレスLAN接続機能には対応していません。

外部入力可能な信号フォーマットと本機の記録フォーマットの関係

HD/SD	メニューのOperation > Format > Rec Formatの設定	メニューのOperation > Format > Frequencyの設定	外部入力可能な信号フォーマット
HD	XAVC-I 1920×1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	XAVC-L 50 1920×1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	HD422 50 1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	HD422 50 720P	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P

HD/SD	メニューのOperation > Format > Rec Formatの設定	メニューのOperation > Format > Frequencyの設定	外部入力可能な信号フォーマット
HD	HQ 1920×1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	HQ 1440×1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	SP 1440×1080i	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P
	HQ 1280×720P	59.94	HD 1920×1080 29.97PsF/59.94i HD 1280×720 59.94P
		50	HD 1920×1080 25PsF/50i HD 1280×720 50P

保守

ビューファインダーをクリーニングする

筒部内のCRTスクリーンやミラーの表面からほこりを除去するには、ブロアーをお使いください。レンズとプロテクトフィルターのクリーニングには、市販のレンズクリーナーをお使いください。

【ご注意】

シンナーなどの溶剤は一切使わないでください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

内蔵時計用電池の交換

本機内に内蔵時計用のリチウム電池が装着されています。ビューファインダー画面に“BackUp Battery End”の表示が出たら電池の交換が必要です。ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

エラー／警告システム

本機では警告、注意、動作確認が必要な状況を、ビューファインダー画面のメッセージ表示、各種ランプの点滅、および警告音でお知らせします。警告音の音量はALARMつまみで調整できます。ALARMつまみを最小にすると、警告音は聞こえなくなります。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラーメッセージ	警告音	WARNINGランプ	タリー／RECランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	—	高速点滅	本機の異常の可能性があります。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。 (POWERスイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックまたはAC電源を外してください。) 再度電源を入れてもエラーが継続する場合は、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

警告メッセージ	警告音	WARNINGランプ	タリー／RECランプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full	断続音	点滅	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません Media Full	連続音	点灯	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。 (ビューファインダー画面のバッテリー表示も点滅します。)
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	点灯	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。 記録はできません。 DC INに電源をつなぐか、いったん操作を中止し、バッテリーパックを充電してください。 (ビューファインダー画面のバッテリー表示も点滅します。)
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています Voltage Low	断続音	点滅	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。 供給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています Insufficient Voltage	連続音	点灯	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。 記録はできません。 他の電源に接続し直してください。 (ビューファインダー画面のバッテリー表示も点滅します。)

警告メッセージ	警告音	WARNINGランプ	タリー／RECランプ	原因と対策
クリップ数が上限です Clips Full	連続音	点灯	高速点滅	SxSメモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
最終クリップ記録中 Last Clip Recording	断続音	点滅	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいSxSメモリーカードをご用意ください。
クリップ数上限近くです Clips Near Full	断続音	点滅	点滅	SxSメモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Media(Proxy)残量なし Media(Proxy) Full	連続音	点灯	高速点滅	プロキシデータ記録用SDカードの残量がないため、プロキシデータ記録はできません。交換してください。
Proxyクリップ数が上限です Clips(Proxy) Full	連続音	点灯	高速点滅	プロキシデータ記録用SDカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録はできません。交換してください。
Media(Proxy)残量わずか Media(Proxy) Near Full	断続音	点滅	点滅	プロキシデータ記録用SDカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Proxy最終クリップ記録中 Last Clip(Proxy) Rec	断続音	点滅	点滅	記録中のプロキシデータの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいプロキシデータ記録用SDカードをご用意ください。
Proxyクリップ数上限近く Clips(Proxy) Near Full	断続音	点滅	点滅	プロキシデータ記録用SDカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Media(A) ¹⁾ 残量がありません Media(A) ¹⁾ Full	連続音	点灯	高速点滅	2スロット同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ クリップ数上限 Media(A) ¹⁾ Clips Full	連続音	点灯	高速点滅	2スロット同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ 残量がわずかです Media(A) ¹⁾ Near Full	断続音	点滅	点滅	2スロット同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ 最終Clip記録中 Media(A) ¹⁾ Last Clip Rec	断続音	点滅	点滅	2スロット同時記録機能使用時

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありません 交換してください Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません 交換してください Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 ファイルシステムがFATのときにSxSカードを挿入しました。 ファイルシステムがexFATまたはUDFのときにSDHCカードを挿入しました。 本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は修復が必要です Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーを取るなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ¹⁾ は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
メディア(A) ¹⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
メディア(A) ¹⁾ にエラーが発生しました。 再生を停止しました Media(A) ¹⁾ Error Playback Halted	メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーを取るなどをして、メモリーカードを交換してください。

表示内容	原因と対策
メディア(A) ¹⁾ にエラーが発生しました Media(A) ¹⁾ Error	メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
異なるメディアが挿入されました メディア(A) ¹⁾ は使用できません Different Media is Inserted Cannot Use Media(A) ¹⁾	異なる種類のカードが挿入されました。後から挿入したカードを前に挿入したカードと同じ種類のカードに交換してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

操作時に表示されるメッセージ

ボタン、スイッチ、つまみなどを操作したときに表示されるメッセージとその意味を以下に示します。

[ご注意]

- 操作と発生原因が一致したときに表示されるメッセージだけを記載しています。
- メニュー項目が選択できない状態(グレイアウト状態)で操作を行ったときに表示されるメッセージは記載していません。

操作	メッセージ	メッセージの意味/発生要因
RECボタンを押したとき	Media not exist	SxSカードスロットに記録メディアが挿入されていないため記録ができない。
	Media(Proxy) Cannot Record No Media in Slot(Proxy)	プロキシデータ記録モードはOnに設定されているが、プロキシ記録用SDカードが挿入されていないためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record Media(Proxy) Error	プロキシ記録用SDカードのメディア異常により書き込みができないためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record Media(Proxy): Write Protected	プロキシ記録用SDカードが書き込み禁止のためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record NG: Preparing	プロキシデータ記録回路が準備完了前のためプロキシデータが記録できない。
XAVC Proxy Rec Startを割り当てたアサイン ブルスイッチを操作したとき	Media(Proxy) Cannot Record No Media in Slot(Proxy)	プロキシ記録用SDカードが挿入されていないためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record Media(Proxy) Error	プロキシ記録用SDカードのメディア異常により書き込みができないためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record Media(Proxy): Write Protected	プロキシ記録用SDカードが書き込み禁止のためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record NG: Preparing	プロキシデータ記録回路が準備完了前のためプロキシデータが記録できない。
	Media(Proxy) Cannot Record NG: Preparing	プロキシデータ記録回路が準備完了前のためプロキシデータが記録できない。
PREVボタンを押したとき	First Clip Top!	再生開始位置が先頭クリップの先頭フレームにあるため実行できない。
F REVボタンを押したとき	First Clip Top!	再生開始位置が先頭クリップの先頭フレームにあるため実行できない。
PREV+F REVボタンを押したとき	First Clip Top!	再生開始位置が先頭クリップの先頭フレームにあるため実行できない。
PLAYボタンを押したとき	Last Clip End!	再生開始位置が最終クリップの最終フレームにあるため実行できない。
NEXTボタンを押したとき	Last Clip End!	再生開始位置が最終クリップの最終フレームにあるため実行できない。
F FWDボタンを押したとき	Last Clip End!	再生開始位置が最終クリップの最終フレームにあるため実行できない。
NEXT+F FWDボタンを押したとき	Last Clip End!	再生開始位置が最終クリップの最終フレームにあるため実行できない。

操作	メッセージ	メッセージの意味／発生要因
メディアスロット切り替え操作したとき	Cannot Switch Slots	再生中のためスロットを切り替えできない。
記録メディアを抜いたとき	Media removed	記録メディアへの読み書き動作中(ACCESSランプ点灯中)にメディアが抜かれた。
GAINスイッチを切り替えたとき	Gain: xxxdB (「xxxx」は、ゲイン値)	ゲインの設定が変更になった。
DCCスイッチを操作したとき	DCC:On	DCCがOnになった。
	DCC:Off	DCCがOffになった。
	Fixed By Hyper Gamma !	Gamma CategoryがHGまたはUserに設定されているためDCCをOnにできない。
ホワイトバランススイッチを操作したとき	White: Preset xxxxK (「xxxx」は色温度値)	ホワイトバランスがPresetの値に変更された。
	White: A xxxxK (「xxxx」は色温度値)	ホワイトバランスがAメモリーの値に変更された。
	White: B xxxxK (「xxxx」は色温度値)	ホワイトバランスがBメモリーの値に変更された。
	White: ATW xxxxK (「xxxx」は色温度値)	ホワイトバランスモードがATWに変更された。
SHUTTERスイッチを切り替えたとき	Shutter: 1/xxxx (「xxxx」はシャッター値)	シャッタースピードが変わった(標準、Speedモード設定時)。
	Shutter: xxx (「xxxx」はシャッター値)	シャッタースピードが変わった(標準、Angleモード設定時)。
	ECS: xxxHz (「xxxx」は周波数)	シャッタースピードが変わった(ECSモード時)。
メニューつまみを回したとき	ECS: xxxHz (「xxxx」は周波数)	シャッタースピードが変わった(ECSモード時)。
	Iris Override: +x.xx (「xxxx」は数値)	アイリスオーバーライド量が変わった。
オートブラックスイッチを操作したとき	Color Bars Cannot Proceed	カラーバー信号を出力しているため実行できない。
	Test Saw Cannot Proceed	テスト信号を出力しているため実行できない。
	Not Available Recording	記録中のため実行できない。
	Not Available Playing back	再生中のため実行できない。
	Not Available Displaying Thumbnails	サムネイル表示中のため実行できない。

操作	メッセージ	メッセージの意味／発生要因
オートホワイトスイッチを操作したとき	Color Bars Cannot Proceed	カラーバー信号を出力しているため実行できない。
	Not Available Playing back	再生中のため実行できない。
	Not Available Displaying Thumbnails	サムネイル表示中のため実行できない。
	White Balance Preset	ホワイトバランスがPreset値固定であるため実行できない。
ATW Hold機能を割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	ATW Hold	ATWのHold機能が有効になった。
	ATW Hold Off	ATWのHold機能が解除になった。
Clip Continuous Recを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed Recording	記録中のため実行できない。
	Cannot Proceed	カメラアダプター CA-FB70/TX70とCCUが接続されているため実行できない。 [ご注意] カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。
Picture Cache Recを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed Recording	記録中のため実行できない。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により実行できない。 <ul style="list-style-type: none"> 再生中 サムネイル表示中 カメラアダプター CA-FB70/TX70とCCUが接続されている [ご注意] カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。
Streamingを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed Network Client Mode Setting is "On"	ネットワーククライアントモードが有効であるため実行できない。
	Cannot Proceed Network Function is Disabled	ネットワーク接続設定がOffであるため実行できない。
	Cannot Proceed Network Client Mode Setting is "On" Network Function is Disabled	ネットワーククライアントモードはOnに設定されているが、ネットワーク未接続であるため実行できない。
	Cannot Start Streaming Streaming Disabled Temporarily	以下のいずれかの条件により実行できない。 <ul style="list-style-type: none"> プロキシデータ再生中 記録フォーマット設定が1920×1080のときに1280×720クリップを再生中 記録フォーマット設定が1280×720のときに1920×1080クリップを再生中
	Cannot Start Streaming Please stop Recording or Playback	ワイヤレス機能回路起動中に記録・再生(サムネイル表示を含む)を開始したため実行できない。 記録・再生(サムネイル表示を含む)を停止すると実行できる。

操作	メッセージ	メッセージの意味／発生要因
ネットワーククライアントモード有効時にStreamingを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed Streaming Setting is "On"	ストリーミング中のため設定できない。
	Cannot Connect to CCM Network Function is Disabled	ネットワーク未接続であるためConnection Control Managerに接続できない。
	Cannot Record Proxy	メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3のNCM with ProxyがDisableに設定されているため、プロキシデータ記録開始の操作をしても記録ができない。
	Proxy Recording will be Stopped	メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3のNCM with ProxyがDisableに設定されているため、プロキシデータ記録が停止する。
	Cannot Connect to CCM Cannot Record Proxy	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク未接続であるためConnection Control Managerに接続できない。 メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3のNCM with ProxyがDisableに設定されているため、プロキシデータ記録開始の操作をしても記録できない。
	Cannot Connect to CCM Proxy Recording will be Stopped	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク未接続であるためConnection Control Managerに接続できない。 メニューのMaintenance >Network Client Mode >Preset 1、Preset 2、またはPreset 3のNCM with ProxyがDisableに設定されているため、プロキシデータ記録が停止する。
	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	Connection Control Managerの認証がエラーになった。
Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	Connection Control Managerのアドレス、またはポートナンバーの設定間違いのため、Connection Control Managerに接続できない。	
Auto Upload(Proxy)を割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed Network Function is Disabled	プロキシデータ記録回路、およびワイヤレス機能回路が起動完了前のため実行できない。
ONLINEボタンを長押し操作したとき	Cannot Proceed	ワイヤレス機能回路が起動遷移中、または電源断遷移中のため実行できない。
Zebraを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき、またはビューファインダーのZEBRAスイッチを切り替えたとき	Zebra: On	ゼブラがOnになった。
	Zebra: Off	ゼブラがOffになった。
ビューファインダーのZEBRAスイッチを操作したとき	Zebra: On	ゼブラがOnになった。
	Zebra: Off	ゼブラがOffになった。
Makerを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Marker: On	マーカーがOnになった。
	Marker: Off	マーカーがOffになった。
Video Signal Monitorを割り当てたアサインブルスイッチを操作したとき	Cannot Proceed	メニューのOperation >Input/OutputのSDI Out1 SelectとSDI Out2 Selectが、両方ともOffに設定されているため実行できない。
OUTPUTスイッチをBARS位置(カラーバー表示)へ操作したとき	Not Available S&Q Motion: On	S&Qモーション記録モードが有効中のため表示できない。
NDフィルターを切り替えたとき	2: 1/4ND xxxxK (「2: 1/4ND」はND種類、「xxxx」は色温度値)	NDフィルターが切り替わった。
	ND:3 CC: x xxxxK (「ND:3」は選ばれているNDフィルター種類、「CC: x xxxxK」は選ばれているCCフィルターと電気色温度変換を行った後の色温度値)	ND Filter C.TempがOffで、いずれかのアサインブルスイッチにElectrical CCを割り当てた状態でNDフィルターが切り替わった。

操作	メッセージ	メッセージの意味／発生要因
Color Temp SW 3200Kを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	Color Temp SW 3200K	Color Temp SW 3200Kが有効になった。
	Cannot Proceed ND Filter C.Temp:On	ND Filter C.TempがOnのため変更できない。
Color Temp SW 4300Kを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	Color Temp SW 4300K	Color Temp SW 4300Kが有効になった。
	Cannot Proceed ND Filter C.Temp:On	ND Filter C.TempがOnのため変更できない。
Color Temp SW 5600Kを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	Color Temp SW 5600K	Color Temp SW 5600Kが有効になった。
	Cannot Proceed ND Filter C.Temp:On	ND Filter C.TempがOnのため変更できない。
Color Temp SW 6300Kを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	Color Temp SW 6300K	Color Temp SW 6300Kが有効になった。
	Cannot Proceed ND Filter C.Temp:On	ND Filter C.TempがOnのため変更できない。
Electrical CCを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	ND:3 CC: x xxxxK (「ND:3」は選択されているNDフィルター種類、 「CC: x xxxxK」は選択されているCCフィルター と電気色温度変換を行った後の色温度値)	Electrical CCフィルターが切り替わった。
	Cannot Proceed	ND Filter C.TempがOnのため変更できない。
CC5600Kを割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	CC 5600K	5600Kに設定された。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により実行できない。 <ul style="list-style-type: none"> • ND Filter C.TempがOn • いずれかのアサインナブルスイッチにElectrical CCを割り当ててあるが、Electrical CCに5600Kを割り当てていない。
Shot Mark1を割り当てたアサインナブルスイッチを操作したとき	Shot Mark1 (Planning Metadata適用時は、任意文字列)	ショットマーク1が付加された。
	Cannot Record Essence Mark Reached Essence Mark Limit	エッセンスマーク数の上限に達しているため付加できない。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により付加できない。 <ul style="list-style-type: none"> • クリップが記録されているメディアに書き込み禁止などの理由で書き込みできない • ピクチャーキャッシュレック機能がOn • インターバルレック記録中 • メディアが書き込み禁止になっている • 対象クリップがSDカードに記録されている

操作	メッセージ	メッセージの意味／発生要因
Shot Mark2を割り当てたアサインボタンを操作したとき	Shot Mark2 (Planning Metadata適用時は、任意文字列)	ショットマーク2が付加された。
	Cannot Record Essence Mark Reached Essence Mark Limit	エッセンスマーク数の上限に達しているため実行できない。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により付加できない。 <ul style="list-style-type: none"> クリップが記録されているメディアに書き込み禁止などの理由で書き込みできない ピクチャーキャッシュレック機能がOn インターバルレック記録中 メディアが書き込み禁止になっている 対象クリップがSDカードに記録されている
Clip Flag OKを割り当てたアサインボタンを操作したとき	OK Clip Flag	クリップフラグ(OKマーク)が付加された。
	Delete Clip Flag	クリップフラグ(OKマーク)が削除された(スイッチ2度押し操作したとき)。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により実行できない <ul style="list-style-type: none"> メディアが書き込み禁止になっている 対象クリップがSDカードに記録されている
Clip Flag NGを割り当てたアサインボタンを操作したとき	NG Clip Flag	クリップフラグ(NGマーク)が付加された。
	Delete Clip Flag	クリップフラグ(NGマーク)が削除された(スイッチ2度押し操作したとき)。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により実行できない <ul style="list-style-type: none"> メディアが書き込み禁止になっている 対象クリップがSDカードに記録されている
Clip Flag Keepを割り当てたアサインボタンを操作したとき	KEEP Clip Flag	クリップフラグ(KEEPマーク)が付加された。
	Delete Clip Flag	クリップフラグ(KEEPマーク)が削除された(スイッチ2度押し操作したとき)。
	Cannot Proceed	以下のいずれかの条件により実行できない <ul style="list-style-type: none"> メディアが書き込み禁止になっている 対象クリップがSDカードに記録されている
SLOT SELECTボタンを操作したとき	Switched Slot	使用する記録メディアが切り替わった。
スロー&クイックモーションに対応しない記録フォーマット設定で、Slow & Quick Motionを割り当てたアサインボタンを操作したとき	Cannot Proceed S&Q Unsupported Rec Format	Slow & Quick Motionに対応していないフォーマットのため実行できない。

ユーザーデータに保存される項目

表凡例

○：保存する

○*：保存する(Clear All Presetは対象外)

×：保存しない

—：保存しない(一時的動作メニュー)

Default：リファレンスファイルには保存されない項目ですが、メニューのFile > Referenceを実行するとメニューの初期値としてプリセット層に保存されます。

Userメニュー

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Edit User Menu		○	×	×	×

Operationメニュー

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Format	Frequency	○*	×	×	×
	File System	○*	×	×	×
	Rec Format	○	×	×	×
Base Setting	Shooting Mode	○	×	×	×
	High Sensitivity Mode	○	○	×	×
HDR Setting	4K(QFHD) Rec/Out	○	×	×	×
	HD Rec/Out	○	×	×	×
	SDR Gain	○	×	×	×
	S-Log Color Space	○	×	×	×
Format Media	Media(A)	—	—	—	—
	Media(B)	—	—	—	—
	SD Card(Utility)	—	—	—	—
	SD Card(Proxy)	—	—	—	—

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Input/Output	Output Format	○	×	×	×
	Source Select	○	×	×	×
	SDI Out1 Output	○	×	×	×
	SDI Out2 Output	○	×	×	×
	HDMI Output	○	×	×	×
	SDI Out/HDMI Super	○	×	×	×
Super Impose	Super(VF Display)	○	×	×	×
	Super(Menu)	○	×	×	×
	Super(Marker)	○	×	×	×
LCD	LCD Color	○	×	×	×
	LCD Marker&Zebra	○	×	×	×
Rec Function	Slow & Quick Motion	○	×	×	×
	Frame Rate	○	×	×	×
	Clip Continuous Rec	○	×	×	×
	Picture Cache Rec	○	×	×	×
	Cache Rec Time	○	×	×	×
	Interval Rec	×	×	×	×
	Number of Frames	○	×	×	×
	Interval Time	○	×	×	×
	Pre-Lighting	○	×	×	×
	Simul Rec	○	×	×	×
	4K & HD (Sub) Rec	○	×	×	×
	HD (Sub) Rec Format	○	×	×	×
	HD (Sub) Playback Mode	○	×	×	×
XAVC Proxy Rec Mode	Setting	○*	×	×	×
	Size	○*	×	×	×
	Frame Rate	—	—	—	—
	Bit Rate	—	—	—	—
	Audio Channel	○*	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Assignable Switch	<0>	○	×	×	×
	<1>	○	×	×	×
	<2>	○	×	×	×
	<3>	○	×	×	×
	<4>	○	×	×	×
	<5>	○	×	×	×
	Lens RET	○	×	×	×
	Online	○	×	×	×
	Zoom Speed	○	×	×	×
VF Setting	Color	○	×	×	×
	VF Detail Level	○	×	×	×
Marker	Setting	○	×	×	×
	Color	○	×	×	×
	Center Marker	○	×	×	×
	Safety Zone	○	×	×	×
	Safety Area	○	×	×	×
	Aspect Marker	○	×	×	×
	Aspect Select	○	×	×	×
	Aspect Mask	○	×	×	×
	Aspect Safety Zone	○	×	×	×
	Aspect Safety Area	○	×	×	×
	100% Marker	○	×	×	×
	User Box	○	×	×	×
	User Box Width	○	×	×	×
	User Box Height	○	×	×	×
	User Box H Position	○	×	×	×
	User Box V Position	○	×	×	×
Gain Switch	Gain<L>	○	×	×	×
	Gain<M>	○	×	×	×
	Gain<H>	○	×	×	×
	Gain <Turbo>	○	×	×	×
	Shockless Gain	○	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Auto Iris	Iris Override	○	×	×	×
	Mode	○	×	×	×
	Level	○	×	×	×
	Speed	○	×	×	×
	Clip High light	○	×	×	×
	Detect Window	○	×	×	×
	Detect Window Indication	×	×	×	×
	Iris APL Ratio	○	×	×	×
	Iris Var Width	○	×	×	×
	Iris Var Height	○	×	×	×
	Iris Var H Position	○	×	×	×
	Iris Var V Position	○	×	×	×
Zebra	Zebra Select	○	×	×	×
	Zebra1 Level	○	×	×	×
	Zebra1 Aperture Level	○	×	×	×
	Zebra2 Level	○	×	×	×
Display On/Off	Video Level Warning	○	×	×	×
	Shutter Setting	○	×	×	×
	ND Filter Position	○	×	×	×
	Gain Setting	○	×	×	×
	Rec/Play Status	○	×	×	×
	Color Temp.	○	×	×	×
	Frame Rate/Interval	○	×	×	×
	Battery Remain	○	×	×	×
	Timecode	○	×	×	×
	Audio Level Meter	○	×	×	×
	Media Status	○	×	×	×
	SD Card(Utility)	○	×	×	×
	Focus Position	○	×	×	×
	Iris Position	○	×	×	×
Zoom Position	○	×	×	×	
Extender	○	×	×	×	
ALAC	○	×	×	×	

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Display On/Off	AE Mode	○	×	×	×
	Focus Mode	○	×	×	×
	White Balance Mode	○	×	×	×
	CC5600K	○	×	×	×
	Rec Format	○	×	×	×
	Gamma	○	×	×	×
	Timecode Lock	○	×	×	×
	Network Condition	○	×	×	×
	Proxy Status	○	×	×	×
	NW Client Mode Status	○	×	×	×
	Streaming Status	○	×	×	×
	GPS	○	×	×	×
	Video Signal Monitor	○	×	×	×
	Clip Name	○	×	×	×
	Focus Assist Indicator	○	×	×	×
	Focus Area Marker	○	×	×	×
	Lens Info	○	×	×	×
	WRR RF Level	○	×	×	×
	Clip Number	○	×	×	×
	"!LED	Gain <!>	○	×	×
Shutter <!>		○	×	×	×
White Preset <!>		○	×	×	×
ATW Run <!>		○	×	×	×
Extender <!>		○	×	×	×
Filter <!>		○	×	×	×
White Setting	Iris Override <!>	○	×	×	×
	White Switch	○	×	×	×
	Shockless White	○	×	×	×
	ATW Speed	○	×	×	×
	ATW Mode	○	×	×	×
	AWB Fixed Area	○	×	×	×
Filter White Memory	○	×	×	×	

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Offset White	Offset White<A>	○	×	×	×
	Warm Cool <A>	○	×	×	×
	Warm Cool Balance<A>	○	×	×	×
	Offset White 	○	×	×	×
	Warm Cool 	○	×	×	×
	Warm Cool Balance	○	×	×	×
	Shutter	Mode	○	○	×
Slow Shutter	Setting	○	○	×	×
	Number of Frames	○	○	×	×
Time Zone	Time Zone	○	×	×	×
Clip	Clip Naming	○	×	×	×
	Title Prefix	○	×	×	×
	Number Set	×	×	×	×
Update Media	Media(A)	—	—	—	—
	Media(B)	—	—	—	—
GPS	GPS	○	×	×	×
Planning Metadata	Load Media(A)	—	—	—	—
	Load Media(B)	—	—	—	—
	Properties	—	—	—	—
	Clear Memory	—	—	—	—
	Clip Name Disp	○	×	×	×
USB	Select Folder	—	—	—	—
	View Clip List	—	—	—	—
	Rename Folder	—	—	—	—
	Error Check	○	×	×	×
	Format USB	—	—	—	—
	Copy to USB	—	—	—	—
	Media Remain	—	—	—	—

Paintメニュー

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Switch Status	Gamma	○	○	Default	×
	Black Gamma	○	○	○	×
	Matrix	○	○	○	×
	Knee	○	○	○	×
	White Clip	×	○	×	×
	Detail(QFHD)	○	○	Default	×
	Detail(HD)	○	○	Default	×
	Aperture	○	○	Default	×
	Flare	○	○	Default	×
	Test Saw	○	×	×	×
	HDR Paint Setting	HLG Look	○	○	○
HDR Black Offset		○	○	○	×
HDR Knee		○	○	○	×
HDR Knee Point		○	○	○	×
HDR Knee Slope		○	○	○	×
White	Color Temp <A>	○	○	○	×
	Color Temp Balance <A>	○	○	○	×
	R Gain <A>	○	○	○	×
	B Gain <A>	○	○	○	×
	Color Temp 	○	○	○	×
	Color Temp Balance 	○	○	○	×
	R Gain 	○	○	○	×
	B Gain 	○	○	○	×
Black	Master Black	○	○	○	×
	R Black	○	○	○	×
	B Black	○	○	○	×
Flare	Setting	○	○	Default	×
	Master Flare	○	○	○	×
	R Flare	○	○	○	×
	G Flare	○	○	○	×
	B Flare	○	○	○	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Gamma(HDR)	Gamma Select	×	×	×	×
Gamma	Setting	○	○	Default	×
	Step Gamma	○	○	○	×
	Master Gamma	○	○	○	×
	R Gamma	○	○	○	×
	G Gamma	○	○	○	×
	B Gamma	○	○	○	×
	Gamma Category	○	○	○	×
	Gamma Select	○	○	○	×
	Black Gamma	Setting	○	○	○
Range		○	○	○	×
Master Black Gamma		○	○	○	×
Knee	Setting	○	○	○	×
	Point	○	○	○	×
	Slope	○	○	○	×
	Knee Saturation	○	○	○	×
	Knee Saturation Level	○	○	○	×
White Clip	Setting	×	○	×	×
	Level	○	○	○	×
Detail(QFHD)	Setting	○	○	Default	×
	Level	○	○	○	×
	H/V Ratio	○	○	○	×
	Crispeneing	○	○	○	×
	Level Depend	○	○	○	×
	Level Depend Level	○	○	○	×
	Frequency	○	○	○	×
	Knee Aperture	○	○	○	×
	Knee Aperture Level	○	○	○	×
	Limit	○	○	○	×
	White Limit	○	○	○	×
	Black Limit	○	○	○	×
	V Black Limit	○	○	○	×
V Detail Creation	○	○	○	×	

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Detail(HD)	Setting	○	○	Default	×
	Level	○	○	○	×
	H/V Ratio	○	○	○	×
	Crispening	○	○	○	×
	Level Depend	○	○	○	×
	Level Depend Level	○	○	○	×
	Frequency	○	○	○	×
	Knee Aperture	○	○	○	×
	Knee Aperture Level	○	○	○	×
	Limit	○	○	○	×
	White Limit	○	○	○	×
	Black Limit	○	○	○	×
	V Black Limit	○	○	○	×
	V Detail Creation	○	○	○	×
Aperture	Setting	○	○	Default	×
	Level	○	○	○	×
Skin Detail	Setting	○	○	○	×
	Area Detection	—	—	—	—
	Area Indication	×	×	×	×
	Level	○	○	○	×
	Saturation	○	○	○	×
	Hue	○	○	○	×
	Width	○	○	○	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Matrix	Setting	○	○	○	×
	Adaptive Matrix	○	○	○	×
	Preset Matrix	○	○	○	×
	Preset Select	○	○	○	×
	User Matrix	○	○	○	×
	Level	○	○	○	×
	Phase	○	○	○	×
	User Matrix R-G	○	○	○	×
	User Matrix R-B	○	○	○	×
	User Matrix G-R	○	○	○	×
	User Matrix G-B	○	○	○	×
	User Matrix B-R	○	○	○	×
User Matrix B-G	○	○	○	×	
Multi Matrix	Setting	○	○	○	×
	Area Indication	×	×	×	×
	Color Detection	—	—	—	—
	Reset	—	—	—	—
	Axis	×	×	×	×
	Hue	○	○	○	×
	Saturation	○	○	○	×
V Modulation	Setting	○	×	Default	×
	Master V Modulation	○	○	Default	×
	R V Modulation	○	○	Default	×
	G V Modulation	○	○	Default	×
	B V Modulation	○	○	Default	×
Low Key Saturation	Setting	○	○	○	×
	Level	○	○	○	×
	Range	○	○	○	×
Saturation Mode	Saturation Mode	○	○	○	×
	Knee Saturation	○	○	○	×
	Black Gamma	○	○	○	×
	Low Key Saturation	○	○	○	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Noise Suppression	Setting	○	○	○	×
	Level	○	○	○	×
	Gain Link	○	○	○	×
	-3dB	○	○	○	×
	0dB	○	○	○	×
	3dB	○	○	○	×
	6dB	○	○	○	×
	9dB	○	○	○	×
	12dB	○	○	○	×
	18dB	○	○	○	×
	24dB	○	○	○	×
	30dB	○	○	○	×
	36dB	○	○	○	×
	42dB	○	○	○	×

Thumbnailメニュー

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Display Clip Properties	—	—	—	—	—
Set Index Picture	—	—	—	—	—
Thumbnail View	Essence Mark Thumbnail	—	—	—	—
	Clip Thumbnail	—	—	—	—
Set Shot Mark	Add Shot Mark1	—	—	—	—
	Delete Shot Mark1	—	—	—	—
	Add Shot Mark2	—	—	—	—
	Delete Shot Mark2	—	—	—	—

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Set Clip Flag	Add OK	—	—	—	—
	Add NG	—	—	—	—
	Add KEEP	—	—	—	—
	Delete Clip Flag	—	—	—	—
Lock/Unlock Clip	Select Clip	—	—	—	—
	Lock All Clips	—	—	—	—
	Unlock All Clips	—	—	—	—
Copy Clip	Select Clip	—	—	—	—
	All Clips	—	—	—	—
Copy Sub Clip	All Clips	—	—	—	—
Delete Clip	Select Clip	—	—	—	—
	All Clips	—	—	—	—
Transfer Clip	Select Clip	—	—	—	—
	All Clips	—	—	—	—
Transfer Clip(Proxy)	Select Clip	—	—	—	—
	All Clips	—	—	—	—
Filter Clips	OK	—	—	—	—
	NG	—	—	—	—
	KEEP	—	—	—	—
	None	—	—	—	—
Customize View	Thumbnail Caption	○*	○	×	×

Maintenanceメニュー

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
White Shading	Channel Select	○	×	Default	×
	White H Saw	×	×	×	×
	White H Para	×	×	×	×
	White V Saw	×	×	×	×
	White V Para	×	×	×	×
	White Saw/Para	○	×	Default	×
	Black Shading	Channel Select	○	×	Default
Black H Saw		×	×	×	×
Black H Para		×	×	×	×
Black V Saw		×	×	×	×
Black V Para		×	×	×	×
Black Saw/Para		○	×	Default	×
Master Black		○	○	○	×
Master Gain (TMP)		—	—	—	—
Battery	Near End:Info Battery	○	×	×	×
	End:Info Battery	○	×	×	×
	Near End:Sony Battery	○	×	×	×
	End:Sony Battery	○	×	×	×
	Near End:Other Battery	○	×	×	×
	End:Other Battery	○	×	×	×
	Detected Battery	—	—	—	—
DC Voltage Alarm	DC Low Voltage1	○	×	×	×
	DC Low Voltage2	○	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Audio	Front MIC Select	○	×	×	×
	Audio CH3/4 Mode	○	×	×	×
	Rear XLR Auto	○	×	×	×
	Front MIC CH1 Ref	○	×	×	×
	Front MIC CH2 Ref	○	×	×	×
	Rear MIC CH1 Ref	○	×	×	×
	Rear MIC CH2 Ref	○	×	×	×
	Line Input Ref	○	×	×	×
	Min Alarm Volume	○	×	×	×
	Speaker Attenuate	○	×	×	×
	Headphone Out	○	×	×	×
	Reference Level	○	×	×	×
	Reference Out	○	×	×	×
	CH1&2 AGC Mode	○	×	×	×
	CH3&4 AGC Mode	○	×	×	×
	AGC Spec	○	×	×	×
	Limiter Mode	○	×	×	×
	Output Limiter	○	×	×	×
	CH1 Wind Filter	○	×	×	×
	CH2 Wind Filter	○	×	×	×
	CH3 Wind Filter	○	×	×	×
	CH4 Wind Filter	○	×	×	×
	1kHz Tone on Color Bars	○	×	×	×
	MIC CH1 Level	○	×	×	×
	MIC CH2 Level	○	×	×	×
	Rear1/WRR Level	○	×	×	×
	Rear2/WRR Level	○	×	×	×
	Audio CH3 Level	○	×	×	×
	Audio CH4 Level	○	×	×	×
	WRR Setting	WRR Valid CH Sel	○	×	×
WRR CH Select		×	×	×	×
WRR Delay Comp		○	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
WRR Setting	TX	—	—	—	—
	TX Audio Peak	—	—	—	—
	TX Input Level	—	—	—	—
	TX ATT Level	—	—	—	—
	TX LCF Frequency	—	—	—	—
	TX System Delay	○	×	×	×
	TX RF Power	—	—	—	—
	TX Power Save	—	—	—	—
	TX-Cam Power Sync	○	×	×	×
	Timecode	TC Out	○	×	×
DF/NDF		○	×	×	×
LTC UBIT		○	×	×	×
Counter Display		○	×	×	×
HDMI TC Out		○	×	×	×
Essence Mark	Find Mode	○	×	×	×
Camera Config	HD SDI Remote I/F	○	×	×	×
	Color Bars Select	○	×	×	×
	User Menu Only	○	×	×	×
	User Menu with Lock	×	×	×	×
	RM Common Memory	○	×	×	×
	RM Rec Start	○	×	×	×
	Detail Control	○	×	×	×
	SET Key on Thumbnail	○	×	×	×
	ALAC	○	×	×	×
	SD HDMI	○	×	×	×
Preset White	Color Temp <P>	○	×	×	×
	Color Temp Balance <P>	○	×	×	×
	R Gain <P>	○	×	×	×
	B Gain <P>	○	×	×	×
	AWB Enable <P>	×	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
White Filter	ND Filter C.Temp	○	×	×	×
	ND FLT C.Temp<1>	○	×	×	×
	ND FLT C.Temp<2-4>	○	×	×	×
	Electrical CC<A>	○	×	×	×
	Electrical CC	○	×	×	×
	Electrical CC<C>	○	×	×	×
	Electrical CC<D>	○	×	×	×
DCC Adjust	DCC Function Select	○	×	×	×
	DCC D Range	○	×	×	×
	DCC Point	○	×	×	×
	DCC Gain	○	×	×	×
	DCC Delay Time	○	×	×	×
Flicker Reduce	DCC Peak Filter	○	×	×	×
	Mode	○	×	×	×
Genlock	Frequency	○	×	×	×
	Genlock	○	×	×	×
Auto Shading	Reference	—	—	—	—
	Auto Black Shading	—	—	—	—
	Reset Black Shading	—	—	—	—
APR	Master Gain (TMP)	—	—	—	—
	APR	—	—	—	—
Basic Authentication	Reset	—	—	—	—
	User Name	×	×	×	×
	Password	×	×	×	×

項目	細目	保存先ファイル				
		All	Scene	Reference	Lens	
Network	Setting	○*	×	×	×	
	Wi-Fi Mode	○*	×	×	×	
	NFC	—	—	—	—	
	WPS	—	—	—	—	
	Channel	○*	×	×	×	
	SSID & Password	—	—	—	—	
	SSID	—	—	—	—	
	Wi-Fi	Scan Networks	—	—	—	—
	Station Detail Settings	SSID	×	×	×	×
		Password	×	×	×	×
		DHCP	○*	×	×	×
		IP Address	○*	×	×	×
		Subnet Mask	○*	×	×	×
		Gateway	○*	×	×	×
		DNS Auto	○*	×	×	×
		Primary DNS Server	○*	×	×	×
		Secondary DNS Server	○*	×	×	×
		Device Name (Wi-Fi)	—	—	—	—
	IP Address (Wi-Fi)	—	—	—	—	
	Subnet Mask (Wi-Fi)	—	—	—	—	
	MAC Address (Wi-Fi)	—	—	—	—	
	Regenerate Password	—	—	—	—	
	Modem	○*	×	×	×	
	Wired LAN	○*	×	×	×	
	Wired LAN Remote	○*	×	×	×	

項目	細目	保存先ファイル				
		All	Scene	Reference	Lens	
Network	Wired	DHCP	○*	×	×	×
	LAN Detail Settings	IP Address	○*	×	×	×
		Subnet Mask	○*	×	×	×
		Gateway	○*	×	×	×
		DNS Auto	○*	×	×	×
		Primary DNS Server	○*	×	×	×
		Secondary DNS Server	○*	×	×	×
Network Client Mode	Setting	○*	×	×	×	
	Preset Select	○*	×	×	×	
	Preset 1	Display Name	○*	×	×	×
		CCM Address	○*	×	×	×
		CCM Port	○*	×	×	×
		User Name	×	×	×	×
		Password	×	×	×	×
		NCM with Proxy	○*	×	×	×
		Camera Control	○*	×	×	×
	Camera Setting	×	×	×	×	
	Preset 2			Preset 1と同じ		
	Preset 3			Preset 1と同じ		
	File Transfer	File Transfer	—	—	—	—
Remote File Transfer		○*	×	×	×	
Auto Upload (Proxy)		○*	×	×	×	
Default Upload Server		○*	×	×	×	
Clear Completed Jobs		—	—	—	—	
Clear All Jobs		—	—	—	—	
View Job List		—	—	—	—	

項目	細目	保存先ファイル				
		All	Scene	Reference	Lens	
Streaming	Setting	×	×	×	×	
	Preset Select	○*	×	×	×	
	Preset1	Size	○*	×	×	×
		Bit Rate	○*	×	×	×
		Type	○*	×	×	×
		Destination Address	○*	×	×	×
		Destination Port	○*	×	×	×
	Preset2		Preset1と同じ			
	Preset3		Preset1と同じ			
	Audio Channel	○*	×	×	×	
Clock Set	Date Mode	○	×	×	×	
	12H/24H	○	×	×	×	
	Date	—	—	—	—	
	Time	—	—	—	—	
Language	Select	○	×	×	×	
Hours Meter	Hours (System)	—	—	—	—	
	Hours (Reset)	—	—	—	—	
	Reset	—	—	—	—	
Network Reset	Reset	—	—	—	—	
Fan Control	Setting	○	×	×	×	
VF Display Setting	Chara/Marker Brightness	○	×	×	×	
Version	Number	—	—	—	—	
	Version Up	—	—	—	—	
	Net-Func Version Number	—	—	—	—	
	Net-Func Ver.Up	—	—	—	—	

Fileメニュー

項目	細目	保存先ファイル				
		All	Scene	Reference	Lens	
User File	Load SD Card	—	—	—	—	
	Save SD Card	—	—	—	—	
	File ID	×	×	×	×	
	Recall User Preset	—	—	—	—	
	Store User Preset	—	—	—	—	
	Clear User Preset	—	—	—	—	
	Load Customize Data	○	×	×	×	
	Load White Data	○	×	×	×	
	All File	Load SD Card	—	—	—	—
		Save SD Card	—	—	—	—
File ID		○	×	×	×	
All Preset		—	—	—	—	
Store All Preset		—	—	—	—	
Clear All Preset		—	—	—	—	
3Sec Clear Preset		×	×	×	×	
Scene File	Recall Internal Memory	—	—	—	—	
	Store Internal Memory	—	—	—	—	
	Load SD Card	—	—	—	—	
	Save SD Card	—	—	—	—	
	File ID	×	○	×	×	
	Scene White Data	○	×	×	×	
	Reference File	Store Reference	—	—	—	—
Clear Reference		—	—	—	—	
Load Reference(SD Card)		—	—	—	—	
Save Reference(SD Card)		—	—	—	—	
File ID		×	×	○	×	
Lens File		Display Mode	×	×	×	×
	Recall Internal Memory	—	—	—	—	
	Store Internal Memory	—	—	—	—	
	Load SD Card	—	—	—	—	
	Save SD Card	—	—	—	—	

項目	細目	保存先ファイル			
		All	Scene	Reference	Lens
Lens File	File ID	×	×	×	○
	File Source	—	—	—	—
	Clear Lens Offset	—	—	—	—
	Lens Auto Recall	○	×	×	×
	Lens Serial Number	—	—	—	—
	Lens Name	—	—	—	—
	Lens Manufacturer	—	—	—	—
	Master V Modulation	×	×	×	○
	Lens Center H	×	×	×	○
	Lens Center V	×	×	×	○
	R Flare	×	×	×	○
	G Flare	×	×	×	○
	B Flare	×	×	×	○
	White Offset R	×	×	×	○
	White Offset B	×	×	×	○
	Shading Ch Select	○	×	×	×
	Shading H SAW	×	×	×	○
	Shading H PARA	×	×	×	○
	Shading V SAW	×	×	×	○
	Shading V PARA	×	×	×	○
User Gamma	Current Settings	—	—	—	—
	Load SD Card	—	—	—	—
	Reset	—	—	—	—

フォーマット別の特殊記録対応

フォーマット	通常記録	特殊記録 ¹⁾								
		ピクチャー キャッシュ レック	インターバル レック	スロー& クイック モーション	クリップ コンティニユアス レック	2スロット 同時記録	1スロット 同時記録	1スロット同時記録+ピク チャーキャッシュレック		
QFHD	XAVC-I QFHD	exFAT	○	○	○	○	—	—	○ ²⁾	—
	XAVC-L QFHD		○	○	○	○	—	—	○ ²⁾	○ ²⁾
HD	XAVC-I HD	exFAT	○	○	○	○	○	○	—	—
	XAVC-L422 HD 50		○	○	○	○	○	○	—	—
	XAVC-L422 HD 35		○	○	○	○	○	○	—	—
	XAVC-L422 HD 25		○	○	○	—	○	○	—	—
	MPEG HD422		○	○	○	○	○	○	—	—
		UDF	○	○	○	○	○	—	—	—
	MPEG HD420 HQ	exFAT	○	○	—	—	—	○	—	—
		UDF	○	○	—	—	—	—	—	—
	FAT	○	○	—	—	—	—	—	—	
MPEG HD420 SP		○	○	—	—	—	—	—	—	

1) 対応している画サイズ、フレームレート、および機能詳細は「応用操作」(50ページ)をご覧ください。

特殊記録を複数同時に動作させることはできません。

2) 同時に記録されるサブクリップのフォーマットはMPEG HD422およびXAVC-L50です。

ピクチャーキャッシュレックモード設定

メニューのOperation >Format		Cache Rec Time							
Frequency	Rec Format	0-2 sec	2-4 sec	4-6 sec	6-8 sec	8-10 sec	10-12 sec	12-14 sec	13-15 sec
59.94 50	XAVC-I 3840×2160P	—	—	—	—	—	—	—	—
	XAVC-I 1920×1080P	○	○	—	—	—	—	—	—
	XAVC-I 1920×1080i	○	○	○	○	—	—	—	—
	XAVC-L 200 2160P*	○	○	—	—	—	—	—	—
	XAVC-L 3840×2160P*	○	○	○	○	—	—	—	—
	XAVC-L 50/35/25	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPEG HD422	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPEG HD420 HQ/SP	○	○	○	○	○	○	○	○
29.97 25 23.98	XAVC-I 3840×2160P	○	—	—	—	—	—	—	—
	XAVC-I 1920×1080P	○	○	○	○	—	—	—	—
	XAVC-L 3840×2160P*	○	○	○	○	○	○	—	—
	XAVC-L 50/35	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPEG HD422	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPEG HD420 HQ	○	○	○	○	○	○	○	○

[ご注意]

* 1スロット同時記録時のCache Rec Timeは0～2 secになります。

使用上のご注意

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はご購入先店にご相談ください。

ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

POWERスイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを外しておいてください。

輸送

- 記録メディアは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、ご購入時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

レンズや光学フィルターの表面に付着したゴミやほこりは、ブローアードで吹き払います。ブローアードによるカメラ内部の掃除は行わないでください。空気中に含まれるほこり等が部品に入り込み、故障の原因となることがあります。外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、から拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご相談ください。

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は-5°C~+40°C)
真夏、窓を閉め切った自動車内は50°Cを越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所
- 雨が当たる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないよう、またその反射光や散乱光にも充分注意してください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起き

たときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

ズームレンズの取り付け

ズームレンズの取り付けかたを誤ると損傷することがあります。必ず「レンズの取り付けと調整」(26ページ)をご覧ください。

ビューファインダーについて

ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。

太陽光が接眼レンズを通して内部に焦点を結び、ビューファインダー内部を溶かすことがあります。

LCD(液晶) 画面について

本機のLCD(液晶)パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。また、LCD(液晶)パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターゲイン(感度)を上げたとき

なお、ブラックバランスの自動調整を行うことにより、補正機能が働き、現象が改善することがあります。

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅して見えることがあります。

このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください(119ページ)。

撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット(初期化)してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このよう

な場合は、クリップのバックアップを取ったあと、メニューのOperation >Format Media(101ページ)で記録メディアのフォーマット(初期化)を行ってください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。(80ページ) また、パスワードには他人に推測されにくく、十分な長さのある文字列を設定して厳重に保管することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプ

ログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。

GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
 - トンネルの中・屋内やビルの陰
 - 高層ビルの間・建物間の狭い道路
 - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高压電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- GPSがOnの状態でも撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影

場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSをOffにして撮影してください(107ページ)。

誤差について

- GPSをOnにした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなる場合があります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺的环境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

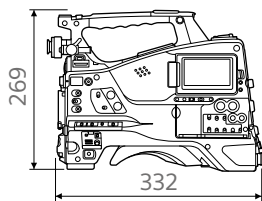
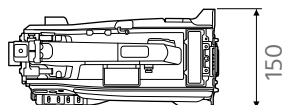
測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

主な仕様

一般

質量 約3.8 kg(本体のみ)
外形寸法 (単位:mm、突起部含まず、本体のみ)¹⁾



1) 寸法は概算値です。

電源電圧 DC 12 V(11 V ~ 17.0 V)
消費電力 約41 W(本体のみ、XAVC-I記録時、
LCDモニター点灯時)
約37 W(本体のみ、XAVC-I記録時、
LCDモニター点灯時、SDI/HDMI出力
設定OFF時)
約50 W(ビューファインダー
HDVF-EL20、マニュアルレンズ、
マイク装着、XAVC-I記録時、LCD
モニター点灯時)
約32 W(USBメディアへのコピー時)

[ご注意]

- 消費電力が50 Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
ビデオライトを接続するときは：
 - 出力端子に周辺機器を接続しないでください。
 - 以下の条件で使用してください。
マニュアルレンズのみを装着、XAVC-I HD記録、プロキシ記録OFF、SDI/HDMI出力設定OFF

- バッテリー (BP-GL95B) 使用時、周辺機器を装着して使用する場合は、周辺機器の消費電力の合計が43 W以内になるようにしてください。
- AC-DN10A使用時、周辺機器を装着して使用する場合は、周辺機器の消費電力の合計が38 W以内になるようにしてください。
- DC OUT端子には消費電流が1.8 A以下の機器を接続してください。

動作温度 0 °C ~ 40 °C
保存温度 -20 °C ~ +60 °C
ファイルシステム
exFAT、UDF、FAT

連続操作時間
約110分(BP-GL95B使用時)

記録フォーマット(ビデオ)

XAVC Intra
MPEG-4 AVC/H.264
XAVC-I QFHD : VBR、最大600Mbps
XAVC-I HD : CBG、最大223Mbps

XAVC Long
MPEG-4 AVC/H.264
XAVC-L QFHD : VBR、最大150Mbps
XAVC-L200 : VBR、最大200Mbps
XAVC-L 50 : VBR、最大50Mbps
XAVC-L 35 : VBR、最大35Mbps
XAVC-L 25 : VBR、最大25Mbps

MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422モード : CBR、
50 Mbps、MPEG-2 422P@HL
MPEG HD420 HQモード : VBR、
最大35 Mbps、MPEG-2 MP@HL
MPEG HD420 SPモード : CBR、
25Mbps、MPEG-2 MP@H-14

XAVC Proxy
AVC/H.264 Main Profile 4:2:0 Long
GOP
1920×1080 : 9 Mbps、6 Mbps
1280×720 : 9 Mbps、6 Mbps
640×360 : 3 Mbps
480×270:1 Mbps、500 Kbps (VBR)

記録フォーマット(オーディオ)

XAVC Intra
LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

XAVC Long
LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422 モード:LPCM 24ビット、
48 kHz、4チャンネル
MPEG HD420 HQ モード : LPCM 16
ビット、48 kHz、4チャンネル

XAVC Proxy
AAC-LC、128 Kbps、2チャンネル

記録・再生時間

XAVC Intra
XAVC-I QFHD
約22分 : SBP-120F/SBP-128E使用時

XAVC-I HD
約57分 : SBP-120F/SBP-128E使用時

XAVC Long
XAVC-L QFHD
約86分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

XAVC-L200
約66分 : SBP-120F/SBP-128E使用時

XAVC-L422 HD 50
約230分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

XAVC-L422 HD 35
約315分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

XAVC-L422 HD 25
約420分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422
約220分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

MPEG HD420 HQ
約330分 : SBP-120F/SBP-128E/
SBS-128G1C使用時

[ご注意]

記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときのもので、記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

記録フレームレート

XAVC Intra
XAVC-I QFHD
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、
25P、23.98P

XAVC-I HD
1920×1080/59.94P、50P、59.94i、
50i、29.97P、25P、23.98P

XAVC Long
XAVC-L QFHD
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、
25P、23.98P

XAVC-L200
3840×2160/59.94P、50P

XAVC-L 50
1920×1080/59.94P、50P、59.94i、
50i、29.97P、25P、23.98P

XAVC-L 35
1920×1080/59.94P、50P、59.94i、
50i、29.97P、25P、23.98P

XAVC-L 25
1920×1080/59.94i、50i

MPEG-2 Long GOP
MPEG HD422
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1280×720/59.94P、50P、29.97P、
25P、23.98P

MPEG HD420 HQ
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1440×1080/59.94i、50i
1280×720/59.94P、50P

MPEG HD420 SP
1440×1080/59.94i、50i
XAVC Proxy
本線 1920×1080時：59.94i、50i、
29.97P、25P、23.98P
本線 1280×720時：59.94P、50P、
29.97P、25P、23.98P

入出力部

入力

GENLOCK IN：
BNC型、1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡
TC IN： BNC型、0.5 V～18 Vp-p、10 kΩ
AUDIO IN CH1/CH2：
XLR型、3ピン、凹
LINE / AES/EBU / MIC / MIC+48V切
り換え可能
LINE：+4、0、-3 dBu
AES/EBU：AES3準拠
MIC：-70 dBu～-30 dBu
MIC IN： XLR型、5ピン、凹、-70 dBu～
-30 dBu
WRR： D-sub 15ピン
アナログ CH1：-40 dBu
デジタル CH1/CH2：-40 dBFS
SDI IN： SMPTE ST292-1/259規格準拠
オーディオ4チャンネル

出力

SYNC OUT：
BNC型
SDI OUT 1/2：
BNC型、0.8 Vp-p、不平衡
(12G/3G/1.5G切り換え可能)
SMPTE ST424/425、ST292-1/259規
格準拠

オーディオ4チャンネル
AUDIO OUT：
XLR型、5ピン、凸、+4/0/-3 dBu(平衡)
TC OUT： BNC型、1.0 Vp-p、50 Ω
EARPHONE(ステレオミニジャック)：
-12 dBu(基準レベル出力、モニター
ボリューム最大、16 Ω負荷時)
HDMI： TypeA、19ピン

その他

DC IN： XLR型、4ピン、凸、DC 11 V～17 V
DC OUT： 丸型4ピン、DC 11 V～17 V、最大定格
電流1.8 A
LENS： 12ピン、レンズへの電源供給(DC 11 V
～17 V、最大定格電流1.0 A)
REMOTE： 8ピン
LIGHT： 2ピン
USB： 4ピン(Aタイプ)×2、4ピン(Bタイプ)
VF： 丸型20ピン
ネットワーク端子：
RJ-45型、100BASE-TX(IEEE
802.3u)、10BASE-T(IEEE 802.3)

カメラ部

撮像素子 2/3型、“Exmor”CMOS イメージセン
サー
NDフィルター
1：クリア
2：1/4ND
3：1/16ND
4：1/64ND
感度 F10(システム周波数：59.94i) (Typical)
(2000 lx、反射率89.9%、3200K)
(High Sense Mode OFF)
F12(システム周波数：59.94i) (High
Sense Mode ON) (Typical)
(2000 lx、反射率89.9%、3200K)

最低被写体照度
0.019 lx(F1.4、+42 dB、16フレーム
蓄積)
映像S/N HD：62 dB(1920×1080 59.94i、
Noise Suppression on) (High
Sense Mode OFF) (Typical)
4K：60 dB(3840×2160 59.94P、
Noise Suppression on) (High
Sense Mode OFF) (Typical)
水平解像度 2000TV本以上(3840×2160P)
黒レベル 3 ±1%(メニューのBlackを[±0] に設
定したとき)
シャッタースピード
59.94i/P、50i/P：1/60～1/2000秒
29.97P：1/40～1/2000秒
25P：1/33～1/2000秒
23.94P：1/32～1/2000秒
シャッター
2～8、16フレーム
ダイナミックレンジ
600%(SDRモード時)
1300%(HDRモード時)

オーディオ部

サンプリング周波数
48 kHz
量子化特性
16/24ビット
ヘッドルーム
20 dB(工場出荷時) (20、18、16、12
dB)、EBUL
周波数特性
20 Hz～20 kHz(±3 dB以内)
ダイナミックレンジ
90 dB(Typical)
ひずみ率 0.08%以下(入力レベル+4 dBu時)
内蔵スピーカー
モノラル、出力：500 mW

表示部

LCDモニター
画面サイズ
対角8.8 cm (3.5型)
アスペクト比
16:9
画素数
960(H)×540(V)

メディア部

SxSカードスロット
形状：Express Card34
スロット数：2
端子：PCMCIA Express Card準拠
書き込みレート：50 Mbps以上
読み出しレート：50 Mbps以上
SDカードスロット
Proxy用×1、Utility用×1

付属品

ショルダーベルト(1)
コールドシューキット(1式)
レンズマウントキャップ
USBワイヤレスLANモジュール(IFU-WLM3)
保護キャップ(1)
ガード(1)
ご使用になる前に(1)
取扱説明書(CD-ROM) (1)
フランジバック調整用チャート(1)

関連機器

電源関連

ACアダプター	AC-DN10A
バッテリーパック	BP-GL95B
バッテリーチャージャー	BC-L70/L90/L70A

レンズ、ビューファインダーおよび関連機器

レンズ	2/3型バヨネットマウントレンズにのみ対応
ビューファインダー	HDVF-20A/L750/EL20/EL30
ビューファインダー回転収納機構	BKW-401

リモートコントロール用機器

リモートコントロールユニット	RM-B170
	RCP-1000/1500/1530
	RCP-1001/1501

[ご注意]

コマンドネットワークユニット(CNU)には対応していません。

HDカメラアダプター

CA-FB70/TX70

[ご注意]

- カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。
- CA-FB70装着時にSDI OUT2と併用する場合は、L字アングルの変換アダプターを使用してください。

メディアアダプター

MEAD-SD02(SDカード用)

記録メディア

SxSメモリーカード	SxS PRO Xシリーズ
	SxS PRO+シリーズ
	SxS PROシリーズ
	SxS-1シリーズ

オーディオ機器

マイクロホン	ECM-678/674/673/680S
マイクホルダー	CAC-12
デジタルワイヤレスレシーバー	DWR-S02DN/DWR-S03D
UHFシンセサイザーチューナーユニット	URX-S03D

その他の周辺機器

三脚アタッチメント	VCT-14/U14
ビデオライト	UC-D200A(日本ビデオシステム社製) ウルトラライト(アントンバウアー社製)
パッド	ソフトタイプショルダーパッド CBK-SP01
ワイヤレスLANアダプター	CBK-WA02
ネットワークアダプターキット	CBK-NA1
USBアダプター	CBK-DL1

保守用製品、操作/取り扱いを容易にするための製品

アタッチメント金具	A-2092-367-
-----------	-------------

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

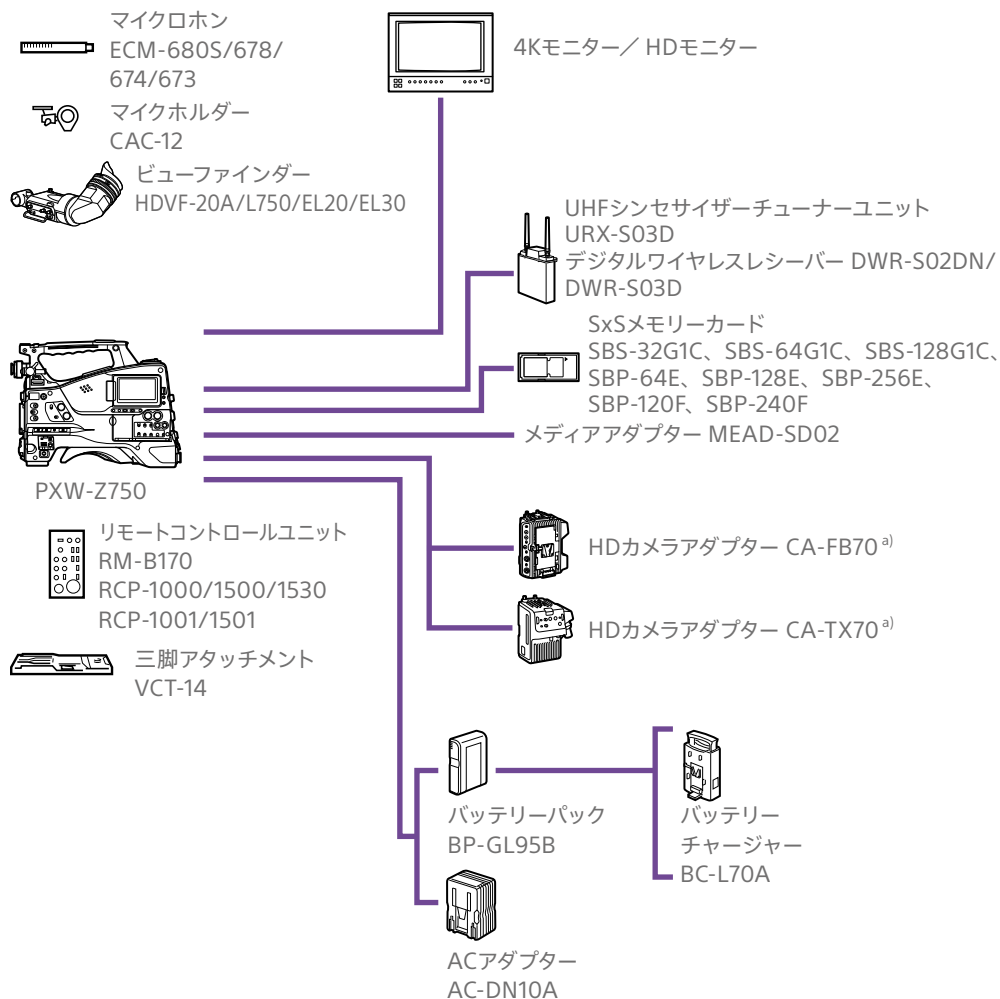
ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトホームページ:

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ	http://www.pro.sony.eu/pro
中東、アフリカ	http://sony-psmea.com
ロシア	http://sony.ru/pro/
ブラジル	http://sonypro.com.br
オーストラリア	http://pro.sony.com.au
ニュージーランド	http://pro.sony.co.nz
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn
インド	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software社のソフトウェアダウンロードページ

http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

周辺機器・アクセサリ一覧図



a) カメラアダプターは、日本向け機器にのみ接続可能です。

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIOLICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE CONTAINED IN THE CAMCORDER, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE ACCEPTING THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT ACCEPT THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between you and Sony Corporation ("SONY"). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of SONY and/or its third party licensors (including SONY's affiliates) and their respective affiliates (collectively, the "THIRD-PARTY SUPPLIERS") contained in the camcorder, together with any updates/ upgrades provided by SONY, any printed, on-line or other electronic documentation for such software, and any data files created by operation of such software (collectively, the "SOFTWARE").

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement ("EXCLUDED SOFTWARE").

SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images,

photographs, animation, video, audio, music, text and “applets” incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited license to use the SOFTWARE solely in connection with the camcorder and only for your individual use. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one camcorder unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. The software, network services or other products other than SOFTWARE upon which the SOFTWARE'S performance depends might be interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses (“Open Source Components”), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit www.sony.com/linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect the

copyright of content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, counting the frequency of your backup and restoration through certain SOFTWARE features, refusal to accept your request to enable restoration of data, and termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES (“CONTENT SERVICE”). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any third party fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are the sole responsibility of the third party providing such service.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and

re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage (“HIGH RISK ACTIVITIES”). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided “AS IS,” without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as “SONY”) EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, NONINFRINGEMENT AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS

WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE'S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED OR UNMODIFIED, AND (E) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWNTIME AND USER'S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE PRODUCT. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO

THE ABOVE EXCLUSION OR LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

CONSENT TO USE OF NON-PERSONAL INFORMATION, LOCATION DATA, DATA SECURITY

You acknowledge and agree that SONY and its affiliates, partners and agents may read, collect, transfer, process and store certain information collected from the SOFTWARE, including but not limited to information about (i) the SOFTWARE and (ii) the software applications, contents and peripheral devices that interact with your camcorder and the SOFTWARE ("Information"). Information includes, but is not limited to: (1) unique identifiers relating to your camcorder and its components; (2) performance of the camcorder, the SOFTWARE and their components; (3) configurations of your camcorder, the SOFTWARE and the software applications, contents and peripheral devices that interact with the camcorder and the SOFTWARE; (4) use and frequency of use of the functions of (x) the SOFTWARE, and (y) the software applications, contents and peripheral devices that interact with the SOFTWARE; and (5) location data, as indicated below. SONY and its affiliates, partners and agents may use and disclose Information subject to applicable laws in order to improve its products and services or to provide products or services to you. Such uses include, but are not limited to: (a) administering the functionalities of the SOFTWARE; (b) to improve, service, update or upgrade the SOFTWARE; (c) improving, developing and enhancing the current and future products and services of SONY and other parties; (d) to provide you with information about the products and services offered by SONY and other parties; (e) complying with applicable laws or regulations; and (f) to the extent offered, providing you with location-based services of SONY and other parties, as indicated below. In addition, SONY retains the right to use Information to protect itself and third parties from illegal, criminal or harmful conduct.

Certain services available through the SOFTWARE may rely upon location information, including, but not limited to, the geographic location of the camcorder. You acknowledge that for the purpose of providing such services, SONY, the THIRD-PARTY SUPPLIERS or their partners may collect, archive, process and use such location data, and that such services are governed by the privacy policies of SONY or such third party. By using any such services, you agree that you have reviewed the privacy policies applicable to such services and consent to such activities.

SONY, its affiliates, partners and agents will not intentionally use Information to personally identify the owner or user of the SOFTWARE without your knowledge or consent. Any use of Information will be in accordance with the privacy policies of SONY or such third party. Please contact applicable contact address of each area or country for SONY's current privacy policy.

Please contact applicable third parties for privacy policies relating to personally identifiable and other information you provide when you use or access third party software or services.

Information may be processed, stored or transferred to SONY, its affiliates or agents which are located in countries outside of your country of residence. Data protection and information privacy laws in certain countries may not offer the same level of protection as your country of residence and you may have fewer legal rights in relation to Information processed and stored in, or transferred to, such countries. SONY will use reasonable efforts to take appropriate technical and organizational steps to prevent unauthorized access to or disclosure of Information, but does not warrant it will eliminate all risk of misuse of such Information.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited

to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/ modification.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA and SONY's privacy policy, each as amended and modified from time to time, together constitute the entire agreement between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA. This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or non-compliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/ UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express

intended third-party beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the SOFTWARE of such party.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at applicable contact address of each area or country.

Copyright © 2012 Sony Corporation.

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダー内の「License1.pdf」をご覧ください。

商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- Android、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Apple、Macintosh、Safari およびiPhone の名称およびそのロゴは、米国Apple Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected Setup はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で®、™マークは明記しておりません。